# 緑の募金

# 事業報告集

令和2年度



公益社団法人 国土緑化推進機構

# 緑の募金事業報告集

令和2年度

公益社団法人 国土緑化推進機構

# 目次

- (注) 1. 本報告集に掲載した事業は、令和元年7月から令和2年6月までに事業決定した直接事業及び公募事業である。
  - 2. 最左欄は交付決定番号、( ) 地名は事業実施都道府県等である。
  - 3. 交付決定番号の区分の説明

SC 直接事業(森林整備)/東震 SC 東日本大震災復興事業(森林整備)/S 公募事業(森林整備)/災S 公募事業(災害に強い森林づくり事業:森林整備)

RC 直接事業(緑化推進)/東震 RC 東日本大震災復興事業(緑化推進)/熊震 RC 熊本地震復興事業(緑化推進)/北震 RC 北海道胆振東部地震災害復興事業(緑化推進)/台風RC 令和元年台風災害復興事業(緑化推進)/R 公募事業(緑化推進)/災 R 公募事業(災害に強い森林づくり事業:緑化推進)/子 R 公募事業(子どもたちの未来の森づくり事業:緑化推進)

KC 直接事業(国際協力)/K 公募事業(国際協力)

森林の整備ー		_
01SC-01	緑のボランティアの森記念造成事業「フォレスト21さがみの森」(神奈川)	10
01SC-04	湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業(神奈川)	11
01SC-05	南足柄で進める企業の森づくり体験活動事業(神奈川)	12
01SC-06	栗原市行者の滝周辺「癒しの森」植樹活動(宮城)	13
01SC-07	富士山緑の募金の森造成事業(静岡)	14
01SC-08	緑のボランティアの森記念造成事業「いずみの森21」(大阪)	15
01SC-09	木下沢渓谷冒険の森保全活動と環境教育(東京)	16
01SC-10	玖珠町ふれあいの森づくり事業(大分)	17
01SC-11	「大阪府ENEOS友好の森」森林整備事業(大阪)	18
01SC-12	みんなのSDGsのMORIと社会づくり事業(宮城)	19
01SC-13	「赤西渓谷・水源の森」保全事業(兵庫)	20
01SC-14	企業との協働による「高梁美しい森」森林整備事業(岡山)	21
01SC-15	和木町協働の森づくり事業(山口)	22
01SC-16	木曽川・八百津水源の森づくり活動(岐阜)	23
01SC-17	岡山水源の森整備事業(岡山)	24
01東震SC-01	3.11復活の森づくり~千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業(千葉)	25
01東震SC-02	松川浦海岸防災林(相馬市大洲国有林)の再生に向けた活動(福島)	26
01東震SC-03	「大曲浜潮除須賀松の森」植樹事業(宮城)	27
01東震SC-04	旭復興事業2019 (千葉)	28
01東震SC-05	震災復興植樹祭 IN さんむ(千葉)	29
01東震SC-06	白子町海岸保安林整備事業(千葉)	30
01東震SC-07	「荒浜潮除須賀松の森」植樹事業(宮城)	31
01東震SC-08	ラグビーワールドカップ2019後のコミュニティ再生を目指す 大槌湾海岸防災林植樹事業(岩手)	32
01S-01	札幌市澄川都市環境林に於ける放置された広葉樹林の復興事業(北海道)	33
01S-02	次世代につなぐ国産漆植樹事業(岩手)	34
01S-03	間伐材の資源化プロジェクト(岩手)	35
01S-04	山林と暮らしを結ぶ「薪割りランド」事業(岩手)	36
01S-05	森林の整備(地震で崩落した山林の再生事業)(宮城)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	37
01S-06	北上川の上下流を結ぶ緑の再生活動(岩手)	38
01S-07	クマゲラの森再生活動(秋田)	39
01S-08	森林ボランティア育成講座(第13期)(茨城)	40
01S-09	『トトロの森』狭山丘陵と周辺緑地での里山保全(埼玉、東京)	41
01S-10	雑木林の恵みを環境教育などで享受をしながらの継続的な整備(千葉)	42
01S-11	親子でとりくむ「森のがっこう」の拠点づくり事業(千葉)	43
01S-12	北浅川上流地区の森にホタルを飛ばそう!(東京)	44
01S-13	長野県北信地域森林整備活動(長野)	45

01S-14	宮の平植樹プロジェクト(埼玉)	46
01S-16	森の次代を担う青年森づくり事業(東京)	47
01S-19	一般市民による湘南海岸林整備事業(神奈川)	48
01S-20	神奈川県山北町における森林整備活動事業(神奈川)	49
01S-21	南高尾風景林の森づくりと森林体験スクール活動(東京)	50
01S-22	ボランティアによる参加型の日向の森(千葉)	51
01S-23	森林と竹林と里山林の実践整備活動(茨城)	52
01S-24	谷戸川エリア環境整備事業(神奈川)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	53
01S-25	「山の学校」〜水が繋ぐ地域と世代〜促進事業(山梨、神奈川)	54
01S-26	富士山休養林の森林整備(静岡)	55
01S-27	複数フィールドの持続的な竹林保全と活用(神奈川、静岡)	56
01S-28	森林の保全・整備と森林資源の利活用(神奈川)	57
01S-29	楓の森づくりを核とした森林体験(新潟)	58
01S-30	鬼太鼓の森再生事業(新潟)	59
01S-32	越前市の森が育む木育広場(福井)	60
01S-36	荒れ果てた里山を救え!大場桜山再生プロジェクト(静岡)	61
01S-37	間伐材の有効活用のための森林整備事業(愛知)	62
01S-38	野外保育に対応した地域森の整備(三重) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	63
01S-39	資源利用による「やまんばの森」の再生と森林環境学習の推進(滋賀)	64
01S-40	寺林の生物多様性の保全を通した森林環境教育の実践(京都)	65
01S-42	里山整備事業 第2期(兵庫) ····································	66
01S-44	森林環境教育推進拠点整備事業(山口)	67
01S-45	里山整備事業(広島)	68
01S-46		69
01S-47		70
01災S-01	大規模震災地におけるエコツーリズム手法を活用した森林管理運営体制の構築(北海道)…	71
01災S-02	次世代教育のための市民参加型の森づくり (北海道)	72
01災S-03	里山保全の担い手を育てる自伐林業養成事業(北海道)	73
01災S-05	間伐材活用による上下流協働の循環型「森活」プロジェクト(群馬)	74
01災S-06	海岸防災林や保全地区等の森林整備事業(千葉、長野、東京)	75
01災S-07	富士山麓における森づくり整備活動(山梨)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	76
01災S-08	里山保全ボランティアの安全技能研修(神奈川)	77
01災S-09	神武寺ハイキングコース整備、大池公園整備、チェーンソー講習(神奈川、千葉)	78
01災S-10	緑の遺産「胎内」災害に強い森づくり事業(新潟)	79
01災S-11	自然回帰・椿守の森づくり事業(島根)	80
01災S-12	全国の専門家達による災害に強い「島根の里山モデル林」づくり事業(島根)	81
01災S-13	薪林業で森林循環促進と持続可能な森林経営(高知)	82
01災S-14	入来浜海岸防災林保全活動(鹿児島)	83
緑化の推進 一		
		0.0
01RC-01	子どもと地域のための森の健康診断普及事業(長野、静岡、愛知、三重、岐阜)	86
01RC-02	獅子吼高原アウトドアFes.「もりもりの森」&森のふれあい音楽会(石川)	87
01RC-03	活樹祭~水源林・森の恵みと活用を学ぶキャンププログラム(小菅村)(山梨)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	88
01RC-04	活樹祭・親子森林教室~森の恵みと活用を学ぶキャンププログラム(川崎町)(宮城)	89
01RC-05	活樹祭・親子森林教室〜名護の森から学ぼう〜(沖縄)	90
01RC-06	緑のまなび事業(甲賀市立大原小学校 外2小学校)(滋賀)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	91
01RC-07	緑のまなび事業(北海道) ····································	92
01RC-10	石垣島里山づくりプロジェクト(沖縄)	93
01RC-11	こどもからお年寄りまで元気になる森づくり事業(北海道)	94
01東震RC-01	Project-D (岩手、宮城、福島)····································	95
01東震RC-02	「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業(宮城)	96
01熊震RC-01	熊本地震復興支援事業(学校・復興支援住字等緑化)(熊本)	97

01北震RC-01	震災の森の復旧・復興を通した子ども森学び体験教室(北海道)	98
01北震RC-02	胆振管内連携・胆振東部地震復興記念事業(北海道)	99
01台風RC-01	大房岬自然公園の緑復旧支援活動(千葉)	100
01R-01	森・子どもたちへの元気づくり・再生プロジェクト(北海道)	101
01R-02	【Furano Forest Style】植樹会と間伐イベントを通じた 富良野の森づくり人づくり事業(北海道)	102
01R-03	森と緑と湖のマチ、そららの森づくりプロジェクト(北海道)	103
01R-04	いのちの森づくり植樹祭 IN 奥沢水源地 VOL.7(北海道)	104
01R-05	未来に引き継ごう!天然青森ヒバ林を(青森)	105
01R-06	オオヤマザクラ等の保育活動を通じた地域を結ぶ森林づくり(青森)	106
01R-07	陸奥湾の海と山を結ぶ循環を学ぶ環境学習授業(青森)	107
01R-08	沈黙しないでピカピカ里山にしませんか!(秋田)	108
01R-09	八幡山桜(はな)の森整備事業 紅葉の森整備事業(山形)	109
01R-10	ふるさとの風景づくり植樹祭(福島)	110
01R-11	みんなでつくるみんなの森プロジェクト(栃木)	111
01R-12	渡良瀬川源流の荒廃地緑化事業(栃木)	112
01R-13	千葉の里山で竹林整備と竹の利活用(千葉、東京)	113
01R-15	高尾小仏植樹祭2019(東京)	114
01R-16	サンシティD棟西台地の野草園化活動(東京)	115
01R-17	ののはな緑の小道プロジェクト(神奈川)	116
01R-19	次世代につなぐ里山づくり(福井)	117
01R-20	昆虫の棲める里山再生(山梨)	118
01R-22	ながらなる。 猿投山北西山麓の環境林整備(愛知)	119
01R-23	環境問題について考え、自然と触れ合おう(三重) ····································	120
01R-26	揖保川源流の森づくり(兵庫) ····································	121
01R-27	新元号(令和)記念植樹祭(広島) ····································	122
01R-28	「山野草350種の花が咲く」森の保存による里山事業(山口)	123
01R-29	森づくり活動拠点での体験ふれあい事業(徳島) ····································	124
01災R-03	湘南国際村めぐりの森づくり(神奈川)	125
01災R-04	さばえの里山と人を結ぶSDGsへの森づくりプロジェクト(福井)	126
01災R-05	グリーンベイOSAKA森を育てる活動(大阪)	
01災R-06	対策と里山を未来につなぐプロジェクト(大阪)	
01災R-07	「地球に緑を 桜島を緑に」どんぐりの照葉樹森づくり(鹿児島)	
		120
子ともたちの	未来の森づくり事業	
01子R-01	にちようびの森~森で育つこどもたち(北海道)	132
01子R-02	こまおかの森げんきづくり事業(北海道)	133
01子R-03	子どもと馬を中心にしたコミュニティによる森林整備及び森林環境教育事業(北海道)	134
01子R-04	ふるさとの森・遊びの森作り事業(北海道)	135
01子R-06	「里山観察・間伐材でものづくり」まるごと体験ツアー(青森)	136
01子R-07	三川長根の種まき桜保存事業(岩手)	137
01子R-08	地域全体で守る子どもの学び場事業(岩手)	138
01子R-09	夢と未来の森キッズ育成協働事業(宮城)	139
01子R-10	アウトドアで科学するサマーキャンプ実施とその指導者養成(宮城)	140
01子R-11	森での遊びを通した環境教育事業(宮城)	141
01子R-12	「そだてよう!どんぐりの森2019」プロジェクト(秋田)	142
01子R-13	子供たちへ繋ぐ森林の風(秋田)	143
01子R-14	癒しの森作り(山形)	144
01子R-15	子ども達の自然体験活動フィールド整備事業(福島)	145
01子R-16	森林資源・環境を利用した地域の子供達の健全育成(茨城)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
01子R-17	森林保全事業と子どもたちの支援(茨城) ······	
01子R-18	名久田川源流学びの森事業(群馬) ····································	
01子R-19	第4回山の日記念「21世紀の森まつり」(群馬)	149

01子R-20	体験型学びの森づくり(群馬)	150
01子R-22	生物多様性のある里山の森づくり(埼玉)	151
01子R-23	みんなで守ろう 育てよう!よしみ里山プロジェクト(埼玉)	152
01子R-24	市西小学校 百年桜の保護と環境学習(千葉)	153
01子R-25	わくわくした森で、たくさん学ぶ事業(千葉)	154
01子R-26	地域のこどもたちと自然のふれあいを支援する事業(千葉)	155
01子R-27	歴史のある恩方の森で、地元の小学生へ体験学習(東京)	156
01子R-28	未来の子ども達においしい森をプレゼント(東京)	157
01子R-30	相模湖若者の森づくり、知足の森整備活動(神奈川)	158
01子R-31	故郷の里山再生および園芸文化の復活プロジェクト(新潟)	159
01子R-32	呉羽丘陵「学びの里山」づくりプロジェクト(富山)	160
01子R-33		161
01子R-34		162
01子R-35		163
01子R-36		164
01子R-37	子どもたちの未来につなぐ諸井里山の森整備事業(静岡) ····································	
01子R-38	裾野市深良地区樹種転換事業(静岡) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	166
01子R-39		167
01子R-40		168
01子R-41		169
01子R-42		170
01		171
01 7 R-43	コバノミツバツツジを活かした学校林の環境整備(滋賀)	
01子R-44 01子R-45	市民の森で舞え!未来の森の守り人(大阪) ····································	
		174
01子R-46		175
01子R-47	思いの場としての健主な、京航の及い株フくり(宗及) みんなでつくるドングリの森林(鳥取)	
01子R-48		
01子R-49		177
01子R-50	子供たちと竹が未来に仲良くできる森林づくり(島根)	
01子R-51		179
01子R-52		180
01子R-53		181
01子R-55		182
01子R-56	5 1 <u></u> 1	183
01子R-58	紙屋の里山等再生事業(宮崎)	
01子R-59	子どもとミツバチの森づくり活動(鹿児島)	185
国際協力 —		
01KC-01	地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業(マリ)	
01KC-02	日本-ラオス友好の森展示林造成事業(ラオス)	189
01KC-03	フィジー 森林と海の生物多様性保全に向けた植林と 環境教育推進プロジェクト(フィジー)	190
01KC-04	2019年度 緑の国際ボランティア研修(タイ国)(タイ)	191
01KC-05	タイ国チャイナート県における森林再生を目指した植林事業(フェーズ3)(タイ)	192
01KC-06	タイ国ナコーンラーチャシーマー県における森林再生を目指した 植林事業(フェーズ3)(タイ)	193
01KC-07	カンボジア国コンポンチャム州における持続可能な森林管理を目指した 植林事業(フェーズ1)(カンボジア)	194
01KC-08	インドネシア 森林と水保全のための「まちの森」づくりと	195
01KC-09		
01KC-10		197
01KC-10		198
01110-11	プニヤク/皿収 レヒクリエニンノにタンンン◇で作体土仄∪ 塚児扒日芋木(ロノブ丿	130

01K-01	インドネシア・バリ島での植樹・環境教育事業(インドネシア)	199
01K-02	中国・内モンゴル自治区アラシャン盟ウランブハ沙漠における沙漠緑化(中国)	200
01K-03	天水市豹子溝植物園専門園区造成事業(中国)	201
01K-04	屋敷林造成事業―住民主体のコミュニティー完結型緑化事業(エチオピア)	202
01K-05	環境保全の熱帯雨林再生事業(フィリピン)	203
01K-07	ブルキナファソ・バム県における村落植林プロジェクト(ブルキナファソ)	204
01K-08	インドネシア・東スンバ県における緑化推進のためのマングローブ植林および	
	緑化教育事業(インドネシア)	205
01K-09	フィリピン アブラ州生物多様性改善のためのモデル植林プロジェクト(フィリピン)	206
01K-10	マダガスカル、アンジアマンギラーナ監視森林とその周辺地域での植林(マダガスカル) …	207
01K-11	パレスチナ自治区ナブルス県の耕作放棄地・渓谷への植樹を通した地域の 環境保全事業(パレスチナ自治区)	208
01K-12	第2期モウス沙地における砂漠緑化・生態混交林造成事業(中国)	209
01K-13	マレーシア・サラワク州における地域住民参加型マングローブ林再生事業(マレーシア)・・・・	210
01K-15	インド国オディッシャ州ゴパルプール地区の住民による	
	「持続可能な生活林」づくり(インド)	211
01K-16	豊寧県緑化環境保全事業(中国)	212
01K-17	東アマゾン島嶼部での河岸林復元と持続可能な集落開発(ブラジル)	213
01K-18	ジャカルタ湾岸 マングローブ林再生プロジェクト(インドネシア)	214
01K-20	エクアドル・ガラパゴス諸島における住民参加型植林事業(エクアドル)	215
01K-22	モンゴル国ゴビアルタイ県草原緑化・砂漠化防止事業(モンゴル)	216
01K-23	ミャンマーの木工品生産地における住民の資源管理意識の向上のための	
	森づくり事業(ミャンマー)	217
01K-24	モンゴル国ゴビ地域苗場造成と森林公園造成支援(モンゴル)	218
01K-26	ベトナムにおけるマングローブ林再生事業(ベトナム)	219
01K-27	上・下流部住民の交流による流域の森林再生(第3年次)(フィリピン)	220
01K-30	東ティモールの子どもたちと水源の森を再生する事業(東ティモール)	221
01K-31	ネパール シンドゥパルチョーク郡地震被災地の学校の緑化と地域の憩いの場及び	
	避難場所として活用するための緑の公園づくり(ネパール)	222
01K-32	マダガスカルでの土砂流失防止の植林事業(マダガスカル)	223
01K-34	タイ北部山岳地域 ナムカー村の森林再生と農村開発(タイ)	224
01K-36	モザンビーク共和国カーボデルガド州モリンガプロジェクト(モザンビーク)	225
01K-37	ミャンマー・インレー地域における水環境保全事業(ミャンマー)	226
01K-39	フィリピン・先住民の持続可能な森林経営に向けた苗木生産(フィリピン)	227
令和元年度	中央事業実施状況一覧	228

# 持続可能な開発目標



SDGs

エスディージーズ

持続可能な開発目標(SDGs)は、貧困や不平等・格差、気候変動などの さまざまな問題を根本的に解決することを目指す、世界共通の17の目標です。



月標1

ひんこん 貧困をなくすこと



目標10 不平等を減らすこと



目標2

飢餓をなくすこと



目標11 持続可能なまちと

ちいき
地域社会



目標3

健康であること



目標12 責任を持って生産し、





目標4

質の高い教育



き こうへんどう たいさく **目標13 気候変動への対策** 



目標5

ジェンダーの平等



目標14 海のいのちを守ること



目標6

清潔な水と衛生



日標15 陸のいのちを守ること



目標7

再生可能エネルギー



目標16 平和で公正な社会



目標8

適切な良い仕事と けいざい 経済成長



**目標17 目標のために** 

協力すること



目標9

新しい技術とインフラ

# 森林の整備



# 緑のボランティアの森記念造成事業「フォレスト21さがみの森」

# 神奈川県相模原市緑区













# 事業概要

「多様性 | と「継続性 | をテーマとした国民参加のモデルフ ォレストづくりを一層推進するために、活動を通じて「森と 人」「人と人」の関係を再構築し森づくりの輪を拡げるとと もに、持続可能な地域社会の基盤となる、生態系豊かな森 をつくり、森を活かす事業の展開をめざす。

主な活動は、①生物多様性や地域の環境に配慮した森林 造成活動、②健全な森づくりのための知識・技術のスキル アップ、③地域・企業・学校等と連携し、自然とのふれあ いを通して学ぶ森林環境教育、④森林環境のなかで心身を リフレッシュできる活動など。

# 事業成果

2020年3月に、造成からの活動成果や現在の生物相をま とめた冊子を発行した。森林整備作業も計画通りに進めて いたが、2019年の台風で大きな被害があり、以降は台風復 旧作業が中心となった。また、新型コロナウイルスの影響 で定例活動の回数も少なくなった。

# 事業をよく知る関係者の声

- ・20年以上ボランティアの手が加わり続けたことで、林床 が比較的明るく、単調な植生にならずになんとか多様性 が維持されてきたと言える。(植物調査協力者)
- ・森を分かっている人が管理してきたと感じる森。自然林 と人工林のバランスが良い。適地適木を考えて管理して いくのが良い。(植物観察会講師)

# 🥟 参加者の声

- ・木の名前が表示されていたのが分かりやすく面白かった。 間伐や枝打ちは難しいところもあるがとても楽しい作業 だった。(30代女性)
- ・場所もスタッフもとても良い雰囲気だった。林業に関わ るのはハードルを感じていたが、体験会を入口にするこ とで少しずつ慣れていけるように思える。(40代男性)



間伐体験



自然体験・キノコ植菌



植物観察会



作業道補修

# 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積: 0.5ha 除伐面積: 0.16ha 間伐面積: 1.0ha 森林資源活用:10本 作業道整備:155m 枝打ち: 1.5ha 山小屋補修:8回 イベント・講習:5回 生物調査:14回

#### 参加者数

県内:169人 県外:159人 計:328人

# 湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業

神奈川県湯河原町



# ● 事業概要

湯河原町の協力を得て進める企業の森は、下流には町の 浄水場があり重要な水源林である。そのため、水源林とし て下層植生の豊かな水源涵養機能の高い森林づくりをめざ すとともに、生物多様性など森林の様々な働きへの理解深 める体験活動を行う。

主な活動は、間伐、水源整備、自然観察会など。また、こ の事業は企業のCSR活動を行うために、企業の要望に沿う 形で活動内容等を設定していくを目的としている。

# 事業成果

日本触媒の職員が参加する活動日を3回予定していたが、

うち2回は台風、1回はコロナ感染症拡大防止のため、す べて中止となった。

# ●事業をよく知る関係者の声

・森の活動は継続性が大事だが、企業が行うCSR活動に至 っては、活動がマンネリ化すると参加者が減る傾向にあ る。このあたりを踏まえて、企業との話し合いを密に行 い、継続して参加者を確保できる活動にしていきたい。 (神奈川森林インストラクターの会)



水源林で活動

# 南足柄で進める企業の森づくり体験活動事業

神奈川県南足柄市



# 事業概要

神奈川県西部の南足柄市に位置し、周囲は神奈川県が進める水源協定林契約地と隣接している。活動は、水源林として下層植生の豊かな水源涵養機能の高い森林づくりをめざすとともに、生物多様性など森林の様々な働きへの理解深めるため、間伐などの森林づくり活動、自然観察会等の環境教育活動などを行う。また、この事業は企業のCSR活動を行うために、企業の要望に沿う形で活動内容等を設定していく。

# 事業成果

昨年度に設置したシイタケの原木からの収穫ができるな ど森の恵みを楽しむことができた。

# 事業をよく知る関係者の声

・企業のCSR活動に沿った作業内容になるように企業との 話し合いを密に行い、楽しい活動にしていきたい。(神奈 川森林インストラクターの会)

# ●参加者の声

- ・昨年持ち帰ったカブトムシ幼虫が成虫となり、また卵を 産んで幼虫になりうれしかった。
- ・シイタケ汁がおいしかった。
- ・とても気持ち良かった。



り 間伐材の運び出し



#### 実績とりまとめ

# 作業内容

下刈面積: 0.001ha 除伐面積: 0.3ha 間伐面積: 0.6ha

**参加者数** 計:127人

# 栗原市行者の滝周辺「癒しの森」 植樹活動

宮城県栗原市







# ●事業概要

災害によって失われた行者の滝周辺の森林の再生と共に 人々も集える癒しの森になるよう植樹活動を行う。

# 事業成果

行者の滝周辺を災害前のような森林に再生し、植生豊かな人々の集える癒しの森になるように整備作業を行った。

植樹場所は災害で一部地形が変わり湿地帯になっていたり、震災に発生した土壌置き場となってたために大きな石が埋まっている場所もあるという植樹場所としては土壌整備が必要な場所である。湿地帯は重機を使い排水路を掘り、植樹の穴を掘るために大きな石を掘り起こす作業で重機がなければ作業は進まなかった。排水路は有効に作用し湿地が減少し、初めに植樹した苗は半数以上消滅したが今回植樹した苗は順調に生育していた。今年の植樹場所は大きな

石がたくさん出土し、重機を使い穴を掘り植樹場所を確保することとなった。また、昨年試みたスギのチップ利用は有効であったために、今回はチップ工場からスギのチップを大量に購入し、植樹や苗の生育場所に苗の目印や歩道などに有効に活用できた。

# ●事業をよく知る関係者の声

・毎年少しずつ成果が見えることは大変うれしいことで、微力ながらこれからも参加を続けていきたい。(毎年参加する企業の社員)

# 参加者の声

・穴を掘り苗を植えることは楽しかった。また参加したい。 (小学3年生)



排水路づくり



植樹地



ミズナラ、ブナほかを植樹



下刈

# 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積:0.1ha 植付本数:300本 下刈面積:0.8ha

#### 参加者数

県内:131人 県外:2人 計:133人

#### 樹植

ミズナラ、ハウチワカエデ、ブナ

# 富士山緑の募金の森造成事業

# 静岡県富士宮市

















# 事業概要

平成8年9月の台風7号は、富士山南東斜面に風倒木など甚 大な被害を与え、本箇所は、その復旧を目的に開始された 事業であり、国土緑化推進機構が行う「国土緑化運動50周 年記念事業」として、国土緑化推進機構が提唱する「国民参 加の森林づくり活動」の場として多くの森林ボランティア 団体に呼びかけ、今日まで実行委員会方式で実施している 事業である。

# 事業成果

今年度は、植生調査等を継続するとともに、定期的に防 鹿柵の巡視等を実施した。なお、森林管理署、地元猟友会 と連携してシカの捕獲を実施した。

また、企業参加による森林体験活動としてヒノキの保育 間伐を初めて実施した。さらに、募金の森造成事業開始か ら今年で20周年を迎えることを記念し記念植樹をした。

# 事業をよく知る関係者の声

・植栽開始から20年が経過し、ヒノキ林・広葉樹林ともに 順調に生育している。一方、シカによる森林被害が一部で 見られることから、引き続き、シカ被害対策に取り組みな がら、森林づくりを推進することが必要である。

# ●参加者の声

・間伐作業(伐倒)は初めての経験で、勉強になった。





ロープで引っ張り安全に倒す



伐採木の枝を払う



ブナ、ミズナラ、ヒメシャラを記念植樹

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数:3本 歩道整備:200m 保育間伐作業: 1.92ha

#### 参加者数

県内:76人 県外:120人 計:196人

ブナ、ミズナラ、ヒメシャラ

# 緑のボランティアの森記念造成事業「いずみの森21」

# 大阪府泉佐野市



# 事業概要

稲倉池を囲む約30haの里山林は、かって薪炭、飼料や肥 料の採取地として、住民と密接に関わってきたが、近年は 放置林となってきた。このため、本来の里山の姿に戻すと ともに、森林ボランティア活動教育など人材育成を目的と する活動を開始した。

その後、近畿でも「ナラ枯れ」被害拡大を受け、数年前よ り冬季にはコナラ大径木の間伐を行い、夏季は密集灌木の 除伐・間伐や下刈りに移行し、里山としての姿を戻すべく 活動している。

# ● 事業成果

当活動地内に「ナラ枯れ」が初めて発生したため枯死木は 焼却(市焼却場)し、隣接区域の未感染コナラを間伐・再資

源化 (薪・ほだ木) した。また、木くずとフンが排出される 「フラス発生木」へは粘着シート巻き付けで羽化による被害 拡大防止が図られた。

# 事業をよく知る関係者の声

・20年以上にわたり里山整備の取り組みをしていただき、あ りがたく思います。暴風時に倒れた木や、樹木に発生す る病害虫被害等の異変に気付き、迅速に対処していただ いているおかげで、農業用水や飲料水として安心・安全 に「稲倉池の水」を利用できています。(泉佐野市生活産 業部農林水産課職員)

# 🬑 参加者の声

・里山保全活動に参加して、自然を身近に感じた。また、環 境について考えさせられた。





ナラ枯れの木に粘着シート巻き付ける



ナラ枯死木の伐倒



安全講習

#### 実績とりまとめ

# 作業内容

下刈面積: 0.44ha 間伐面積: 0.13ha 道補修:40m 階段補修:40m

# 参加者数

府内:209人 計:209人

# 木下沢渓谷冒険の森保全活動と環境教育

東京都八王子市裏高尾町















# 事業概要

木下沢下流域の森林を対象に、市民の憩いの場、レクレ ーションの場、多くの生物が生息する場として利活用でき る森林にしていくことを目的として、次のような活動を行 っている。①歩道・遊歩道、ふれあい広場等の整備、②間 伐、風倒木の処理・植樹等の森林整備、③裏高尾・木下沢渓 谷連絡会議と連携した情報の共有、④森林ボランティア活 動、自然とのふれあい行事の企画・提供、⑤生物多様性に 即した環境づくりなど。

# 事業成果

新しい広場づくりを行った。あわせて新しい拠点・整備 エリアができたことから、周辺生物調査も行い、認知向上 に向けたガイドブックの作成も行った。こうした活動によ って定期的に参加するメンバーのコミュニケーションは活 性化した。また、イベント実施における指導者や協力スタ ッフの担当制が機能するようになり、初回参加者や親子の 満足度の高いプログラムが実施できるようになった。コロ ナウイルス感染拡大に伴い、数か月一般向け活動ができな くなっていたが、主たるメンバーを中心に感染を防止しな がらプログラムができる体制づくりを早い段階から行い、 6月には人数制限をかけた上で親子体験を実施した。対策 をした上でプログラムを展開できたことは大きな成果と考 えている。

# 🦚 事業をよく知る関係者の声

・渓谷の周辺を整備しながらそれを活かした川遊びのよう な普及啓発を行ってはどうか。(研究者)

# 🬑 参加者の声

- ・小さい頃から木の実や植物が大好きな娘なので、今回は 種を飛ばしたり葉っぱで笛をつくったり草花遊びがとて も印象に残っているようだった。(40代保護者)
- ・一人でノコギリで木を倒したことが楽しかった。(小学生)



親子体験会・伐採



親子体験会・自然観察



沢歩き



夜間観察会

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積: 0.2ha 除伐面積: 0.9ha 間伐面積: 0.25ha 作業道整備:400m 生物調査:5回 イベント:11回

#### 参加者数

都内:262人 都外:35人 計:297人

# 玖珠町ふれあいの森づくり事業

大分県玖珠町



# 事業概要

企業ボランティア、地元緑の少年団の参加により自然が もたらす豊かさを体験し自然の大切さを学びながら自然環境の素晴らしさを学ぶ。森林のもつ多面的機能をいかし災害に強い森林づくりを目的とし、自然がもたらす豊かさを体験し水源林の整備を行い豊かな森林づくりを形成する。 ①歩道の整備(階段作り)、②広葉樹植栽、③植栽地の下刈、 ④花壇の設置、⑤木工教室、⑥シイタケの駒打ち・伏せ込み作業、⑦シカ害防止ネット設置。

# 事業成果

3回の事業を計画していたが、悪天候、新型コロナウイルス感染予防のため1回の実施となった。新規フィールドのため、色々な作業を計画していたがシカネット設置作業のみとなった。植栽予定地を囲んだ事により動物の被害を防止する事ができ安心して次回開催の植栽ができると思う。

# ● 事業をよく知る関係者の声

・今回は初の作業となるシカネットの設置作業を行った。一 人ひとりができることは微力だが、こういった活動の積 み重ねがこの広大な自然を守っているのだと感じた。森 林保全活動という日常で経験ができることの少ない貴重 な機会をいただき、大変良い経験となった。

# 参加者の声

- ・日常生活や自然の中で土に触れて作業をすることはあまりないので、貴重な体験をさせていただき、良いリフレッシュとなった。
- ・自分で作った遊歩道が完成していくことや駒打ちしたシイタケの成長が楽しみなので、今後も積極的に活動したいと思う。次回は大分を離れていた同期にも声をかけたい。



シカ害防止ネットを設置



植樹地



シイタケほだ場

#### 実績とりまとめ

# 作業内容

植付面積: 0.05ha 植付本数: 300本 シカネット設置: 500m

花壇整備:4箇所

**参加者数** 県内:133人 県外:18人 計:151人

樹和

ツツジ、シャクナゲ

# 「大阪府ENEOS友好の森」森林整備事業

# 大阪府太子町

















# 事業概要

手入れが行き届かず荒廃が進みつつある私有林 (スギ・ヒ ノキ)をノコギリを用いて除間伐をした。その際、専門家の 指導を受け道具の扱い方を覚えてもらった。子どもたちは 木工作で木材の良さを体験してもらった。

# ●事業成果

森林整備を行う事で自然に対する意識が向上した。木工 で木に触れてもらい、木材の良さを体験してもらうことが できた。

# ● 事業をよく知る関係者の声

・山に入って間伐作業をする方々と広場で木工教室に参加

する方に分かれていただいた。間伐作業は、ゆったりと 山の雰囲気を楽しみたい方にとっては少々ハードだった ようだが、おおむね楽しく安全に行っていただけた。木 工教室では、木工体験キットを用いて動物型貯金箱の作 成をした。皆さん趣向をこらして取り組んでいただき、良 い体験になったと思う。(行政担当者)

# ●参加者の声

- ・自然を感じながら木工体験ができて良かった。他のもの も作れるとより良いと思う。
- ・ゆったりコースなど、区分けがあるのは良いが、思って いたより体力的につらかった。



手ノコを使って間伐



安全に留意





木工

#### 実績とりまとめ表

作業内容

除伐面積: 0.7ha 間伐面積: 0.7ha

参加者数 府内:60人 計:60人

# みんなのSDGsのMORIと社会づくり事業

#### 宮城県利府町









# 事業概要

協力企業や地域ボランティア、小中学校などが協働し、 人々が集まりやすい場所にある荒廃した森林の整備し、未 来へみどりを引き継ぐための植樹活動や、子ども達が気軽 に森づくりや自然体験を楽しめるフィールドづくりを行う。 除伐・枝打ち・遊歩道づくりなどの活動は、森林ボランテ ィアが協力して進めるとともに、子ども達の体験としても 実施し、「森での学び」の機会を数多く創出するとともに、森 林での整備や遊びなどの実体験を通して、健全な森と人を 育むことをめざす。

内容としては広葉樹や針葉樹の植林活動や地域森林ボラ ンティアの育成、遊歩道材等への間伐材有効活用、子ども を対象とした環境教育・減災教育活動、ナラ枯れ被害の調 査とその処理といった活動を実施した。

# 事業成果

県外の中学校や協働企業ボランティアの他に、県内親子

を対象としたイベントを実施し、森づくり活動への参加者 の幅を広げることができた。また整備する上で間伐・除伐 した木の活用法についてもモニュメントだけではなく、丸 太ベンチやキノコの植菌など新たな活用方法を考え実施す ることができた。

# 事業をよく知る関係者の声

- ・自然の中での活動は貴重なので、感染対策もしながらこ れからも積極的に活動していくべきだ。(ボランティア)
- ・植樹や遊歩道整備などと合わせて、台風による被害が出 た場合には社員や協会の方々と協力しになるように整備 を続けていきたい。(協力企業担当者)

# 🦚 参加者の声

- ・枯れた木を伐るのは大変だったが、伐った木が倒れた時 は気持ちよかった。(中学生男子)
- ・自分が数年前に植えた木に実が生っていて、ここまで育 ったことが嬉しかった。(協力企業社員)



植樹地の下刈



中学生による遊歩道整備



地域ボランティアによる植樹



間伐

# 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積:1ha 植付本数:251本 下刈面積:5ha 除伐面積: 4.3ha 間伐面積:4.1ha クラフト体験:3回 歩道整備:140m

# 参加者数

県内:691人 県外:80人 計:771人

#### 樹種

ヒノキ、サクラ、ヒメリンゴ、 ハナモモ、ミズキほか

# 「赤西渓谷・水源の森」保全事業

兵庫県宍粟市波賀町













# 事業概要

企業および森林管理署と協働して森林整備や教育研修な どを行うことにより、環境林、水源かん養林を保全すると ともに、あわせて自然保護、生物多様性について理解を深 めることを目的とする。

予定された企業の従業員などによる4回の森林整備活動 や一般市民を対象とした「赤西渓谷エコツアー」は、悪天候 や新型コロナウイルスの感染防止などのために全て中止と なったが、NPO会員主体で以下の作業を実施した。①平成 30年に活動10周年を記念して植樹したヤマザクラ3本がそ の後枯死したため、6月10日にNPO会員などで植え替えた。 ②例年8月に企業の従業員などにより実施していた植樹地 の下刈りはできなかったが、8月6日に企業の担当者と NPO会員とで作業を実施した。

# 事業をよく知る関係者の声

・本年度は社員参加型の森林活動はできなかった。その中、 活動について弊社関係者で議論することで、森づくりの 目的や意義を再整理することができた。自然を学びなが ら社員間コミュニケーションにも役立つものが望まれて いるため、来年以降の活動に結び付けていきたい。(企業 の活動企画担当)

# 🦚 参加者の声

・森づくり活動の10周年記念で一昨年10月に植樹した国天 然記念物「樽見の大桜」の子木が、残念ながら活着しなか ったため、6月に樹木医の指導で植え替えた。植樹のた めに掘った穴からは、大きな石が出てきて大変だったが、 無事に新芽を吹いて元気に育ち、赤西渓谷・水源の森に 花を添えてくれることを夢見ている。(70代会員)



マザクラ植替え



下刈



下刈作業後



食害対策防護ネットの補修

#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

植付本数:3本 下刈面積: 0.2ha

#### 参加者数

県内:16人 県外:2人 計:18人

ヤマザクラ

# 01SC-14

# 企業との協働による「高梁美しい森」森林整備事業

岡山県高梁市







# 事業概要

高梁市の定める市有林の一部「高梁美しい森」内におい て、ENEOS社、高梁市、本会と協働による、森づくり・森 林体験活動を通じたSDGsの実践に取り組む。自然災害の増 加や自然環境・生物多様性の保全という問題に対しても、流 域思考に基づき複合的に取り組むことで、持続可能な自然 共生型地域社会の構築に寄与することを目的としている。 8期目となる今期は①下刈、雑木林整備(間伐含)、マツ林 整備、憩いの場の整備等)を行うとともに、自然体験学習を 実施し、自然に親しみ自然を育む心の醸成に通ずる活動を 行ったが、コロナの影響により当初計画の半分のみの実施 となった。

# 事業成果

今期は1回のみの開催となったが、参加者数は233人 (前々回は220人) と高いレベルで安定してきている。これ

は、ENEOS社内において環境保全や自然体験活動の大切 さ、必要正等の理解と実践が確実に定着してきたことを意 味している。

# 事業をよく知る関係者の声

・大人だけではなく、毎回多くの子どもたちが森づくりや 自然体験を楽しんでいることがすばらしい。幼少期の自 然体験は特定の目的を持って活動するよりも、体験その ものを目的として、そこから自由に子どもたち自身で学 んでいくことに大切さがあり、正にその場として有意義 なものである。(小学校教員)

# 参加者の声

・うっそうと茂った遊歩道周辺の整備をすることで、整備 後の達成感と安心感を感じられるようになった。森づく りは癒しと活力の活動である。(50代男性)



下刈



間伐



游歩道脇にベンチを



間伐材で薪づくり

# 実績とりまとめ

# 作業内容

下刈面積: 0.62ha 間伐面積: 0.99ha 遊歩道整備:20m 自然体験活動:1回

# 参加者数

県内:223人 計:223人

# 和木町協働の森づくり事業

# 山口県和木町













# 事業概要

「豊かで美しい森林づくり」と「地球環境の保全」を目的と して、和木町里山研究会が主体となって地元企業のENEOS 株式会社麻里布製油所の社員や家族、OB及び和木町、山口 県の職員ボランティアと協働で和木町有林約7haの整備を 平成23年12月から継続している。

# ● 事業成果

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、 当初の計画通りには事業が進まなかった。10月頃に予定し ていたENEOSの森事業は、ENEOS社員の参加が見込まれ なくなったため、和木町里山研究会会員が草刈り等の作業 を行った。クリ拾いについても里山研究会会員のみで作業 した。作業後は企業にクリ20kgを提供して、今年の山の恵



クリ園の整備

みを感じていただけるようにした。

# 事業をよく知る関係者の声

・地元企業社員、ボランティア団体、県・町職員が協働で 森林整備を行うことにより、森林の持つ多様的な機能や 恵みを実感することのできる素晴らしい事業である。新 型コロナウイルスが収束した後には、以前のように協働 して豊かで美しい森を残していくことができればと思う。 (町職員)

# 🥟 参加者の声

- ・今年もクリがたくさん収穫できたので、ENEOS社員の 方々に味わっていただきました。(80代男性)
- ・来年はいっしょに作業できたらいいね。(80代男性)



収穫したクリ

# 実績とりまとめ

#### 作業内容

クリ拾い:12日

#### 参加者数

県内:85人 計:85人

# 木曽川・八百津水源の森づくり活動

岐阜県八百津町



# 事業概要

木曽川流域に生活する住民に潤いと安らぎを与える源の森を整備し、水源涵養機能の充実を図るとともに森林生態系や生物多様性について学ぶことを目的として実施。海抜500mの高原を会場とし、下流域にて生産活動を行うキリンビール(株)名古屋工場の従業員と家族や流域に生活する地域住民及び地元住民が協力し合い、サクラの間伐、地域内の遊歩道の補修作業、下刈などの活動を行うとともに間伐材を利用した箸づくり体験などを行った。

# 事業成果

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティア参加の整備事業は中止したが、業務委託による下刈や樹木 伐倒活動など水源の森の保全や整備に努めた。11月には、サクラの勉強会を昨年に引き続き実施、参加者に知識・技術を身につけてもらった。

# ●参加者の声

・サクラの勉強会に昨年に引き続き参加した。剪定等のコッや植栽のポイントなどが聞けて良かった。(50代男性)



サクラの勉強会



サクラの勉強会



下刈作業前



下刈作業後

#### 実績とりまとめ

# 作業内容

下刈面積: 4.45ha 除伐面積: 0.05ha イベント: 1回

# 岡山水源の森整備事業

岡山県美咲町





# ●事業概要

松くい虫の被害により、穴のあいた場所に広葉樹の植栽、残された広葉樹の中から、有用広葉樹を守るための除伐・つる切り・管理道の整備を、企業及び市民ボランティアの参加を得て、保水機能を高めるとともに生物多様性の森林づくりを行う。

# 事業成果

管理保全業務を実施した。 植栽木の成長は良好。今後も区域や作業道の管理が必要。



作業道の草刈



作業後



林内の刈払



刈払後

# 実績とりまとめ

#### 作業内容

刈払面積: 0.47ha 作業道刈払: 800m

# 3.11 復活の森づくり~千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業

千葉県山武市









# 事業概要

津波により枯れてしまった千葉県山武市蓮沼殿下海岸防 災林の復興を進めて、被災地住民の生活環境の回復を図る とともに、それを通じて「海岸防災林と住民との共生」を創 り直すこと、ボランティア活動の継続性の向上である。主 な活動は次のとおり。①津波により塩害を受けて枯れた 木々の撤去とチップ化処理と敷き詰め及び転圧、②海岸林 に適した樹種(抵抗性クロマツ)の植林。なお、この事業は (一社) 日本野球機構からの募金の支援で実施した。

# 事業成果

令和元年の台風15号、19号による被害を大きく受けた千 葉県。自然災害を最小限に抑えるためには、森林のもつ土 砂災害防止機能を市民一人一人が理解し、森林保全への関 わりを高めていく必要性がある。県内のボランティア参加

者を募集し、多くの県民が参加してくれた。

# 事業をよく知る関係者の声

・自然災害が目立つこの頃、自然環境のために貢献したい と思う人が増えていると思う。そんななか、ボランティ アのハードルを下げて、森づくり初心者も参加できる活 動を応援していきたい。(樹木医)

# ●参加者の声

- ・森林の大切さを感じるようになってきた。海岸林の再生 に参加できる喜びを感じながら植林に参加した。(50代男 性)
- ・小さい苗木が、毎年毎年大きく育っていく様子を目の当 たりにすると、自然のもつ生命力を感じる。夏の草刈り も参加したい。(30代女性)



ンティア参加者による植樹



ていねいに植樹



2500本の抵抗性クロマツを植樹



海岸林の再生をめざして

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.25ha 植付本数:2500本 皆伐、地拵え: 0.25ha

# 参加者数

県内:60人 計:60人

#### 樹種

抵抗性クロマツ

# 松川浦海岸防災林(相馬市大洲国有林)の再生に向けた活動

福島県相馬市







# 事業概要

東日本大震災により被災した海岸防災林を再生する。主 な活動は以下のとおり。①盛土された海岸防災林の区画に クロマツの植樹、②植樹したクロマツの健全な成長を実現 するために下刈・除草等を行う。

# ●事業成果

平成28年・29年に植樹した区画の下刈を行ったことにあ わせ、傾いたクロマツ苗木を直して補強した。来年以降の 順調な成長を期待したい。

# ●事業をよく知る関係者の声

・植栽地の除草の2週間ほど前に現地を襲った台風19号に

より傾いた植栽木の立て直し等について適切に作業をし た。参会者は小学生から成人まで幅広く、作業を通して 森林の育成、東日本大震災からの復興に携わっていただ いたことは大きな意義があると思う。今後、クロマツが ある程度生長するまで、保育作業や管理を継続していた だきたい。(磐城森林管理署指導官)

# 🦚 参加者の声

- ・根が張った下草もありマツも大変だ、白砂と緑の松川浦 海岸が戻るのが楽しみ。
- ・台風で活動中止を心配したが、これまで同様に幾多の困 難を乗り越えて実行でき、うれしかった。







傾いたマツをまっすぐに



海岸防災林の再生をめざして

# 実績とりまとめ

作業内容

下刈面積: 0.29ha

参加者数 県内:6人 県外:26人 計:32人

# 「大曲浜潮除須賀松の森」植樹事業

宮城県東松島市













# 事業概要

東日本大震災により壊滅的な被害を受けた東松島市沿岸 域の海岸防災林について、その再生に向けて中国訪日団高 校生・大学生らとの協働により植樹活動を行いながら、失 った「みどり」の重要性やその働き等への理解と関心を深め てもらい、海岸防災林再生に対する気運の醸成と、「みどり の文化」の普及啓発を図る。

# ● 事業成果

これまでの活動が、マスコミやHPなどを通して周知さ れ、活動に参加を希望する問合せや相談が寄せられたほか、 民間企業からは、海岸防災林再生に向けた活動を支援する ための寄付金の申し入れがあった。参加の団体、個人、企 業は、単なる森づくりではなく、海岸防災林のこれまでの 歴史やその役割などを認識し、その重要性を学んでいただ いた。特に子どもたちが主体となった活動では、環境・防

災教育の一環としても位置づけ多くのことを学んだ。また、 日中友好の絆を深めることができたほか、東日本大震災に よる被害の甚大さ、震災からの復興、日本の海岸防災林の 意義などを訪日団高校生・大学生に伝えることができた。

# 🦚 事業をよく知る関係者の声

・作業するなかで徐々にコツを覚え一生懸命に活動してい た。マツ苗が育つよう願いを込めて植えようとする姿勢 が見られた。復興につながる活動に感銘し、すばらしい 植樹活動だった。(訪日団カウンターパート)

# ●参加者の声

- ・私たちが植えた苗が大木に成長し、丈夫な防災林になっ てほしい。(大学生)
- ・自分の手で苗木を植えたことで、森林が防災減災に多くの 効果があることがわかった。(高校生)



日中植林・植樹国際連帯事業中国高校生友好交流訪日団



日中植林・植樹国際連帯事業中国高校生友好交流訪日団



日中植林・植樹国際連帯事業中国大学生友好交流訪日団 (第3陣)



日中植林・植樹国際連帯事業中国高校生友好交流訪日団 (第3陣)

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.37ha 植付本数:1860本

#### 参加者数

中国:155人 計:155人

#### 樹種

抵抗性クロマツ

# 旭復興事業 2019

# 千葉県旭市























# 事業概要

東日本大震災の被害を受けた旭市において、津波や松く い虫等の被害により枯損し、無立木地化した海岸保安林(市 有保安林) の再生を図り、飛砂や潮風の被害を防止し津波被 害を軽減するなど、本来の保安林の発揮すべき防災機能を 早急に回復するために、植樹による森林の造成を行った。植 樹に当たっては、森林や緑づくりの大切さについての普及 啓発を図るため、地元子ども会による植樹会を開催した。

# 事業成果

震災から9年が経過し、当時の記憶が薄れつつある中、ク ロマツに代表される海岸保安林の植樹を行うことにより、 地域住民に改めて海岸保安林の重要性を思い起こしてもら うことができた。

また、子どもだけでなく家族いっしょに参加することに より、緑の大切さや海岸保安林の防災機能などについて、 「楽しく」学び、植樹体験を大切な記憶として刻むことがで きた。市では、将来を担う世代への防災教育の一環と考え ている。

# 事業をよく知る関係者の声

・毎年植樹会が開催され、保安林が再生されつつあると実 感している。しかし、まだ枯れてしまった場所が見られ るため、今後も事業を継続してほしい。(近隣住民)

# 🦚 参加者の声

- ・木を植えるのが楽しかった。将来、植えた木が育つのが 楽しみ。(小学生)
- ・大きく育って津波から守ってくれる森になればいいなと 思う。(30代女性)
- ・卒業生をはじめ私達にとって、良い思い出になったので、 来年もぜひやりたい。(子ども会代表)



トベラ、マサキ、クロマツを植樹



392本をていねいに植樹



緑の大切さを学んだ



海岸保安林の再生をめざして

#### 実績とりまとめ

# 作業内容

植付面積: 0.05ha 植付本数:392本

#### 参加者数

県内:20人 計:20人

トベラ、マサキ、抵抗性クロマツ

# 震災復興植樹祭 IN さんむ

# 千葉県山武市























# 事業概要

クロマツの植樹を通して東日本大震災で津波被害を受け た山武市の中下海岸の海岸保安林の復興と青少年の健全育 成や環境教育の推進を図る。

事業は、山武市青少年育成市民会議に属する市内団体・ PTAが連携し、公募により県内外を含めた多くの参加者を 得て植樹する予定であったが、新型コロナウイルスの感染 症の拡大のため、公募参加者による植樹は中止した。この ため、市民会議や構成団体からのボランティアにより海岸 林保安林の復活に取り組んだ。

# ● 事業成果

急遽、山武市青少年育成市民会議や構成団体のボランテ ィアで植える事となったが、団体から46人の参加者があり、 団体間の連携の深まりを感じた。また、参加申込者の中に

は市内外の企業からの申し込み、高校生の団体、ライフセ ーバーといった組織・団体での申し込みがあり、復興や環 境への意識の高まりを感じた。

# 事業をよく知る関係者の声

・整地を丁寧に行っている事、また、コンテナ苗に変更し たことなどにより、数年前と比べて、植樹がしやすくな っている。気軽に参加できる植樹祭として参加者の増加 が見込めるのではないか。(山武市青少年育成市民会議委 員)

# ● 参加者の声

- ・植樹をやってみて楽しかった。(40代女性)
- ・この人数でここまで早く終わるとは思わなかった。とて もやりやすかった。(40代男性)



クロマツ1400本を植樹



クロマツのポット苗



植樹のための穴あけ



海岸保安林の再生をめざして

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.26ha 植付本数:1400本 植栽基盤整備: 0.1ha

#### 参加者数

県内:65人 計:65人

# 樹種

クロマツ

# 白子町海岸保安林整備事業

# 千葉県白子町























# ● 事業概要

東日本大震災に伴う津波や松くい虫の被害により無立木 地化した白子町の海岸部に広がる保安林において、緑化を 推進し防災機能の強化を図ることにより、風・砂等に対す る遮へい能力を高め生活環境の保全形成を図ることを目的 として、抵抗性クロマツを植樹した。

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により、みどり の少年団の参加ができなくなったが、地元白子町温泉ホテル協同組合ほかのボランティアの協力を得て実施した。

# 事業成果

新たな場所に植樹を行い、次代の保安林を増やすことができた。新型コロナウイルス感染症の影響でみどりの少年団の参加ができなかったが、地域ボランティアの協力を得て植樹を実施することができた。少人数となったが、改め

て、海岸保安林や緑の募金について普及啓発することができ、また、コンテナ苗を活用して大変効率的に植樹を行うことができた。

# 事業をよく知る関係者の声

・みどりの少年団が参加できなかったのは残念だったが、ボランティアの協力により実施することができてよかった。 植樹場所の土も柔らかく、穴も前年度よりさらに空けやすかった。少人数だったが、参加者が真剣に取り組んだことで短時間で植えることができた。(町職員)

# ●参加者の声

- ・子どものころに見たマツ林を取り戻すのに少しでも力に なれてよかった。(ホテル関係者)
- ・コンテナ苗を初めて知ったが、植えやすくて扱いやすかった。(ホテル関係者)



クロマツ1000本を植樹



植樹のための穴あけ



クロマツのポット苗



海岸保安林の再生をめざして

# 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.1ha 植付本数: 1000本 植栽基盤整備: 0.1ha

#### **参加者数** 県内:29人

県内:29人 計:29人

#### 樹種

クロマツ

# 「荒浜潮除須賀松の森」植樹事業

宮城県仙台市、岩沼市、東松島市















# 事業概要

東日本大震災により壊滅的な被害を受けた仙台市沿岸域 の海岸防災林について、その再生に向けて地域住民等との 協働により植樹活動を行いながら、失った「みどり」の重要 性やその働き等への理解と関心を深めてもらい、海岸防災 林再生に対する気運の醸成と、「みどりの文化 | の普及啓発 を図る。

# 事業成果

活動に対するマスコミの関心が高く、記事にも掲載され て反響が大きかった。特に次代を担う子どもたちが参加し た活動に関心が寄せられた。コロナ禍での活動は様々な制 約があったが、感染対策を講じて実行できたことは大きな 成果であった。参加者は海岸防災林のこれまでの歴史やそ の役割などを認識し、その重要性を学んだほか、特に次代 を担う子どもたちが主体となった活動では、環境・防災教 育の一環としても位置づけ多くのことを学んだ。

事業をよく知る関係者の声

・コロナ禍で全く野外活動ができなかった状況下で、こう した植樹活動の場を提供いただき、子どもたちにとって は貴重な体験となった。久しぶりの開放感と、海岸防災 林の歴史やその意義なども理解できたことは、今後の彼 らの人生にとっても大いに役立った活動だった。(ボーイ スカウトグループ隊長)

# 参加者の声

- ・我々は、わずかな力でしかないが、地球温暖化防止や被 災地の復興に少しでもお役に立てたことは大きな喜びで ある。地道ながら活動を続けて成林に向けて貢献してい きたい。(30代男性団体職員)
- ・子どもといっしょに植樹活動に参加できて大変良かった。 スタッフの皆さんがわかりやすく説明してくれたので、 海岸防災林の役割などがわかり、苗木を丁寧に植えるよ うに心がけた。(30代女性)



抵抗性クロマツの植樹 (ボーイスカウト)



親子で植樹



344人が参加



記念標の除幕式

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植栽面積: 1.15ha 植栽本数:4371本

#### 参加者数

県内:338人 県外:6人 計:344人

#### 樹種

抵抗性クロマツ、ハンノキ

# ラグビーワールドカップ2019後のコミュニティ再生を目指す大槌湾海岸防災林植樹事業

# 岩手県釜石市









# 事業概要

海岸防災林の再生には、世代を引き継ぐ息の長い活動が 不可欠であり、地域住民とNPOおよび地元自治体の連携の もと、若い世代(中学校)の活動への参加が生まれた。ラグ ビーワールドカップ2019招致に地域を挙げて取り組んだ根 浜地区の海岸防災林の景観を創造し、植樹と植栽を軸とし て、大槌湾に面したエリアの海岸防災林の植樹を広げるこ とで、震災後失いかけた地域コミュニティの再生をめざし た。海岸林の再生と浜から海岸林までの景観を創り上げる ための清掃活動、海浜植物の種まき、植替え活動を行った。

# ● 事業成果

中学校全校での取り組みとして定着し、地元TV局や新聞 社の取材が入るなどした。中学生たちは生き生きと活動し、 インタビューにも明快に答えていた。震災以降、海に近づ くことができず、心のケアにも配慮することで、生徒たち

が楽しんで活動することができた。地元の自治会や行政、企 業などが共に汗を流すことで、世代を引き継ぐ活動として 少しずつ成果を上げている。

# 事業をよく知る関係者の声

・春にケカモノハシ (イネ科) の鉢あげを行うなど200以上 の苗を作成することができ、それらを秋に植栽すること ができた。また、津波によってマツが少なくなっている ところに、マツ苗の植栽を行い活着率も高かった。これ らの活動を通して、根浜海岸のマツ林の景観向上に貢献 できた。(大学研究者)

# 🬑 参加者の声

- ・4~5年育ったクロマツを元の砂浜に植え替えてほっと した。
- ・自分たちが大人になった時、ここで草取りをしたり植え 替えをしたことを思い出すと思う。



ポット苗からの移植



雑草運び



補植したクロマツ



マツ周辺の草刈り

#### 実績とりまとめ

# 作業内容

植付面積: 2.1ha 植付本数:30本 下刈面積: 1.4ha 海浜植物種まき:2回 海浜植物移植:2回

#### 参加者数

県内:285人 計:285人

# 樹種

クロマツ

# 札幌市澄川都市環境林に於ける放置された広葉樹林の復興事業

# 札幌市南区









# 事業概要

元気な森に復元することを目的にしている。整理伐の目 的は①生長の見込めない木に限定し最小限の施業に留め郷 土樹種の成長を促す(切り払った幹・枝条は肥料木に)。② 作業を効率化するため作業道、軽自動車用道路、木道の整 備。③多様性を持った持続可能な豊かな森への誘導。子ど もたちが自然に触れる事のできる安心で安全な森を提供し ていく。

# 事業成果

間伐で生じた材は肥料木として土に還し、自然に近い状 態を残しながら豊かな従来の里山に戻る事を期待している。 しかし3月からコロナウイルス感染拡大で作業は計画通り には進まなかった。初めての試みとして、手ノコ班とチェ ンソー班を日毎に分けて整理伐を実施し結果、参加者から の感想は安全な作業に結び付きヒヤリハットを避ける事で

安全対策に繋がった。作業道の開削工事や軽トラック用の 木道補修で作業の効率化・安全性は向上した。

# 事業をよく知る関係者の声

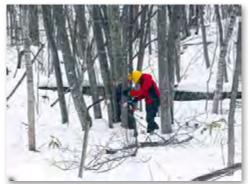
- ・来るたびに散策路や周りの環境が整備されている。また、 コクワやクリなど味覚を味わえて最高だった。(親子森林 教室の関係者)
- ・間伐後に放置する幹や枝条は立木から少し離して小さく 山積みして分散する事で害虫被害の発生を減らせるとの アドバイスを受けた。(近自然森づくり協会理事長)

# ●参加者の声

・長い事放置されていた地区の整備は倒木、傾斜木、ツル 覆われた枯損木などが広がり、その上、尾根と谷に阻ま れ作業道の整備に苦労した。手を加えるごとに風景の変 化に歓びを感じた。



安全講習会



手ノコで整理伐



木道補修簡所の点検



卒業記念植樹 (澄川南小学校)

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.1ha 植付本数:2本 下刈面積: 1.8ha 間伐面積: 3.8ha

#### 参加者数

道内:744人 計:744人

エゾヤマザクラ、ナナカマド

# 次世代につなぐ国産漆植樹事業

# 盛岡市薮川

















# 事業概要

重要文化財の維持管理に必要な国産漆の量は22t。平成 27年度の国産漆の生産量は約12tで自給率は2%しかない。 国産漆の自給率の向上への貢献が目的。そのため樹液を採 取する原料木のウルシノキの生分解性ポット一年生苗の植 樹を行った。

# ● 事業成果

植樹は個人の参加者の他に企業や岩手大学などの参加を 得られた。一列に植樹する方法や、土の穴のあけ方、苗の 埋め方などポッド苗に適した方法を体験学習できた。

# 事業をよく知る関係者の声

- ・カブレの恐れのあるウルシを扱う作業にもかかわらず、事 前に作業の注意点を説明し、結果ウルシかぶれ発症者が 出なかったのは大変に良かった。(育苗業者)
- ・ウルシ植樹を千本単位で行う取り組みは国内ウルシ振興 でもスケールの大きいものであり、今後も実績を積み上 げていってほしい。(マスコミ関係者)

# 参加者の声

- ・植樹した苗が成長するのが楽しみ。また関連作業がある ときには手伝いたい。(50代主婦)
- ・作業の楽しさに加え、周辺の景観、山菜採取、動物の気 配など感じられるのが良い。(40代会社員)









ウルシ苗

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.8ha 植付本数:1000本

#### 参加者数

県内:34人 県外:6人 計:40人

# 樹種

ウルシ

#### (

# 間伐材の資源化プロジェクト

# 盛岡市手代森







# ●事業概要

間伐材の活用でボランティアによる持続可能な森林整備の実現をめざす。間伐材資源化と活用法の啓発として、地域の伝統的な製炭法を実践するとともに多面的な木質資源の利用を習得し研鑽する研修会や体験会を行う。

# 事業成果

間伐材40㎡を資源化して活用した。地球温暖化防止のCO2 削減 47トン。

地域伝統の南部炭窯で製炭法を研修して間伐材から660 kgの黒炭に資源化した。

簡易製材の研修会と木工教室を開催。間伐材からほだ木 をつくり植菌による栽培技術を研修した。

# ● 事業をよく知る関係者の声

- ・伐採した資源の活用をボランティアで行うのは貴重だ。継続して参加できる案内を希望する。(60代男性)
- ・多くの会員に支えられている活動は継続することが大事 だと思う。(20代女性)

# ●参加者の声

- ・簡易製材機の研修は有意義だった。活動日以外でも積極 的に利用したい。(60代男性)
- ・炭焼きの体験は貴重だった。今後は自主的な炭焼き活動 を考えたい。(70代男性)
- ・間伐材の薪づくりは機材の利用が効率的だった。(50代女性)



薪づくり



炭焼き



きのこ栽培



製材研修

# 実績とりまとめ

# 作業内容

作業内容

炭焼き研修:7回 木工体験:10回 機材研修:2回 キノコ栽培:2回 集材・搬出:1回

参加者数

県内:222人 計:222人

## 山林と暮らしを結ぶ「薪割りランド」事業

### 岩手県花巻市











## 事業概要

長年放置され、ナラ枯れ病の脅威にさらされている里山 広葉樹林を伐採・再生し、伐採した材を地域の薪ユーザー の参加により利用する。森と暮らしの結びつきを取り戻す ための里山保全活動を行う。主な活動は以下のとおり。① 広葉樹伐採技術講習会、②チェーンソー目立て研修、③里 山広葉樹を皆伐せずに伐採・更新、④林地かく乱を最小限 のに抑えるための馬搬研修会、⑤地域の薪ユーザー参加に よる薪材収穫体験イベント、⑥広葉樹の萌芽や実生による 確実な更新。

## ● 事業成果

市有林の有効活用により、市の里山保全活動に対する理 解が深まり、今後の活動の継続が可能となった。

新会員となった20代の男性が、共に作業を行ううちに林

業に関心を持ち、将来林業の現場技術者として就業を希望 するようになり、県が所管する「いわて林業アカデミー」を 受験することにつながった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・SNSなどを活用して、薪を必要としている地元の人に周 知した方が良い。(協力企業)
- ・今後は習熟度合により、作業を選んでもらうなど安全対 策により配慮した現場での組分け等を考える必要がある。

## 参加者の声

- ・丸太を道路まで運び出す苦労がよくわかった。
- ・薪の収穫体験(「薪ハーベスト」)の機会を増やしてもらい たい。
- ・軽トラックでは運びきれないので、丸太等を配達しても らいたい。(遠方からの参加者)





薪材の運び出し



目立て研修会



馬搬研修

### 実績とりまとめ

### 作業内容

伐木·造材:1ha 5回 薪ハーベスト体験:2回

#### 参加者数

県内:121人 県外:2人 計:123人

## 森林の整備(地震で崩落した山林の再生事業)

宮城県栗原市







## 事業概要

東日本大震災があった平成23年、被災した三陸の被災団 体4団体と地元栗原市の親子によって復興を祈願し700本 の広葉樹を植樹した。以来、毎年育樹や補植活動をしてい る。植樹累計本数は1200本。本年度は2haの育樹、とりわ け平成30年に200本の補植を行った場所の下刈を2回行っ た。

## 事業成果

平成30年5月に補植した200本の大半が活着していた。こ こは、特に生育環境の悪い場所。この1年半の間に計4回 の下刈したことが良かったと思われる。

## 事業をよく知る関係者の声

・樹齢30~40年のスギ林が崩落した。そこに植えた木は、一 部に生育が悪い場所があるが、水位が高いためだろう。整 地後も草も生えない期間があったが、いまは見違えるよ うだ。(土地所有者)

## 🦚 参加者の声

・崩落した山林を自然に戻すことは、想像以上に大変だ。裸 地はなくなったので雨で土砂が流れることはなくなった。 木を植えた子どもたちが、いつか立ち寄ってほしい。(会 員)



下刈(1回目)



下刈(2回目)





作業参加者の皆さん

### 実績とりまとめ表

作業内容

下刈面積:4ha

参加者数

県内:22人 計:22人

### 018-06

## 北上川の上下流を結ぶ緑の再生活動

### 岩手県八幡平市









## 事業概要

岩手県八幡平市・旧松尾鉱山跡地の植生再生のために実 施してきた植樹について、さらなる定着や生長をめざした 育種活動とその活動による環境意識啓発を行う。主な活動 は以下のとおり。

①これまでに植えてきた樹木の剪定と追肥、枯損箇所の 補植、②冬季の風雪から幼木を守るための防風柵の設置・ 補修、③育樹のための作業手順書の作成と事前講習・事業 説明、現地指導。

## 事業成果

2012年度と2013年度に植樹した苗を対象に計画を上回り 実施できた。団体参加者のうち高校(仙台市)は毎年生徒が 替わるため新規参加者といえるが、社会人はほぼ継続経験 者。環境活動に関心のある大学生にも声をかけ新規に参加 してくれた。

## 事業をよく知る関係者の声

・生徒にとって穴掘り器や剪定バサミなど不慣れな道具も 多く、予定よりも時間がかかることを見込み、引率教員 にも実務的な事前学習をしてもらった。(高校教員)

## 🦚 参加者の声

・育樹活動のあと、松尾鉱山跡地の問題や緑の再生の意義 についての学習会をしていただき、成長を促すための剪 定・追肥の大切さがわかった。(郵便局長会)



ウチワカエデ、ナナカマドほかを補植



剪定や補植の説明



以前植えた木の剪定や追肥



防風柵設置と補修

### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積: 0.54ha 植付本数:340本 樹勢回復:2160本 下刈面積: 0.18ha

### 参加者数

県内:174人 県外:272人 計:446人

#### 樹種

ハウチワカエデ、ナナカマド、 ミズナラ

## クマゲラの森再生活動

### 秋田県北秋田市









## 事業概要

過去に牧場開発で失われたブナ林を再生し、クマゲラを はじめとする多様な動植物が生息・生育できる環境の再生 をめざすこと。主な活動は以下のとおり。

①自然再生のためのブナなどの植栽 (一般参加による植 栽含む)、②植栽した場所の下刈作業、③植栽地のモニタリ ング、④植栽用の苗木の確保、育苗など。

## 事業成果

昨年度までの調査などを踏まえて、今年度の植栽では客 土量を増やして活着率の向上をめざした。令和2年6月に確 認したところ、活着率は上々だった。引き続き、フィード バックを活かして自然再生活動を進めたい。また、令和元

年度の植栽には海外からの留学生が参加し、事業地周辺の 自然環境について知ってもらうとともに、自然再生の意義 についても理解してもらうことができた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・植栽地周辺の環境が厳しいので植栽した木の成長も早く はないが、継続していくことが大事ではないか。(60代男 性)
- ・立地条件から参加の広がりが期待しにくい。(60代女性)

## 🥟 参加者の声

・初めて木を植えて楽しかった。大きくなったころにまた 見に来たい。(留学生)



ブナの植樹



植樹地の下刈



地拵え



苗木仮植

## 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積: 0.3ha 植付本数:99本 下刈面積: 2.3ha

#### 参加者数

県内:59人 計:59人

### 樹種 ブナ

## 森林ボランティア育成講座(第13期)

### 茨城県茨城町







## 事業概要

森林ボランティア育成講座を開催し、講座修了後は新しい 森林ボランティアグループの設立をめざす。

県央地区を対象に受講生を募集し14人が受講。元年10月 から2年6月まで講義3回を含めて実習を中心に計15回の 講座を開催した。安全を最優先に森づくりの基本的な知識 と技能を学んだ。受講生はすでに森づくりグループに参加 している人もいて講座修了後の新しいグループ設立には至 らなかったが、希望者7人が当グループに参加して森づく り活動を行うこととなった。

## ● 事業成果

講師は森林インストラクター・林業作業員経験者で、質 の高い講義・実習ができた。受講生からは「安全を優先した 技術が学べる | との評価を得た。

受講生のうち8人が女性であった。森づくり活動への意 欲も高く、うち4人が当グループのメンバーとして継続し て森づくりを行っている。

講座修了後も受講希望者があった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・植林後、下刈も間伐もできていなかったスギ・ヒノキ林 をきれいにしてもらってたいへん助かっている。(山林所 有者)
- ・自分の林業技術が講座を通して森林ボランティアをめざ す人たちに役に立つことにやりがいを感じた。(林業作業 員)

## 🦚 参加者の声

- 普段は子育てに追われる毎日だが、月に1~2度ほど森 づくりに汗を流すことがとても良い気分転換になってい る。同世代のママさんたちといっしょなのも楽しい。(40 代女性)
- ・相続した山林が荒れ放題で困っていた。森を整備するた めのチェーンソーや刈払機の安全で実践的な使い方を学 ぶことができて良かった。(60代)



手ノコで伐倒



チェーンソー講習



スギ間伐



ロープワーク講習

### 実績とりまとめ

### 作業内容

下刈面積: 0.8ha 間伐面積: 0.8ha

参加者数 県内:145人 計:145人

# 『トトロの森』狭山丘陵と周辺緑地での里山保全

埼玉県所沢市、入間市、東京都東村山市、東大和市、武蔵村山市











## ●事業概要

ナショナル・トラスト活動により取得した『トトロの森』で、適切な里山管理を行うことで、良好な里山環境を再生し、生物多様性の保全や地域住民にとって安全・安心な生活環境づくりを進めていった。また、管理作業等を通して、緑地の持つ良さや作業の楽しさを伝え、仲間づくりを促進した。さらには、里山管理技術の継承のため、講習の機会を設け、若手ボランティアや職員の技術の向上に努め、持続可能な里山保全活動へと発展をめざした。

里山管理を行ったトトロの森を一般にも公開し、活動に参加していない多くの方々にも里山保全への理解を促し、狭山丘陵とその周辺に残されたみどりの保全に尽力した。 ①下刈や常緑樹の除伐による明るい雑木林への移行、②危険・支障木の伐採による管理作業の円滑化と推進、③管理の進んだトトロの森の一般公開による普及啓発活動、④作業に従事するボランティア、職員の技術・安全意識の向上。

## 事業成果

昨年残してしまった処理の難しい危険木・支障木処理を、 外部委託により安全に処理できた。里山保全活動の経済的 な側面からの持続可能性が高まった。

## ●事業をよく知る関係者の声

- ・下刈や常緑樹を伐採することによって、明るい林になり、 里山の生きものたちが復活するのを見ることができた。 (協力団体メンバー)
- ・台風の際の枝折れや倒木への不安から、近隣の住民や隣接地主などからの苦情などもあるが、それらにもきちんと対応することで、より活動への理解が深まっていくと考える。(団体理事)

## ●参加者の声

・トラスト運動がもっと全国規模で増えていくことを願っている。(70代男性)



ササ刈り



里山管理技術講習会



カタクリ保全のための落ち葉掃き



伐採した木は薪や木炭などに利用

### 実績とりまとめ

### 作業内容

下刈面積: 6.0ha 除伐面積: 6.0ha 間伐面積: 6.0ha

**参加者数** 計:1086人

## 雑木林の恵みを環境教育などで享受をしながらの継続的な整備

### 千葉県山武市











## 事業概要

整備してきた雑木林の整備継続、荒れたスギ林整備、雑木林やスギ林で得られた林産物を使って、小学校での木工授業を行い、次世代に森林の大切さをつないでいく。また森林資源をさらに活用するため、スギ枝からチップを作って身障者の授産施設であるブルーベリー畑にまいたり、コナラでシイタケのほだ木づくりを行う。

## 事業成果

雑木林は継続的に整備し周囲にも開放した。台風で折れた雑木を伐採し、シイタケ原木づくりを行った。小学生へ

の木工授業は20回行った。何校かいっしょに木工授業を開催でき、昨年より多くの児童に授業ができた。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・小学生の木工授業は児童・教員・保護者にも好評であったが講師が固定化している。また、雑木林やスギ林の維持・管理についても新メンバーが少ない。

## 参加者の声

・小学校の授業については児童や保護者や学校から感謝されている。子どもたちが短時間で作れるように部品を加工して準備している点も感謝されている。



台風で倒れたスギのかたずけ



スギの枝などでチップづくり



チップをブルーベーリー畑にまく



シイタケの植菌

### 実績とりまとめ

### 作業内容

下刈面積: 1.5ha 台風後森林整備: 0.2ha 間伐材利用: 0.1ha 森林資源活用: 1.0ha 木工授業: 20回

**参加者数** 県内:24人 計:24人

## 親子でとりくむ「森のがっこう」の拠点づくり事業

## 千葉市若葉区



















## 事業概要

持続可能な森づくりとそれを支える次世代の育成を行う。 主な活動は、①定期的な森の整備、②木づかいプログラム、 ③里山で安全に過ごすための学びの提供、④環境保全の周 知啓発イベントなど。

主な活動の対象は小学生とその親たち。活動拠点は、平 成30年度より当団体が再生に取り組んでいる里山。

## 事業成果

小中学生の参加者募集を行ったと同時に、その保護者へ も積極的に参加を呼びかけた。親子で体験することにより、 各家庭の中でもさらなる関心や学びが深まり、また保護者 の本事業への理解も得たことで活動への継続的な参加が確 認できた。

9月の大型台風15号の影響は大きく、事業の継続が懸念 されたが、倒木の活用について参加者と共に考える貴重な 機会であると考え活動を続けた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・大型台風による被害を子どもたちが目の当たりにする機 会(安全に配慮したうえで)を設けたことは自然の脅威や 偉大さを知る貴重な体験だった。また、その倒木を生か した木工作なども木使いを学ぶことにつながった。(プロ グラムサポーター)
- ・親子で参加しやすいプログロムを構築し、大人も巻き込 んでいくよう心がけることで、より持続可能な活動にな っていくと感じた。(小学校教員)

## ●参加者の声

・木をきっているとちゅうで中から虫が出てきておどろい た。木は虫にとっても住み心地がいい場所なのだと思っ た。きったばかりの木はけっこう重く、あまいにおいも した。(小学6年男子)



箸づくり (カンナの使い方を学ぶ)



ノコギリ体験



台風による倒木をベンチに変身させヤスリで磨く



クヌギ、ウバメガシ、ホオノキほかを植樹

### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積: 0.06ha 植付本数:23本 下刈面積: 0.35ha 間伐面積: 0.03ha 木工体験ほか

### 参加者数

県内:406人 県外:32人 計:438人

クヌギ、ウバメガシ、ホオノキ

ほか

## 北浅川上流地区の森にホタルを飛ばそう!

東京都八王子市











## 事業概要

森林内の土壌改善を通じて枯れた沢を復活させ、森全体 を健全化させるとともに水源かん養機能を高めながら生物 多様性の高い豊かな森を創出する活動を行う。主な活動は 以下のとおり。①沢の水の流れを停滞させている箇所の枝 や土砂等の除去、②表土が流出しやすくなっている箇所に 枝葉を利用して小規模な土留めを作製、③炭や有機物を活 用した土壌改善、4)随所に溝や穴を掘ることでの大地の呼 吸口づくり、⑤針葉樹が多く林床が安定してない場所への 落葉樹の苗木植栽など。

## ● 事業成果

会がめざす「人と自然との共生」が、まずは土の中の見え ない所に目を向ける所から始まり、森が健全であれば土砂 災害も少なくなるとのことなどにも共感を得ることができ

た。多くの人へ広がっていく可能性をつくることができた。

## 事業をよく知る関係者の声

・安易にホタルを他の場所から持ち込むのではなく、棲息 可能な自然環境を時間をかけてでも再生させていくとい う手法は環境問題の本質に正面から向き合っていて、と ても意義のある活動だ。定期的な生物調査をすることを お勧めしたい。(ビオトープ造成のスペシャリスト)

## 🦚 参加者の声

・人間が手を入れることでの美しい自然があるということ を体験を通して強く感じることができた。そして、スコ ップ1本でもできる土中の手入れ、多くの人に知ってい ただきたい。これからも、生命を育む大地を守っていき たい。(30代女性)



水が枯れた沢の状況観察



炭と枝を利用した土留めづくり



### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積: 0.05ha 植付本数:20本 沢と林床手入れ:6回 オンライン勉強会:1回

森林観察:2回

### 参加者数

都内:39人 都外:17人 計:56人

樹種

コナラ、モミジ

# 長野県北信地域森林整備活動

長野県長野市、信濃町











## 事業概要

目的は、森を守り人と森の繋がりの軸をつくること。主な 活動は、①全国の大学生57人が過去4年間実施してきた樅 が崎県有林の維持管理のための下刈、②県有林の二次活用 として子どもたちが森の植物を学ぶ森林学習のイベント、 ③長野市田中での地元の方々と治山活動として水路や貯水 槽の周辺の森林整備と倒木の運搬、④長野市田中で、とも に活動しながら森を守り・暮らしを守るということの浸透 を目的とした現地交流会など。

## 事業成果

県有林においてこれまで整備した区域の再整備に新たに 324mの下刈作業、長野市田中地区での治山活動で水路と貯 水槽の整備。地域の方々だけでなく森林とは遠い生活を送 っている人々といっしょに森で活動することにより、森林 が抱える問題や環境問題を身近に捉え、関心を持つ人を増 やす試みを形にした。

## 事業をよく知る関係者の声

・継続的な実施によって整備面積も広がり森林の環境改善 がはっきりと見られるだけでなく更新などの効果として 現れている。学生ということで毎年メンバーの入れ替わ りがあり、内部的な引継ぎがもっとうまくできるとよい。 ただ整備するだけではなく、環境教育として楽しく次世 代に伝えていこうという意識の高さに驚かされた。(県職 員)

## 参参加者の声

- ・自然の中で植物にふれ、自分にとっても新しい発見があ りいい機会になった。(参加者の保護者)
- ・自分たちが整備してきた森を楽しんでもらうことを考え 準備をしてきて、そこに子どもたちの笑い声が響いてい る時間は感動があった。(大学生)



森林整備



水路周辺の整備



森林学習イベントには子どもたち18人が参加



森を五感で楽しめるイベント

#### 実績とりまとめ

### 作業内容

下刈面積: 0.4ha 交流会:1回 勉強会:2回 水路整備:210m

## 参加者数

県内:38人 県外:236人 計:274人

## 宮の平植樹プロジェクト

埼玉県飯能市







## ●事業概要

多くの人に森林を楽しんでもらうために、地権者と協力して、皆伐されたスギ・ヒノキの廃材処理から始めた。夏前に地拵えを実施。このプロジェクトの斜面は、2~3 m ぐらいの間隔でしか列がつくれない。イベントでの植樹がスムーズに運ぶよう、植樹の穴掘りや支柱や幼令樹保護カバーなどを使った防獣策などを準備した。植樹には近所の方の参加もあった。

植樹の準備では、前もって作業しやすいように袋を10ずつの東にして一つずつ取り出せるようにまとめておき、支柱は植樹の場所に事前に刺しておくなどの工夫をした。

## ● 事業成果

廃材処理から始めた作業は大変だったが、これまでに多くの人々の協力のもと500本を植樹できた。

## ●事業をよく知る関係者の声

・ 高木となるコナラやクヌギは周辺に植え、ヤマザクラや カエデに影を作らないよう配置するよう指摘があった。

## ●参加者の声

・ツツジを植樹する時、樹形のバランスを考えてと話したが、ツツジの葉が太陽光を受けやすい向きが良いとの指摘があった。活動内容に参加者が楽しめるような工夫がほしい。



地拵え



保護カバーを設置



ヤマザクラ、カエデほかを植樹



植樹後

### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積: 0.2ha 植付本数: 110本

### 参加者数

県内:11人 県外:15人 計:26人

#### 樹種

ヤマザクラ、カエデ、クヌギ、 ツツジほか

## 森の次代を担う青年森づくり事業

東京都青梅市、日の出町















## 事業概要

森の次代を担う青年たちの森づくり活動である。主な活 動は、授業を通した森林活動への参加を積極的に促した。必 要なサポートは、これまでの森林ボランティアを担ってき た人たちが、次代を担う青年たちを育てるために、世代を 超えての取り組みをめざして全世代が共通のフィールドで 取り組んだ。

## 事業成果

興味をもつ生徒が増え、地域のバックアップにつながっ た。なかなか手が付けられていないエリアを整備すること により、地域住民の皆さんとの交流にもつながった。

## 事業をよく知る関係者の声

・授業での参加は、生徒にすれば必須となるが、授業以外 の日での活動に参加できるような仕組みにしてはどうか という意見がある。学校のクラブ活動に発展させるのも ひとつの方法かと思うが、学校側との調整・連携も必要。

## ●参加者の声

- ・作業した場所がきれいになって気持ち良かった。(生徒)
- ・ノコギリの使い方を教えてもらったら、スムーズに切れ て面白かった。(生徒)
- ・生徒が楽しそうに作業していて、普段の授業では見られ ない表情だった。(教員)
- ・植生などの話にも耳を傾けてくれる生徒もいて、若い人 たちにいろいろ伝えたくなった。(指導員)



森林整備(青梅地区授業)



森林整備 (青梅地区授業)



竹林整備(日の出地区現地講習)



竹林整備 (日の出地区現地講習)

#### 実績とりまとめ

### 作業内容

教員・指導員講習:7回

授業:200人

### 参加者数

都内:70人 都外:15人 計:85人

## 一般市民による湘南海岸林整備事業

神奈川県藤沢市、茅ヶ崎市



## ●事業概要

昭和初期から植栽が進められている湘南海岸林において、維持管理をしている県藤沢土木事務所と連携を取り、海岸林の整備を目的として、①海岸林内のツル切り・下刈、②クロマツ苗圃の草取り、③除間伐。あわせて、海岸林の機能について学ぶ機会として森林教室、砂草の生育場でもある海岸の状況を知るための海岸清掃も行った。

## 事業成果

活動幅を広げるため、今年度は間伐を実施。ノコギリは 初めてという人もいたが、楽しく安全に作業を進めること ができた。2020年6月には、新型コロナウイルスの感染拡 大防止のため、密集しない活動として初めて海岸清掃をし たが、砂浜と海岸林を整備することができた。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・湘南海岸林の維持管理に協力していただき大変助かっている。今後もこのプログラムを継続していきながら、活動内容ももっと幅が出てくるよう協力できればと思っている。(藤沢土木事務所)

## ●参加者の声

- ・普段できない経験で勉強になったと同時に気分転換にも なった。(20代大学生)
- ・疲労感もあったが、それ以上に満足感もあった。(30代会 社員)
- ・木を伐るのがこんなに大変だと思っていなかったので疲れたが楽しくできた。(20代会社員)



間伐



林内での下刈



苗畑での草刈り



海岸清掃

#### 実績とりまとめ

### 作業内容

下刈面積:1.66ha 間伐面積:0.98ha

### 参加者数

県内:40人 県外:50人 計:90人

## 神奈川県山北町における森林整備活動事業

神奈川県山北町



### ●事業概要

018-20

森林の持つ本来の機能を十分に発揮させ、景観を保全していくことを目的として、主に①枝打ち、②雑木林の除伐、③ヒノキの間伐、④下刈などを行った。

活動によって、景観も整備され、健全な森林づくりが行われ、学生ほかの参加者が森林について学ぶ機会ともなった。

## 事業成果

当初予定していた9回のうち3回が新型コロナウイルスの影響で中止、1回は天候不良のため中止となり、5回の実施にとどまった。参加者のうち複数回参加する学生もいて、技術の習得も進み、効率的に作業を実施できるようになった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・活動地の環境整備もだいぶ進められている。地域住民からも感謝の声が届いている。今後はさらに活動エリアを 広げてもらいたい。(町担当職員)
- ・継続して参加している人は技術的にも向上している。今 後も安全に注意して多くの人に参加してもらいたい。(指 導員)

## ●参加者の声

- ・除伐などによって森が明るくなるとうれしい。森林を整備することは大変だが、その理由や意義を学ぶととても大切なことだと感じる。(20代学生)
- ・はじめてだったが、ノコギリの使い方を教えてもらいな がら活動をすることができた。疲れた。(10代学生)







広葉樹の枝落とし



除伐

### 実績とりまとめ

### 作業内容

下刈面積: 1.06ha 除伐面積: 1.06ha 間伐面積: 1.06ha

### 参加者数

県内:56人 県外:24人 計:80人

## 南高尾風景林の森づくりと森林体験スクール活動

### 東京都八王子市

















## ● 事業概要

八王子市南浅川町の国有林、部分林及び隣接民有林を対象に森林の整備を行う。作業フィールドや宿泊研修施設を活用して森林体験教育を行う。主な内容は以下のとおり。①過密になっているスギ・ヒノキ人工林の間伐と風倒被害木等の処理、②ツル切り、除伐、林床整理、植樹、歩道整備、③企業や地域グループ、親子などを対象にした森林作業体験教育、④間伐材を利用した木製品の製作と福祉施設への寄贈など。

## 事業成果

間伐・除伐・植樹等の作業を新規の森林で行ったことで、 整備した森林が拡大した。親子などを対象に19回の森林作 業体験を行い森林理解の増進が図られた。また、企業と高 校の産学連携による森林作業や間伐材で学生がつくった木製品を福祉施設へ寄贈する活動に結びついた。

## ●事業をよく知る関係者の声

- ・木材がどのように生産されるかを実践を通じて学んだことは有意義であった。これからも毎年この体験学習を続けていきたい。(高校教員)
- ・台風とコロナでできなかったのは残念で、来年度はぜひ 行いたい。(教員)

## 参加者の声

- ・間伐のあと森が見違えるように明るくなった。(女性)
- ・山を良くするためには木を伐ることが必要だ。その木を 使うことも大事だ。(男性)
- ・山の作業が大変だと初めてわかった。(30代女性)



親子ほかを対象にした森林教室



カツラ、トチノキほかを植樹



風倒木処理

### 実績とりまとめ

### 作業内容

植樹面積: 0.2ha 植樹本数: 120本 間伐面積: 1.3ha ツル切り除伐: 1.7ha 歩道整備: 1.0km

### 参加者数

都内:727人 都外:181人 計:908人

#### 樹種

カツラ、トチノキ、ヤマグリ、 ヤマザクラ

## ボランティアによる参加型の日向の森

千葉県山武市







## 事業概要

都市住民や地域住民を対象に、初心者でも参加しやすい よう、プログラムに配慮した定例活動と成果発表および参 加者増のための森林環境教育イベントを計画した。

令和元年9月の台風15号により、ここ日向の森でも甚大 な被害が発生したため、9月以降は復旧を主とした活動に 変更した。また、台風被害ならびに新型コロナウイルス感 染症の影響を受けて、環境教育イベントは中止せざるを得 なかった。

## 事業成果

9月の台風被害が想定をはるかに上回り、熟練者の参加 に限定せざるを得なかった。また、感染症の拡大により参 加者を募っての活動が困難となったため、スタッフによる 維持管理が中心となった。しかし、6月からの募集再開後 にはこれまで以上の参加申込があり、活動の認知度はさら

に高まったと感じている。

## 事業をよく知る関係者の声

通常の伐採であれば現状の道具でも対応できるが、危険 木除去などの特殊な作業を行う場合にはロープの強度不足 や滑車やチルホールなど不足している道具が多い。熟練者 が少ないため道具の選定にはより注意を払いたい。(危険木 除去委託先NPO代表)

## 参加者の声

- ・定例活動の参加者が増えてきたと感じる。特に学生の参 加が多く、リピーターになってもらうためための工夫を 考えてはどうか。(定例活動参加者)
- ・学校の単位を取るために参加したが、リフレッシュの機 会になり森づくりに貢献できたという実感も沸いたので、 今後も参加したい。(大学生)



台風被害復旧作業



被害木整理





スギを植樹

#### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積: 0.2ha 植付本数:110本 下刈面積: 0.5ha 間伐面積: 0.2ha 散策路整備: 1300m

#### 参加者数

県内:64人 県外:77人 計:141人

### 樹種

スギ

## 森林と竹林と里山林の実践整備活動

茨城県つくば市









## 事業概要

公有林の筑波山生活環境保全林と高崎自然の森公園の定期的な整備をすることで 地域と外部の人達が安全に利用できるようにする。

民有林の森林と竹林と里山林14箇所を定期的に整備をすることで、地域の環境と意識の改善する。

実践整備の作業内容は、間伐と除伐と下刈と植樹と林内 整備と整理など。

年に12回の対象地の計画実施と4回の竹林整備で竹林再 生植樹を行っている。

## 事業成果

竹林再生事業としてクヌギを植樹した。

クヌギを生産管理することで竹林地の再生ができること が明らかとなった。

## ●事業をよく知る関係者の声

- ・市の担当部署や地域の民有林関係者は継続を希望してい る。
- ・今後の課題は、他団体と協力しながら進めていくこと。

## ●参加者の声

・継続して活動していきたい。それは、自分の健康にもつ ながる。



タケの伐採



林内整備



내기



里山14か所を定期的に整備

### 実績とりまとめ

### 作業内容

下刈面積: 7,6ha 除伐面積: 1.0ha 植付面積: 0.8ha 植付本数: 450本 水路整備: 0.3ha 竹林伐採: 1.7ha

### 参加者数

県内:213 県外:153 計:366

### 樹種

クヌギ、クルミ

## 谷戸川エリア環境整備事業

### 神奈川県大磯町











## 事業概要

多くの人が安全に安心して自然観察、ハイキング、サイク リングなどを楽しめるように谷戸川およびその周辺の環境 整備を行うこと。活動内容は、谷戸川や町道沿いの草刈り や、倒れたタケや木、ゴミの除去、竹林の整備など。

## 事業成果

助成金により刈払機やチェーンソーを購入でき、作業効 率が大幅にアップして、台風の被害で年間の作業回数が少 なくなったにもかかわらず、より広い範囲の竹林を整備し たり、町道や広場の草刈りも頻繁に行うことができた。ま た、大人数の参加にもノコギリなども揃っていて、作業が 順調にできた。

## 事業をよく知る関係者の声

・皆さんの地道な活動で、これまで鬱蒼としていたエリア が綺麗になり、町道を使う近隣の集落の方々からも感謝 の声が届いている。「大磯チャレンジフェスタ」で活動の 模様をPRすることもできてよかった。(町下水道課担当 者)

## ●参加者の声

- ・捨てられたバイクや家電を川から引き上げ、はびこるタ ケを切り払い続けて、少しずつ気持ち良い渓谷に近づい ていると実感でき楽しい。(50代男性)
- ・町の中にある宝石のような場所、谷戸川の貴重さです。私 は体力的にボランティアとしての貢献度が低いのは残念 ですが、この場所をこれからも大事にしていきたい。(60 代女性)



倒木処理



竹林整備



竹材の運搬



草刈

### 実績とりまとめ

### 作業内容

竹林整備:4回 草刈り:2回 ゴミ収集:550kg イベント:1回

参加者数

県内:82人 県外:10人 計:92人

# 「山の学校」~水が繋ぐ地域と世代~促進事業

山梨県道志村、神奈川県山北町











## 事業概要

下流域の団体と連携し、学童や保護者を対象に各都市の 水源エリアをフィールドとし、森林の役割や水源林保全の 重要性などについて体験学習を行う。主な活動は以下のと おり。①水源林保全の体験学習型「宿泊型・山の学校」の開 校、②横浜市水源林で水源涵養学習、③水源林内での間伐 体験、④間伐材を利用した木工体験、⑤ナイトハイク・自 然学習環境講話、⑥木工体験、⑦間伐体験、⑧薪割体験な ど。

## 事業成果

水源地での体験学習をより充実したものとするため、宿 泊型山の学校を実施。川下での啓発活動で山の学校に参加 希望のあった横浜市内のスイミングスクール、音楽クラブ の子どもたちや保護者が参加した。宿泊型にすることで上 下流の交流、参加者の体験学習活動範囲にも広がりが生ま れた。

## 事業をよく知る関係者の声

・横浜市の児童が、講習やジオラマを使った実験を行った 後、実際に水源林の保全作業を行うことで、その重要性、 作業の大変さをより理解してもらえた。クラフトで木材 に触れ、木の良さを認識することにより間伐材利用の一 助になればと期待している。(上流部体験学習企画、間伐・ 木工体験指導者)

## 🦚 参加者の声

- ・間伐がなぜ必要かということがわかった。大きな木が倒 れる音にびっくりした。自分達でノコギリとロープで木 を倒すのは大変だった。(道志村山の学校)
- ・間伐体験では斜面を担いで木を運ぶのが大変だった。皮 むき間伐というのを初めて知った。タケを割って流しそ うめん台を作り箸とコップも作る体験が楽しかった。(山 北町山の学校)



伐採体験



間伐材を運ぶ



木工体験



水源林について学ぶ

### 実績とりまとめ

### 作業内容

水源涵養学習、間伐体験·自然 体験・木工体験、山の学習、野 外活動、上下流地域交流

### 参加者数

県内:25人 県外:5人 計:30人

## 富士山休養林の森林整備

静岡県富士宮市



















## 事業概要

静岡森林管理署管轄の富士山休養林の森林整備、間伐適 齢期になったヒノキの間伐を行う。この地域は、クマもい るがシカによる樹皮剥ぎが多い。食害木は成長を阻害し害 虫が入り込み商品価値をなくす。活動の一環として食害防 止策として間伐木を利用し既存木の保護も行った。

## ● 事業成果

新型コロナウイルス感染予防のため、7回の予定だった が4回のみ行った。

前年度よりチェンソーによる伐木が上手くなり効率が良 くなった。

開催ごとの参加者が増えた、チェンソーによる伐木に興 味を持つ人が増えた。

## ●事業をよく知る関係者の声

・以前より計画が早く進み林内の整理が良くできている。チ エンソー使用後の手入れなどが良かった。(静岡森林管理 署)

## 参加者の声

- ・富士山麓での間伐作業は良い体験になった。(女性)
- ・新型コロナで中止になることが多く残念だったが、やっ と参加できて良かった。(女性)



間伐



確認しながら間伐を



伐採木の枝払い



間伐後

### 実績とりまとめ

### 作業内容

間伐面積: 1.8ha 間伐本数:367本 食害防止本数:780本

参加者数 県外:93人 計:93人

### 01S-27

## 複数フィールドの持続的な竹林保全と活用

神奈川県横浜市、中井町、静岡県伊豆の国市



## ● 事業概要

複数フィールドの持続的な竹林の保全と活用の推進を目 的とする。①密度管理を徹底して作業量を削減、作業効率 の向上を図る。②間伐材や地域資源を活用したイベントを 通じて地域住民の参加を促進、地域の活性化に貢献する。③ タケノコや間伐材の持続的な利活用を通じて竹林の保全を 図り、循環型社会を推進する。

## 事業成果

密度管理の徹底で立竹本数を減らし、間伐作業量を節減。 また、チッパーに頼らない間伐材処理法として伐採竹をハ ンマーで割り、容積を小さくして林内に棚積みし腐食を促 進、機械の移動コスト、経費の節減を図った。地域資源を

活用したイベントでは地元町内会、学生団体、企業との連 携がさらに拡大した。間伐材とタケノコの活用では、間伐 材で竹灯籠づくり、穂先タケノコで加工食品の製造販売を 行った。

## 事業をよく知る関係者の声

・小机城が「続日本の100名城」に選ばれ、「小机城址竹灯籠 まつり」を町おこしのシンボルとして応援していきたい。 支援の輪が年々広がっており、持続可能な町づくりにつ ながっている。

## ●参加者の声

- ・大掛かりなイベントに参加できてうれしい。(学生)
- ・親切に教えてくださり作業もとても楽しかった。(学生)



間伐と集積



短かく切り分ける



落葉掻き



竹灯籠

#### 実績とりまとめ

### 作業内容

間伐面積:12ha 竹灯籠まつり:1回

### 参加者数

県内:1500人 県外:200人 計:1700人

## 森林の保全・整備と森林資源の利活用

神奈川県南足柄市、松田町







## ● 事業概要

森林整備や森林資源を利活用しながら、手入れの遅れた 森林の整備の必要性を企業や団体に啓蒙したり、体験プログラムを通して森林の手入れの意義や重要性、森の大切さ や素晴らしさを実感してもらう。

活動は、間伐、林内整備、植樹などの森林整備や自然観察、水生生物観察、森の持つ水源涵養機能の話、間伐材や森からの恵みを利用したクラフト作り、丸太切体験、森林探検などを行った。

## 事業成果

昨年は台風19号による甚大な被害で活動の取りやめもあり、間伐、自然観察や水生生物観察、森林癒やし体験、クラフト作りなどを行った。フォレスターズキッズキャンプでは、沢の近くで森に降った雨の行方や自分たちが飲む水がどこから来るのかを話し合い、元気な森にするには間伐などの森の手入れが必要なことを紙芝居で説明後、間伐や

丸太切体験などの活動を行った。今年は新型コロナウイルス感染防止の観点から活動が取りやめとなった。

## ● 事業をよく知る関係者の声

- ・企業活動では、間伐などの森林整備体験や森林資源の多様な利活用に共感され、次回の活動に積極的な参加希望があった。大径木化した間伐は困難であり新たな場所での間伐体験が必要である。
- ・団体活動であるフォレスターキッズキャンプでは主催側と十分な調整ができており、プログラム企画・運営は充実していた。子ども目線のプログラムの開発が今後も必要とされている。

## ●参加者の声

- ・自然素材を利用したクリスマスリースは見ごたえのある もので海外の方も多くが感動していた。
- ・森の荒廃と森の手入れを紹介した「しずくちゃんと森の仲間たち」の紙芝居に子どもたちは耳をそばだてていた。



間伐の見学



植樹



間伐木を利用した丸太切体験



落葉と土の観察

### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付本数:8本 間伐面積:0.03ha 林内整備:0.01ha イベント:11回

### 参加者数

県内:215人 県外:21人 計:236人

#### 樹種

ナンテン、マンリョウ

## 楓の森づくりを核とした森林体験

### 新潟県魚沼市























## 事業概要

荒廃した場所に植樹を行い、森林を活用した体験学習や 林業体験を行うこと。将来、サトウカエデの樹液を採取し メイプルシロップを加工することで、新たな特産品と雇用 を生むこと。主な活動は、①ツリークライミング、②間伐 材を利用した黒炭づくり、③地元の入広瀬小学校協力のも とサトウカエデを30本植樹。

## 事業成果

ツリークライミングでは、樹上からの景色や動植物など の様子をロープと安全帯を利用し観察した。

生活環境の変化や外国産の安い黒炭が輸入されるように なり、国内の生産量が激減したことで森林の荒廃が進んで いる現状と、どのように木炭が作られているかを体験。人 が自然をただ利用するだけでなく、利用することが自然を 守る活動にも繋がっていると認識することができた。

児童たちが協力し合いサトウカエデを植樹したことは、 ここを訪れるたびに成長を確認する楽しみや、数十年後に は自分たちがメイプルシロップを加工し、地域の特産品に なる可能性を確認できた。

## ●事業をよく知る関係者の声

・「自分たちの活動が、地域のためになっている」「地域活 性化に繋がっている」と、子どもたちが意識する良いきっ かけになった。植樹・炭焼き・ツリークライミングは、自 然を活用した魅力的な活動と思われる。(保護者)

## ●参加者の声

- ・ロープと安全帯を使用しているので、安心して木登りが できた。子どもといっしょに高所へチャレンジすること や樹上で感じる風が気持ち良かった。(30代女性)
- ・サトウカエデが大きくなるのが楽しみ。メイプルシロッ プを食べてみたい。(小学6年)



サトウカエデを植樹



サトウカエデの苗木



- クライミング体験



間伐材で木炭づくり

### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積: 0.08ha 植付本数:30本

ツリークライミング:月1回

炭焼き:1回

メイプル樹液採取ツアー:5回 整地・植樹直し作業:2回

### 参加者数

県内:89人 県外:27人 計:116人

樹種

サトウカエデ

## 鬼太鼓の森再生事業

新潟県佐渡市



### ● 事業概要

佐渡島の伝統的芸能である「鬼太鼓」で使用される太鼓やバチ等の材料となるケヤキ等を国有林に植栽し、保育等の森林整備活動を継続している。平成19年に造成して以来、当協議会とボランティアにより活動を実施してきたが、周辺のスギによる被陰や積雪圧の影響で植栽木の生育状況は思わしくない。そこで平成28年度より当再生事業を行っているところ。

今年度は、植栽木の光環境を改善するため、昨年度に引き続き被陰木であるスギを伐採するとともに、一般市民を対象に育樹などのイベントを計画していたが、新型コロナウィルス感染症の影響から中止した。イベントは中止したが、協議会の役員により植樹と下刈を実施した。

## 事業成果

被陰しているスギの伐採を行ったことでケヤキなどの植 栽木の光環境が改善された。

また、過去に参加型イベントで植樹したエリアを下刈、さらにスギ伐採エリアに苗木の植樹を行ったことで、全体的に目的(太鼓やバチ等の材料木育成)に沿った環境へと森の様子が変化した。

## ●事業をよく知る関係者の声

- ・スギ伐採により植栽箇所の光環境が整ったが、伐採後の スギ残存木の成長に応じて今後も光環境は変化すると考 えられる。
- ・一般参加者の増加を図るため、前回参加者への個別案内 を行う。(緑化団体役員ほか)



ケヤキの植樹





伐採予定のスギ



スギの玉切り

#### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積: 0.07ha 植付本数: 16本 下刈面積: 0.22ha 伐採本数: 72本 伐採材積: 29.45㎡ 獣害対策: 0.22ha

**樹種** ケヤキ

## 越前市の森が育む木育広場

福井県越前市



















## 事業概要

荒廃が進む越前市三里山周辺の森を再生するため、地域 の赤坂森づくりの会や行政・自治振興会・保育園・小学校 と連携を図りながら、地域の間伐材を加工して木育資材と し、地元小学校・保育園・児童館などで木育活動を行った。 また、市民親子向けに越前市の公共施設や商店街との協同 作業により、地域材を利用した木育活動を行った。5月に、 赤坂の森づくりの会と連携して植樹を行った。

## 事業成果

平成30年度に地域の森づくりの会の結成により、地域の 里山を地域住民を中心として森林を整備する体制がモデル 的にできあがり、小学校・公民館・ロハス越前や企業との 連携が進んだ。市民への森の大切さを伝える事が少しずつ できてきた。

## ▶事業をよく知る関係者の声

・越前市三里山周辺の森を活かす木育広場は、市内や周辺 の子どもたちにとって、貴重な体験活動になる。これか らも子どもたちに、身近な森の大切さや森からの贈り物 を使った木育広場の取り組みを応援したい。

## 参加者の声

- ・森林は大切な守るべき宝物だということがよくわかった。 (小学生)
- ・これからも植樹活動や木を使い活かす木育活動にもっと 参加し協力していきたいと思った。(60代女性)



認定こども園での木育授業



小学校での木育授業



木育ワークショップ



植樹祭

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積:01ha 植付本数:30本 下刈面積:01ha 除伐面積:01ha 間伐面積:01ha 木育活動:21回 木育広場工房:38回

### 参加者数

県内:2741人 県外:260人 計:3001人

#### 樹種

クワ、ホオノキ

### 018-36

# 荒れ果てた里山を救え!大場桜山再生プロジェクト

### 静岡県三島市











## 事業概要

放置竹林や放棄水田が拡大し、土羽水路が崩壊するなど 豊かな環境が失われつつある三島市大場地区の「桜山」にお いて、三島の原自然の里山環境の再生・復活のための保全 活動を行う。主な活動は、地域住民や学生、専門家等との 連携のもと、下刈や竹林伐採・チップ化、作業道・用水路 整備、植樹など、全10回の実践的な保全活動を実施する。

### ● 事業成果

ホトケドジョウやミナミメダカ等、貴重な生き物が生息 する土羽水路の修繕や、放置竹林・雑木林の手入れ、参加 した地域住民や学生等への意識啓発、景観向上による当地 の環境の豊かさの内外へのアピール等を着実に進めること ができた。

## 事業をよく知る関係者の声

・将来にわたってその環境を保全していくべき里山を、行 政依存ではなく住民主導により整備するだけでなく、住 民主体による保全体制の基礎を築くこともめざした事業 である。急速に失われている貴重な里山環境を地域住民 自らの手で守るためのモデルケースとなることを期待す る。(本会生態系アドバイザー)

## 参加者の声

- ・面識のない参加者同士が短時間でチームワークが生まれ、 共同作業がスムーズに進んだことに感動した。老若男女 による協働作業の楽しさを感じた。(10代男性)
- ・何気なく見てきた放置竹林の問題点が理解できた。タケ の間伐が危険であり重労働であることが体験できた。作 業後の景観の変化などに達成感を感じた。(10代女性)



水路沿いのタケ伐採



水路の手入れ



草刈り



水路補修

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.1ha 植付本数:180本 下刈面積: 0.35ha 除伐面積: 0.1ha 水路整備:80m 作業道整備:100m 植樹地整備: 0.1ha

### 参加者数

県内:114人 県外:92人 計:206人

#### 樹種

クヌギ、コナラなど

## 間伐材の有効活用のための森林整備事業

愛知県東栄町



## 事業概要

間伐材を薪やチップなどに有効活用するため間伐を行った。間伐材搬出をスムーズに行うため、近年の台風被害などで崩壊のある林道を整備。間伐材搬出や薪・チップ作りを都会の人たちに体験してもらうため、「東栄の森へ行こう」というイベントを実施。

## 事業成果

間伐材搬出のために林道整備が大切と学んだ。「東栄の森へ行こう」のイベントは10回目だが、親子での参加もあり、またリピーター参加も増え山仕事を体験してもらいながら

森林資源の循環を知る普及啓発活動となった。

## ⇒事業をよく知る関係者の声

・町内の子どもたちも山の作業を経験する機会は少ないので、学校と連携して活動ができないか。(小学校教員)

## ●参加者の声

- ・以前から山仕事に興味はあったが、気軽に参加できるイベントで良かった。(50代女性)
- ・子どもいっしょに参加できるイベントで良かった。(30代 女性)



間伐



林道補修



丸太横断溝の敷設



間伐材の搬出体験

### 実績とりまとめ

### 作業内容

間伐面積: 0.15ha 薪・チップ作り: 5㎡ 「東栄の森へ行こう」: 1回 林道整備: 150m

**参加者数** 県内:115人

県外:2人 計:117人

## 野外保育に対応した地域森の整備

### 三重県鈴鹿市













## 事業概要

野外保育に対応した里山整備を9月、10月、11月に行っ た。これまでに伐採した一部樹木の製材加工に加えて、ウ ッドデッキを設置した。また、ウッドチップを散策道に敷 設した。イベント(森林環境教育と木育)については、新型 コロナウイルスの影響により中止となった。

## ● 事業成果

2期目の整備となり、散策道を延長した。また、地域森 のシンボルとして、ウッドデッキを設置した。保育園児な どを対象にしたイベントは新型コロナウイルスの影響が深 刻となり中止となった。保育園や保護者からも、残念がる 声を多くいただいている。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・これまで見向きもされなかった里山の変化に驚いた。(保 育園理事長)
- ・ウッドデッキが立派で、園児たちにも好評である。配慮 された整備もすばらしい。(保育士)
- ・野外保育に対応した里山整備の難しさを感じた。(講師)

## ●参加者の声

- ・ウッドデッキの設置工事に関心があり、参加できて多く を学んだ。
- ・子どもに配慮した整備が良かった。
- ・ウッドチップの使い方(散策道に敷設)が良かった。



支障木の伐倒



ウッドデッキ設置



完成したウッドデッキ



ウッドチップを敷設

### 実績とりまとめ

### 作業内容

散策道の整備 ウッドデッキの基礎工事 ウッドチップの敷設 ウッドデッキ設置工事

#### 参加者数

県内:25人 県外:12人 計:37人

## 資源利用による「やまんばの森」の再生と森林環境学習の推進

滋賀県米原市、長浜市、多賀町











## ● 事業概要

放置された里山を持続的に保全するため、森林資源を薪等として積極的に循環利用するとともに、森林環境学習・自然体験により将来の人材を育成した。また、老朽化した環境学習等の拠点施設の一部について修繕を行った。

## 事業成果

高所伐採や軽架線集材などの技術指導を受けることで、 これまで技術的に伐採や搬出が難しかった箇所の森林整 備・資源利用のノウハウを得た。

また、老朽化施設の修繕が一部完了したことで、子ども

等参加者の安全確保につながった。

## 事業をよく知る関係者の声

・墓などを損傷することなく伐採を行っている状況を見て 信頼感が生まれた。台風シーズンに備えて、隣接する保 育施設に影響を与えそうな所有地の伐採を依頼したいと の声が聞かれるようになった。(森林所有者)

## 参加者の声

・高所伐採に興味のある若手会員が、安全技術を身につけ たうえで、もっと積極的に参加したいと思うようになっ た。(会員)



里山整備



高所伐採



資源活用



森林環境学習

### 実績とりまとめ

### 作業内容

間伐面積:1.1ha 森林資源活用:22回 施設修繕:8回 高所伐採作業:8回 高所伐採体験会:1回 軽架線集材:2回 自然体験:6回 森林環境学習:1回

**参加者数** 県内:398人 計:398人

## 寺林の生物多様性の保全を通した森林環境教育の実践

### 京都市左京区











## 事業概要

法然院寺林で継続している「観察の森づくり」において、 生物多様性の保全をめざした森林環境教育を実践する。主 な活動は以下のとおり。①生物多様性保全の視点のもと台 風後の森の整備、②寺林における健全な生態系の回復をめ ざして、防鹿柵の設置、③適切な手入れの基本を学ぶため、 地域の森林についての学習会 (講演会)、④子どもたちと森 林の生物多様性について考える学習活動。

## 事業成果

昨年度の課題を踏まえ「生物多様性の保全 | というテーマ を設定し、具体的に整備を進めることができた。風倒木の 手入れの難しさを実感した。そして、防鹿柵の設置を行い、 明るくなった林床からの自然実生を観察していく手がかり を得られた。京都府立林業大学校からの参加もあり、ネッ トワークが広がった。子どもたちにとっても台風後の森の 様子は印象的なものであり、これからの変化を継続して観

察することの重要性と、生物多様性の保全に向けた手入れ の必要性を学ぶことができた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・目的のある森の手入れに共感を覚える。シカの影響は大 きいが、現状を受け止めつつ、できることから取り組ん でいくべきである。(森林整備指導者)
- ・経済林とは違う価値観で森づくりに取り組むことは重要 であり、継続性が問われる。(防鹿柵設置指導者)
- ・防鹿柵の設置は森全体の未来につながるものだと思った。 視点を変えて森を見ることの大切さに気づくことができ た。(ボランティアスタッフ)

## 🦚 参加者の声

- ・子どもたちの自然体験がまず大切であると思い、その場 所があることが重要だと感じた。(60代男性)
- ・木や生きものが過ごしやすくて楽しい森をつくりたい。 (10代女性)



風倒木の整備



子どもたちも除伐



防鹿柵の設置



森の観察

### 実績とりまとめ

### 作業内容

除伐面積:1ha 防鹿柵設置:2基 学習会:6回

### 参加者数

府内:131人 府外:2人 計:133人

## 里山整備事業 第2期

### 兵庫県加東市































## 事業概要

森林の機能である、①温暖化の要因であるCO2の吸収を 高める、②資源の成育を促す、③野生動物の生存エリアを 確保し獣害の被害を減少、④土砂くずれ等の災害発生要因 の減少、⑤幼稚園児への体験学習。また森林資源の有効活 用として、間伐材の直接燃料化と木炭加工が進められれば CO2の固定化ができ効果は大きいと考える。

実施内容は下記のとおり。①下刈、倒木及雑木除伐、② 雑木除伐、スギ・ヒノキの間伐、③丹波篠山立杭焼に間伐材 を提供、④工芸活用に工芸サークルに提供、⑤森の幼稚園 児の体験学習、⑥工芸サークルとの協業による工芸素材の 提供、⑦生物多様性について地域を調査ほか。

本年度は寺の自動車道南下から民家へ下る区域の森林で ある。長期(50年)に放置されていたので、ササや灌木が茂 り、また倒木も多く荒れた森林だった。1.5haの下刈、倒木 除伐、形状不良木除伐、雑木、スギ、ヒノキを間伐した。

## 事業成果

今回の森林機能の回復により地域のコミュニティの回復 に少なからず寄与できた。また間伐材を有効利用すべく直 接燃料化への外部提供と木炭加工による有効活用を計画し たが、実施には至っていない。

## 🬑 事業をよく知る関係者の声

・かつては、寺のふもと付近に民家が立並び、墓地、神社、 地蔵堂も周辺に点在し地域と寺を中心にしたコミュニテ ィが守られていたであろうが、高齢化と過疎化が進み、失 って久しいとのことであった。今後は寺関係者、参拝者、 地域住民との交流増が楽しみである。付近は広大な森林 に囲まれており、ボランティアで地域の整備を進めてい ただけるのは大変にありがたい。(住職)

## ▶参加者の声

・楽しい体験ができて良かった。(森の幼稚園)



森のお絵かき (森の幼稚園)



ノコギリ体験 (森の幼稚園)



森林整備前



森林整備後

## 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積: 1.5ha 樹勢回復:1000本 下刈面積: 1.5ha 除伐面積: 1.5ha 除伐本数:1000本 間伐面積: 1.5ha 間伐本数:1000本 通路設置:100m

### 参加者数

県内:160人 計:160人

#### 樹種

スギ、ヒノキ、広葉樹など

### 01S-44

# 森林環境教育推進拠点整備事業

### 山口市

















## 事業概要

拠点としている里山を整備し、持続可能な社会づくりに 向け問題解決に必要な能力、態度を身に付けることを目的 とした森林環境教育を推進していく場所として整備発展さ せる。里山の季節ごとの農作業体験の他に、整備した山林 は、専門業者による整備 (子どもたちが作業を見学)・ボラ ンティア等による整備(遊歩道修繕、竹林整備、雑林整備) を行った。

## 事業成果

大変危険な状態であった裏山の整備を専門業者によって 行えたこと。また、シイタケのホダづくりの基本を学べた。 また、このふたつの作業を子どもたちと見学できたことは 貴重な体験であった。

毎月の作業としたことで、自分たちの植えた木や整備し た場所が1年を通じてどんな姿を見せるのか、楽しみに足 を運んでくれる参加者が増えた。

毎回、自然の中でのふるまいを伝えることにより、参加 者の意識が変わるのを感じた。

## ●事業をよく知る関係者の声

・よその人がたくさん来るようになり、町民各々が耕作放 棄地の手入れなどを行うようになった。薮だったことろ がきれいになっていくのを見て、私も頑張らないとと思 うようになった。(地主)

## 参加者の声

- ・家族で参加でき、主人も山の中を歩くのが子どもの頃を 思い出して良かったようです。(30代女性)
- ・学校も休みで、子どももストレスになっている中、今日 も無くなるかと心配しましたが、あってよかったです。今 日植えたアジサイが咲くのが楽しみです。(40代女性)
- ・息子がシイタケの菌打ちやアジサイの苗植えをとても楽 しんでやっている姿を見て「こんなのに興味があるんだ!」 ととてもうれしく感動しました。(30代女性)



伐採木の整理



伐採したタケは柵など利活用



シイタケの菌打ち



サクラ、モミジほかを植樹

### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付本数:704本 下刈面積: 1.0ha 除伐面積: 1.0ha 游歩道補修:8m

### 参加者数

県内:270人 計:270人

サクラ、モミジ、トチ、アジサ イほか

## 018-45 下御領自然と歴史を守る同好会

## 里山整備事業

### 広島県福山市











## ●事業概要

昨年7月の集中豪雨による土石流の跡地の復旧整備を目 的に、苗木70本の植樹と斜面積1300㎡の種子吹き付けを行 う。

また、足場の悪い地形なので安全管理に留意して植栽作 業を行った。

## ● 事業成果

法面への植樹、種子吹き付けにより法面の保護が図られ た。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・急傾斜地なので注意して作業を行うよう指導した。(工事 業者)

## ●参加者の声

・急斜面で足場が悪く、なかなか効率が上がらなかった。(ボ ランティア)



マツ、クヌギ、モミジを植樹



種子の吹き付け



種子の吹き付け

### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付本数:70本 種子吹き付け: 0.1ha

## 参加者数 県内:14人

計:14人

### 樹種

マツ、クヌギ、モミジ

# 岡垣町: 放置竹林伐採・植樹プロジェクト

福岡県岡垣町



## ●事業概要

町有地を作業の場所として活動している。元々この場所は、この団地を開発する業者が購入した土地であるが、30数年前に岡垣町が取得し、そのままの状態であったため、侵入竹などで荒廃していた。そのため緑化と美化のため整備し植樹している。①放置竹林の伐採、②荒れ地(雑木伐採)整備、③植樹後の下刈、④景観を考慮した樹種の植樹など。

## 事業成果

近くに住んでいる町民が積極的に草刈りや植樹に参加してもらえるようになり、地域の関心が高まった。

## ● 事業をよく知る関係者の声

- ・ウメが咲きとても心地よい。見違えるように綺麗に整備 していただき感謝しています。(近隣住民)
- ・会の活動は10年となり、毎年植樹祭もしていて、継続した地道な作業に感謝している。(岡垣町役場住民環境課)

## ●参加者の声

・新型コロナウイルスの影響で活動が制限され、また福岡 県には緊急事態宣言が出されたことにより、一般参加者 を受け入れることができなかった。



ウメを植樹





整備後は近隣の住民からも喜ばれている



ミツマタを植樹

### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積: 0.1ha 植付本数: 100本 下刈面積: 0.3ha 除伐面積: 0.3ha

### 参加者数

県内:280人 計:280人

## 樹種

ウメ、ミツマタ

# 桜島新島町「ふるさと再生プロジェクト'19」

鹿児島市新島町











## 事業概要

桜島の北東に浮かぶ新島は、平成15年頃の松くい虫被害 により荒廃した後は全島にダンチクやクズが生い茂り、 2013年に無人島になった。島を再生し、青少年を対象とし た森林環境教育の場としての環境づくりを行っている。主 な活動は、①メイン道路・周回道路の伐開整備、②林間歩 道整備、③林間広場・緑陰広場の整備、④被害により疎林 化したクロマツやツバキの植樹、⑤市民を対象にした森林 体験学習、⑥イモ掘り体験や自生するタケを利用しての竹 竿づくりと魚つりなど。

## 事業成果

歩道に4mの階段を2カ所設置した。急な林間歩道に階

# 事業をよく知る関係者の声

・安全に通行するために、特に東側周回道路の古い階段工 の補修が必要。また、草木の生長が早いため常に刈払い が必要。

段を設置できたことで安全に散策ができるようになった。

## ●参加者の声

- ・森林ヨガは癒された。イモもとてもおいしかった。(20代
- ・島の再生、環境を守る大事さに触れることができ、自然 に癒された。(40代女性)



ヤブツバキ植樹



林間歩道整備



林間歩道整備



森でのヨガ体験

### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積: 0.01ha 植付本数:10本 伐開面積: 0.35ha 道路整備: 1840m

#### 参加者数

県内:441人 計:441人

ヤブツバキ

## 大規模震災地におけるエコツーリズム手法を活用した森林管理運営体制の構築

### 北海道安平町















## 事業概要

胆振東部地震によって崩壊したはやきたこども園「北進の森」を、利用者や訪問者に参画を図りながら整備活動を行う。主な活動は以下のとおり。①崩壊した林に倒れた木の伐倒、②伐倒した木を土留材や杭に加工、③地滑り斜面の崩壊を防ぐための利用者や来訪者といっしょに土留作業、④伐倒した木の搬出(馬搬)、⑤搬出した丸太の製材とそのプロセスの共有(幼児及び教員)、⑥馬搬技術及び森林整備技術向上のための公開研修、⑦近隣から採取した種や苗による緑化、⑧播種及び植え付けに伴うシカ柵の設置。

## 事業成果

地滑りを起こした斜面をなるべく化石燃料を使わず、里山整備的手法を取ることにより、園の利用者はもとより災害ボランティアや視察希望者などビジターが来るほど整備が進む、というモデルを構築することができた。また、馬搬を使うことにより、地域に埋れつつある技法や人材を発

掘することができた。土留材以外の余剰丸太については、簡 易製材をすることにより園内で再び利活用し、木材の多面 的な利用方法を開発することができた。

## ●事業をよく知る関係者の声

- ・いつかこのような整備活動をやりたいと思いながらも、専門性が高いために実現できないだろう、と思っていたことが多くの人の関わりによって実現できたことに、深い感激を抱いている。(こども園担当者)
- ・地震による地滑り斜面の緑化、というレアケースを林学 を専攻する学生が、林学的な知見だけではなく多様な関 わりによって推進される活動を経験することができたこ とは有意義である。(北海道大学担当教員)

## 参加者の声

・瓦礫の撤去なども重要であるが、緑化を経験することが できて有意義だった。(震災ボランティア)



崩壊した林の倒木の伐採



伐採木の搬出 (馬搬)



地滑り斜面の崩壊を防ぐため、利用者や来訪者といっし ょに進める土留作業



近隣で採取した種や苗による緑化

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.02ha 植付本数: 342本 除伐面積: 0.02ha

搬出:50本

土留造成作業: 0.02ha

製材:50本

## 参加者数

道内:130人 道外:10人 計:140人

#### 樹種

アオダモ、ハルニレ、ミズナラ、

# 次世代教育のための市民参加型の森づくり

北海道石狩市







#### ● 事業概要

石狩市浜益地域の森林を教育フィールドとして利用していくための森林整備とプログラム整備を、多様な市民を巻き込みながら行い、森林資源の有効活用と市民参加型の森づくりを行う。実施内容は、①活用検討ワークショップ、②オリジナルプログラムの開発、③モデルプログラムの実施、④森林整備ボランティアツーリズム。

#### ●事業成果

数十年間放置された雑木林であった活動場所を、人が入れるように下刈や間伐を都市部の青年層を中心としたボランティアと実施した。作業時には林業従事者を指導者として招き、林業や森林整備等について安全管理を行いつつボランティアに指導を行った。参加者は都市部で得られない体験を喜び、また整備後の活用方法等についても活発な意見による議論がなされた。

整備のほかに、山林を活用した子ども向けプログラムの

開発を行った。子ども達は自分なりの山林の活用方法や山 林で過ごすことの心地よさを学んだ。

#### ●事業をよく知る関係者の声

・整備活動では、安全管理からその重要性や価値を共有しながら進められ大変に有意義だと感じた。課題点としては、現状の人数では進みが遅く技術者だよりになってしまう点がある。ボランティアと巻込みながら実施するなどして解決したい。(林業従事者)

#### ●参加者の声

- ・価値がないと思われるものを利用できたら、山の中でやる意味がある。森に意味を感じる一日だった。(20代ボランティア)
- ・いろんな人たちといっしょに森を整備して、自分たちの 空間を作っていく感覚がとても新鮮で面白かった。(10代 ボランティア)



下刈体験



子ども間伐体験



ワークショップ



森林整備ボランティアツーリズム参加者

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積:0.9ha 除伐面積:0.1ha ワークショップ:2回

整備体験ほかプログラム:2回

**参加者数** 道内:48人 計:48人

# 里山保全の担い手を育てる自伐林業養成事業

北海道白老町、札幌市

















#### 事業概要

北海道内の各所に存在する未整備の里山林を保全する担 い手づくりのための研修事業。その目的の達成のため、研 修事業個別相談、チェンソー安全講習会、QGIS研修、作業 道視察研修、作業道敷設研修、広葉樹間伐研修を実施し里 山保全の技術向上を図る。

#### ● 事業成果

今年度は白老町と札幌市で実施し、多くの参加者があっ た。例年してこなかったQGIS研修も実施し、施業エリアの 図面作成等を自身でできるようにより、高度な里山保全の ノウハウを提供できた。

## 事業をよく知る関係者の声

・この3年間で多くの受講者が参加した。山に入るために は道を付ける必要がある。その担い手の登場に今後も期 待したい。(作業道研修講師)

## ●参加者の声

- ・札幌市の作業道研修では実際の現場が見られて良かった。
- ・小規模路網を取り付けた広葉樹林は美しい。広葉樹の間 伐研修でホダ木を作ったが、自身の山でもホダ木をつく って販売したい。



チェンソー安全講習会





作業道敷設研修



間伐研修

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

間伐面積: 0.4ha 作業道敷設:20m QGIS研修:1回

チェンソー安全講習:1回

参加者数 道内:45人 計:45人

# 間伐材活用による上下流協働の循環型「森活」プロジェクト

群馬県川場村





#### 事業概要

放置されている群馬県川場村内の人工林を東京都世田谷区の住民が地元地権者等の村民と協力して整備する。主な活動は、①地元住民と協力した刈り払い・枝打ち・間伐、②植林とその育成のための下刈、③間伐材を燃料に、近くにある広葉樹や竹林・マツ林の整備で発生するタケとマツを原料として炭焼き、④地元で計画されているバイオマス利用への協力等による「循環型」の森づくりのサイクルの完成。

#### 事業成果

川場村で進められている間伐材活用バイオマス利用の一環としてチップ化ボイラー焚きによるハウス等への熱利用について、燃料の提供を申し出た。しかし、積み出し・運び込みを実施する予定だった春、コロナ禍で活動ができず

足踏みとなった。

## ⇒事業をよく知る関係者の声

・炭焼きの材料調達だけでなく炭焼き作業もまかせられる。 ただ、炭の需要先(キャンプ・バーベキュー等)が少なく、 炭焼きの回数が大幅に減った。この機会に炭焼き窯づく りを手伝ってもらい助かった。くらぶの高齢化による間 伐量の減少に歯止めをかけるため地元でも参加を呼びか けたい。(指導にあたる地元地権者)

#### 参加者の声

・世田谷区民が炭焼きなど間伐材活用について意欲的な取り組みをしているので刺激を受けた。(川場村交流会参加者)



間伐



間伐木の枝払い



間伐材は燃料ほかに活用



炭窯づくり

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

間伐本数:66本 除伐面積:2.5ha 間伐面積:1.3ha 炭窯づくり:1回

#### 参加者数

県内:86人 県外:18人 計:104人

# 海岸防災林や保全地区等の森林整備事業

千葉県山武市、長野県佐久市、東京都八王子市











#### 事業概要

手入れ不足の森林を整備していくためには、山村地域に 暮らす人たちと森林の公益機能を享受する都市住民との交 流・協働を重ねていく必要がある。また、専門家との連携 も大切となる。そのためには、関わる人たちが理解しやす い森づくりのストーリーを持つことが大切であり、それを 解決するべく以下の活動を行う。

千葉県山武市 (海岸防災林) 下刈。長野県佐久市 (コナラ の森)手入れ不足の人工林を広葉樹の森へと再生させる。形 質不良木の伐採と地拵え、植栽。 東京都八王子市 (上川の里 特別緑地保全地区)照葉樹林化が進む里山の再生。照葉樹林 化が加速している人工林の伐採と地拵え、伐採した木を使 って散策路や階段づくりの資材づくり。埼玉県秩父市(市有 林) 手入れ不足の人工林をウイスキー樽が作れるミズナラ の森へと再生させる。

# ●事業成果

大型台風が多くの森林崩壊を招くなか、都市住民とのコ ミュニケーションが円滑に進み出し、森林の公益機能への 理解が深まり、ボランティアの定着が高まるとともに、口 コミによる初めての森林ボランティアへの参加が促された。 福祉分野との連携の構想も出始めるなど、森林サービス産 業創出に期待が持てる。

## 🬑 事業をよく知る関係者の声

- ・ 苗木の活着率が高く防災機能を高めている。(行政関係者)
- ・保全と景観の両立にむけて、さらに1歩進めてほしい。(専 門家)

## 🬑 参加者の声

- ・木こり体験ができ快感でした。(30代女性)
- ・小さいころの蓮沼の青々とした海岸林を知っています。津 波で失われたと知りショックでしたが、その復元に参加 できてうれしい。(50代男性)



コナラの植樹



林内整備



伐った木を杭に加工し、散策路づくりの資材に

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.5ha 植付本数:1500本 下刈面積: 4.3ha 間伐面積: 1.0ha

#### 参加者数

計:413人

#### 樹種

コナラ

# 富士山麓における森づくり整備活動

#### 山梨県鳴沢村

























#### 事業概要

病害虫被害により枯死したシラベ人工林を生物多様性に 富んだ災害に強い森に再生させるため、産官民で構成する 協議会を組織し、協働による森づくりに取り組む。主な活 動はボランティアによって植栽された約4万本の広葉樹の 苗木が森となるために必要な育林作業である。具体的には、 ①獣害対策ネットの補修作業、②植栽木の成長を阻害する 自然に生えてきた木の除伐、③下刈、④獣害・雪害・風害 などの被害で枯れた植栽木の補植、⑤モニタリング調査、⑥ 地元小学生の体験活動支援、⑦普及啓発のため勉強会など。

#### ●事業成果

台風などの強風により、獣害対策ネットが苗木を巻き込 んで倒れることがないように、ネットをより強固に支える ための補修作業を実施した。また、勉強会では補修作業と あわせて、活動地内で採取した枝などを使ってエアフレッ シュナーやバームを作る体験を実施し、ボランティアが一

方的に森を守るという意識から、森と人が共存する関係で あることへの理解につながった。

#### 事業をよく知る関係者の声

- ・力を合わせて行うネット補修は、コツをつかんでいくと 次第に手速くなり、仕上がりもきれいになったので、参 加者にとって楽しく、また満足度の高い作業だった。(参 画企業事務局)
- ・森のために活動して"あげる"という考えが頭のどこかに あった。森からの恵みを体験し知ることで、実は、森づ くり活動は人から森への"恩返し"で、相互に助けあう活 動であると感じた。(参画企業担当者)

#### 🦚 参加者の声

- ・一昨年参加した時に見た木々が、見て分かるほど成長し ている。(リピーター)
- ・私たち外国人が日本の森づくりに参加できる機会をいた だき感謝しています。(在駐日メキシコ大使)



獣害対策ネット補修



補修された獣害対策ネット



下刈・除伐



参加者のみなさん

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積: 1.67ha 除伐面積: 1.67ha 獣害ネット補修:1100本

#### 参加者数

県内:45人 県外:250人 計:295人

# 里山保全ボランティアの安全技能研修

#### 横浜市旭区





#### ●事業概要

里山保全活動に参加している新人からベテランのボランティアを対象に継続的に安全技能研修を実施することで、 里山保全活動の安全管理の徹底と技術向上を図る。今年度は、労働安全衛生法で高所作業におけるフルハーネスの着用が義務づけられたことを考慮し、①里山保全活動で使うハーネス使用方法とロープワーク研修会、②手道具(主にノコ・ナタ・カマ)の基本研修とFLCランク2相当審査会、③ロープワークによる手ノコでの伐木研修を開催した。

また、当会は、第2・第4日曜日に定例活動として樹林 地整備を継続して実施した。なお、コロナ禍により、チェ ーンソーの基本動作研修は中止、安全管理研修は、作成し た安全マニュアルを用いた内部研修として実施した。

#### ●事業成果

今年度は、川井緑地からの参加者が9割以上を占め、技術向上と安全管理の必要性が活動メンバーに浸透した。研修にFLCランク2相当の審査会を取り入れたことも研修参加のモチベーション向上になったと考えられる。高所作業

に必要なフルハーネスが整備され、安全講習を実施したことで、高所作業時の安全性の向上を図ることができた。今までの研修成果をとりまとめ、安全マニュアルを整備できた。

#### ● 事業をよく知る関係者の声

- ・経験の長い人ほど癖が付いているために、審査の際に条件付きとなる傾向があった。外部講師による安全研修は、 活動が長い団体ほど必要と感じた。(当会研修担当理事)
- ・研修を受けただけでは習得した知識や技術を身につける ことが難しい。定例活動の中でも、研修内容を忠実に復 習できるような活動を行うことが重要。(当会ヤマ仕事担 当理事)

#### 参加者の声

- ・今年度はフルハーネスの講習など新たな内容が加わり、勉強になった。(50代男性)
- ・継続して学ぶことの大切さを理解した。(40代男性)
- ・ロープワークは日常的に活用しないと忘れてしまう。(60 代男性)



ハーネスの使い方研修



ロープワーク研修



森づくり安全技術·技能全国推進協議会 (FLC)審査会



道具研修

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積: 5.4ha 除伐面積: 5.4ha 間伐面積: 5.4ha 技能研修: 5回

#### **参加者数** 計:50人

# 神武寺ハイキングコース整備、大池公園整備、チェーンソー講習

神奈川県逗子市、千葉県館山市、南房総市、君津市











#### 事業概要

神奈川県逗子市・横須賀市の鷹取山ハイキングコース、逗子市の神武寺地域ハイキング道の環境整備及び、チェーンソーボランティアのOJT。台風15号による被災倒木の撤去、危険木の伐採など。

#### 事業成果

危険木伐採を行った。加えてOJT的活動を行い、講習会開催に加えてチェーンソーボランティアの育成を行った。 千葉県館山市に支部(館山復興ボランティアタスクフォース)を設立した。

#### ● 事業をよく知る関係者の声

- ・感心が高いチェーンソーの講習会を開催できて良かった。 (大房岬自然の家スタッフ)
- ・危険木を伐採してもらい心配がなくなった。災害復旧で はどうしても人家優先であり、ハイキングコース整備な どは後回しにされてしまう。この整備はありがたかった。 (地元ランナー兼整備グループ)

#### ●参加者の声

- ・チェンソーの目立てのやり方が分かった。(清掃、草刈り を行うグループ)
- ・難易度が高い倒木撤去活動に参加できた。(災害ボランティア)



チェーンソー講習会



事前の打ち合わせ



危険木の除去



倒木の伐採

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

チェーンソー講習会:3回 倒木撤去:約100本

**参加者数** 計:184人

# 緑の遺産「胎内」災害に強い森づくり事業

新潟県胎内市







# 事業概要

松くい虫被害で喪失した海岸林を再生するため、地域住 民や子ども達といっしょに海岸に適する広葉樹 (シロダモ、 エノキ、タブノキ、アベマキ) を植栽した。

#### ●事業成果

天候にも恵まれ、順調に作業を行うことができた。地域 住民や子ども達が継続して植樹活動を実施したことから、 地域の森という意識がより深まった。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・今回で4回目の活動だったため慣れた手つきで植えている参加者が多かったのが印象的だった。子どもたちも上手に植えることができていた。地域のこの活動に対する思いが深まっている。(緑化推進委員会)

#### ●参加者の声

・当初からこの植樹活動に参加しているので、植えるのに も慣れてきた。次回もぜひ参加したい。(地元参加者)



植樹指導



エノキ、シロダモ、タブノキ、アベマキを植樹



205人が参加



ていねいに植樹

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.4ha 植付本数: 1960本

#### 参加者数

県内:205人 計:205人

#### 樹種

エノキ、シロダモ、タブノキ、 アベマキ

# 自然回帰・椿守の森づくり事業

#### 島根県邑南町















## 事業概要

放置されている人工林の再生と水源かん養林の保全、こ れをツバキ植樹により実施する。主な活動は以下のとおり。 ①スギ・ヒノキの枯損木伐採後の残木整理と裸地の下刈、② 倒木の恐れがある枯損木の伐採、間伐と材の利用 (歩道の崩 壊防止柵等に利用)、③植栽予定地における作業道整備と地 拵え、④ツバキ苗植栽活動を通して、持続可能な森林サー ビスの活用方法普及と活動継続のための「椿守の森づくり」 植樹会員募集を行った。

#### 事業成果

途中から降雨の中、足場の悪い傾斜地での作業となった が、事前準備と安全指導の徹底により150本の植樹ができ た。これは、植樹祭に先立ち募集した「椿守の森づくり」会 員の参加により支えられた。新型コロナウイルの影響で、予 定していた活動ができなかったが、今後は、持続的森林サ ービス活用事例普及のための学習フィールドとしても活用 していくことで、参加者が広がる可能性を確認した。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・植栽地では下刈作業等の整備活動が最低3年間、年4回 の作業を継続する必要があるが、会員の協力により可能 となった。(延命寺住職)
- ・参加者が様々な場所で同様の取り組みができるよう、講 演会や研修等を実施してほしい。(緑化事業団体役員)

## 🦚 参加者の声

- ・ツバキが鳥媒花であることから生物多様性の学習につな がり、森林保全活動への参加意識の向上に繋がる。(中学 校校長)
- ・ツバキオイルを使った体験イベントは、幅広い年齢層に アピールすることから、森づくり活動の継続的実施のイ ンセンティブとなる。(40代主婦)
- ・ツバキが育ってメジロがやってくるのが楽しみだ。(小学 生女子)



作業道づくり (専門業者に委託)



植樹謙習



150本のツバキを植樹



椿守の森会員のみなさん

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.1ha 植付本数:150本 除伐面積: 0.4ha 間伐面積: 1.0ha 作業道修理:100m

#### 参加者数

県内:43人 県外:7人 計:50人

#### 樹種

ツバキ

# 全国の専門家達による災害に強い「島根の里山モデル林」づくり事業

島根県出雲市

















#### 事業概要

里山の森林を、どのようにしたら災害に強い森林にでき るのか、そのヒントとなる里山的モデル山林を専門家の力 を借りながら整備していく過程で県内の自伐林家へ災害に 強い森林づくりへの関心を高めていく。①座学と出雲市佐 田町私有林における現地研修からなる専門家による「災害 に強い山林づくりの基本講座」、②橋本光治氏による「災害 に強い壊れない作業路づくり」の研修、③専門家によるアド バイスを踏まえたボランティアによる災害に強い「里山モ デル林 | づくり。

#### ●事業成果

①当会の田中支部長が中心に行った研修では、森林経営 をする中で災害対策をどのようにとっていくのか、災害に ならない経営をするためのゾーンニングや現地で注視すべ きポイントなどを学習した。②作業路の研修では、踏査の 仕方、崩れない作業路づくりの基本的な考え方、バックフ

ォー操作のコツ等を学んだ。③タケが侵入し放置され土砂 崩れが危惧される斜面では、灌木を刈払い、災害対策で使 われる樹木を植樹した。これらを通して、森林災害に立ち 向かうための知識と意欲を持つ林業関係者や森林サポータ ーを県内に広げることができた。

#### 事業をよく知る関係者の声

- ・災害に強い森林づくりについて多面的に教えていただき、 たくさん発見をさせていただいた。私たちの普及啓発活 動の中でも取り入れたい。(NPO法人理事長)
- ・私が考えていた常識がこの事業を共にすることで多く改 められた。(モデル山林の管理団体会長)

## 🦚 参加者の声

- ・大切な知識とハートを学んだ。(40代自伐林家)
- ・昔林業関係者から作業路は壊れても仕方ないと聞いてい たが、橋本先生は根本から考えが違った。小さい林業に はこのやり方だと思った。(50代NPO職員)



災害に強い森林づくり研修



作業路研修



ケヤキ、オオバヤシャブシを植樹



除伐

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.2ha 植付本数:30本 除伐面積: 0.2ha 研修:2回

#### 参加者数

県内:46人 県外: 3人 計:49人

ケヤキ、オオバヤシャブシ

# 薪林業で森林循環促進と持続可能な森林経営

高知県高知市、佐川町、日高村











#### 事業概要

農山村社会の崩壊を肌で感じる中で、林地残材やC材か らつくる"薪"を使って川上(農山村社会)と消費行動によ る川下(都市域)との連携を図り、環境と福祉を横串でつな ぐ森林循環促進と森林経営を実践しながら、持続可能な森 づくりを目的とする。放置林、伐期を迎えた樹林を対象に、 長伐期択伐手法のもと AB材及びC材 (林地残材) を伐り出 し、薪化、中山間地域で薪を使った生活を営む高齢者宅や 都市域の薪ストーブ利用者への薪宅配活動を実施し、薪林 業による森林循環促進と持続可能な森林経営しくみづくり (生業もしくは副業)の検証を行った。

#### 事業成果

林地残材の利活用を通じて、安定した森林林業経営(生業 もしくは副業)が成り立つことがわかり、今後より多くの林 業への参入者が増えることが期待される。

#### 事業をよく知る関係者の声

・小規模林業が生業または副業として自立することの証明 として"高知モデル"をしっかりと構築し、全国どの地域 でも展開することのできる新しい森林林業のカタチを提 唱していくことが、次のステップとなる。(高知県小規模 林業推進協議会会員)

#### 🦚 参加者の声

- ・素材生産業者や林業事業体に入らなくても個人・小規模 グループで林業はできることがわかった。
- ・高密度で崩れない、ていねいな作業道の開設が基本とな る森林整備を実践すれば、低投資、かつ、自分のライフ スタイルで施業が行えることがわかった。



間伐研修



造材研修



搬出研修



薪づくり研修

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

間伐面積: 2.5ha 作業道開設:500m 搬出材:200mg

参加者数 計:102人

# 入来浜海岸防災林保全活動

鹿児島県日置市





#### 事業概要

入来浜海岸防災林は入来浜集落を保全すると同時に県立 自然公園として多くの県民に親しまれている森林であるが、 近年松くい虫の害や台風災害により欠損した部分も見られ た。このため、地域住民と当研究所が協働で、欠損箇所に 抵抗性クロマツ植栽と、中下層の暴風効果を得るためシャ リンバイの下層木を植栽するとともに、歩道、ウッドデッ キ、防風垣などを設置した。

# ● 事業成果

昨年の活動数量に加え、さらに抵抗性クロマツ100本増加

するなど、保全活動をグレードアップした。また、本年度 は自治会住民に加え、来ていた観光客も活動に参加しても らった。

#### ●事業をよく知る関係者の声

・大変すばらしい事業だ。「緑の募金」活動の広報にも力を 入れていきたい。(日置市職員)

#### 参加者の声

・自分たちの大切にしている海岸防災林の整備を自分たち の手でやっていくことに喜びを感じる。(入来浜自治会 員)



クロマツ、シャリンバイを植樹



ウッドチップ歩道



竹穂防風垣30 m



参加者のみなさん

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.6ha 植付本数: 500本 下刈面積: 1.1ha ウッドチップ: 4.0㎡

#### 参加者数

學加有数 県内:63人 計:63人

#### 樹種

クロマツ、シャリンバイ

# 緑化の推進



# 子どもと地域のための森の健康診断普及事業

長野県、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県





#### 事業概要

①森の健康診断の手法を広く、特に未来を担う子どもた ち (学校授業で) に広めるため、依頼のあったところに、講 師を派遣し、森の健康診断出前講座を実施した。②熱意の ある教師に体験してもらうことで、学校での実施につなげ るため、教員向けの研修および Ir (高校・大学生) 体験会開 催した。③コロナ禍に対応するためガイドラインを作成し、 それに基づいて対策を行ながら実施する体制を構築する。 ④コロナ感染リスクを低くするために、家族単位のグルー プ編成で実験的に実施。えなの森(岐阜)で、家族単位での 森の健康診断を開催した。⑤13年のあゆみを冊子にまとめ た。

#### 事業成果

①5 県延べ24回、講師134人を派遣し、受講者は687人。 ②教員向けの研修およびJr (高校・大学生) 体験会を愛知県 で3回開催(主催)。③若者への普及をめざし、Jr隊を結成

し、キックオフ体験イベントを開催した。④学校から家族 へ枠を広げ、祖父母・親&子どもに対する森の健康診断を 実施。⑤コロナ感染拡大の中、実施のあり方を模索・検討 し、コロナ感染対策ガイドラインを作成し、それに沿って 実施する体制を構築した。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・この経験を通して子どもたちは本物に触れ、気づき、変 わっていくはず。「持続可能な社会」へ向けた大きな力に なることを願っている。(高校教員)
- ・一過性のイベントではなく、少なくとも10年は継続する 活動として地域に深く根を下ろしたとき、その地の森林 に変化が訪れるはず。(森林公社職員)

#### 参加者の声

・うまく伐れるかわからなかったけれど、ザクギコと続け ていると自分でやってるんだとなあと思いました。もっ と森が明るいところになってほしい。(小学6年生)



安全に楽しく活動



森での観察



森の健康診断用具



森の健康診断用具

#### 実績とりまとめ

作業内容

森の健康診断出前講座:28回

参加者数 計:821人

# 獅子吼高原アウトドア Fes.「もりもりの森」&森のふれあい音楽会

#### 石川県白山市









#### 事業概要

"森を知るには、まず森に行き、森に親しむことから"と いった考えによって、県民参加型の様々な事業展開を行っ ている。

今年で2回目となる「獅子吼高原アウトドアFes.『もりも りの森』&森のふれあい音楽会」は、石川県白山市の獅子吼 高原山頂での広葉樹の植栽のほか、テントを並べてワーク ショップなどを実施。また、ミュージックステージなどの プログラムにより、森で楽しく過ごしながら森林保全の必 要性を県民に理解してもらった。

#### 事業成果

人々を森に誘うため、アウトドアFes.としてのイベント 要素を多く盛り込む。森を巡る動機づけとして行ったスタ ンプラリーには多くの家族連れが参加し、会場全域をまわ ってもらった。また、樹木医の指導の下で実施したクヌギ

の植栽でも、家族連れの皆さんに森に対する理解を養って もらった。山麓のパーク獅子吼芝生広場にはテントブース が並び、ワークショップやハンドクラフトの販売があって 森に賑わいができた。

## 参加者の声

- 森を巡れてよかった。
- ・楽しかった、また来たい。



クヌギを植樹





アウトドアフェスは多くの人でにぎわった



ふれあい森の音楽会

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.1ha 植付本数:24本

#### 参加者数

県内:44人 計:44人

#### 樹種 クヌギ

# 活樹祭~水源林・森の恵みと活用を学ぶキャンププログラム(小菅村)

#### 山梨県小菅村













#### 事業概要

生活を支える水源林の多面的機能を理解し、水源環境を 保全することの大切さを学ぶ。主な活動は、①林業従事者 による除伐の見学及び手ノコで除伐体験、②水源林の豊か な自然やそれを脅かす獣害などの諸問題について実際に見 ながら学ぶ水源林体験、③水源林がもたらす川の恵みを調 査する水源の生き物探し、④間伐材を利用したスプーンづ くり、⑤地元の野菜やジビエを活かした食事づくり。以上 の体験を通じて、森が生活に密接にかかわっており、その 恵みが私たちの命の源となっていることを学ぶ。

#### ● 事業成果

水源の生き物調査を取り入れることにより、森とそれら を取り巻く命との関係性を学ぶことにつながった。また、林 業従事者による伐採の見学により、より一層森林を保全す ることの意義や大切さを学べた。間伐材の一部は、コース ターなどに活用することにより、一層暮らしと森との関わ りへの理解が深まった。

#### 🧼 事業をよく知る関係者の声

- ・今回は林業関係者も加わり、より本格的な林業体験とな った。(ローソンスタッフ)
- ・自然の中での貴重な体験は忘れられない夏休みの思い出 になった、と参加者もたいへん喜んでいる。(埼玉県母子 寡婦福祉連合会職員)

#### 🦚 参加者の声

・内容が濃く子どもも大人も楽しめ勉強になった。また、ト ラブル時にはスタッフが寄り添って下さったのもありが たかった。(保護者)



専門家から林業について説明



伐採体験



水源の生きもの調査



スプーンづくり

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

間伐面積: 0.8ha クラフト:1回 火起こし:2回 水源林探検:1回

#### 参加者数

県内:9人 県外:66人 計:75人

# 活樹祭・親子森林教室~森の恵みと活用を学ぶキャンププログラム(川崎町)

仙台市川崎町















#### 事業概要

未来を担う子どもたちが森と人との関わりやその重要性 を体験を通じて学び、森や森をとりまく環境への関心を育 むこと。主な活動は、①林業従事者による除伐の見学及び、 手ノコでの除伐体験、②現地団体から森林活用の話を聞く、 ③森の中で、森の生き物探しとナイトハイク、④間伐材と 森の資源を利用したキャンドルホルダー、思い出ボードづ くり、⑤ぼくらの里山いきものゲームで、生物多様性を楽 しく学ぶ。以上の体験を通じて、森が生活に密接にかかわ っており、その重要性について学んだ。

これらの活動は宮城県内で森のようちえんを運営してい る「森のようちえん虹の森」と協働し実施した。

#### 事業成果

小さな子どもたちもネイチャーゲームを通して森を知り、

関心を育んだ。加えて今年度は川崎町で伐採した木を使っ てゲストハウスを建て、エネルギーの自給自足をめざす 「百」にも協力していただき、参加者はよりリアルに「木の 活用」について学ぶことができた。

#### 事業をよく知る関係者の声

・子どもたちの顔がどんどん明るくなっていくのを感じた。 目玉となる活動があるともっといいかもしれない。(ロー ソン)

#### 参加者の声

・母子ともに楽しめた。子どもは自然が大好きだが、親だ けでは経験させてあげられないことも沢山でき感謝して いる。スタッフの方々も暖かく見守って下さる感じで、安 心して過ごせた。(母親)



伐採体験



伐採後の枝払い



木を磨いてランタンづくり



夜の森へ出発

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

除伐面積: 0.5ha 森の観察会:1回 クラフト:2回 ナイトハイク:1回

#### 参加者数

県内:51人 県外:8人 計:59人

# 活樹祭・親子森林教室~名護の森から学ぼう~

沖縄県名護市













#### 事業概要

森の大切さや自然の豊かさを学び、関心を育むとともに、 沖縄県における森林の課題について、体験を通じて学ぶこ とである。主な活動は、①森での自然観察会(昼・夜)、② 森林整備体験、③海辺の自然観察会とサンゴの保護活動。以 上の活動を通じて、沖縄の自然に興味を持ち、森や海の課 題について考えることができた。これらの活動は、国際自 然大学校沖縄校「ネコのわくわく自然教室」「沖縄県北部森 林組合」「沖縄ダイビングサービスLagoon」と協働・連携し て実施した。

#### ● 事業成果

1日目の森での自然観察会では、やんばるならではの生 きものや植物を探した。昼と夜に同じ場所で生きもの探し をすることで、森の多様性に気付くことができた。県民の 森(恩納村)では実際に下刈をすることで、森づくりの一端 を体験することができた。海辺の活動では、生きもの探し やサンゴを探すプログラムを行った。県民の森で出た材と

海岸で拾ったサンゴや貝殻を利用して、海と森が融合した クラフト作成も行った。森と海の活動から沖縄の自然の魅 力や課題を改めて知るができ、森の役割や大切さを学ぶこ とができた。

#### 🬑 事業をよく知る関係者の声

- ・沖縄らしい自然の体験を提供することができた。移動に 時間がかかってしまうことが課題のため、宿泊場所など を今後検討したい。(ローソン)
- ・親子向けの体験活動ははじめてのためとても参考になっ た。(森林組合)

#### 🬑 参加者の声

- ・なかなか普段では難しくてできないような活動ができ、子 どもも楽しんでいた。(保護者)
- ・「危ないからダメ! | と制限してしまっていることを詳し い人と取り組めることは、すごく良い経験になった。(保 護者)



森の自然観察会 (青少年の家)



下刈 (県民の森)



夜の森の白然観察会



サンゴの苗づくり

#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

下刈面積: 0.2ha クラフト:2回 自然観察:3回

#### 参加者数

県内:68人 県外:10人 計:78人

# 緑のまなび事業(甲賀市立大原小学校 外2小学校)

滋賀県甲賀市



#### ● 事業概要

甲賀市鹿深夢の森周辺の3小学校共同の記念植樹により 教育環境向上、森林環境教育の推進と全国植樹祭開催気運 の醸成を図る。主な活動は、①油日小学校で卒業記念植樹、 ②佐山小学校で卒業記念植樹、③油日・佐山小学校から大 原小学校へ苗木リレー、④櫟野ダム上流において緑のまな び記念植樹、⑤コンテナ苗を使用した体験学習。

#### 事業成果

自然の中で行う体験は、子どもたちの感性や身体にたく さんの好影響を与えてくれる。

#### ● 事業をよく知る関係者の声

・今年の事業については、新型コロナウイルス関係から縮 小実施となり、子どもたちの交流の場がなくなったこと が残念。(甲賀市大原共有山財産区)

#### ●参加者の声

- ・コンテナ苗を使用した植樹は、活着が良いのに手間がかからなかった。子どもたちの良い学習となった。(40代男件)
- ・子どもたちが森林整備の意味を理解し、体験できること が良いと思った。(30代男性)
- ・縮小された卒業式の後に実施された記念植樹で、子ども たちが喜ぶ姿が印象的だった。(30代女性)



植樹前の説明



ていねいに植樹



ヒノキを植樹



苗木リレー

#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

植付面積: 0.16ha 植付本数: 486本 下刈面積: 0.16ha 防護柵設置: 200m

#### 参加者数

県内:132人 計:132人

#### 樹種

ヒノキ、イチョウ、クリ、ウメ、 クヌギ

# 緑のまなび事業

#### 北海道長沼町











#### ● 事業概要

町内の小学生に緑の少年団への認識を高めてもらうため、 身近な校庭の整備に取り組む。また、木工教室で木と触れ 合う楽しさを体験し、町内の河畔林の造成に取り組んで、森 林整備の重要性を体感してもらう。主な活動は以下のとお り。①校庭に密生している老齢樹木(ニセアカシア)の伐採、 ②町内の5小学校統合による新たな長沼小学校の開校記念 の植樹会、③木工教室(間伐材を使った箸づくりや工作)、④ 様々な種類の苗木を植樹して、その地域の環境に合った木 だけが成育して自然に近い森林をつくるための、河畔林の 植樹と木の種採り、育苗活動など。

## 事業成果

参加した町民5人を含めた33人で、10種類の苗木150本

を植樹して洪水防止の一助とした。

## ⇒事業をよく知る関係者の声

・種から育てた苗木の継続した植樹活動は、その作業の大変さとともに、苗木の成長を確認することで、森林保全活動への参加意識の向上に繋がる意義のある活動である。 (公務員)

#### ●参加者の声

- ・植樹や種採りや植付けは初めての経験で、子どもの教育 に非常に良いと思った。(30代女性)
- ・いろんな種を植えるのがおもしろかった。(小学生男子)



「小鳥のさえずりが聞こえる河畔林づくり」植樹



「小鳥のさえずりが聞こえる河畔林づくり」種採り



苗木の床替え



木工教室

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.01ha 植付本数: 150本 除伐本数: 34本 木工教室: 1回 苗木床替え: 1回 記念植樹: 7本

#### 参加者数

道内:71人 計:71人

#### 樹種

ミズナラ、ハルニレ、ナナカマド、エゾヤマザクラ、ライラッド

# 石垣島里山づくりプロジェクト

#### 沖縄県石垣市















## ● 事業概要

本プロジェクトは、耕作放棄地を森に育て、豊かな自然 を育むとともに、森によるCO2固定、海の環境保全にも寄 与することを目的とした活動である。活動には、近隣の小 学生をはじめ、地元のご家族にも参加していただき、植樹 と草刈りを行った。

新型コロナウイルス対策のため、密接にならない配慮を しつつ実施。当日は気温も高く熱中症の危険も高かったが 予定通り実施できた。

#### 事業成果

新型コロナウイルス対策のため、植樹と草刈りという森

づくりのみに活動を絞り実施した。また公的な教育機関と も連携し、学生の参加も増えた。参加者も活動に関心が高 く、今度の展開に期待できる。

#### 事業をよく知る関係者の声

・活動は滞りなく行うことができた。ただ、暑い日となり、 熱中症対策も同時に考えなければならないことがよくわ かった。季節を変えての実施なども検討していけるとい いと思った。(ローソン関係者)

#### 参加者の声

- ・暑い日だったが、森を育てる植樹に参加でき満足。(女性)
- ・木が育って森になることが楽しみ。(高校生)



シナモンを植樹



植樹



草刈り



以前に植えた苗は順調に成長している

#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

植付面積: 0.8ha 植付本数:300本 下刈面積: 0.4ha

#### 参加者数

県内:36人 県外:2人 計:38人

樹種 シナモン

# こどもからお年寄りまで元気になる森づくり事業

#### 北海道羽幌町

















#### ● 事業概要

地域の幅広い世代がビオトープの森づくりに携わり、森の維持管理作業や動植物の観察などを通して、環境保全の意識醸成や世代間交流を図る。主な活動は以下のとおり。①ビオトープでの補植や幼木周辺の下刈、貯水池の水草の刈り取りなどの維持管理作業を行い、ビオトープの緑化を推進。②植樹会や外来種駆除イベント、クラフト体験会などの行事を通して、ビオトープの森林資源を活用しながら地域の自然環境や当協議会の取り組みを地域住民へ伝える。③地元高校と協働し、高校生に植樹、樹木調査、生物調査などを体験してもらうことで、環境教育の場としてのビオトープの活用を進め、地域の自然環境を後世に伝える人材を育成する。

#### 事業成果

2018年と2019年に実施した生物調査の報告会を一般市民

向けに開催し、ビオトープ公園の環境改善案について専門家を交えた専門性の高い議論を行うことができた。また、町民にとっては地元の自然環境について学べる良い機会となった。町外からの参加者もおり、羽幌町の自然環境やビオトープでの取り組みについて周知することができた。

## 🔷 事業をよく知る関係者の声

- ・事業を実施していくなかで自主財源の確保が難しい(会 員)
- ・親子で参加できるイベントなどがあれば、幅広い年代の 方に公園を利用してもらえると思う。(会員)

#### 参加者の声

・町からアクセスしやすい場所にあるので、気軽に自然散策ができる。季節によって観察できる動植物が変化するので訪れるたびに発見がある。(20代)



羽幌高校生による樹木調査



羽幌ボーイ・ガールスカウトによるオオハンゴンソウの 駆除体験



北るもい漁協・羽幌高校合同植樹会



ビオトープの生き物の調査結果報告会

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数: 180本 下刈面積: 8ha 森林資源活用: 1回 イベント: 7回

#### 参加者数

道内:660人 計:660人

#### 樹種

ミズナラ、ヤチダモなど

# **Project-D**

#### 岩手県北上市、宮城県東松島市、福島県郡山市









#### 事業概要

目的は、被災地の子どもたちを応援する気持ちを届け、復興を支援するとともに、地域の生態系に配慮した緑化に貢献すること。主な活動は、被災地(岩手・宮城・福島)に植える広葉樹(どんぐり)の苗木を被災地周辺でとれた種子を使って育て、植え戻すこと。

#### 事業成果

岩手県北上市と福島県郡山市において、プロジェクトで 植栽した苗木を育てるための下刈、枝打ち等の活動を行い、 苗木を植えた後大きく育つためには人間の手助けが必要で あることを、体験を通して伝えることができた。宮城県東 松島市のフィールドについては、5年間の活動を無事に終 了した。

#### ●事業をよく知る関係者の声

・活動に参加し、事業の趣旨・目的については十分理解が 深まった。今後、学生や市民の環境学習や自然体験活動 のフィールドとして活用していきたい。(郡山市の活動を 継承した学校法人の担当者)

#### ●参加者の声

・薄暗かった場所が、枝打ちをしたら明るくなってびっく りした。すっきりして風通しもよくなったような気がす る。(郡山市の育林活動に参加した学生)



補植 (北上市)



下刈 (北上市)



枝打ち (郡山市)



郡山市での作業参加者

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積:2.03ha 補植、枝打ち体験

#### 参加者数

県内: 40人 県外: 20人 計: 60人

# 「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業

宮城県登米市、南三陸町





















#### 事業概要

緑とのふれあい等を通して、沿岸被害住民と山村住民の 交流も図りながら、東日本大震災からの復興を誓うと共に 森林づくりの重要性を普及する。

## 事業成果

コロナ禍の影響により、南三陸町の被災者との交流活動 を回避するため分離開催となったほか、参加者数を抑えな がら式典や活動の簡素化を図った。そうした制約の中での 開催は、参加者にとって心が和み、本当に楽しいひととき を過ごすことができた。特に被災地住民参加者からは、コ ロナ禍で外出する機会が少ない中での野外活動であり、さ らなる継続を望む声が大きかった。

# 事業をよく知る関係者の声

・新型コロナウイルスの影響で開催が危ぶまれたが、開催

方法や移動手段を工夫して開催することができた。被災 者の方々に喜んでいただけたことが何よりである。来年 も感染予防対策をしっかりと講じながら開催してほしい。 (登米市担当者)

#### 🦚 参加者の声

- ・地元の自然の中で植樹活動ができ、とても癒やされた。し ばらくぶりの野外での作業だったので、気分爽快だった。 (南三陸町70代女性)
- ・森林体験をしてから海を見渡すと、また震災復興に向け て頑張ろうと前向きな気持ちになれた。(南三陸町70代男 性)
- ・地元での森林体験をとおして、生きることの根底には自 然があるということを改めて感じることができた。(南三 陸町70代男性)



児童・教師が参加して広葉樹苗を植樹(米川小学校)



木工教室、県産スギ材で加工された矢羽皿の研磨 (米川小学校)



ドングリの播種



被災地住民も参加してヤマツツジなどを植樹

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植樹活動・木工教室:2回

参加者数 県内:180人 計:180人

# 熊本地震復興支援事業(学校・復興支援住宅等緑化)

熊本県御船町、益城町













#### 事業概要

平成28年熊本地震の被災地域において、地域の復興を支援するため、学校や幼稚園、保育園等周辺の緑化により、子どもたちの共同生活の充実を図るとともに、緑の大切さや木のぬくもりを感じてもらう。

#### 事業成果

今年度は、特に被害の大きかった地域の幼稚園や災害公営住宅等に、苗木94本を提供、緑による潤いを被災者に届けることができた。

#### ● 事業をよく知る関係者の声

・新しく建て直した幼稚園や保育園には緑がなく、樹木が 園の潤いになるほか、初めて木を植える園児も多く、良 い経験をさせてもらった。また、災害公営住宅はできた ばかりで潤いが少ないため植樹により木陰や交流の場と して期待されている。(市町村関係者)

#### 参加者の声

・地域住民や生徒がみんなで植栽や水やりを行っており、木 や花が大きくなるのが楽しみ。



サクラ、ハナミズキ、イロハモミジほかを植樹



園庭に緑を



みんなで協力して



みんなで協力して

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数:94本

#### 参加者数

県内:325人 計:325人

#### 樹種

サクラ、ハナミズキ、イロハモ ミジほか

# 震災の森の復旧・復興を通した子ども森学び体験教室

#### 北海道安平町















#### 事業概要

2018年9月の北海道胆振東部地震で被災した地域にある 「北進の森」を中心に、森の復興・復活と、震災によって被 災した町民の心のケアを目的とし、崩れた森の整備を通し て、子どもたちやその家族、近隣市町村の人々を対象に森 の中で遊ぶ場所の整備を行った。具体的な活動としては、地 元の林業家や環境教育に携わっているインタープリターや 実践者を講師に1年を通した森林活動を行うことで、自然 体験活動を通して森づくりや昔ながらの馬を使っての森林 整備を体験し学ぶ活動を行った。

#### 事業成果

今年度はより具体的に森の成り立ちや環境教育活動を推 進することができた。また、優しい森づくりを心がけ、馬 搬での活動を中心に復興に向けた作業を進めることができ

た。子どもたちの屋外での遊び場や学び場として活動を維 持することができた。

#### ●事業をよく知る関係者の声

- ・風倒木除去などにおいての伐採は理解できるが、間伐に 関しては疑問だったが、木を育てるために伐っているこ とがわかった。(50代町民)
- ・広い森を歩いて活動することで、森のエリア分けを感じ ることができた。森の奥の手をつけていないゾーンにフ クロウや野鳥がいることを知ることができた。(30代町民 スタッフ)

#### 参加者の声

- ・四季折々の森の生き物を発見でき観察もできて楽しかっ た。
- ・馬の作業を見られ、いっしょに遊べて感動した。



馬で道づくり



巣箱づくり



シラカバの樹液



カエル調査隊

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積:3.0ha 除伐面積:3.0ha 自然体験教室:14回

参加者数

道内:80人 計:80人

# 胆振管内連携·胆振東部地震復興記念事業

北海道苫小牧市、厚真町、安平町、むかわ町、平取町













#### 事業概要

平成30年度に発生した胆振東部地震被災地の復興を祈念 するため、被災地の校庭・園庭で環境緑化に取り組んだ。 また、東胆振地域の住民や関係団体が連携して、間伐材等 の木製遊具 (積み木) 等を制作、被災3町 (厚真町、安平町、 むかわ町)の子ども関連施設に提供した。また、木製ベンチ を小学校に設置した。①胆振東部及び隣接町の子ども園な どにおいて復興祈念樹を植樹したほか苗木づくりを行った。 ②被災地を支援するため、隣接する苫小牧市や市民等が協 力、間伐材等を活用した積み木を制作し、被災地の胆振東 部の子ども園や子どもセンターなどに提供した。また、木 製ベンチを製作、被災小学校に設置した。

#### 事業成果

校庭、園庭での植樹や木製ベンチの設置により、被災地 の小学校や子ども園に子どもたちと地域住民の憩いの場が 整備された。

被災地に贈る積み木づくりを、植樹祭の参加者や苫小牧 市の温室施設の来訪者に呼びかけ、多くの地域住民が取組 に参加し、被災地支援の連携の輪が広がるとともに、木育 の普及にもつながった。

新型コロナウイルスの感染拡大により、行事の中止や活 動の制約が多かった中で、植樹や木製遊具の提供により、被 災地の子どもたちの生活に潤いを与えることができた。

#### 事業をよく知る関係者の声

- ・緑豊かな環境が整備された。(町内会関係者)
- ・木製遊具等の提供は子どもたちの情操教育にも良い効果 が期待される。(子ども園関係者)

#### 🦚 参加者の声

- ・一人ではできない被災地支援に参加することができ良か った。(苫小牧市民)
- ・植樹活動は楽しい。木が大きくなり実をつける時が楽し み。(子ども園園児)



アモミジ、エゾヤマザクラほかを植樹



復興を祈念して植樹



ベンチづくり



間伐材等を活用した積み木

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数:44本 ベンチ製作:6基 積木贈呈:2400個

#### 参加者数

道内:278人 計:278人

#### 樹種

ヤマモミジ、エゾヤマザクラ クリ、サトウカエデほか

# 大房岬自然公園の緑復旧支援活動

千葉県南房総市









#### ●事業概要

台風15号により大きな被害を受けた千葉県南房総市の大 房岬自然公園を一日も早く災害前の状態に復旧し、自然体 験を通した環境学習及び森林セラピーの場として利用でき るようにすることを目的として2019年11月9日、台風によ り折れたり落ちたりした枝や葉を片付ける活動を行った。

#### ● 事業成果

企業として「緑の活動」を推進する株式会社プロントコー ポレーションと千葉県浦安市のこどもエコクラブ「しろく まキッズ 、こどもエコクラブのOGなど26人が参加し、公 園の西芝生園地を中心に作業を行い、落枝や倒木に埋もれ



林内整備

ていた園路を復旧させることができた。

#### 事業をよく知る関係者の声

・現場で汗をかく活動を通して被災地の復旧に貢献できて 良かった。一生懸命に作業する子どもたちから学ぶこと も多かった。(プロント社員)

## ●参加者の声

- ・自分たちの作業によって園路が姿を現したのでびっくり
- ・個人ではなかなか行けない場所。バスを出していただい たおかげでボランティアができて良かった。



落ち葉かき

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.3ha 植付本数:100本 下刈面積: 1.43ha

参加者数 県内:19人 県外:7人 計:26人

# 森・子どもたちへの元気づくり・再生プロジェクト

北海道札幌市、美唄市、苫小牧市、月形町ほか





























#### 事業概要

北海道独自の「植樹・育樹の日」の制定や全国育樹祭の開 催決定を背景に、森づくり活動などの意義を周知し参加を 促すため、植樹や体験活動等を実施した。内容は次のとお り。

①森林や公園、園庭での植樹などの森づくり活動、②木 造施設等を会場とし、森や木への理解を深めるための「木育 ひろば」を開催。

#### 事業成果

木育マイスターや大学生ボランティアなどの協力を得ら れたことから、活動の充実と活性化が図られた。一部の植 樹は中止したが、参加者の森づくり活動への参加意欲は引 き続き高いことが伺われる。

#### 事業をよく知る関係者の声

- ・世界的に環境問題が重要視される時代に、植樹活動で少 しでも問題解決の一助になることを実感した。(学校関係 者)
- ・木育の魅力を最大限に活用し、各種活動を通して発信す ることで輪が広がり、活動の参加者の増加や木を大切に する重要性が認識される機会となった。(大学生ボランテ イア)

#### 参加者の声

- ・これまで環境問題に向きあわないでいた自分の意識の低 さを痛感した。(中学生)
- ・環境問題について、普段家族で話しあう機会もなかった ので、緑化運動の大切さを知る良いきっかけとなった。 (保護者)



ミズナラ、トドマツほかを植樹



種の採取





木育ひろば

#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

植付本数:125本 苗木づくり:135鉢 下刈面積: 0.1ha 木育ひろば

#### 参加者数

道内:1150人 計:1150人

#### 樹種

ミズナラ、イタヤカエデ、ハル ニレ、トドマツほか

#### 01R-02

# 【Furano Forest Style】植樹会と間伐イベントを通じた富良野の森づくり人づくり事業

#### 北海道富良野市







#### 事業概要

植樹や間伐作業を通じて、我々動物が生きていくために 必要不可欠な森の役割を伝えることである。また、森づく り作業に参加することにより、地域の人(特に若い世代)を 育てることにある。主な活動は以下のとおり。①元ゴルフ 場跡地のフィールドに自分たちの手で木を植える、②森づ くり活動の重要なフェーズである間伐の意味を知り実際に 間伐を行う、③間伐材を利用した調理やクラフトプログラ ムを開発する、④スノーシューや双眼鏡を用いて冬の森に 入り森に触れあう。

#### ●事業成果

間伐イベントとして、間伐作業だけでなく、間伐材を有

効利用した催しを企画実行することができた。ボランティ アのリピーターが来てくれるようになった。

#### 事業をよく知る関係者の声

- ・間伐が遅れているように感じる。間伐のペースを上げた 方がよい。(50代男性)
- ・昨年蒔いたドングリが芽を出していたのに感動した。(50 代男性)

#### 🦚 参加者の声

・事業開始当初に植えた木が間伐するまでに成長していて 感動した。また夫婦で参加したい。(60代)



植樹用ポット苗木づくり



植樹イベント





冬の森歩き

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 1.2ha 植付本数:1831本 間伐面積: 0.3ha 植樹会:6回 間伐イベント:2回

# 参加者数

計:154人

ミズナラ、ハルニレ、ヤチダモ、 ホオノキ、ナナカマド、オオバ ボダイジュなど16種

# 森と緑と湖のマチ、そららの森づくりプロジェクト

北海道弟子屈町





#### 事業概要

弟子屈空港跡地を観光客や地域住民が楽しむための森づくりをすることを目的としている。主な活動としては、① 自然を活かした観光資源の充実を図るための植樹、②環境 に対する意識向上と共生社会の実現をめざした木育教室。

#### 事業成果

そららの森プロジェクトは開始してから9年目となる。 シラカバ並木の植樹は、残念ながら枯れてしまった木や育 成不良の木があり、それらの植え替え作業を行い、森づく りを継続して行っている事を観光客などにに訴えることが できた。

木育教室では地元のアカエゾマツの蒸留体験を行い、今 まで木工品などの作成をしてきたが、それとはまた違う製 品もできるという「木」から作られるものの可能性の広がりを学ぶことができた。

#### ●事業をよく知る関係者の声

- ・森らしくなってきた。シラカバ並木も植え直しするなど きちんとメンテナンスを行っている。(植生業者)
- ・みなさん楽しそうに作業していた。樹木はいろいろ活用 できることが伝えられた。(木育マイスター)

## ●参加者の声

- ・昨年よりも木が大きくなっていてびっくりした。(30代男性)
- ・マツからこんなオイルが作れることは知らなかった。癖 のある匂いだが嫌いではない。(40代女性)



第9回そらの森植樹祭



作業前の説明



木育教室



エンジュ、アオダモほかを植樹

#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

植付面積: 0.3ha 植付本数: 250本 下刈面積: 0.7ha 木育教室: 1回 苗畑づくり: 1回

#### 参加者数

道内:56人 計:56人

#### 樹種

エンジュ、ドロノキ、アオダモ、 カラマツ、アカエゾマツ

# いのちの森づくり植樹祭 IN 奥沢水源地 VOL.7

#### 北海道小樽市

















#### ● 事業概要

地球環境を意識し地域住民との協働で植樹を行う。このことで、防災や自然環境への意識を高めると共に、その土地本来の植生が失われつつある「いのちの森」を守り再生させる。奥沢水源地にて7回目の「いのちの森づくり植樹祭」を開催した。

#### 事業成果

小樽市、北海道の関係機関との協働体制もとれ、スムーズな運営ができた。参加者数は天候が悪く、予定よりも少なかったが近隣中学校の生徒会、小学校も教員引率での参加もあった。千年の森会員企業の家族での参加が多くみら

れた。市内の団体が参加するとともに運営資金を寄付いた だいた。今後も環境教育との二本柱で事業を進めていきた い。

#### 事業をよく知る関係者の声

・毎年、学校や企業単位で参加してくれるようになり、環境保全などの視野が広まった。(理事)

#### 参加者の声

- ・雨の中の作業で大変だったが、楽しかった。(小学生)
- ・植樹祭は子ども達の思い出になると共にすばらしい環境 教育だ。(女性60代)



第7回「いのちの森づくり植樹祭」



ミズナラほか15種を植樹



2124本を植樹



植樹した木を保護

#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

植付面積: 0.1ha 植付本数: 2124本 樹勢回復: 1200本 下刈面積: 0.07ha 除伐面積: 0.03ha

#### 参加者数

道内: 174人 道外: 44人 計: 218人

#### 樹種

ミズナラほか15種

# 未来に引き継ごう! 天然青森ヒバ林を

青森市、東津軽郡













## ● 事業概要

青森ヒバは資源量が減少しており、東北森林管理局では 「天然青森ヒバ林復元プロジェクト」として津軽・下北半島 の天然青森ヒバ林を復元しようとの取り組みを進めている。 当会ではヒノキアスナロ緑の少年団などに稚幼樹の採取・ 植栽作業などの体験を通じて、天然青森ヒバ林の復元に寄 与するとともに、次代に引き継ぐ機運を醸成する。

#### 事業成果

緑の少年団員は、20cmほどの稚幼樹が200~300年を経て ヒバ大径木になることに興味を持っていた。森林育成に対 する認識を深めることができた。

作業前に、青森ヒバの特徴及び採取方法などを資料を用 いて説明と実技指導行ったことにより参加者の理解と、作 業を協力するなど円滑実施することができた。

地元新聞に取り上げられ青森ヒバの復元への関心が高ま った。

## 事業をよく知る関係者の声

地域流域の特性の遺伝子をもったヒバ稚幼樹を生かし、 天然力の積極的な活用方法の検討したい。

#### 参加者の声

- ・植えるときは足でしっかり土を踏むのがコツだと知った。 空まで高く大きくなってほしい。(小学生女子)
- ・クワで穴を掘るとき根っこが硬くて大変だった。苗木が でっかい木になるといい。(小学生男子)



ヒバ苗採取



ヒバ苗の説明



植樹方法の説明



#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

山取苗採取;750本 植付本数:350本 地拵: 0.2ha

# 参加者数

県内:122人 計:122人

樹種 ヒバ

# オオヤマザクラ等の保育活動を通じた地域を結ぶ森林づくり

#### 青森県弘前市









#### 事業概要

岩木山の麓の沿線に植えられた街路樹(オオヤマザクラ)の保育・保護と景観の維持及び体験林業と森林観察会を開催する。内容は、①街路樹への補植、ツル切、枯木・枯枝・被陰木の伐採撤去及び作業沿線清掃、②弘前城築城400年記念として植えた森での補植、下刈・除伐・ツル切及び森林観察など。

#### 事業成果

街路樹の手入れは、毎年場所を変えて実施していること から景観が充実してきている。体験林業と自然観察会は、新 型コロナウイルス感染拡大防止の観点からバスによる公募 の参加をとりやめ、自家用車での参加者のみによって行われた。

#### ●事業をよく知る関係者の声

・街路樹の手入れを行政などに働きかける必要があるのではないか。(協力関係にあるNPO理事)

## ●参加者の声

・サクラ並木の手入れに参加した。ツル切は会員の方に教 えられ初めてでも問題なくできた。意外だったのは、道 端の草に隠れてゴミが沢山捨てられていることだった。 山の中で適度に汗をかき作業ができ、いい体験となった。 自然をより大切にしなければと思った。(20代女性)



オオヤマザクラの植樹



ベンチ設置



枯枝の処理



切口に薬剤を塗る

#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

植付本数:10本 樹勢回復:300本 下刈面積:1ha 除伐面積:1ha 歩道修理:2km ベンチ設置:4基

#### 参加者数

県内:108人 県外:2人 計:110人 **実施場樹種** オオヤマザクラ

# 陸奥湾の海と山を結ぶ循環を学ぶ環境学習授業

#### 青森県平内町







#### ●事業概要

青森市民の飲み水は八甲田山の恩恵を受けている。また、 青森県の基幹産業であるホタテ養殖が盛んなのも、豊かな 森とフルボ酸を含んだ水があればこそである。今回参加す るの生徒の保護者はホタテ養殖業が多いが、中学生はあま り森が海を育む事を知らない。そこで、「社会貢献の森」で、 山と川、川と海が自分達の暮らしや生活にあたえている仕 組みを植林と学習を通して学ぶ機会をつくり、広葉樹の森 の必要性を体感した。

#### 事業成果

今年度は、平内町の小湊中学校の生徒たちが、自分の郷

里で山がいかに大切かということを直接学ぶことができた と思う。このように陸奥湾を囲む市町村の生徒たちに、も っと自分たちが住んでいるところの環境とどう向きあうか という事を、体感して学ぶ機会を提供していきたい。

#### 事業をよく知る関係者の声

・青森森林管理署からいつも担当官が参加し、応援してく れている。子どもたちの植林は大変だが、持続的に進め てもらいたい。

#### 参加者の声

・今日苗を植えたことで、この自然環境を守っていきたい と思った。(中学1年)



植樹には中学1年生38人が参加



作業現場へ向かう



ミズナラを植樹



森とホタテ養殖がつながっていることを学んだ

#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

植付面積: 0.5ha 植付本数: 70本 下刈面積: 0.5ha 除伐面積: 0.5ha

#### 参加者数

學**加有数** 県内:14人 計:14人

#### 樹種

ミズナラ、イタヤカエデ、ヒバ

## 沈黙しないでピカピカ里山にしませんか!

## 秋田県仙北市







## 事業概要

城下町に隣接した里山が住民の高齢化等により、利用されず放置されている状況を改善し、木の文化への理解と地域との交流を図ることを目的としている。主な活動は、① 林内環境整備として刈払いやツル切り、②不良木の伐採とヤマザクラ植栽、③遊歩道整備の刈払いや階段の整備、④市民を対象したトレッキングなど。

## 事業成果

足場の悪い箇所でのツル切り、刈払いの作業ではベテラン会員の指導もあり安全に作業ができた。また、階段については杭の打ち込みに苦労したことから次の作業では施工に工夫する必要がある。

## ● 事業をよく知る関係者の声

- ・刈払い作業を継続的に実施することは大変であるが、植 栽等を含めて里山が目に見える形で変わってきており、 市民の参加意識の向上に繋がる活動である。今後癒しの 場としての機能が再生されることを願っている。(元教 員)
- ・それぞれの参加者に合った条件下で作業できるような環境を望む。(支援学校教員)

## 参加者の声

- ・記念植樹することで環境への理解が深まった。大きく育 つのが楽しみ。(小学生男子)
- ・きれいに整備されている。また来たい。(50代男性)
- ・自然とふれあい子どもも喜んでいた。(40代女性)



ベニヤマザクラの植樹



10組が参加して記念植樹



遊歩道を整備



整備された里山

## 実績とりまとめ表

## 作業内容

植付面積: 1.0ha 植付本数: 10本 樹勢回復: 12本 下刈面積: 2.5ha 除伐面積: 0.5ha 間伐面積: 0.5ha

## 参加者数

県内:22人 計:22人

#### 樹種

ベニヤマザクラ

## 八幡山桜(はな)の森整備事業 紅葉の森整備事業

山形県飯豊町













## 事業概要

元採草地を「里山の森」に再生する。桜の森のほか、早春・ 初夏・初秋の花木の森、新・深緑の森、紅葉の森をつくり、 雪解けから降雪までの期間、人々が楽しめる里山に整備す

3年目の今年度で紅葉の森整備は完了する。また、「森づ くり」と「里山を考える」集いでは、今年度は、里山再生に 欠かせない「広葉樹の経済価値を高める」ことについて、講 師を招き研修した。子どもたちに森づくりに関心を持って もらうために苗木づくりを行う「森のホームスティ事業(県 事業) | を併せて行った。

## 事業成果

桜の森づくりもサクラ植栽が1haを残すのみになった。 森づくりが数世代にわたる取り組みが必要なことから、そ の一環として児童を対象に「苗づくりからの森づくり」を行 った。

## ●事業をよく知る関係者の声

- ・昨年に比べ、参加者が少なかった。特に子どもの参加対 策が必要。「焼き芋パーティ」を加えるのはどうか。(協議 会役員)
- ・講演会を午後から午前中に移したが、それでも帰る人が 少なくない。(協議会役員)

## ● 参加者の声

- ・木を植えるのが楽しかった。子どもの参加が少ない。(小 学生男子)
- ・植樹が短い時間で終わってしまった。ほかのイベントを 加えたらどうか。(60代地元男性)



植樹場所の整備



ヤマモミジ、ケヤキほかを植樹





「広葉樹の経済性を高める」についての講演

#### 実績とりまとめ表

## 作業内容

植付面積: 0.4ha 植付本数:40本 下刈面積: 0.8ha ポット苗づくり:150鉢

## 参加者数

県内:99人 計:99人

#### 樹種

ヤマモミジ、ケヤキ、イタヤカ エデ、イロハモミジ

# ふるさとの風景づくり植樹祭

福島県矢祭町









## ●事業概要

耕作放棄地等の復興をめざして、地元に関わりのある人たちで協働して、子どもたちに自慢できる風景を取り戻そうとする活動。植樹に当たっては、福島原発事故の復興を支援するため、原発事故で避難せざるを得なかった富岡町の夜の森桜を植栽した。

## 事業成果

耕作放棄地が整理され、よみがえった現地を見て、地域 の人たちにも好影響を与えている。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・地域でこうした活動はあまり例がないので、地域の人も 高い関心を示している。(地区住民)

## ●参加者の声

- ・今年は新型コロナでやむを得ないが、次年度は多くの参加者により実施したい。
- ・この地区の耕作放棄地が新しい風景によみがえるのはす ばらしいことだ。



植樹地の整備



サクラを植樹



下刈



作業参加者

## 実績とりまとめ表

## 作業内容

植付面積: 0.45ha 植付本数: 70本 下刈面積: 0.2ha 地拵え: 0.25ha

## 参加者数

県内:41人 県外:10人 計:51人

**樹種** サクラ

## 01R-11

## みんなでつくるみんなの森プロジェクト

## 栃木県那須塩原市



































## 事業概要

園児たちが、園庭林を生かした体験活動を通して、森林 の役割や森林整備の必要性を学びながら、すこやかに成長 することをめざす。

主な活動、①下刈と堆肥づくり、②生物のつながりを学 ぶ生物多様性ワークショップ、③森のようちえんの理念を 学び、園庭林のあり方を検討するグランドデザインワーク ショップ、④立枯木などの撤去、⑤立枯れ木などの間伐、⑥ 間伐材の有効活用を学ぶ薪割り、⑦ネイチャークラフト(⑦ のみコロナウイルス感染防止のため中止)。

## ● 事業成果

**園児たちが森林のなかでも安心して遊べるようになった。** 専門家に指導していただいたため、風土に適した森林整備 を手がける知識と技術を学ぶことができた。

当プロジェクトに参加した保育園の保護者の方が、当会 の活動を応援する会を結成。また、講師として協力いただ いた方々と新たな協力体制ができた。

下刈と間伐を行ったことで、日光が差し込むようになり、ヤ マユリ (日本固有種) が咲いた。

## 🦚 事業をよく知る関係者の声

- ・園庭には、畑地や混合林、庭園などで異なった生態系が 見られる。適切に管理することで生物のつながりを学ぶ 格好のフィールドとなり得る。(県自然環境調査員)
- ・園庭林には、園児が自ら遊びを見出すきっかけがたくさ ん潜んでおり、適切な手入れにより、園児の健全な成長 に寄与する遊び場になる。(森のようちえん指導員)

## 🦚 参加者の声

- ・刈り払い機の使い方を学べた。(30代男性)
- ・子どもの頃に森林で遊んだ記憶が蘇った(30代女性)
- ・木を切っているときにノコギリから伝わる感触が新鮮で 心地よい。(小学5年女子)



下刈と堆肥づくり



生物多様性について学ぶフィールドワーク





手動機械で薪割り

## 実績とりまとめ表

#### 作業内容

下刈面積: 0.2ha 間伐面積: 0.2ha

薪割り

参加者数 県内:77人

## 渡良瀬川源流の荒廃地緑化事業

栃木県日光市足尾町









## 事業概要

銅山の煙害で荒廃した足尾の山に木を植えることを通し て、自然環境の健全化に貢献することである。主な活動は 以下のとおり。①植樹後の下刈や枝打ちなどの管理作業(夏 の草刈デー、毎月第3土日の作業デー)、②小学校を中心と した団体の植樹活動の支援(体験植樹)、③ボランティアを 募集して植樹会 (春の植樹デー)、今回はコロナ禍で中止と なった。

## 事業成果

年間1万人の植樹参加者が使用する道具は消耗が激しく、 道具購入の継続した助成により円滑に植樹作業を行うこと ができた。熱中症対策やコロナ対策、またボランティア保 険料等の助成受けることで新たな課題を解決することがで きた。樹木管理や環境学習の講座受講により新たな事業展 開を進めることができた。

## 事業をよく知る関係者の声

・25周年を迎え組織を見直し、基本理念「自然環境を大切 にする心を育む学び舎です」をはじめ指針が策定され組 織のめざす方向が明確になった。今後の課題としては、人 材を育成する環境整備、支援者を増やす取り組み、PRの 拡充などがある。(コンサルタント業)

## 🦚 参加者の声

- ・未経験の児童にも分かりやすく、植樹作業も充実感を得 られた。優しく丁寧にご指導くださり子どもたちも嬉し そうに活動できた。(小学校教員)
- ・作業参加者のモチベーションを保つためにも、成果の見 える化のような工夫が必要だと思う。(作業デー参加)



体験植樹



植樹地の整備



苗木の管理



下刈

#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

植付面積: 0.4ha 植付本数:4336本 下刈面積: 0.4ha

#### 参加者数

県内:562人 県外:3359人 計:3921人

コナラ、クヌギなど35種

## 千葉の里山で竹林整備と竹の利活用

千葉県市原市、大多喜町、東京都港区























## 事業概要

千葉は全国第7位の竹林面積がありながら、タケの活用が少ないため放置されている。この放置竹林を整備し持続可能な社会に向けての、食料生産、対炭素社会への活動をしていく。昨年は台風が千葉県を襲い、竹林も大きな被害を受けた。その中で多くの参加者が倒木の片づけ、竹炭づくりに関わり、復旧作業を行った。

## 事業成果

チェンソーなどの装備があることは自助努力による復旧 も可能であり、地域での相互扶助の効果も得やすい。里山 活動は災害復旧に有効であると証明できた。きれいになっ た竹林では、タケノコがとれ景観も美しい。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・市原市は竹林が多く、過疎地域では高齢化が進み整備ができない状況である。協議会は、多くのボランティアを受け入れ、発達支援等デイサービスの子どもたちも招待するなど地域の活性化につながる活動を行っている。(前市原市長)

## ●参加者の声

- ・大多喜と市原の竹林整備に参加して達成感があった。今 後も参加したい。(30代会社員)
- ・毎年招待していただき感謝している。自然との触れ合い がすばらしい。(50代発達支援デイサービス経営)
- ・竹林整備は2回目で作業は楽しい、昼食もおいしい。(高校生)



竹林整備



タケノコ掘り



楽しく安全に



講師を招いて竹炭についての学習会

## 実績とりまとめ表

## 作業内容

竹林整備:0.8ha 竹炭作り:500kg タケノコ堀:約50本

参加者数

県内: 152人 県外: 78人 計: 230人

## 高尾小仏植樹祭 2019

## 東京都八王子市







## ●事業概要

約50年前の中央自動車道建設時に発生した小仏トンネルのズリ置場に市民の手による森づくりを行うことで、周辺の豊かな自然環境にふさわしい景観を創り、災害防止機能や水源涵養機能などを持つ森林再生の普及・啓発を行うことである。主な活動は、小仏盛土場で247人が参加し、郷土樹種の常緑及び落葉広葉樹を植える植樹祭を開催する。

## 事業成果

企業からの団体参加がさらに増えた。また、企業ブース のテントを設置して広報活動を行っていただいた。 森づくりの小冊子を参加者に配布し、植樹祭開会式まで の時間を有意義に過ごしていただいた。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・企業ブースを設置できたことで、多くの参加者が混乱な く集合できたので大変助かった。(企業の担当者)

## ●参加者の声

- ・毎年参加することで森の成長が見られて楽しみが広がっ た。また参加したい。(家族連れ)
- ・雨あがりで足元がぬかるんで作業は大変だったがやりが いを感じた。(初参加者)



植樹地全景



毎年参加し、木の成長を見守っている人も



広葉樹を植樹



247人が参加

## 実績とりまとめ表

#### 作業内容

植付面積: 1.04ha 植付本数: 3453本

#### 参加者数

都内: 123人 都外: 124人 計: 247人

#### 樹種

アカガシ、コナラ、イヌシデな ど38種の広葉樹

## サンシティD棟西台地の野草園化活動

## 東京都板橋区

## 事業概要

D棟西台地365mへの日照の確保、植え込む植樹木の被圧 を防止するために生育する中木の枝落としおよびオカメザ サを駆除するために林床を開墾。植樹および野草の植え込 み環境を整備して、17本のサクラの植樹、野草610株を植え、 憩いの公園化を図る。

## ● 事業成果

植樹地を1㎡・深さ1m掘削して、サンシティで醸成し た堆肥2:掘削した土壌8の割合で混ぜ合わせた土壌改良 を行った結果、植樹した梅樹は100%活着した。

住民・外部から参加者 (見学者含めて) は、緑を育てる仕 組みを学ぶことができたとの声をいただいた。

## ● 事業をよく知る関係者の声

植樹のサクラは、地域性からこれまでのソメイヨシノに 代えてヤマザクラなど在来種を選ぶべきと助言があった。

また、1㎡・深さ1mを掘削し土壌改良行った上で植樹 を行ったことを評価していただいた。

## ●参加者の声

- ・将来に向けたサクラ、野草公園の完成が生活をエンジョ イさせてくれる。
- ・自分で作業をやってみて、緑を維持することは地道な積 み重ねが重要で、また緑の中にいると気分が爽快になる ことを実感した。(レンジャー)



植樹穴の掘削



サクラの植樹



野草の植え込み



サクラの枯れ枝落とし

#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

下刈: 0.14ha

枝落し・チップ作業:72本

植付本数:17本 野草植込:610株

## 参加者数

計:212人

樹種 サクラ

## ののはな緑の小道プロジェクト

神奈川県相模原市





## 事業概要

園内で活用されていない場所を、井戸水を利用しながら 自然植物や生き物と共存できるコミュニティースペースづ くりを地域や保護者と共に行う。

主な活動は、①「自然体験活動」でのノウハウを生かし、さらに身近な自然、生き物への興味関心を高める、②環境整備(枯れ木の撤去、整地、伐採と剪定)、③専門家による自然環境指導と整備した木材を使用してクラフト活動、④植樹と小道づくりなど。

## 事業成果

日常の保育の活動の中で、自然の大切さや虫の特性などを知る機会をつくり、自然への関心を高めることができた。

保護者や地域の人も共に行うことで幅の広がった関係性を 得ることができた。

## ●事業をよく知る関係者の声

・観察や整備など、自然にかかわる活動を通して子どもたちの関心は高まり、植樹した場所で過ごす姿も多く見るようになった。自然との共存のありかたを学ぶこともできた。(コーディネーター)

## ●参加者の声

- ・シラカバが大きくなってきた。(5歳女児)
- ・枯れた木がなくなったら、ダンゴムシが少なくなった気がするよ。(5歳男児)



シラカバを植樹



生き物観察



生き物観察



葉のワークショップ

## 実績とりまとめ表

#### 作業内容

植付本数:11本 読み聞かせ:3回 ワークショップ:2回 生き物観察:4回

#### 参加者数

県内: 279人 計: 279人

## 樹種

シラカバ

## 次世代につなぐ里山づくり

## 福井県若狭町











## 事業概要

身近にある里山の荒廃が進んでいるなか、多くの人に里 山に関心を持ってもらうことと、子どもたちに自然環境の 大切さを学び、行動できる力を身に付けてもらう。主な活 動は、①落葉広葉樹の植栽する第12回ミニ植樹祭、②子ど もたちが自然に親しみ、自然環境問題について身をもって 学ぶ、③過去の植栽地の管理作業を通年実施。

## 事業成果

これまで手付かずだったササ地の開拓を行い、第12回ミ ニ植樹祭でクヌギとヤマグリを植樹した。今回でほぼ植樹 を終えることができた。

間伐体験を年間2回実施し、伐採、搬出、玉切り、薪割 りなど活動を実施できた。

## 事業をよく知る関係者の声

・毎年、国立若狭湾少年自然の家職員の研修を受け入れて いる。その目的は、少しでも子どもに寄り添った活動に 繋げたいという思いである。長く継続して参加している 子どもたちが多いため、活動が自主的でスムーズに行わ れていることと、準備から後片付けまで参加者が行って いるなどが評価されている。毎年課題としてあがってい た参加者減少は、解消されつつあるが、スタッフの高齢 化と若いスタッフの育成が大きな課題となっている。

## ●参加者の声

- ・自粛生活で溜まっていたストレスを発散できた。スギを 一人で伐り倒せたことはうれしかった。(中学2年女子)
- ・子どもたちの生き生きして活動している姿を見ることが でき、成長したなあと感心した。とても良い体験活動だ った。(小学3年女子の母親)



第12回ミニ植樹祭



獣害対策のネットを取り付け



「森のしごと体験 | 玉切り



「秘密基地づくり」タケで炊飯

#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

植付面積: 0.3ha 植付本数:20本 下刈面積: 2.4ha 間伐面積: 0.2ha 環境整備:16回 自然体験活動:8回

## 参加者数

県内:238人 県外:4人 計:242人

#### 樹種

クヌギ、ヤマグリ

## 昆虫の棲める里山再生

山梨県北杜市長坂町、須玉町、高根町























## 事業概要

目的は、国蝶オオムラサキの日本一の生息地である北杜市の里山林を保全し、未来に伝えるためである。主な活動は、近年高齢化により管理放置され荒廃の一途をたどっている里山林の下刈、間伐、風倒木の整理やオオムラサキの餌となるエノキ、クヌギの苗を皆伐地に植樹して里山林を再生している。これまでの成果としては、令和元年6月現在、クヌギやエノキの苗を10万本植樹し下刈面積は55haに及ぶ。

## 事業成果

管理放置したままの風倒木・枯損木が乱雑に放置され鬱

蒼とした里山林が、明るくなりオオムラサキなどの昆虫の 棲める里山環境に改善され、里山景観もよくなった。

これまでの活動実績が評価され、北杜市、韮崎市エリアの情報月刊誌にも取り上げられ地域住民の認知度理解度が深まった。活動を通して若手林業者との連携を強めた。昆虫の棲める里山再生活動の取り組みについての講演依頼が多くなっている。

## 参加者の声

- ・里山を再生する活動に共感する。
- ・植樹で小さな子どもにもやさしく指導をしてくれありが たい。



エノキ、クヌギ、ヤマザクラなどを植樹



下刈



5000本を植樹

## 実績とりまとめ表

## 作業内容

植付面積: 5.9ha 植付本数: 5000本 下刈面積: 35ha 間伐面積: 2.0ha

キノコの原木栽培教室:2回

## 参加者数

県内:2280人 県外:38人 計:2318人

#### 樹種

エノキ、クヌギ、ヤマザクラ

## 猿投山北西山麓の環境林整備

## 愛知県瀬戸市















## ● 事業概要

県有林やまじの森・私有林・東大演習林において、環境 林として整備するとともに名古屋近郊の市民が森の恵みを 感じられる森づりを行う。

主な活動は、人工林の間伐、自然観察道の整備、雑木林 の除伐、林道整備など。森の手入れの体験、幼稚園児への 体験学習(森の探検隊)、なごや環境大学の講義(水源の向 こう~水源の森へ) などの森の機能を理解する教育などを 実施する。

## 事業成果

県有林やまじの森の緑化政策時に植えられたハリエンジ ユなどが巨木化しすぎているので除伐した。下層植物の生 育が期待できる。手入れの進んだ猿投の森をベースに自然

観察会、森の探検隊、なごや環境大学、長久手まちセン祭 り、環境デーなごやなど一般参加者への森の働きを啓蒙す る活動も実施。森には休養、観察、トレラン、ハイキング などに訪れる人が増加した。

## 事業をよく知る関係者の声

・関係機関から、森が明るくなり訪問者の安全確保の観点 も含め良くやっていただいていると評価されている。計 画した人工林の間伐は進んでいる。

## 参加者の声

- ・森で汗をかく作業が楽しい。森を訪れる人から感謝の声 をかけられると気分が良い。(森の会員)
- ・水源の森がいかに大切か理解できた。(なごや環境大学講 座受講者)







枯損木の伐倒



白然観察会

## 実績とりまとめ表

## 作業内容

除伐面積: 0.6ha 間伐面積: 0.4ha 自然観察道整備:3.2km 作業道整備: 1.5km

参加者数 県内:1189人 計:1189人

## 環境問題について考え、自然と触れ合おう

## 三重県津市





## 事業概要

木育を通じて子どもたちの積極性・役割意識・協調性・ 社交性・自信などの社会的情動的スキルを育てる。主な活動は、①山の環境や木についての勉強、②木を大切に、身近に感じるために木を使ったクラフト教室、③市内の里山へ行き、山の環境を実際に見て、自然と触れ合う体験、④市内の公園でどんぐりの実の収集し、施設内で植樹できる苗木まで育てる、⑤星の観察など。

## 事業成果

森林インストラクターと星マイスターの資格をもっている方から指導を受けたので、参加した子どもたちは専門的な知識を教えてもらうことができた。さらに、どんぐりの実をたくさん収集できたので、今後の植樹活動のために苗木に成長するまで育てる準備ができた。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・子ども達の自然に対する関心が予想以上に高いと感じた。 どんぐり拾いでは、大きさや形の違いから、たくさんの 種類があることを子ども達自ら気づくことができた。実 を植える作業もとても興味を持っていた。今後このまま 育苗を続け、植樹活動を行いたい。(どんぐりの会職員)

## ●参加者の声

- ・川が澄んでいて野菜を川で冷やして食べるなど、普段の 生活ではできない自然と触れ合う体験ができた。(どんぐ りの会職員)
- ・ 渓流にかけたブランコが楽しかった。(小学生女子)
- ・初めて川に飛び込んで遊んだ。川がとてもきれいだった。 (小学生男子)



クラフト教室



山の環境を勉強



ノコギリを使って



どんぐり拾い

## 実績とりまとめ表

## 作業内容

クラフト教室:1回 木こり体験:1回 どんぐり拾い:1回 星空観察:1回

## 参加者数

県内:112人 計:112人

## 揖保川源流の森づくり

兵庫県宍粟市、明石市、姫路市、神戸市



## ●事業概要

揖保川の自然風土を後世に引き継ぐ活動を通し、地域住 民の森林に対する意識を高め、地域で交流をはかり、地域 の森づくりを推進する。

## 事業成果

今年は新型コロナウイルスの影響もあり、イベントとし てはドングリ拾いしか実施できなかった。

ドングリの植樹会はイベントとしては中止し、会の役員 のみで小規模に実施した。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・シカ対策のためにも、できるだけ大きな苗木を育てるため、最近では大きな畝で育苗を試みている。伸びた苗が横に成長するのではなく、上に伸びるよう葉の剪定をするようにしている。

## ●参加者の声

・ドングリ拾いをする時期は涼しくなる頃だが、いつも体 を動かすと汗ばむくらいの陽気で、ドングリをたくさん 拾った後はさわやかな気持ちになった。



ドングリ拾い



植樹



植樹



下刈

## 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 1ha 植付本数: 300本 下刈面積: 2ha ドングリ拾い

#### 参加者数

県内: 171人 計: 171人

## 樹種

ミズナラほか広葉樹

## 新元号(令和) 記念植樹祭

## 広島県廿日市市























## 事業概要

「山の日 (8月11日) | に小室井山 (標高1072m) の山頂付 近で植樹を行った。参加者自身の手で植え育てる。この活 動を通して、山の恩恵を見つめ直し、山の恩恵を深めてい くことを目的に植樹をした。山の日と森林に対し感謝と理 解を深め、森林再生へのきっかけづくりとした。主な活動 は、次のとおりである。①祝日の「山の日」にあわせて植樹 祭を開催、②小室井山に登り、山頂付近に一人1本の苗木を 記念植樹、③小室井山に登れない方は麓で植樹、④2回目の 植樹祭を9月15日に開催、⑤植樹に当たっては、事前に地 拵えを行い植えやすい環境をつくった。また、安全に登山 するため登山道整備(草刈り)を行った。

## 事業成果

新元号(令和)の新時代の幕開けを記念できたと大変喜ば

れた。一人1本オーナー苗を植樹する活動を広島から発信、 次世代に引き継ぐ第一歩とすることができた。

広島市内の施設の児童(知的障害者)が参加した。障害者 と健常者が一緒に行動をしたことでお互いを思いやる心を 学ぶことができた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・継続した植樹の活動は、苗木の生長を確認することで森 林保全活動への参加意識の向上につながる。(公務員)
- ・体力に見合う会場に分けての植樹は、参加しやすい企画 であり、これからも継続してもらいたい。(公園関係者)

## 参加者の声

- ・毎年家族で来ている。花が咲くころ来たい。(小学生)
- ・健常者といっしょに植樹を行う体験は今回が初めて、大 変良い企画で感謝している。(施設職員)



ゲツツジの植樹



ネームプレートの取り付け



植樹後に水やり



「山の日」の植樹祭には156人が参加

#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

登山道の草刈り:2000m 植栽地地拵え: 0.1ha

植栽:200本

#### 参加者数

県内:240人 計:240人

#### 樹種

レンゲツツジ

## 「山野草350種の花が咲く」森の保存による里山事業

## 山口県鹿野町







## 事業概要

貴重な山野草350種の生きた図鑑づくりのため森の保護活動を行う。保護し後世に残すため、新たな山野草の植栽と来園者に分かりやすい花のプレートを設置する。

## 事業成果

ヒメササユリ200球とセツブンソウ100株の植栽により、 西日本でも数少ない群生が見られる場所となる、写真入り の花の山野草紹介プレート30枚が追加され、花が咲かない 時期でも学べる森となった。

## ● 事業をよく知る関係者の声

- ・植栽により花の群生化が進み多くの人が感激している。 (鹿野やまなみ荘理事長)
- ・継続した手入れと後継者の確保が課題。

## ●参加者の声

・この取り組みに達成感を感じている。来園者が増えてき ていてうれしい。



ヒメササユリ、セツブンソウの植え付け



山野草紹介プレート



山野草の特徴などが書かれている

## 実績とりまとめ表

## 作業内容

植付本数:300

# 参加者数

県内:32人 計:32人

## 森づくり活動拠点での体験ふれあい事業

徳島県美馬市





## ●事業概要

適切な森林整備が難しい100ha~300haのまとまった森林活動拠点において、森林整備を実施し、環境保全の重要性並びに豊かな森林を次世代に引き継ぐ県民総ぐるみの森づくりモデル団地の役割を認識してもらう。①皆伐後の森林への植栽、②県産材を利用した木工クラフト、③木に触れ温もりを感じる木育広場、④森の香りを楽しもう「杉と桧のアロマスプレーづくり」。

## 事業成果

過去最大の参加数となった今回の活動から、豊かな森林を次世代に引き継ぐことや、森林整備の重要性が浸透し、森林保全への意識が高まっていることが実感できた。また、参加企業の多くがSDGsに関心を持っている様子がうかがえたことにより、今後もSDGsに貢献できるメニューの提案が重要であることがわかった。

## ● 事業をよく知る関係者の声

- ・地元の伝統行事なども交流行事に取り入れながら、地域 に根ざした活動として今後も定着してほしい。(地元ボラ ンティア)
- ・森林活動拠点を地域の方々と社員がいっしょになって保 全できる。この取り組みにより社員の環境への貢献意識 も年々高まってきていると感じる。(企業担当者)

## ●参加者の声

- ・何十年後、きれいに紅葉すると思うと、手に力が入り頑 張ろうという気持ちがわいてきた。これからもこのよう な活動を続けて徳島の山をもっと美しくしたい。(小学 生)
- ・なかなか体験できない植樹活動や丸太切り体験、木工クラフトなどを通じ、子どもたちが自然や環境について考える良い経験となった。(40代男性)



スギ、カシ、イタヤカエデほかを植樹



伐採跡地に植樹



木に触れ温もりを楽しむ



アロマスプレーづくり

#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

植付面積:2.2ha 植付本数:4400本

#### 参加者数

県内:534人 県外:15人 計:549人

#### 樹種

スギ、カシ、イタヤカエデ、ト チノキ、クリ

## 湘南国際村めぐりの森づくり

神奈川県横須賀市、葉山町























## 事業概要

「湘南国際村めぐりの森」は、民間事業者により約20年前 から300haにわたる開発が行われていたが、業績不振に陥っ た会社が神奈川県へ無償譲渡した土地112haである。 荒れ地 となった土地をどう再生したらよいか検討したところ、横 浜国立大学・宮脇名誉教授が提唱している土地本来に生育 する常緑広葉樹林に再生する気運が高まり、県は2008年よ り森林再生を市民による協働参加型による活動を始めた。 自然環境の復元、里地里山の持続的管理のための社会的枠 組みや利活用方策等に関する普及啓発に寄与するものと考 えられる。具体的な内容は、①通年の育樹、②通年の荒廃 地の大地再生施工、③通年の各種調査、④植樹用マウンド の施工、⑤年間2回の公開イベント植樹祭、⑥実地訓練型 「森林再生指導員」認定事業、⑦通年活動には一般ボランテ ィアの体験参加も受け入れる。

## 事業成果



潜在自然植生種を植樹



土壌調査



第17回植樹祭



植生調査

## 令和元年11月に1140本の苗木を植樹する第17回湘南国際 村めぐりの森植樹祭を開催。来場者は予約を上回る268人と なった。令和2年5月に第18回植樹祭を開催予定であった がコロナ感染予防対策の影響にて中止。植樹事業を推進す るため、運営メンバーのべ約100人で4月~7月の3ヶ月間 に渡り通年作業の中で植樹した。

定例の植樹祭以外に港北区青少年指導員協議会の主催す る「港北区自然体験教室」が実施された。

## 🧼 事業をよく知る関係者の声

・植樹体験は植樹リーダーが各班に配置され、手厚いケア のもと怪我や事故もなく終了した。(運営メンバー)

## 🦚 参加者の声

- ・初めて参加させていただき有意義な時間だった。良いこ とにつながる経験ができ、すばらしい活動だと思った。
- ・植樹についてどういう効果があるか、勉強会があると良 いと思った。

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数:5090本 大地再生: 0.17ha 草刈: 0.16ha 育樹: 0.24ha

## 参加者数

県内:771人 県外:63人 計:834人

#### 樹種

潜在自然植生種32種

## さばえの里山と人を結ぶ SDGs への森づくりプロジェクト

## 福井県鯖江市



















## 事業概要

荒廃が進む里山を再生するために、市内の小学生を対象 に各小学校で7月から11月にかけて森づくり教室(小学 校)、どんぐり拾い(近くの公園や里山)、植樹祭(地区の里 山)などを実施した。10月には市民・企業・NPOを対象に 市民植樹祭を実施。また、鯖江市の里山から伐採したスギ・ ヒノキなどを利用して子どもたちや病児を対象に児童館な どで広報活動を実施し鯖江の森からSDGsを発信した。

## 事業成果

荒廃が続く里山の整備により京都や福井の学生、地域の 小学生の参加・障がい者・企業ボランティアの参加により 森づくり活動の輪が広がってきた。今年度は、植樹から育 樹活動を続けながら木を使い活かす活樹へとつながる木育 活動を、子ども達の森づくり授業を中心に森林のSDGSへの 転換を図る第一歩となった。

## 🦚 事業を良く知る関係者の声

・どんぐりからの命の森づくりと間伐材を利用した木育活 動など、鯖江の森からSDGSへと発信する事はできたが、 予算などの関係もあり歩道整備や除間伐整備はあまりで きなかった。

## 参参加者の声

・森の授業を通して、木を植えて育てて木を使う活動はこ れからの地球温暖化防止には大切だとわかった。(小学4



ドングリから苗を育てる



小学生による植樹



椅子づくり



児童館で木に親しむ

#### 実績とりまとめ

## 作業内容

植付面積: 0.55ha 植付本数:3000本 下刈面積: 0.6ha 除伐面積: 0.5ha 木育活動:9回 森の授業:34回

#### 参加者数

県内:3112人 計:3112人

## 樹種

広葉樹

## グリーンベイOSAKA 森を育てる活動

## 大阪府堺市











## ● 事業概要

大阪湾における津波を防ぐ海岸防災林をめざして、大阪 府堺市産業廃棄物最終処分場であった埋立地にて第13回植 樹会を実施した。植樹後は草刈、施肥、冠水などの維持管 理活動も行った。今回は活動予定日の数週間前に実施日を 変更したため参加人数が減少した。

## ● 事業成果

560本を植栽した。これまでにおよそ 1.4ha 植樹したこと になる。しかし、これまでに植樹したところにクズの繁茂 が散見された。森を持続的に管理していくことが今後の責 務のひとつと考えている。

## 事業をよく知る関係者の声

・この植栽地は「共生の森」(約100ha)の一部である。「共 生の森」で活動する他団体と、問題が発生すると、ともに 考えることも欠かせない。私たちの植栽現場が森のよう にうっそうとしてきたところにクズが繁茂してきた。こ れは森全体として課題でもある。今後はクズ対策に迫ら れてくると思われる。

## 参加者の声

・産業廃棄物の埋めたて地が「森に見える」ように変わって きた。すばらしい取り組みだ。



アカマツほか13種を植樹



59人が参加

#### 実績とりまとめ

## 作業内容

植付面積: 0.1ha 植付本数:560本 下刈面積: 0.46ha

#### 参加者数

府内:59人 計:59人

#### 樹種

アカマツほか13種

## 菊炭と里山を未来につなぐプロジェクト

## 大阪府能勢町





















## 事業概要

目的は、地域の伝統燃料であるクヌギの製炭を核として 都市農村交流事業から、都市部の理解者、協力者が徐々に 増えてくる中、今後もこうした地域のファンの増加、SDGs の意識の普及啓発のもと持続可能な里山環境づくり、ひい ては広い圏域の地域活性化である。本年は植樹の意義をド ングリに焦点をあて流域の循環について考える機会を加え て実施した。①講演会と山の現場を歩き、農山村と都市部、 森林と川下の関係を学び、環境保全の実践につなげる。② ドングリからクヌギ苗を育てるためのドングリを植えるプ ロジェクト。③生木を使ったグリーンウッドワーク体験会。 ④菊炭と里山を未来につなぐ植樹会。

## 事業成果

9月に植樹地で講演会を行い、都市農村のつながりや 人々の小さな意識から環境保全が始まることを確認できた。 また、この講演会を皮切りに初の試みとして、都市の人達

と地元のドングリを植え、育てるプロジェクトを開始した。 都市でのドングリは獣害もなく順調に生育しており、参加 者との交流が深まった。次年度の植樹には今年度のクヌギ 苗を持ち寄り植樹予定である。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・地元高校生の実践の場であり、一般住民と実際に協働す る場としても今後も継続参加していきたい。(高校教員)
- ・都市と農村の関係をこれからもつくっていきましょう。 (コンサルタント関係者)

## ●参加者の声

- ・様々な分野の連携がこれからますます重要。教育が大事。 (40代男性)
- ・山と海がつながっていることの重要性を感じた。(70代女
- ・能勢町の誇るべき宝を他の地域にも広がればと期待する。 (70代男性)



クヌギの植樹



シカ害防除ネットの設置





森のなかで講演会

#### 実績とりまとめ

## 作業内容

植付面積: 0.21ha 植付本数:200本 下刈面積: 0.21ha 除伐面積: 0.2ha イベント:7回

## 参加者数

府内:201人 府外:13人 計:214人

## 樹種

クヌギ

## 「地球に緑を 桜島を緑に」どんぐりの照葉樹森づくり

## 鹿児島市桜島

















## ● 事業概要

植栽地は桜島の麓で鹿児島市有地(採石場跡地)でクズがはびこる荒れ地である。錦江湾近隣の学校で「緑の少年団」のある学校(21団体)を実行委員(巡回指導員)が定期的に訪問し桜島に既存しているどんぐり種(ウバメガシ・アラカシ・マテバシイ)採種し種蒔き・鉢上げ・鉢替え等の育苗体験活動を計画的・継続的に体験させ苗を育てる喜びを味わってもらい、3年間育てた苗を鹿児島のシンボル桜島に植栽する体験活動で森林の役割と地球温暖化防止及び砂防等に関心・意欲を高めることを目的としている。

主な活動は、①下刈り・枝打ち作業、②第19回桜島どんぐりころころ植樹祭、③追肥活動・補植活動。

## ● 事業成果

県地球温暖化対策課の査定で、6年連続CO2吸収量認証の交付を受け、団員は誇りにし、地球温暖化に関心を持ちながら学校での育苗や現地での植樹に取り組めている。

下刈り・枝打ち作業・追肥活動を実施したことで、参加者(緑の少年団員)は、森林は手入れが不可欠であることを 学び森林を育てることに興味・関心を示した。

## ⇒事業をよく知る関係者の声

・継続した植栽活動が桜島の自然に根づき大きな森となり つつある。このことは、現地での植栽や下刈の活動等と あわせ、緑の少年団や各学校での蒔種から育苗と継続し た活動とそれを指導されてきた方々の取組の成果でもあ る。(鹿児島県庁地域振興局林務水産課)

## ●参加者の声

- ・ 夏の暑い日の下刈や枝打ちは大変だったが、下草や余 計な枝がなくなりスッキリ感と達成感を覚えた。また、お 互いに手伝って、仲間作りもできた。(緑の少年団員)
- ・生徒たちは、ある程度の知識はあるが、その内容を「感じる」ことが不足している。今後も、体験活動を大切にしてしていきたい。(教員)



植樹地への客土入



苗木



ウバメガシ、アラカシ、マテバシイなどを植樹



実行委員による植樹

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.22ha 植付本数: 1024本 下刈面積: 1.68ha

## 参加者数

県内:193人 計:193人

#### 樹種

ウバメガシ、アラカシ、マテバ シイ

# 子どもたちの未来の 森づくり事業



緑の募金では、「ファミリーマート夢の掛け橋募金」並びに(株)ファミリーマートの募金寄付により都道府県緑化推進委員会推薦事業として「子どもたちの未来の森づくり事業」を 実施しています。

## にちようびの森~森で育つこどもたち

## 北海道帯広市















## 事業概要

多世代で誰もが気軽に集える森のコミュティーセンター をめざし、活動を通じて森づくりへの関心を喚起し、担い 手育成を行うこと。①あそびの森のあしあとづくり:木こり 体験やチョウセンゴヨウ、オオアワダチソウの駆除等の森 の手入れ、薪割り、フィールド内の地図づくりや自然観察 など。作業もあそびの一環として楽しめるような工夫と、参 加者が何をするか、どう過ごすかを自由に選べる形態にこ だわって実施。②はぐくーむ秋まつり参画:森の素材を使っ ての楽器づくり。

## ● 事業成果

帯広の森の拠点施設はぐく一むとの協働により、市の広 報等を通じて広く市民に事業が周知され、森づくりへの関 心が高められた。親子で参加することで、森に親しみを持 ち、楽しみながら森づくりや仲間づくりができた。馬とい っしょに伐倒・除伐などの森づくり作業を行うことで景観

## が整ってきた。

## 事業をよく知る関係者の声

・幅広い年齢層が森づくりに携わり持続的な取り組みとな っている。作業を遊びや学びのきっかけととらえ展開さ れる活動は私たちにも気づきが多くとても参考になった。 今後の課題は参加者(ボランティア)が継続して集う仕組 みづくりと中核メンバーの育成だと考える。(帯広の森・ はぐく 一む)

## 🦚 参加者の声

- ・間近で見た馬の大きさ、木を引く姿の迫力、セミの抜け 殻が金色でとてもきれいだった。発見がいっぱいの、初 めての森でした。(30代母親)
- ・お友だちとミミズ探しや車の荷台に乗って作業したり、根 っこ掘りをして長さを競ったことが特に楽しかった。(小 学6年)



楽器づくり



木こり体験



「馬といっしょに森づくり」



## 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積:2ha 下刈面積: 0.2ha 間伐面積: 4.1ha 馬による搬出: 4.1ha 道づくり:100m つる切り: 0.1ha

#### 参加者数

道内:416人 計:416人

## こまおかの森げんきづくり事業

## 札幌市南区







## ●事業概要

目的は、子どもたちが緑を愛する健全な心身を養い、社会のために役立つ自主的な活動を行うことで、自然物への愛着が深まり、自然愛護の心情を養うことである。また、地域の方との活動を通して、子どもたちの活動を地域へ発信することである。さらには子どもたちの体力強化、健康増進にも効果を期待している。主な活動は、学校裏に隣接する「学校林」で、樹木や植物、野鳥、虫の観察を行う。その他に森の学習会、植樹体験、育樹体験、巣箱はずし、巣箱かけ、マイツリー活動、ツリークライミング、ネイチャーゲームなどの自然体験活動である。

## 事業成果

児童が自然体験的な学習を通して、学校林を有する自分 の学校への愛着をもつことができた。 また、学校林での体験活動や学習活動を通じて、動植物の生態に興味・関心をもち、学びを深め、自然とつながろうとする意欲をもつことができた。

地域の方や保護者との交流が生まれ、自然体験活動を通 して豊かな人間性が育まれるとともにコミュニケーション 力が養われた。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・様々な体験を通じて、楽しみながら学びを深める学習活動がすばらしい。継続して取り組むことが児童と自然をつなげることになる。

## 参加者の声

・ツリークライミングは来年もぜひやりたい、一番大好き な学習。(小学生)



生き物観察



ツリークライミング



森林整備



巣箱かけ

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積: 1ha 除伐面積: 1ha 間伐面積: 1ha

# 参加者数

道内:22人 計:22人

## 子どもと馬を中心にしたコミュニティによる森林整備及び森林環境教育事業

北海道苫小牧市















## ●事業概要

地域の小学生とともに、なるべく化石燃料を使わず馬を活用した整備作業を通して、子どもたちへの森林環境教育活動の推進と、北海道的里山モデルの構築をめざす。そのために、かつて「森のようちえん」に参加していた小学生を対象に行っている放課後体験活動「森っこアフタースクール」と連携し、馬による森林整備をからめた森林環境教育活動を提供した。また、かつての「森っこアフタースクール」参加者をボランティアとして募集し、活動に協力してもらった。土日を活用し、保護者も参加できるイベント「森っこホリデー」を実施。

## 事業成果

ボランティアスタッフが加わったことで、安全管理能力が向上し、馬を使った整備活動にも子どもが少しずつ関われるようになった。対象地が幼稚園の敷地であるため、同様の取り組みをしたいと視察があり同様の活動が実施され

## るようになった。

## ⇒事業をよく知る関係者の声

・専門家や卒園した子どもの保護者が手入れをしてくれる ことは、本当に有意義でありありがたい。今の園児たち にとっては「憧れ」になるからです。このように、幼稚園 という一つの場が、森や馬を通して世代や業界を超えて つながっていくことに大きな意義を感じている。(ひかり の国幼稚園園長)

## 参加者の声

- ・活動現場を見た瞬間、「これはうちでもやる」とすぐに決めた。少しずつだがノウハウや経験を積み重ね、当園でも少しでも早いうちに実施できる体制をつくりたい。(浦河フレンドようちえん園長)
- ・OBとして関われていることにとても嬉しさを感じている。かつての自分を「こんなふうに楽しんでたんだ」と振り返るいい機会になっている。(高校生ボランティア)



危険木の伐採 (専門家による)



薪割り



馬搬



子どもたちが柵張りなどを行う

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積:0.5ha 間伐面積:6ha 親子イベント:2回

参加者数

道内:538人 計:538人

## ふるさとの森・遊びの森作り事業

## 北海道恵庭市











## ● 事業概要

失われていく自然環境の保護と、自然の中の厳しさや五 感を生かした保育の充実を主として活動を行う。主な活動 は、市内幼稚園、保育園、こども園の自然体験活動の利用、 市内学童の放課後育成事業における自然体験、市民への自 由開放を行う。

## ● 事業成果

森を生かした、教育・保育については6年目となり年々 森と子どもたちの結びつき、カリキュラムが増し、子ども たちにより良い環境教育を提供できている。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・森林における環境学習を行うことで、子どもののびのび とした成長と自信をもって様々なことにチャレンジでき るようになった。(保護者)

## ● 参加者の声

- ・森の生き物や虫のことがくわしくなった。(園児5歳)
- ・子どもも大人も森林の中で活動することで公園遊びとは 違う感性で遊びを広げ、家族との関わりも良い変化をも たらしてくれた。(保護者ボランティア)



北清の森(幼稚園森の活動)



北清の森 (小学生森の活動)



川游び



木工体験

## 実績とりまとめ

## 作業内容

間伐面積: 0.2ha 自然保育:28回 野外活動:25回 教育キャンプ:1回:

## 参加者数

道内:76人 計:76人

## 「里山観察・間伐材でものづくり」まるごと体験ツアー

## 青森市























## 事業概要

森林体験や木工体験を組み合わせた新たな体験プログラ ムによって、家族や仲間が「森づくり」の大切さを楽しく学 べる機会を提供しようとするもの。そのため、青森市浅虫 において「里山観察・間伐材でものづくりまるごと体験ツア ー を開催。

「森林体験」、「ものづくり体験」、「バイキングの体験」、「 温泉体験」、まさに、まるごと体験ツアーとなった。

本事業の趣旨と内容を青森市民に広く知ってもらうため、 11月1日から3日間、青森市民美術展示館において「緑の めぐみ展しを開催。ビデオ放映や写真展示コーナー、木材や 木の実を使った作品展示コーナー、ものづくり体験コーナ ーなどの内容で、入場者は282人であった。

## 事業成果

「森林体験」と「ものづくり体験」を同時体験したことによ

って、参加者は森と木の関係を感じたようだった。「間伐材 を利用することが森づくりに繋がる | ということを認識で きるきっかけとなると思われる。

## 事業をよく知る関係者の声

・今後、本イベントへの参加者増加が予想されており、そ の時の対応が課題となっている。参加者20人に対して一 人のガイドが必要である。(あおもりクアガイド協会)

## 参加者の声

- ・身近にこんな素晴らしい自然があったなんて知らなかっ た。子どもたちにとっても夏休みの良い思い出となった。 (保護者)
- ・市民にとって森林が親しみやすく身近な存在と感じられ 良いイベントだ。(元公務員)



まるごと体験ツアー 森林体験



ものづくり体験



緑のめぐみ展



緑のめぐみ展 ものづくり体験

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

森林体験とものづくり体験 森林体験活動の報告とPR活動 ものづくり体験活動

#### 参加者数

県内:386人 計:386人

## 三川長根の種まき桜保存事業

岩手県花巻市







## 事業概要

地域のシンボルとなっている花巻市指定文化財の「三川長根の種まき桜」の樹勢回復措置を図り未来に引き継ぐ。

## 事業成果

かなりの年数の経過したサクラの大木で、特殊伐採により枯損箇所の除去を行い、樹勢回復により未来に引き継ぐ ことができた。

## ●事業をよく知る関係者の声

・適切に管理されており、景観維持にも協力をいただいて いる。今後も地域住民の管理によってサクラが守られて いくと期待されている。

## ●参加者の声

・特殊伐採を初めてみたが、細いロープを操り枝がしなって曲芸のような仕事だった。樹形がすっきりした。



薬剤散布



施肥



枯れ枝の伐採



三川長根の種まき桜

## 実績とりまとめ

## 作業内容

草刈り: 0.4ha 刈り払い: 0.1ha

# 参加者数

県内:21人 計:21人

## 地域全体で守る子どもの学び場事業

## 岩手県陸前高田市









## 事業概要

陸前高田市広田町に住む子どもたちが、自然のなかでの びのびと遊ぶきっかけをつくるための取り組み。主な活動 は、週に一度会議を行い、企画を設計し、広田町において 森の中で行う自然遊びの企画を実施する。

## 事業成果

7月から1月まで計5回の企画を実施。計21人の児童が参加。活動を楽しいと感じている児童が多く、何度も参加する児童もいた。また、回数をこなすごとに当企画の存在が少しずつ広まり、町の住民の集りにて当企画の話が出たことがあることを確認した。当企画の作成に携わりたいと声をかけてくれる町の人もいた。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・この町は自然は豊かだが、一軒一軒が遠く児童数も少な

- い。そのため、山や森は身近にありつつも、自然に触れ遊ぶという機会は少ない。自然で遊ぶこの企画は、正しい山での遊び方を理解しつつ、多様な経験を得られる活動である。(保育士)
- ・今後は、この企画がより高いレベルで継続的に行われる よう、参加する大学生の研修や参加する保護者へ、事業 について、その目的を伝える機会などが必要ではないか。 (記者)

## ●参加者の声

- ・参加した子どもが一人で木や草で工作をするようになった。(保護者)
- ・より自然に溢れる木々や花を使った企画を工夫してほしい。(保護者)



親子で自然と触れ合う



木登りに挑戦



セミの抜け殻を探す



落ち葉を集め感触を楽しむ

## 実績とりまとめ

#### 作業内容

自然遊びイベント:5回

## **参加者数** 県内:21人

計:21人

## 夢と未来の森キッズ育成協働事業

## 宮城県利府町















## ● 事業概要

学校や子ども会が安心して自然体験活動を行うためには、 見通しが良く、安全で安心できるフィールドづくりと、活 動を主導する森のプロ団体の支援が必要である。

そこで、①学校や子ども会が活動しやすい近場でかつ駐 車場が確保できる森林を安全にさまざまな自然体験を楽し めるレベルまで整備する。②安全でかつ魅力的な森づくり・ 自然体験プログラムを提案する。③経験豊富なスタッフを 配置して、子どもたち安全に楽しく森のこと自然のことを 体験しながら学べるイベントを実施し、森に行くことが普 通のことになる地域づくり、社会づくりをめざした。

## 事業成果

整備されたフィールドは、地域の方々に広まり、散策な どを楽しむ方々を常に見かけるようになった。夏には、虫 かごと網を持って遊んでいる親子にもたくさん出会った。

確実に地域の自然体験の普及に貢献した事業であった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・明るく素敵なフィールドができた。近年のクマの出没増 加という面からも、このような整備はとても大切であり がたい。(県民の森管理事務所所長)
- ・近年心配になってきているナラ枯れ、マツ枯れ、ハチの 巣の発生等を監視するという面からも、散策者が多い県 有林を整備し、常に目を光られてくれることはありがた い。(県森林整備課職員)

## ●参加者の声

- ・クワを使うのがむずかしかったけど楽しかった。(小学4
- ・貴重な活動機会を与えてもらった。これからも継続して いきたい。(小学校教員)



ヒノキ、ヤマボウシほかを植樹



遊歩道づくり



竹ベンチづくり



巣箱かけ

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.1ha 植付本数:92本 下刈面積: 1.72ha 除伐面積:1.11ha 間伐面積: 0.1ha イベント:6回

#### 参加者数

県内:699人 県外:15人 計:714人

ヒノキ、ヤマボウシほか

## アウトドアで科学するサマーキャンプ実施とその指導者養成

## 仙台市青葉区







## ● 事業概要

スウェーデンで実施されているアウトドア教育プログラムを、宮城学院森のこども園の園庭や遊歩道を使って実施する。その実施に当たって、自然学校(キッツ森のようちえん)と県内の大学等の保育者養成校と連携して、アウトドア教育の指導者養成を行う。「サマーキャンプ」では、実際に、子ども・子育てに関わる大人が子どもたちと一緒に社会課題(自然環境保全など)の解決に取り組み、生涯学び続ける「持続可能な学び」を提供する。

## 事業成果

遊歩道の入口周辺の下刈を行うことで、大型のティピーテントを設置することができた。園庭とは違う起伏のある遊び場となっている。また、県緑化推進委員会と共催した記念講演会および記念植樹を行い、園児と教職員、本学学

生への森林体験活動を通した学習機会を提供することができた。

## ●事業をよく知る関係者の声

- ・県緑化推進委員会、森林インストラクターと大学の連携 によって、園児と教職員・学生が一体となった緑化活動 を行い、森林保全の啓蒙とその教育活動の必要性を感じ た。(森林インストラクター)
- ・キッツ森のようちえんの指導者に協力いただき、子ども の遊び場、遊歩道の安全性の確保の難しさを感じた。(森 のこども園園長)

## 参加者の声

・遊具やメディアから離れた生活の中で、自然との触れあいや人と関わる時間を持つことができるため、だれもが生き生きと過ごすことができると感じた。(大学生)



ササ刈



危険個所のロープ付け替え



階段整備



踏板の架け直し

## 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.01ha 植付本数: 10本 下刈面積: 0.08ha 除伐面積: 0.01ha 作業道修理: 500m 生物調査: 1回 森林教室: 1回

## 参加者数

県内:207人 県外:15人 計:222人

## 森での遊びを通した環境教育事業

## 宮城県白石市











## 事業概要

森で遊ぶ経験のない子どもが増えていることから、森で の遊びや枝打ち、薪割り、木工品作りなど、自然に親しむ 機会を提供する。当会の植林地 (南蔵王) において、森の遊 びや自然観察会を体験してもらう。

## 事業成果

森で遊ぶ体験や自然観察会は、参加者からの評判も良く、また来たいとの声を多数いただいた。また、交通手段の心配をせずに参加できたことを喜んでもらえた。森で遊ぶ経験のなかった子どもや大人が、初めての体験をすることが

#### できた。

## ●事業をよく知る関係者の声

・参加者の中には、他の自然観察会に参加したことのある 方もいたが、今回の観察会を「とても楽しい」と語ってい た。

## ●参加者の声

- ・木の実を食べたり、葉っぱの質感の違いを触って確認したり、香りを楽しんだり、自然を五感で感じ深い呼吸を して心からリラックスできた。
- ・森の再生の話を聞いて、木を育てる大変さを知った。



森で遊ぶ



木登り



ツリーハウス



ノコギリ体験

## 実績とりまとめ

## 作業内容

森の学び:1回

## 参加者数

**学加省数** 県内:26人 計:26人

## 「そだてよう! どんぐりの森 2019」 プロジェクト

## 秋田県男鹿市

















## 事業概要

自分たちの地域の木・林・森・山を、その地域の人たちが中 心となって育てていく活動を通じて、自然の大切さ、自然 との共生、自然環境の素晴らしさに気づくきっかけづくり として「どんぐりの森づくり」を位置付ける。そして、持続 可能な自然環境を将来に引き継ぐことをねらいとし、どん ぐり観察会や自然体験活動「どんぐりがっこう」を開催した。

## 事業成果

新たな活動フィールドでの「どんぐりがっこう」を定期的 に開催できた。どんぐりの森の自然の営みや共に生きる生 き物たちを観察しながら、どんぐりの生態系の役割や自然 循環の仕組みを、見て触れて感じる、自然体験活動を定期 的に開催し、持続可能な自然環境を将来に引き継いでいる。

## ●事業をよく知る関係者の声

・幅広い年齢層の方々が参加している。いろんな世代や地

域の子どもたちがいっしょに、活動を通し、自然の営み におけるどんぐりの役割を知る大切な機会になっている。 季節とともに変化するどんぐりを観察しながら、森の役 割や山と海とのつながり、環境対策などを五感で感じる 質の高い自然体験を提供している。(自然体験及び動物ふ れあい講師)

## 🬑 参加者の声

- ・どんぐりを観察したり、可愛い動物とふれあえ、今まで 知らなかったこと教えてくれます。カシワで見つけたハ チの巣は、つぼ形で不思議だなと思いました。(小学6年)
- ・自然とのふれあいは思春期の子ども達のことをまるごと 受け入れてくれ、癒してくれるようです。どんぐりがっ こうで、木に登ったり、野菜を収穫したり、動物のお世 話をしたりできることが子ども達の自信に繋がっている と感じます。(保護者)





苗木の成長を確認



冬の森の観察



どんぐりの炭づくり

## 実績とりまとめ

## 作業内容

下刈面積: 0.53ha どんぐり観察会:5回 クラフト体験:6回 どんぐりがっこう:6回

## 参加者数

県内:341人 計:341人

## 子供たちへ繋ぐ森林の風

## 秋田県北秋田市









## 事業概要

身近にある里山をフィールドとして、幅広い世代が共に 体験活動しながら地域の豊かな自然を大人から子どもに伝 えるとともに、緑あふれるふるさとへの郷土愛を育む幼少 期の原体験とする。

主な活動は、①親子での巣箱づくりと市有林内への巣箱 設置、②秋田スギ伐採跡地への広葉樹苗木の植栽、③植樹 会場の整備で生じた支障木を活用しての薪及び木蝋燭づく り。

## 事業成果

初めての企画で参加申込があるか心配したがスタッフ含 め60人の参加があった。指導者や手伝いの方々の気配りで 事故もなく楽しく作業できた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・今後の植育実践は現地でやりましょう。(林業関係者)
- ・子どもたちが楽しんでいた。(市会議員)
- ・植樹活動に感謝、継続してほしい。(学識経験者)

## ● 参加者の声

- ・植樹や巣箱づくり・設置が初めてだったので、共通の思 い出ができた。(親子参加者)
- ・子どもたちがこんなにもスコップを使える事に驚いた。 (親子参加者)
- ・早く大きくなるようにと大きな声をかけたよ。(6歳男子)
- ・ヤマザクラは春に咲くかな?咲いて下さい。(7歳女子)



植樹会場の整備



歩道整備



ブナ、ナラ、クリ、サクラほかを植樹



巣箱かけ

#### 実績とりまとめ

## 作業内容

植付面積: 0.4ha 植付本数:221本 下刈面積: 0.47ha 道路整備:800m

#### 参加者数

県内:96人 計:96人

#### 樹種

ブナ、ナラ、クリ、サクラ、コ ナラ、トチ

### 01 子 R-14 (特非) 斜平山保全活用連絡協議会

# 癒しの森作り

#### 山形県米沢市











### 事業概要

マツ枯れでマツを伐採した跡地に森林再生事業を行い、 将来はブナとユキツバキの群生地を実現し、近くの「大森山 森林公園」と共に大公園とする。

ブナ植林地の下刈、地拵え、山道の整備、植林の準備(堆肥つくり)、親子記念ブナ苗植樹会を実施した。苗木は、ブナのほか、アベマキ、カシワ、カツラ、ケヤキも植樹した。

### 事業成果

これまでに植えたブナが3m以上に成長したものが多くなり、今までの苦労が報われ、植林がますます楽しくなっ

てきた。13人の新会員が入り、活気づいている。

### ⇒事業をよく知る関係者の声

・市内から植林しているところが見えるようになり市民から注目されている。児童、保護者、先生にもっとPRしたい。(米沢市民)

### ●参加者の声

・スコップなどで穴掘り、堆肥入れ、苗植えなどを体験できた。木の成長が楽しみなので来年も参加したい。(小学生)



チェンソーや刈払機のメンテナンスについて学ぶ



植林地の山道を草刈



親子記念ブナ苗植樹会



ブナ、ケヤキほかを植樹

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.6ha 植付本数: 150本 下刈面積: 2.5ha 作業道整備: 400m 害虫調査: 3回

#### 参加者数

県内:118人 計:118人

#### 樹種

ブナ、ケヤキ、アベマキ、カシ ワ、カツラ

# 子ども達の自然体験活動フィールド整備事業

福島県いわき市









#### ●事業概要

子ども達が安全に気軽に里山で活動できる空間を整備し、森林ESDの役割の一部を担うことを目的として取り組むもので、2年計画の2年目である。

今年度は、①昨年試作した空中回廊の結果を踏まえて高さ1m10cm、長さ50mの空中回廊を製作、②伐木を利用し幼児が安全に木登りできるコーナーの製作、③幼児中心に12mの木製迷路の製作、④ハンモックの製作などを行った。

### 事業成果

当初計画した内容についての整備を終えたが、今後は利活用していくなかで改善を図っていくことの必要性を実感できた。今年度も、国際ワークキャンプメンバーの若者に対して3回フィールド整備を行ってもらうことができた。

### 事業をよく知る関係者の声

・フィールド内を公園のように整備しない方が良い。転倒 して大怪我するようなものは除去したほうがよいが、で きるだけ里山の自然が残る形を保つ方が良いと思う。(大 学教授)

### ●参加者の声

- ・遊歩道の安全通行のための柵を作った。タケの伐採を含めて初めての作業だったが、完成した形を見て本当にうれしかった。(20代女性)
- ・長さ5m以上のタケをノコで5本切ることができた。ノ コを使うのもタケを切るのも初めてで大変だった。(小学 生女子)



枯損木の伐採



下刈



小学生によるタケの伐採



完成した空中回廊

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積: 3.1ha 除伐面積: 3.5ha ササ刈り: 0.5ha タケ伐採: 1.1ha 伐木処理: 43日 森林資源活用: 20㎡ 空中回廊製作: 25日

#### 参加者数

県内:363人 県外:94人 計:457人

# 森林資源・環境を利用した地域の子供達の健全育成

茨城県筑西市











### 事業概要

森林環境の保全と子どもたちの健全育成をはかる。主な 活動は以下のとおり。①雑木林の枯損木や不要木の伐採や 下刈、②伐採した木を利用しての木炭 (竹炭を含む) づくり、 ③ 園児・児童・生徒の自然体験活動の支援、また市内の児 童を対象にしたわんぱく自然塾やキャンプ。一般市民を対 象にした植物観察会や野鳥観察会。総合的なイベントとし ての「里山フェスティバル」や市民参加の落ち葉掻き「ふる さとの森を守ろう」を実施。刈払機やチェーンソーを取り扱 う人を対象に安全教育講習会を実施する。

#### ● 事業成果

「ふるさとの森を守ろう」(落ち葉掻き)では市内外の企業 からの参加もあり、200人の参加があり、作業後に焼き芋を 食べたり、薪割り体験や大鋸引きの体験などをして楽しん だ。伐木等の業務に関する関係法令の改正に伴い会員及び の他の従事者に研修会をもった。ホタル再生については他

団体と交流を持ち指導を受けながら進めている。

### 事業をよく知る関係者の声

・今後も多くの児童・生徒が学校の枠を越えて交流し、普 段の生活では得ることのできない体験を通して、自然の 大切さ、自然との共存について学び、成長していってほ しい。また、行政と市民の皆さんとのパートナーシップ を大切に里山の保全という観点から、それぞれが協働の 役割を担っていければすばらしい。(市教育長)

### 🥟 参加者の声

- ・一番心に残ったのは落ち葉はきをしたこと。最初は「大変 だなあ」と思っていたが、落ち葉は自然にとっても大切な 役割をしていることを知り、今ではたくさん落ち葉を集 めている。(自然体験学習・小学6年)
- ・今まで作業していても気が付かないことが一杯あった。刈 払機のメンテナンスは勉強になった。(安全教育講座受講 者)



「ふるさとの森を守ろう」落ち葉搔き



「ふるさとの森を守ろう』ノコギリ体験



野鳥観察会



安全講習会

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積:6ha 森林資源活用:8回 わんぱく自然塾:5回 里山キャンプ:1回 自然体験学習:5回 秋の植物観察会:1回 野鳥観察会:1回

「ふるさとの森を守ろう」: 1回

安全講習会:4回

### 参加者数

県内:1501人 県外:7人 計:1508人

# 森林保全事業と子どもたちの支援

#### 茨城県笠間市













### 事業概要

森と海の関係の重要性を理解し、森林保全の意義を伝え 保全活動に関わる人を増やし、本会の活動を潤滑に広げて いくことを目的とし、放置されている人工林を保全してい く事で、豊かな広葉樹の混合する森へと移行させる活動を する。女性や子ども達も関われるという方法を伝えるとと もに、間伐した材を利活用し、自然環境に触れ作業をする。 また、人間の本来の生きる力や知恵を学ぶ講演も行う。地 域の住民と繋がることで、安心安全な地域の森づくりの支 援活動に貢献した。

### ● 事業成果

地域の住民から、暗くては入れなかった森が明るくなっ た、若者が森に入る姿や、挨拶が気持ちよく見受けられた など高評価をいただいている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・継続した活動のために、事業として本格的に計画し資金 調達などを検討すべき。(地元木材事業所)
- ・首都圏の参加者を募集するための告知媒体を探したい。 (東京在住参加者)

### 参加者の声

- ・普段人と話すのが苦手だが、森の活動では積極的に行動 できる。引き続き参加したい。(支援センター指導員)
- ・子ども達が伸び伸びとしている、安全に指導いただける ので、普段使わないのこぎりやハンマーを使用できる良 い機会でありがたい。(森の幼稚園・保護者)



間伐するスギの皮を剥ぐ





間伐材は板などに加工



森林教室

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.1ha 植付本数:300本 下刈面積: 0.5ha 除伐面積: 0.5ha 間伐面積:1ha クラフト体験:24回 生物調査:3回 森林教室:4回

#### 参加者数

県内:125人 計:125人

# 樹種

スギ

# 名久田川源流学びの森事業

#### 群馬県高山村

















### ● 事業概要

森林が7割を超える高山村に育った子どもたちは身近な 里山にも入ることなく、森林・林業に関する知識はほとん どない状況にある。そこで、森の働き、水の大切さ、野生 動物等の知識を体験を通して学ぶ森づくりを行っている。 ①源流地周辺の除伐、草刈り、水場保護、歩道の整備。② 自然観察会。なお、春の自然観察会、林業作業の体験など は新型コロナウイルス感染予防対策として中止にして、村 内の6年生全員に森の働きや森で遊びを学べるテキストを 配布し、学校の図書館にも寄贈した。

### 事業成果

昨年整備した水源の森の整備活動を行い、地域で継続的 に実施し維持する道筋が明確になった。 現地での森林学習は実施できなかったが、村内の6年生 全員に副読本としても活用できる冊子を配布できたことで、 村教育委員会にも活動の趣旨を理解してもらえた。

### ●事業をよく知る関係者の声

・郷土愛を育むために大変良い事業と思う。参加者の多少 を気にしないで継続してもらいたい。事業実施が休日と なるので、学校との連携が不可欠である。

### ●参加者の声

- ・楽しかった。山の土が水を含むとは知らなかった。焼き 芋が美味しかった。
- ・冊子はイラストが多く子どもたちに理解してもらいやす い。高山の自然に興味を持ってもらえるよう活用したい。



下刈



自然観察会



白然観察会



冊子贈呈

#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

除伐面積: 0.7ha 冊子贈呈: 30冊

**参加者数** 県内::29人 計:29人

### 01 子 R-19 山の日記念 [21 世紀の森まつり] 実行委員会

# 第4回山の日記念「21世紀の森まつり」

#### 群馬県沼田市

















### ● 事業概要

新元号制定の節目の年に、地域の子どもたち(緑の少年団員)が植樹を体験し、植えた苗木の生長を見守りながら将来にわたり森林・林業の重要性や環境の保全について関心を深めるため、次の活動を行った。①天皇陛下御即位記念植樹、②同時開催の山の日記念「21世紀の森まつり」において、木工工作、浄化槽の仕組みや地球温暖化対策等の各種イベントによる森林・林業及び環境保全の体験や学習。

### 事業成果

森に親しむ機会が少ない子どもたちが、植樹体験により 山や森や木の働きを知り、森林・林業の重要性を学習した。 記念植樹を契機に森林公園を訪れる機会が増えることが期 待される。

### ●事業をよく知る関係者の声

・植樹体験は自分が植えた苗木の生長を見守り、将来にわたり継続して森林・林業や環境への関心が高まることが期待できる。(小学校校長)

### ●参加者の声

- ・子どもたちと一緒に植樹したサクラの生長が楽しみ。(30 代女性)
- ・10年後にサクラがどのようになっているか楽しみ。(緑の 少年団員女子)



オオヤマザクラを記念植樹(沼田市21世紀の森)



支柱と獣害防止ネット設置



木工体験



枝を削る

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.27ha 植付本数: 50本 支柱設置: 50本 獣害防止ネット: 40本

獣害防止ネット:40本 その他:

### 参加者数

県内:111人 計:111人

#### 樹種

オオヤマザクラ

# 体験型学びの森づくり

#### 群馬県桐生市











### 事業概要

整備されていない森に陽光を取り入れ昆虫がすめるよう、 また里山の樹木や山野草が生息できる環境にする。そこで 地域の子どもたちが四季折々の体験をし、五感を高め豊か な心を育てる場とする。主な活動は以下のとおり、①伸び 放題になっている場所を下刈、②過密箇所の高木の枝下ろ し、③昆虫が好む樹木・四季の花や紅葉を観察できる樹木・ 斜面の崩れを防ぐ樹木を植栽、④整備されていない斜面を 子どもたちが安全に歩けるよう整備、⑤昔、近隣の里山で 見られた山野の植え付け。

#### ● 事業成果

ボランティアの方の意識・パワーが想像以上に高く、当 初考えていたよりもはるかに多くの事を短時間で行うこと ができた。「子どもたちの作業ではこのくらいだろう」と考 えていたものが見事に覆され、子どもたちの力に関心した。 また、当初は子どもと保護者が参加してくれ、回を重ねるご

とに地域住民が参加してくれるようになり、この事業への 興味が広がっていくのを感じた。植えた木が大きくなる様 子や花が増えていく様子を想像するように伝えると、「大人 になっても見に来たい」、「そのためには放っておいてはい けない」、など子どもたち自身が考え発言する様子が見えた。

### 事業をよく知る関係者の声

・子どもと大人がいっしょに泥だらけになって活動するこ とは、近年ほとんどない。貴重な機会だった。この環境 を守っていけるよう、地域で協力してしっかりと管理し ていきたい。(地元住民)

### 🬑 参加者の声

- ・ 土は重たかったけど、がんばって運んだ。(幼稚園児女子)
- ・植樹をしてみたかったので、専門家に教えてもらいなが らできてとても良かった。(保護者女性)
- ・子どものパワーに驚いた。子どもにとっても良い体験だ った。(60代男性)





枝下ろしの見学



子どもたちも植樹のための穴を掘る



クヌギ、モミジ、ヤマザクラほかを植樹

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.13ha 植付本数:101本 下刈面積: 0.25ha 除伐面積: 0.25ha 間伐面積: 0.25ha

#### 参加者数

県内:226人 計:226人

クヌギ、モミジ、ヤマザクラ、 ヤマブキ、アズマシャクナゲほ

# 生物多様性のある里山の森づくり

#### 埼玉県寄居町















# 事業概要

人の手が入っていなかった里山を整備・再生し、その恩 恵を学び守り育てる。あわせて生物多様性の保全に努める。 主な活動は以下のとおり、①下刈、除伐、間伐等の森林整 備、②間伐材を利用したコースター等の作製、③高校文化 祭での森林活動の展示と普及活動、④現地の状況確認(台風 19号による被害や枯損木の確認など)。

#### 事業成果

文化祭では、例年のように現役高校生に活動をアピール できた。台風19号の被害のなか、安全に考慮してできる範 囲で復旧作業を行った。それ以外は委託した。国土緑化推 進機構発行のガイドラインを参考にして、コロナ禍におけ る来年度以降の活動における注意点などを確認した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・今まで積み重ねてきた作業の成果が目に見え、困難なく 歩ける範囲が広がった。(60代役員)
- ・広い敷地なので、ソーシャルディスタンスを保ちながら 活動できることを確認できた。フェイスシールドや拡声 器など、活動に欠かせない道具の整備もできた。(森林関 係者)

### 参加者の声

- ・文化祭で森のことを知り参加した。森林浴できて爽快で した。(50代女性)
- ・フェイスシールドとメガネをいっしょに使うと、くもり が気になる。マスクで活動しても良いかも。(50代女性)







活動参加者の皆さん



高校文化祭で活動を紹介

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

除伐面積: 0.8ha 間伐面積: 0.8ha 現地調査:1回

#### 参加者数

県内:654人 計:654人

# みんなで守ろう 育てよう!よしみ里山プロジェクト

#### 埼玉県吉見町











### 事業概要

所有者の高齢化等で手入れ不足で荒廃した里山の保全と その活用、地域住民と共に行う森づくりを通じた森林ESD 活動を行う。主な活動は以下のとおり。①活動目的の説明 とレクチャー、②自生樹木の観察、③落ち葉溜めづくり、④ 保全活動、⑤榾木づくり・シイタケ菌打ち、⑤植樹、⑥木 エクラフト、⑦樹幹ロープによる綱渡り遊びなど。

### 事業成果

2年目となる2019年度は「育てる」をテーマに、2018年植 樹の果樹は数本枯れたため新たに追加し約40本18種を育て た。参加親子が活動の楽しさや意義を発信してくれ、新た な家族参加の広がりがある。地域の子どもたちの森づくり 活動として認知が広がっている。

### 事業をよく知る関係者の声

・森林の保全活動への関心があっても最初の参加はハード

ルが高い。家族単位での参加であれば、子どもを通じて 会話も広がり、森づくりの現場を体験することで理解が 深まることが予想されることから、よい機会と考える。 (教員)

・保全地域と近くの観光資源をつなぐような新たな森の活 用などは、森林環境税を活用した新たな試みが可能では ないか、今後検討して提案してほしい。(役場職員)

### ●参加者の声

- ・一番楽しかったことは?と聞いたら、落ち葉掃き、と子ど もが答えていて意外だった。(小学2年女子の保護者)
- ・自分では教えられないような森の知識を教えてもらって、 子どもが興味をもっていたので良かった。(20代保護者)
- ・木を伐採した後の枝払いを、ノコギリを使いたい息子た ちが熱中していた。(小学6年男子の保護者)



落ち葉溜めづくり



シイタケ植苗



クリ、ミカン、クルミほかを植樹



伐採体験

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.3ha 植付本数:20本 下刈面積: 1.4ha 間伐面積: 0.2ha 腐葉土作り:4回 自然観察:2回 クラフト:1回

#### 参加者数

県内:90人 県外:6人 計:96人

#### 樹種

クリ、ミカン、クルミ、ヤマボ

ウシ、カキ、ビワ

# 市西小学校 百年桜の保護と環境学習

#### 千葉県市原市









### ● 事業概要

小学校のシンボルツリーである百年桜 (ソメイヨシノ)の 樹勢回復を行うとともに小学生やPTA他が一体となり環境 学習の実施や百年桜への注意・関心の喚起を行う。 主な内容は次のとおり。百年桜の樹勢回復では、①テング ス病罹病枝の除去と病害虫の観察・確認、②土壌改良、③ 根系調査と発根促進、根系伸長範囲の確保、④有害な地被 植物の除去。環境学習では校内に70種を超える樹木があり、 ①百年桜や樹木の観察会、②樹名板づくりと設置、③枝葉 のクラフト制作を実施した。

### 事業成果

百年桜の樹勢回復では緊急的な保全措置を実施することができ、今後の樹勢回復に効果を期待できる。環境学習では二面性があり、その一面は教師・生徒が自覚していなかった校内の樹木への関心の高まりであり、他の一面はこの

土地の風土からくる昆虫・両生類などへの子どもたちの親 しみの深さを指導者が逆に知ったことである。

### ⇒事業をよく知る関係者の声

- ・本校関係者は、百年桜を後の世代に残したいと思っている。サクラの保全と安全確保の見極めは切実な問題で、この両者を判断する仕組みが必要である。(PTA役員)
- ・百年桜の観察・治療を通じ、テングス病の他に穿孔性害 虫2種を確認した。継続的な観察は欠かせない。(樹木医)

### 参加者の声

- ・連れて行った4歳の娘も仲間に入れてもらって、葉や実 や花を渡してもらい楽しそうでよかった。(PTA会員)
- ・枝を切り落とす理由が分かった。(5年生)
- ・木の枝や葉のクラフトづくりは全員が参加できるイベントで大変良い。(教員)



環境学習(百年桜観察)



環境学習 (樹名板設置)



テングス病の枝を除去



土壌改良

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

樹勢回復:7回下刈面積:1ha除草作業:1回環境学習:4回

#### 参加者数

県内:365人 計:365人

# わくわくした森で、たくさん学ぶ事業

### 千葉県袖ヶ浦市













# 事業概要

若い世代が普段経験することが難しい森林で過ごす機会をつくる。木もれ日や森を抜ける風、いろいろな生き物を見たり触れて、たくましい人間を育てることである。そのためには、安全に森に入れるように下刈をし、危険木は除去する。

#### ●事業成果

台風15号による倒木の処理は、無理をせず、危険なところは後回しにして、安全なフィールドでできることを行った。新型コロナに関しては、感染防止に努めながらイベン

トを開催し、室内に籠りがちな人に屋外で活動する機会を 提供した。

### ●事業をよく知る関係者の声

・下刈が大変なので、機械を使って効率をあげたい。イノ シシが異常に増えて、道路を破壊したりしてるので、そ の対策も必要となる。(近所の農家)

#### ●参加者の声

・久しぶりに子どもが外で遊べて安心した。今日は森でゆっくりでき、とても気持ち良かった。(保護者)



台風被害の森を見学



生きもの探し



シイタケの植菌



自然体験

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0,5ha 植付本数: 40本 下刈面積: 10ha 間伐面積: 3ha 観察会ほか

#### 参加者数

県内:67人 県外:70人 計:137人

#### 樹種

マツ、クルミ

# 地域のこどもたちと自然のふれあいを支援する事業

#### 千葉県柏市







#### 事業概要

町の中で生きもの多様性を保つ下田の杜において、小学校等と協働して子ども達の情操・自然教育を支援し、地域に「緑のふるさとづくり」の心が育まれることをめざして、①「米作り体験」、②「四季の自然観察・虫とり体験」、③「自然を守り伝えるボランティア活動の周知・参加体験」等を継続的に行うと共に、④それらを行うスタッフの知識・能力向上、⑤安全かつ多様な自然観察環境の維持、⑥森林の生長に伴う危険木の除去などを実施してきた。

### 事業成果

自然観察会の運営、スタッフの知識・能力の向上にはこれまでも外部の指導者の協力を得てきた。2020年は新型コロナの感染対策により自粛する部分もあったが、2019年は予定通り指導者を招く事ができた。

### ● 事業をよく知る関係者の声

小学校の学年担当教員の声は、教科書だけでなく野外の 自然と触れ合えることを評価する声が多かったが、単年度 で担任を代わることが多く校内で現地の自然情報を共有す ることが課題。校長先生からは全学年に対し一貫した自然 のふれあい、他校との連携を目標とされる声もあった。

### ●参加者の声

- ・自然を通じて子どもたちと学び合う喜びがある。分から ない事は無理に教えず、学校で調べるよう指導する事が 共通の課題。(スタッフ)
- ・植物や虫を見て触れることができて嬉しかった。(児童)
- ・下田の杜を保全し地域の人や次世代に伝えるにはどうしたら良いか考えていきたい。(中学生)



池の生きものの観察



ケヤキの幹周を図る



林内の下刈



マンサクの植樹

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

森林環境学習: 12回 里山講座: 3回 自主講座: 3回 草刈: 0.3ha 森の手入れ: 1.0ha チップづくり: 3回 苗木植付: 1回

#### 樹種

ネコヤナギ、ユキヤナギ、マン サク、ロウバイ

# 歴史のある恩方の森で、地元の小学生へ体験学習

東京都八王子市











### 事業概要

聖パウロ学園高校の学校林である「パウロの森 | をフィー ルドにした体験学習で、地元の子どもたちが森の役割や自 然の大切さなどを学び、それに相応しい安全な森づくりに 継続的に取り組む。具体的にはパウロの森くらぶが森を整 備し、恩方第1小学校・恩方第2小学校児童に対し4回の 森林学習プログラムを企画・実施した。 1年生 「いろいろな はっぱをあつめて、すきなはっぱのえをかこう!」、2年生 「落ち葉や木の実で作ろうクラフト」、3年生「森のたんけん 隊」、4年生「間伐・玉切り体験」。

### 事業成果

昨年は4回のうち2回雨で、校舎内での授業になったが、 子どもたちや先生方からは「森に行きたい」という声が多

く、本年から予定日が雨の際には予備日を設けてもらった。 これにより4学年ともパウロの森で体験学習ができた。

### 🧼 事業をよく知る関係者の声

・自然に囲まれた地域だが、自然を学ぶ機会は、なかなか ありません。短い時間の中、上手に子どもたちの興味を 引き出してくださり感謝している。「自然の中で」という 実体験の力は大きい。 (副校長)

### 🦚 参加者の声

- ・パウロの森は新しい経験ができ、とても楽しいのでまた 来たい。(子どもたち)
- ・子どもたちの笑顔が楽しみで毎年進んで関わりたいし予 備日の設定がよかった。(スタッフ)



樹木の説明





っぱの工作



丸太切り

#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

体験授業:4回

パウロ学園文化祭:1回 森の整備:毎月2回

参加者数 都内:46人 都外:6人

計:52人

# 未来の子ども達においしい森をプレゼント

#### 東京都檜原村











### 事業概要

山の中の放置された畑跡地に、樹液や枝葉・実をお茶等に利用できる樹種を植え、森の恵みを子どもたちが実感できるような、おいしい森をつくること。主な活動は以下のとおり。①畑の跡地に生えてきたススキやツルなど藪の処理、②歩道の再整備と新設、③苗木の植樹、④獣害を防ぐハイトシェルターの設置、⑤間伐したタケを用いたベンチの設置、⑥パンフレットの作成と配布。

#### 事業成果

フィールド環境の状況からこれまで基本的に大人を対象としていた森だったが、事業を通じて小学生までを公募して受け入れるきっかけをつくることができた。また、新型コロナウイルスの流行により植樹を始める段階からは参加者を募集することができなかったが、本事業をきっかけとして地元の福祉系NPOや林業会社と協力することができた。事業を通じて、部分的にではあるが都会に住む子ども

達に対して、里山に木を植えるためにはどのような活動が 必要なのかを実際に体験してもらい、里山の荒廃地や持続 可能な森林環境(使う・植える)について理解を深めてもら うことができた。活動ができなかった植樹等については報 告冊子をつくり、提供することができた。

### 🔷 事業をよく知る関係者の声

- ・経緯と事業をまとめたパンフレットを作成していただけ たことが嬉しかった。今後の活動への関わり方もイメー ジしやすい。(小学校教員)
- ・校外活動等で植樹地を毎年訪れることで、森林や木を育 てることを知る良い教材になる。(高校教員)

### ●参加者の声

・森は少し遠い存在だったが、自分たちで薮を片付け、木 を植えるための準備作業をすると、土や木がちょっと身 近な存在と思えてきた。(30代保護者)



地拵え



クロモジ、イタヤカエデほかを植樹



竹林を間伐



道づくり

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.2ha 植付本数: 50本 獣害防止: 50本 間伐面積: 0.01ha 地拵面積: 0.2ha 作業道整備: 200m 森林資源活用: 1脚 イベント: 8回

#### 参加者数

都内:134人 計:134人

#### 樹頹

クロモジ、シロモジ、ウリハダ カエデ、ガマズミ、イタヤカエ デ、ヤマボウシ、カシワなど

# 相模湖若者の森づくり、知足の森整備活動

神奈川県相模原市













### ● 事業概要

本事業で活動する森は相模原市内の民有林である。この森は放置されている状態が続き、また近年の台風大雨被害も多く受けており、森林整備だけでなく、土砂災害防止としても保全活動がさらに必要となっている。今年度は月2回の定例活動に加え、東海大高輪台高校SSH、相模原市小学校の総合学習、小学生向けの体験学校、小金井市公民館の若者向け講座の受け入れなど様々な若者や子どもが参加する体験活動を実施した。

#### 事業成果

小金井市との連携が進み、公民館事業での間伐材活用イベント、森を1日体験する「森の居場所づくり」、相模原市律小学校への出前授業、2日間にわたる間伐体験を行え、また学芸大との連携が進み、アフタースクール活動であるEXPLAYGROUNDに参加する中学生25人の本格的な受け

入れが始まった。

### ⇒事業をよく知る関係者の声

・「こがねいの若者の森と居場所づくり」講座の2回目「力を合わせて森づくり森林間伐の方法を学び、チームで間伐体験」を現地で開催した。ノコギリの使い方から、切る手順を、経験者が初心者に教え、講師は教え方を教えて、参加者にも教える役割があることで、自主性を育むように関わっていることが印象的だった。(小金井市公民館北分館担当者)

# ●参加者の声

・森に入ると空気が一転し、その魅力に惹きつけられる感覚がある。何十年もかけて育った木々の中で耳を澄ますと動物の鳴き声、そして高く伸びた木の葉に積もった雪が落ちてくる光景も見られ、なんとも言えない安らぎを味わえた。(中学2年女子)



沢体験のため沢の整備



倒木の搬出



材として使えないものを薪に



伐採体験

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

除伐面積:1ha 体験イベント:5回

測量

センサーカメラ管理

#### 参加者数

県内:74人 県外:165人 計:239人

# 故郷の里山再生および園芸文化の復活プロジェクト

新潟県三条市







#### ●事業概要

荒れた里山を整備し、かつて緑化造園木の生産地であった頃の姿を取り戻し、地元住民および一般外来客が気楽に散策できるような環境を創出し、地域の活性化に貢献するとともに観光資源の一翼たらしめる。主な活動は以下のとおり。①近年はびこっているモウソウチクの駆除、②豪雪によって折れたり倒れた木の伐採・撤去、③将来的に生産地の情景を創出するための支障木の伐採・撤去、④遊歩道からの景観を楽しめるように情景を塞ぐ樹木を撤去し休息スペースつくる。

#### 事業成果

支障木のなどの伐採によって、かつて見えていた新潟平野の向こう側の山並みが望めるようになった。遊歩道も鬱蒼とした不気味な雰囲気がなくなり、明るい空間ができたことで子ども連れでも安心して歩ける環境ができたと思う。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・里山整備後の山肌に段々畑跡が次々に現れた。かつて地 区で盛んだった里山での植木生産の痕跡が見え、他の里 山にはない故郷の里山の特性が見えやすくなった。
- ・樹木や草の除伐、残存に際して、空間、開花、結実、紅葉などの特性や将来形を予想しながら修景や造形意識を持って除間伐や枝打ち植栽をしている。今後、下刈などの管理が継続されると、造園職などによる里山整備の修景の意図や効果が年々現れる。このことが期待できる活動だ。

### 参加者の声

- ・バックホーやクレーン車などを駆使できない場所では、人 力作業が多く大変だった。(60代男性)
- ・成果が目に見えてくると達成感がある。(60代男性)



支障木などの伐採



モウソウチクの伐採



植樹 (ツツジ類) の準備



ミニ門松作り講習会

#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

植付本数:16本 下刈面積:0.2ha 除伐面積:0.7ha タケ伐採:0.3ha

#### 参加者数

県内:88人計:88人

**樹種** ツツジ類

# 呉羽丘陵「学びの里山」 づくりプロジェクト

#### 富山市









### 事業概要

市街地に近い呉羽丘陵において、里山・生物多様性の成 り立ちや仕組み、森が私たちに与える恩恵について理解を 深めるための「学びの里山」づくりを行う。主な活動は以下 のとおり。①事業場所の景観環境整備とビオトープ造成、及 び自然歩道の整備、②大学生を対象とした合宿型ワークシ ョップ、会員及び周辺住民を対象とした森林整備に関する 学習会及び意見交換会、③里山活動におけるSDGs貢献との 関連性の整理、本事業の情報発信。

### 事業成果

自然歩道を整備することで、子どもや高齢者など多くの 方が安全に事業場所にアクセスできるようになった。また、 ビオトープ造成を行うことで、ヘビの生息を確認し、トン ボの産卵活動が見られるなど、生物多様性保全につなげる ことができた。ほかにも、学生の森林環境教育フィールド (自然案内、森林整備体験など)としても使用されることで、 参加者のさらなる広がりの可能性を確認した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・かつての遊び場が多くの人の手によって復活し、いっし ょに活動できることがうれしい。また、整備したところ にたくさんの人が訪れてくれ達成感がある。(周辺住民・ 整備協力者)
- ・数年の整備活動で事業場所の景観環境が見違えるように なり感動した。(当会会員)

### 参参加者の声

- ・整備した場所に多くのチョウが水を飲んでいる様子を見 て感動した。(50代)
- ・階段づくりなどの森林整備体験は初めてで、また地域の 方との交流が楽しかった。(20代大学生)
- ・たくさんの人が森林・里山とふれあい、つながることは 意義のある活動だと思う。(20代大学生)



アクセス道の階段整備



竹林整備



生物水環境調查



看板設置

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.2ha 植付本数:77本 下刈面積: 1.0ha 除伐面積: 0.5ha

#### 参加者数

県内:64人 県外:35人 計:99人

クリ、カキ、イチジクほか

# 緑の里山保全の森づくり活動

富山県立山町







### 事業概要

植樹や草刈りなどの活動を通じ、市民や子どもたちに森 林の役割や環境保護の大切さを伝える。主な内容は、①立 山町天林地区の面積1.1haのフィールドにて下刈などの育樹 活動、②植樹及び周辺樹木観察。

### 事業成果

現地で3年目の活動となり、初年度に植樹した苗木の成 長を参加者が見届けることで自らの活動の成果を強く認識 でき「活動継続のモチベーションが高まった」「次回は家族 と一緒に参加したいしとの声が多数あった。また、参加者の 習熟により、より安全・迅速に作業を実施できた。

コロナ禍における活動の制限が緩和されたため、ボラン ティア参加者を会員企業の一部に限定し育樹作業(下刈)を 実施した。また、日を改めてボーイスカウトによる補植と 周辺樹木観察会を実施した。

工夫して活動を実施し、子どもたちに森林の役割や環境

保護の大切さを伝えることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・植樹により環境が良くなること、大勢の人が集いこの地 区の良さを知ってもらうことは地元にとっても有意義。 (地元自治会役員)
- ・有意義な活動であり会員企業にも参加を呼び掛けたい。 (経済団体事務局員)

### 🦚 参加者の声

- ・以前に植えた木が大きくなっていてうれしかったし、森 の大切さをあらためて感じた。(ボーイスカウトメンバ **—**)
- ・草刈り機等の機材がもう少しあると、より作業がはかど るのではないか。(60代男性)
- ・今回初めて参加し非常に有意義だった。次回は家族と参 加したい。(40代男性)







植樹には子どもたちも参加



植物観察会

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.35ha 樹勢回復:600本 下刈面積: 3.0ha

参加者数 県内:114人 計:114人

# 「ふるさと絆の森」再生事業

石川県小松市



#### ●事業概要

第66回全国植樹祭は2015年5月に石川県で開催され、記念植樹が小松市の「憩いの森」で行われた。植樹されたケヤキ、タブノキ、スダジイ、サカキ、アテなどは4年目を迎え順調に成長しているが、継続した保育が必要といえる。また、「憩いの森」に地域のシンボルとなる森に育て、学童の「森の学び」のフイールドとして整備する。

また、輪島市金蔵地区には、美しい里山や棚田維持に不可欠な用水用溜池周辺の山林保全活動が地域住民により行われているが、高齢化に伴い次第に困難となっている。特に、この地区は「美しい日本の、歩きたくなる道500選」にも選ばれている「金蔵五ケ寺を巡るみち」等の歴史的資源が残されており、世界農業遺産「能登の里山里海」の一翼を担うべく地元住民並びに小中学校と連携し、未来に引き継ぐ地域の象徴的な森づくりを行う。

主な活動は、「憩いの森」①植樹区域の下刈、②植樹区域 に隣接する雑木伐採により、ハイキングコースの景観改善。 「金蔵の里山保全」①休憩用東屋周辺の下刈、②集落に隣接する里山で学童による植樹体験区域の整備。

### 事業成果

金蔵の里山保全活動は、遠隔地につき宿泊して活動を行った。地元住民及び能登地区の会員の参加を得て、確実な一歩を踏む出すことができた。また、下刈機やチェンソーの使用について、ベテラン会員による指導等を行うことで安全作業が行えた。

### ●事業をよく知る関係者の声

・昨年行った地域の学童による森林整備の見学会が好評だったので、継続を希望している。(憩いの森管理事務所員)

### 参加者の声

・地元の参加者が当会の活動を高く評価し、会に加入する こととなった。(地元住民)



作業前の「憩いの森」



植樹地の整備作業



整備後



サクラを植樹

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.1ha 植付本数: 20本 下刈面積: 5.1ha 除伐面積: 0.3ha

#### 参加者数

県内: 151人 計: 151人

# 樹種

サクラ

# みんなの家でみんなの森づくりプロジェクト

#### 山梨県大月市



















### 事業概要

本事業の拠点である「みんなの家 | 周辺には、手つかずの 森林が多く残っている。この地域は高齢化が進み森林整備 ができる人たちがいないためだ。そのため、地域の森林を 守るとともに、都市部では体験することのできない森林で の活動を通して自然との共生や重要性に気づくことを目的 として活動を実施した。主な活動は以下のとおり。①幼児 を対象としたキャンプを1泊2日で2回実施。②幼児を対 象にしたデイキャンプを2回実施。③当法人ボランティア スタッフが行う森林整備を5回実施。

#### 事業成果

近隣住民の協力のもと、本事業を通して自然の偉大さや 自然と共生することの大切さに気付くことができた。また、 大家さんからいただいた薪ストーブの設置により、森林整 備で伐採した木々を有効利用することができるようになっ た。灯油などを使用することがほとんどなくなった。自分

たちが伐採した木が古民家の燃料として有効活用される循 環型の生活に喜びと達成感を得た。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・多くの子どもたちや若者が来てくれて活気にあふれてい る。定期的に来てくれ、森林整備を進めてくれることで 獣害も減ってきた。(地元住民)
- ・この活動を通して、この地域が好きになり定住してくれ る人が出るとうれしい。(地元住民)

### 🦚 参加者の声

- ・ノコギリがつかえたよ。木はとてもいいにおい。たから ものにする。(幼児)
- ・ここに来ると元気が出る。森林整備や古民家により興味 を持った。(60代男性ボランティアスタッフ)
- ・自然と一体化できる気がする。自然のありがたみを感じ る。(30代女性ボランティアスタッフ)



自然と触れ合う



ノコギリ体験



草刈り



薪ストーブを設置

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積: 2.5ha 除伐面積: 2.5ha 自然体験:4回 森林整備:5回

#### 参加者数

県内:5人 県外:58人 計:63人

# 閉校してもみんなの森はみんなで守ろうプロジェクト

#### 岐阜県恵那市





### 事業概要

平成26年に閉校となった旧吉田小学校の校歌にも歌われ 地域のシンボル「すわがね」(鶴岡山)の素晴らしさを後世 に伝えるための活動を実施しながら、吉田地域の活性化を めざす。主な活動は以下のとおり。①登山道の整備と頂上 の展望確保作業、②自然体験活動、③すわがね整備活動紹 介、④受入環境整備(登山道マップの作成)。

### 事業成果

登山道やマップ、WEBページの整備ができ、受入体制を整えることができた。頂上の展望も確保され、すわがねを活用したレクリエーション活動や里山教育の展開が期待さ

れる。

### ⇒事業をよく知る関係者の声

・森林の整備や川とのふれあいを体験することは、子ども たちにとって緑の大切さや自然に対する思いやりの心を 育てる意義ある活動だ。(地域自治会役員)

### ●参加者の声

- ・お気に入りの場所になった。今後も積極的に活動に参加 したい。(70代男性)
- ・自然とふれあえる機会が減少しているので、このような 体験は子どもにとってもとても良いことだ。(40代女性)



吉田川探検隊



丸太切り大会



展望確保のための伐採



草刈り

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積: 0.6ha 除伐面積: 0.2ha 間伐面積: 0.1ha 遊歩道整備: 3km 森林教育: 1回 自然体験: 2回

**参加者数** 県内:805人 計:805人

# 子どもたちの未来につなぐ諸井里山の森整備事業

#### 静岡県袋井市













#### 事業概要

「諸井里山の自然」は公園と森が一体になったエリアを形成している。管理は「諸井里山の自然と子どもたちを育む協議会」が行っている。近隣の小学生や親子が大勢集うこの場所を未来に継続させる。主な活動は、諸井里山の森の遊歩道の障害木や風倒木の伐採処理、公園入口の高枝伐採、記念植樹とPR用事業看板の設置。小学5年生69人を対象に木と触れ合うジャングルジムの組み立てや諸井里山での樹木探査も実施した。コロナ禍で学校の休校と重なったため、森林・林業を学ぶ座学は2回中止になった。

#### 事業成果

森の整備が進み子どもたちが親子で、また小学校の活動で森に入りやすくなった。今回町場の森を対象にして、都市部の多くの生徒や協議会のメンバーに森林・林業を理解してもらうことができた。

### ● 事業をよく知る関係者の声

・ジャングルジムを組み立てた活動を通して木の丈夫さや 面白さを存分に体験することができた。みなで協力して 組み立てるというのも子どもにとってよい経験になった。 里山の木々を調べる活動では、木への興味を示す子がさ らに増えた。(小学校教員)

#### 参加者の声

- ・たくさんの木の葉や切れ込みを調べ、色々な木を知ることができた。(小学5年)
- ・木は木であまり変わりはないと思っていたけれど、色々 違いがあることを樹木医さんに教えてもらった。木に興 味が出てくる学習だった。(小学5年)
- ・ジャングルジムを組み立てて、木が丈夫であることを知った。(小学5年)



寒桜を植樹



遊歩道の支障木伐採



ジャングルジムの組み立て



自然観察

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数:3本下刈面積:0.6ha除伐面積:0.1ha自然観察:1回

#### 参加者数

県内:27人 計:27人

#### **樹種** サクラ

# 裾野市深良地区樹種転換事業

静岡県裾野市







#### ●事業概要

農業専用道路に隣接したスギ・ヒノキ皆伐に伴い、地域の活性化に繋がる他樹種への転換を行う。その内容として、①当初計画では3月に近隣の中学卒業生に記念植樹をする予定だったが、緊急事態宣言下で実施を見送り。5月9日に親子植樹体験として、コロナウィルス対策をしたうえで実施。②冬の花の少ない時期に咲くロウバイやウメを植樹。③事前準備として、下刈、整地など等を実施(自己資金)。

### 事業成果

道路側まで未整備の林地が張り出し、歩道部分など少し暗い感じがしていたが、皆伐と樹種転換により光が燦々と歩道を明るくし、通学する中学生や散歩をする周辺住民から、とても気分よく通ることができると評価をいただいた。また、地域の親子が参加しての植樹作業で、コロナ禍で萎

縮していたが、参加することでとても楽しく、また環境や 自然の大切さを学ぶいい機会となったと感想をいただいた。

### ●事業をよく知る関係者の声

・地域の皆様からも花が咲くのが楽しみねとお声かけいた だいており、地域の活性化の一助となれ喜ばしい。この 様な計画がまたあれば、協力していきたい。(興禅寺住職)

### 参加者の声

- ・初めて木を植えたが、根を傷つけないように大切に植えられて、とても楽しかった。自分の家の庭にも木を植えてみたい。(中学2年)
- ・子どもといっしょに参加できて、新型コロナで陰鬱な雰囲気の中、とても良い体験ができた。子どもたちに、自然や環境の大切さをもっと学んでほしい。(40代父親)



作業の説明



道路際に花の咲く木を植樹



親子でウメを植樹



獣害対策のネット設置

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.17ha 植付本数: 170本 下刈面積: 0.34ha 獣害対策ネット設置

#### 参加者数

県内:49人 計:49人

#### 樹種

ロウバイ、白梅

# あさくら里山再生プロジェクト

#### 愛知県知多市







### 事業概要

地域で唯一残された里山を整備し、地域住民の憩いの場 とする。

主な活動は、年4回の草刈や竹林の伐採など里山整備事 業を行う。子どもたちや地域の人々にオリエンテーリング などに参加してもらい、気楽に遊んだり花見ができるよう な場所にする。

### 事業成果

新しい散歩道が整備できた。今までの散歩道も耐久性の ある材料に交換することができ歩きやすくなった。頂上部 に、周囲の景色にあったベンチが設置できた。

#### ●事業をよく知る関係者の声

・良く整備されてきた。反省点としては、草刈や剪定作業

を行う場合に植えた木や剪定してはいけない枝も切って しまう事があったので、参加者に事前指導を徹底するこ とが大切。

### ● 参加者の声

- ・今年の事業は本当に意義ある内容であった。来年度以降 も積極的に参加する。(プロジェクト会員)
- ・まだまだ継続してやるべき事業は多くある。(プロジェク ト会員)
- ・登りやすくなった、新しい森の道やベンチはすごくいい。 (子ども)
- ・美しい枝垂れ桜や花木が見られ、ますます来たい場所に なっている。(地域住民)



階段の整備



ベンチを設置





樹木名案内の設置

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数:5本 下刈面積:1ha 間伐面積: 0.2ha 遊歩道整備

ベンチ設置

# 参加者数

県内:175人 計:175人

# わんぱく山いきいきランドづくり

#### 愛知県新城市











### ● 事業概要

学校敷地内にある「わんぱく山」を整備し、植物や昆虫、水生生物を観察、学習できるよう環境を整備し、地域の自然を知り、大切にしていく子どもを育成していく。主な活動は以下のとおり。①学校林(わんぱく山)のクヌギやカシ等の成長を阻害しているヒノキやスギを伐採する。②地域の製材所にお願いして、伐採木を以後の活動の材料にする。③製材した材料を使い、イスやテーブルを作って校内の中庭に置く。④スギ・ヒノキを伐採した後の山にどんぐりを中心とした実がなる木を植樹したり、製材した板を使って樹木プレートを付けて、生活科や理科等の学習に使用できるようにする。

#### 事業成果

活動を進める中で県の森林課や環境活動を推進する地元 企業の協力を得られた。校内では、整備計画を「総合的な学 習の時間」に組み込むことで、継続した活動ができる環境を

#### 整えることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・植樹については、広葉樹を中心に植えることによって、生き物が集まりやすい環境になる。学校としてどのように森を活用したいかを明確にしながら活動を進めていくとよい。(植樹活動協力企業)
- ・毎年地域の山に出かけ、動植物について地域の専門家から学ぶ機会があるので、その植生をわんぱく山に再現することで、事前学習に生かせ、学習が深まるのではないか。(地元の森づくり推進団体)

### ●参加者の声

- ・生き物が集まったり、学校のみんなが遊べるようにする にはどうすればよいかを話し合った。未来のわんぱく山 がどうなるか楽しみになった。(小学6年女子)
- ・わんぱく山で切った木を使って、ベンチづくりをした。学校で育った木が役立ってうれしかった。(小学6年男子)



樹木の学習



クヌギ、コナラ、アベマキなどを植樹



ベンチづくり



巣箱づくり

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.5ha 植付本数: 100本 除伐面積: 1.7ha 作業道修理: 100m クラフト体験: 2回 生物調査: 1回

森林教室:2回

....

コナラ、クヌギ、アベマキ

# さかきばら森の公園わくわくプロジェクト

#### 津市榊原町















### 事業概要

子どもたちが自然の中で遊び体験できるフィールドを地 域の森林を借りて整備を行う。主な活動は、①フィールド の樹種調査、②枯れ木の伐木、風倒木の撤去、③竹林の整 備、④森林整備作業などの安全指導。

### ● 事業成果

フィールドの多様性を知ることができた。間伐や風倒木 を除去によって林内に適度な光が入り、安心して子どもた ちがフィールドに入れるようになった。伐倒や枝払いなど チェンソーの指導を受けることができ、技術を習得するこ とができた。

### ●事業をよく知る関係者の声

・伐採したヒノキを現場で加工しウッドデッキをつくる事

は、子どもたちにとって素材~モノ造り~利用の流れが 理解てでき、良い経験になると思われる。適正な維持管 理によって長期間を利用を願っている。(安全作業指導 者)

### 🦚 参加者の声

- ・整備によって森がキレイになっていくのを感じると心地 よさがあった。(40代男性)
- ・身近な森で、子どもたちが走り回る姿を見ることができ て良かったし、遊具などがなくても自分たちで遊べるこ とを探して楽しんでいた。(30代女性)
- ・整備は大変だけど、誰かが手を加えないといけないと強 く感じた。(40代男性)



樹種調査



風倒木の処理





間伐材の運び出し(整備イベント)

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

間伐面積: 0.2ha 風倒木整備: 0.2ha 竹林整備: 0.2ha

樹種調査

参加者数 県内:82人 計:82人

# 稀少蝶再生をめざす里山の土壌調査・改良及び育苗・植樹

#### 三重県菰野町









### 事業概要

鈴鹿国定公園菰野富士の里山において、稀少蝶キリシマ ミドリシジミの食樹であるアカガシが自然災害や老木化等 の原因で減少している。荒廃している里山を整備してアカ ガシを植樹して再生する。主な活動は以下のとおり。①植 樹地の土壌調査、②土壌調査に基づき、植樹した樹木の生 長を促進するための土壌改良、③鈴鹿国定公園内における アカガシの実生苗の採取及び自前の育苗棟における育苗、 ④ 植樹地及び周辺の荒れている雑木林の間伐・除伐・林床 整備、シカ害防止用パッチディフェンス張り、⑤作業道づ くり、⑥植樹祭 (縮小開催)。

### 事業成果

アカガシ林再生をめざすための里山再生活動を本格実施 した。NPO森林の風が、荒廃した雑木林の間伐・除伐・道 作りを主として実施しつつ、連携企業の社員が参加しての 森林体験会を数回行い参加者の拡大を達成した。植樹祭は、 子どもたちが楽しみ学べる森づくりへの第一歩となった。

### 事業をよく知る関係者の声

・町が推進している「菰野富士山麓里山づくりプロジェク ト」の一環として、この事業を計画どおりに実行できこと は喜ばしい。NPO森林の風がもつ技術や知識に基づく活 動は信頼できる。今後も企業との連携を大事にしつつ、財 産区の意向も踏まえて事業を継続する予定である。(菰野 町担当者)

## ● 参加者の声

・里山の荒廃が気になり講座を受けている。植樹祭に参加 して、雑木林の整備・道づくりなどの多くの準備活動が あったこと、連携企業や自治体との連携が上手く行われ ていることを知った。(まちのきこり人育成講座受講生)



アカガシ、クロモジほかを植樹



シカ害対策の柵



ノコギリでの間伐体験



道づくり

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.06ha 植付本数:175本 除伐面積: 1.55ha 道づくり: 1.0km

土壌調査 土壌改良

#### 参加者数

県内:270人 県外:20人 計:290人

#### 樹種

アカガシ、クロモジ、タムシバ、 アカシデ、イロハモミジほか

# 文化的景観のまち菅浦の桜を守る

滋賀県長浜市





#### ● 事業概要

奥琵琶湖には22kmに渡り3260本のサクラが植えられている。展望の良さもあり県内外から多くの来訪者がある。そのうち約8割のソメイヨシノに近年テングス病が蔓延し、樹勢の衰えが目立ってきているほか、台風被害の倒木も複数発生している。そこで樹勢の回復と景観維持を図るため治療と伐採ならびに桜守講座を開催し市民による剪定・施肥を実施。

### 事業成果

病気が気になっていたサクラの手入れ方法を学ぶことができた。参加者は地元住民のほか近隣地域の方の参加もあり情報交換もできた。住民での手入れが難しい場所については、樹木医の指導のもと、業者による剪定・伐採作業を行い改善が見られた。

### ● 事業をよく知る関係者の声

・毎年枯れ枝の除去などの保全整備に取り組んでおられる ことをお聞きし、サクラの花期を楽しみにしている者と して、少しでもお手伝いできればと思い桜守講座に参加 した。文化的景観でもあり、今後はこれをきっかけに多 くの方に呼びかけて、研修を兼ねた保全整備を地元住民 といっしょにできればと思う。(環境保全団体職員)

### ●参加者の声

- ・桜並木の樹勢の良し悪しの見方を教えてもらい、大変参 考になった。(40代女性)
- ・枯れ枝を取り払ったり、肥料をあげたら、木が喜んでいるように感じた。(30代男性)



桜守講座での実技



桜守講座



施肥



風倒木などを伐採

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

桜保全講習:1回 伐採·剪定:67本 施肥:1本 看板設置:1基

参加者数

県内:23人 県外:1人 計:24人

# コバノミツバツツジを活かした学校林の環境整備

#### 滋賀県湖南市









### 事業概要

菩提寺北小学校は山を切り開き1995年に開校した。開校 前の敷地は、アカマツとともに春には山を赤紫に染めるコ バノミツバツツジが咲く里山だった。しかし、校舎・校庭 の平場が造成され、下の法面にはコバノミツバツツジが復 活してきたがマツ枯れが進んで荒れた林となり、上の法面 は低木の薮となり、地山は高木・常緑樹に覆われた。そこ で、学校敷地の原風景を取り戻し、生物多様性を復元し、子 どもたちの環境学習の場となるように、法面・地山に園路 を設けて、コバノミツバツツジの里山を復元する。

#### ● 事業成果

上の法面に、児童が安全に自然観察ができる園路をつく った。ホダ場を2倍に拡張した。4年生がフィールドビン ゴをして学校林を観察し、園路の命名、案内版のデザイン を考案し、それに沿って我々が案内板を2基つくった。

### 🦚 事業をよく知る関係者の声

・教員、学校運営協議会の関係者、小学校ボランティアグ ループのメンバー、用務員の皆さんなどから感謝されて いる。小学校からは、授業とともに、予算のない中で、学 校の環境整備に貢献していることを感謝されている。

#### 🦚 参加者の声

・フィールドビンゴ、自分たちのアイデアを活かした案内 板の除幕式、シイタケの菌打ちとホダ木をホダ場へ運ぶ 等の活動や、できたシイタケを見て、児童は喜んで参加 していた。



枯れたマツを伐採



下刈



看板の設置



フィールドビンゴ

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積: 0.85ha 枯れマツ除伐:14本 コナラ伐採:3本 シイタケ植菌:52本 フィールドビンゴ:1回 案内板設置:2基 播種・鉢植替:650 苗木山取り:60株

#### 参加者数

県内:285人 計:285人

#### 樹種

コバノミツバツツジ

# 市民の森で舞え!未来の森の守り人

#### 大阪府池田市











### 事業概要

大都市の北西部に残された里山で、「樹液樹の植樹活動や 創作絵本の読み聞かせ会」を通して、未来の森の守り人を育 成していく。主な活動は以下のとおり。①カブト虫&オオ クワガタの樹液樹(クヌギ苗)の植樹、②地域自然の大切さ を啓発するための創作絵本を発刊し、読み聞かせ活動を拡 大すること、③これらの活動を行政や一般市民と協働して、 推進していくこと。

### 事業成果

「ファミリマート夢の掛け橋募金|「緑の募金|と記した大

きな看板を設置した事で、植樹場を通りかかる多くの市民 の協働活動の参加(下刈りや施肥など)を得られるようにな った。また、創作絵本も"読み聞かせ活用"のため、一般市 民へのさらなる広がりを確認できた。

### 事業をよく知る関係者の声

・27年間もの活動は、すべてが市民が知っています。(瀬島 緑のセンター所長)

### ●参加者の声

・私も息子も「クワガタ探検隊」で楽しく活動しました。



植樹祭の看板



植樹祭の看板



創作絵本



絵本の贈呈

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.4ha 植付本数: 16本 樹勢回復: 14本 下刈面積: 0.6ha 除伐面積: 0.1ha

#### 参加者数

府内:74人 府外:33人 計:107人

# 樹種

クヌギ

# 雌岡山梅林の管理・整備・育成及び環境保全

#### 神戸市西区

















#### 事業概要

阪神淡路大震災以後、放置され荒廃していた雌岡山市民公園の梅林を整備し、市民の憩いの場と子どもたちが自然の大切さを学ぶステージ形成に努めた。主な活動は以下のとおり。①下刈、倒木の除去、樹木の剪定整枝、遊歩道の整備、施肥。安心、安全に過ごせる憩いの場、教育の場の設営。②来訪者への森林の大切さの説明、交流。③子どもたちの環境学習との触合いの機会を与える、④梅見食事会、梅実収穫祭の開催などで一般来訪者や子どもたちとの交流。

### 事業成果

子どもたちへの教育・指導する機会が増えた。広報活動 の活発化と各種団体と積極的に交流や接触を行い来訪者も 一段と増え、雌岡山梅林の知名度も上がり新規メンバー勧 誘にも効果があった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・草刈りの遅れた場所には応援して遅れを取りもどすなど、 会員のチームワークがすばらしい。(会員)
- ・綺麗に整備され、孫達を連れて来て安心して遊ばせてい る(雌岡山毎日登山会々員)
- ・近年ウメだけだなく、サクラ、アジサイ、ヒマワリ、コスモスなど四季の花々で楽しめる。日頃の苦労がうかがえる。(毎日登山会々員)
- ・すばらしい環境で校外学習、ワーキングホリデーなど学 習の場として活用できる。(中学校教員)

### 参加者の声

- ・枝払いで眺望が広がってうれしい。(登山会メンバー)
- ・車椅子でウメの下まで来られ、触ったり、香りを楽しん だりできて嬉しかった。(女性)
- ・ウメの実がたくさん採れてうれしかった。来年も来る。(小 学校5年)



下刈



支障木の除去



ウメの収穫



モミジの補植

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積: 10ha 植付本数: 6本 樹勢回復: 150本

他団体との交流・支援:40回

#### 参加者数

県内:293人 計:293人

#### 樹種

モミジ、サザンカ

# 憩いの場としての健全な、景観の良い森づくり

奈良市大和田町



#### ●事業概要

奈良市街地から県立矢田山自然公園へのハイキングコースに面したヒノキ人工林が過密状態になり、加えて雑木が混生している。これを改善し、憩いの場づくりをすると共に、地域の皆さんや他の森林ボランティア団体と一般の方、育児中の皆さんでつくる「アヒルの会」に参加していただき「森林活動と植樹のイベント」を開き森林整備の必要性を理解していただいた。内容は植樹、周囲の林相・景観を回復させた。

### 事業成果

傾斜地での作業だったが、安全指導を徹底、体験者には 会員がサポートして無理のないような作業をして、次回の 作業にも参加していただくようにした。チェーンソーの取 り扱いも、参加者が興味を示すように見てもらった。幼児 と母親のグループには、植樹の際に土に触れることに興味 を持ってもらうように取り組んだ。

### ⇒事業をよく知る関係者の声

・見慣れた雑木林の整備であるが、10数年放置されたままのところがこれだけ繋茂することを知らされ、整備活動の大変さを知った。苗木の成長を維持することが、森林保全活動への参加意識向上につながる大切な活動である。(県有地管理者)

### ●参加者の声

- ・植林地を放置しておくと、こんなに密集して足元も見え なくなるものだと知った。(40代男性)
- ・これまで自然の中で遊ばせていた場所は、管理者が絶えず整備していたことを知った。植樹は良い体験だった。 (30代母親)
- ・穴掘りとか土遊びができて楽しかった。(小学生)



作業は安全第一で



森林整備



イロハカエデの植樹



親子で参加

#### 実績とりまとめ表

### 作業内容

植付面積: 0.4ha 植付本数: 30本 下刈面積: 0.5ha 除伐面積: 0.3ha 丸太切体験: 1回

#### 参加者数

県内:214人 県外:7人 計:221人

#### 樹種

イロハカエデ

# みんなでつくるドングリの森林

#### 鳥取市





### 事業概要

「森の教室」に参加した園児たちが育てた苗木を自分たちで植え、成長を見守ることで森林への関心の醸成を図り、森のともだちをを増やしていく。主な内容は、4月に「森の教室」に参加した鳥取市内の4保育園の167人がドングリから育てたコナラを森林公園に植樹。

### 事業成果

自分たちが育てた苗木を植樹し、今後の成長を見守ることで森林への興味を醸成することができた。

### ●事業をよく知る関係者の声

・小さな苗木を小さな子どもたちが植える姿を通して、広

く自然の役割や緑の豊かさ、環境保全意識の高揚を発信 できる事業として、また「未来を植える事業」として今後 も続けていただきたい。(森林公園指定管理責任者)

#### ●参加者の声

・子どもたちは貴重な体験ができました。「森の教室」で播いたドングリが芽を出し、苗木になるという一連の流れも子どもたちは知りました。苗木が10年後にはドングリを落とすと聞いて、見に行くのが楽しみです。子どもたちも少しずつ成長していく苗木を見に行くと思います。(保育園園長)



コナラの植樹



植樹には園児167人が参加



199本を植樹



園名板を設置

#### 実績とりまとめ

作業内容

植付本数:191本

参加者数

県内:199人 計:199人

**樹種** コナラ

# 境港市竹内西緑地マツ林復元・整備事業

#### 鳥取県境港市









### 事業概要

境港市竹内西緑地は、かつては白砂青松の砂浜であり、美しいマツ林であった。昭和53年頃より砂浜を埋め立て、竹内工業団地を造成し、その工業団地と住居地域の緩衝緑地としてこの緑地(マツ林)を設置した。しかし、30年以上経過し、緑地はすっかり荒れ果て、緑はあるが人も入れないくらいの雑木林となった。ここで、地区の住民を中心に、平成25年に「竹内マツ植樹隊」を結成し、かつてのマツ林を復元し、子孫に残そうと開墾・整備を始めた。現在、第7期整備事業で5.3haの雑木林を開墾・整備した。完成後は、地域住民の交流の場・憩いの場所として活用したい。

### 事業成果

整備事業も7年間継続し、地域の住民や自治会や団体へ

の認知度も上がり、完成後のマツ林の利用についての提案 や意見を頂けるようになった。

### ●事業をよく知る関係者の声

・当初の状態を思えば、現在は見違えるようになった。今後は地域の人に楽しく交流してもらえる場所つくりを考えてほしい。整備した跡地利用については、境港管理組合や境港市と相談しながら利活用を検討する。(地区自治会の役員)

### 参加者の声

- ・最初に植えたマツもずいぶん大きくなった。遊歩道も考 えてください。(50代男性)
- ・来年も植樹祭参加したい。植えたサクラを見に来るよ。(小 学生男子)



開墾



クロマツの植樹



サクラの植樹



下川

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

開墾面積: 1.4ha 整備面積: 1.4ha 植付面積: 1.4ha 植付本数: 1012本 草刈面積: 4.5ha

#### 参加者数

県内:458人 計:458人

#### 樹種

クロマツ、サクラ

# 子供たちと竹が未来に仲良くできる森林づくり

松江市東出雲町





#### ●事業概要

繁茂したタケ薮を雑木林に再整備するとともに、子どもたちに竹林の様々な場面に出会うことのできる森として整備し、地元小学校5年生による観察会を行いタケの性質や里山のタケ問題について学習しタケに親しんでもらうための竹皿づくり体験教室を行った。また、松江市環境フェスティバルに参加して、今回の里山保全についてパネルを展示し、活動の紹介とタケに親しんでもらうための体験コーナータケ細工広場を開催。

#### 事業成果

整備と普及啓発をセットで行ったため、地元小学校の5年生に通常ではなかなか見ることのできない竹林の様々な場面を見てもらう貴重な体験となった。整備された元タケ薮の周辺には、他の所有者のタケ薮が多くあり、今後もモデル林として学習の場を提供できる。また、雑木林への復活の過程も見学できる。作業ボランティア・フェスティバ

ル参加者・小学生と先生など200人以上に放置竹林の問題を 知ってもらえた。

### ⇒事業をよく知る関係者の声

- ・小学生に「森林の大切さについて学ぶ」機会を、モデル的 に竹林整備する事で分かりやすく提供する事ができ有意 義だった。(NPO役員)
- ・市民会議には、意識の高いボランティアが多数おり、大量のタケの片づけも滞りなく行えた。(島根県森林インストラクター)

### ●参加者の声

- ・体験を通して自然を大切にしたいと思った。(小学5年)
- ・タケが、3~4ヵ月で15m位になるのが不思議だったが、 節の部分が全部同じ時に一気に伸びることが分かって良 かった。(小学5年)
- ・環境の事も考えていきたいと思った。(60代男性)



竹林整備



歩道整備



森の学習



体験教室でタケ細工

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積: 0.3ha 竹除伐面積: 0.65ha

森林学習と現地観察会: 1回 タケの学習と体験教室: 1回

**参加者数** 県内:80人 計:80人

# みんなで育てよう伊部つながりの森整備事業

#### 岡山県備前市

















#### ● 事業概要

「伊部つながりの森」は平成21年に㈱ティシーシーが森林所有者である伊部区有林管理会と協定を締結し、同社が社会貢献活動として森づくりを行うため設定した。①平成25年に片上、伊部自治会及び㈱ティシーシーよる実行委員会を設立し、森林作業だけでなく体験学習に取り組んでいる。備前市内4小学校5年生児童が森林体験や森の役目について学び交流を通じて親睦を深めた。②「伊部つながりの森」の雨水による作業道の荒廃を防ぐため落蓋式U字溝を埋設した。

### ● 事業成果

これまでは参加児童数が多く、2回に分けて実施していたが、今年度は約100人だったので1回実施に変更した。つながりの森内の道の改良を行い改善することができた。

### ● 事業をよく知る関係者の声

・市内小学校児童による備前焼の燃料であるマツの植樹は 松くい虫被害が広がった地区の山の再生に寄与している。 また、つながりの森は岡山県環境学習エコツアーの登録 地であり、県下には山があっても入って体験学習をする 場所が少ないので貴重な場所である。実施日が平日のた め手伝いが難しいが何らかの方法で協力したい。(ロータ リークラブ員)

### 参加者の声

・参加した市長から、このような行事に市内全小学校が参加できるよう協力するとの言葉があった。



森林ガイドによる「森の役目」の講話



マツを植樹



シイタケの植菌



植樹地の下刈

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.3ha 植付本数: 300本 樹勢回復: 30本 下刈面積: 0.5ha

#### 森林体験 **参加者数**

県内:305人 計:305人

### 樹種

マツ

## 伊部区有林マツ再生事業

#### 岡山県備前市















## ● 事業概要

備前焼の主燃料のアカマツは松くい虫の被害で壊滅状態のため、10年前から森林の再生に取り組み、緑の少年隊や地元小学校に参加を呼びかけて市民参加の森づくりを行っている。

## 事業成果

今年度は新型コロナ感染症のため植樹行事はできなかっ たが関係者で地拵えを行うことができた。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・植栽行事は平成28年度に緑の少年隊が中心に行い、東備

地域森林課の方よりマツ枯れの原因について講話があり、 有意義な行事であった。今回もマツを植えるだけでなく 同様のプログラムを計画していたが残念だった。 4月に なって植栽予定地の30m南に鎌倉時代末期の備前焼の窯 跡が発見されて教育委員会が発掘調査をしている。当会 としては植栽地を含めて遺跡公園化してレクレーション 活動の基地にしたい。(伊部区有林管理会員)

## ●参加者の声

・看板設置時には備前焼窯跡発見は伝わっていなかったが、 これまでの植栽地はシダ繁茂があり当分の間毎年の手入 れが必要で、公園化も含めて継続事業としてはどうか。 (地元区会役員)



地拵えのため枯れたマツなどを伐採



伐採後



看板の設置



古窯の見学会

## 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積: 0.1ha

**参加者数** 県内:7人 計:7人

## 緑の景観事業による里山創生

#### 山口県周南市





## 事業概要

雑木 (コナラ)の力を借り、店舗や事業所に「オシャレ感」 ある植栽を地域全体に行う。地域全体の統一感を重視する 事で、好感度やアピール度を高めるコナラの雑木×小熊笹 ×ベンチをセットに拡大。基本的に雑木は株立ちを植栽、あ えて店舗や事業所入口に植栽する。

## 事業成果

今年は活動の節目でもあり、地域の児童といっしょに雑木の植栽を行う。地域に活動の波及効果を示すシンボル場所を完成。過去に植えた場所に木製ベンチを置いた事によ

る波及効果は大きい。

## ⇒事業をよく知る関係者の声

・植栽事業も7年目を迎えている。当初から活動を追っているので、これまでの記録を編集し放映を考えている。将来はこの地での起業も考えている。(テレビ関係者)

## ●参加者の声

・植樹とともに過去の資料も見せていただいたことで、活動の意義を理解できた。今後の取り組みにも期待したい。 (小学校校長)



小学校に植樹



コナラ、コハウチワカエデを植樹



ササも植える



木製ベンチを設置

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積:ha 植付本数:12本

#### 参加者数

**学加省数** 県内:8人 計:8人

#### 樹種

コナラ、コハウチワカエデ

## 地元小学校を対象にした竹林体験学習サポート事業

#### 山口県長門市





## ●事業概要

放置竹林を適正に管理されたタケノコ生産竹林に整備することによって、竹林管理の必要性を地域住民に普及することを目的に活動している。地域住民を対象に研修会などを実施して、普及に努めてきたが、なかなか普及が進まないことから、地元小学校を対象にタケノコ掘り体験や竹林内での体験学習を行いながら、小学生を通して竹林を適正に管理する必要性を地域住民に普及する目的で竹林体験学習のサポート事業を実施している。

## 事業成果

班員が協力して伐竹・運搬した後、玉伐りして竹器と竹 串をつくり、竹器は竹林内の薪で湯を沸かし煮沸消毒を行った。また囲炉裏に炭を熾して竹串にウインナーを刺して 串焼きをしたり、学生が準備した汁を自分たちが作った器 で昼食を楽しんだ。自然の薪で調理するのは初めての子ど もばかりで驚きの連続のようだったが、自分で考え活動す ることの力が芽生えたと感じた。

## ●事業をよく知る関係者の声

・竹林体験学習で行うタケノコ掘りや竹林内での竹細工教室は子どもたちも楽しみにしている。合同で野外活動することは貴重な体験であり、大学生といっしょに活動することも新鮮な体験である。児童は、春先に重いクワを使ってタケノコを掘り取る活動を学生と一緒に行い、秋に再会してノコギリを使った竹の伐採に挑戦するなどしてタケの整備を学ぶほか、竹細工などを楽しみ、野外活動で力を身につけていると感じている。(小学校教員)

## 参加者の声

- ・タケを伐るときノコギリがうまく使えなかったが、みん ながタケを押さえてくれて、協力して活動することの大 切さを知った。(小学生)
- ・まっすぐに伐るためには、ノコギリをねじらないことを 大学生から教わった。(小学生)



タケの伐採



タケの運び出し



タケの器で食事



門松づくり

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

竹林整備:0.3ha 体験学習サポート

#### 参加者数

県内:100人 計:100人

## 子ども達に託せる美しい里山づくり事業

高知市春野町













## 事業概要

都市公園である春野総合運動公園の未整備自然林の竹木 類の除伐採を実施するとともに、伐採後の林内には鑑賞木 であるサクラやモミジの苗木を植樹し、子ども達に託せる 美しい里山づくりの礎を築くことができた。また、秋と春 に開催した植樹祭には地域住民や子ども達も参加し、森を 守ることの大切さも実感してもらうことができた。

## 事業成果

林野庁の事業にて、放置状態だった自然林(約3ha)の除 間伐整備を3年間に渡って実施。その成果として、未整備 自然林が明るく様変わりすることとなってきた。今年度は、 さらに本事業を活用することによって5年計画の初年度と しての竹木の除伐整備 (0.8ha) と鑑賞木の植樹 (200株) を進 めることができた。また、企業や行政の応援は元より地域

住民や子ども達の参加も得られるなど、大きな広がりも示 してきた。

## 事業をよく知る関係者の声

・荒廃林が見事なほどに明るく様変わりして感動している。 植樹してもらったことによって、10年後や20年後の里山 の姿にも想いを馳せることができる素晴らしい取り組み となっており、今後は財団としても継続した整備に力を 注いでいかなければ、と考えている。(高知県スポーツ振 興財団理事長)

## ●参加者の声

・植樹祭に参加させていただいて、その整備が如何に大変 かということが分かった。美しい里山の景観を守るため に頑張っているオンちゃん達の活動を伝えていけたらい いなと思った。(越知町地域おこし協力隊)





タケの伐採



サクラやモミジを植樹



木工体験

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.6ha 植付本数:200本 下刈面積: 0.8ha 除伐面積: 0.6ha

#### 参加者数

県内:226人 計:226人

#### 樹種

サクラ、モミジ

## 紙屋の里山等再生事業

## 宮崎県小林市



























## 事業概要

紙屋小・中学校は森林に囲まれており学校林もすぐ近く にあるが、学校近辺の森林はタケが侵入したりスギの風倒 木があるなど放置状態にあった。このため、紙屋地区の区 長やボランティアなどで組織する「一徳協議会」と小・中学 校のPTAほかが連携して、学校の近隣の森林の伐竹、広葉 樹の除伐、スギ風倒木の除去、国際交流を兼ねた記念植樹 などを実施した。

## 事業成果

紙屋地区内の賛同者が増えるとともに、弱酸性美容協会 宮崎支部及び宮崎県緑化推進機構のOBで組織する「遊学の 森ボランティア隊」に参加を求めたところ約60人が新たに 参加した。

学校から離れた場所の里山の整備等を実施したことから、 紙屋地区全体に浸透しつつあり、この活動が点から線にな る弾みがつきつつある。

## 🦚 事業をよく知る関係者の声

- ・公道の除草の予算が減少している中で、地元の人がボラ ンティアで活動の輪を拡げていることに、敬意を表する。 (小林市)
- ・2年続けて除伐・伐竹してもらったおかげで見通しが良 くなった。(寺住職)
- ・日が当たらなく、やぶ蚊で悩まされていたので大変あり がたい。(地元住民)

## 🥟 参加者の声

- ・里山を手入れすることは、景観の向上、子どもの通学の 安全に繋がる。(小学校校長)
- ・地域外の人が多く参加してもえると励みになる。(会員)
- ・地域外とガンボジアの女性が今回たくさん集まった。地 元の女性の参加も増やしたい。(婦人連会長)



風倒木やタケの伐採



整備された植樹地



サクラを植樹



国際交流をかねた記念植樹

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.2ha 植付本数:90本 樹勢回復:300本 下刈面積: 1.2ha 除伐面積: 0.5ha 間伐面積: 0.1ha

#### 参加者数

県内:392人 県外:13人 計:405人

# 樹種

サクラ

## 子どもとミツバチの森づくり活動

鹿児島県南九州市







## 事業概要

スギ人工林を混交林化し、子どもたちが森林体験学習の場として利用できるようにするとともに、ミツバチの来る豊かな森を造成する活動を行った。活動はスギ林分の間伐を行うとともに周囲の荒廃森林の地拵えを行い、養蜂に適した蜜源樹を植栽するとともに、歩道の開設や間伐材を使用したウッドデッキを設置して、子どもたちが森林内で遊び学ぶことのできる森としての整備を行った。

## 事業成果

今年度は昨年度の活動に加え、さらに面積の拡大と新た に歩道を新設し、森林活動の利便性の向上を図った。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・馬事公苑跡地が毎年整備されて、多くの市民に利用され つつあり感謝している。南九州市としても活動に協力し ていきたい。(南九州市都市計画課森林管理者)

## 🦚 参加者の声

- ・このような森林環境教育はありがたい。今後はさらにスケジュール調整を図り、多くの児童が参加できるようにしたい。(児童クラブ育成会代表)
- ・多くの蜜源樹を会員の手で植樹できうれしい。(養蜂協会 長)



ヤマザクラほかを植樹



間伐



荒廃地の地拵え・除伐



اللاع

#### 実績とりまとめ

## 作業内容

植付面積: 0.3ha 植付本数: 165本 下刈面積: 0.6ha 間伐面積: 0.2ha 歩道づくり: 40m ウッドデッキ: 2基

#### 参加者数

県内:56人 計:56人

#### 樹種

ヤマザクラほか

# 国際協力



## 地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業

マリ・クリコロ州







## 事業概要

アフリカの「里山」において、地域住民自らが育て、自身で利用できる小さな林づくりを行い、最終的には里山を再生し生活の安定化を図る。主な活動は以下のとおり。①住民による里山再生(苗木配布、植林ワークショップ、配付苗のフォローアップ)、②里山再生モデルの実践(植林技術を研修した村人が実践者として、個々の里山で育苗・植林を行う)、③試験地・見本林での植生回復技術及び栽培技術の開発(荒廃地の植生回復、有用在来種の育成・生育促進、果樹の栽培技術など)。

## 事業成果

首都近郊の3地域で、延べ55ヵ所の村や学校などに苗木配布と植栽を行い、小さな林づくりを進めた。昨年度までに、育成してきた実践者は、それぞれ育苗・植樹を進め、地域の里山再生を引っ張る存在となりつつある。また実践者間の交流も進め、人的なネットワークの構築も進んだ。所

有者の変更により使用できなくなった試験地に代わり、新 試験地を設置し、新たな植生回復試験を始めた。

## ●事業をよく知る関係者の声

- ・JICAの援助で学校運営委員会の組織が運営できるようになったが、こうしてその組織を通じて、同じ日本のNGOによって学校林の支援が受けられるのが大変喜ばしい。(小学校校長)
- ・自然林が伐採によって減少していく中、住民自らが苗木 を植え育てることは重要である。(元農業局技術者)

## ●参加者の声

- ・村では、植えた木の保護柵に使う枝の確保もままならないほど植生が衰退しているので、学校林の保護柵の支援もお願いしたい。(男性)
- ・以前は全て市場から購入していたが、育てたバオバブから葉が取れるようになり、ソースの材料の出費が抑えられるようになった。(女性)



苗木配布



苗畑



小学校の学校林



ユーカリ、バオバブほかを植樹

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数:1万4310本

#### 参加者数

日本:2人 マリ:4740人 計:4742人

#### 樹種

ユーカリ、バオバブ、カシュー ナットほか

## 日本ーラオス友好の森展示林造成事業

ラオス・ビエンチャン県バンビエン市













## 事業概要

このプロジェクトは、地元樹種による植樹を行いかつて の自然林を復元すること。共同で植樹祭を行い植樹を通じ た国際交流と森林保全の普及啓発を行うこと、及び植栽後 20年経過した森林を対象に間伐を導入実施し、その展示林 を造成して熱帯地域での森林管理手法を検証することを目 的としている。

## 事業成果

今年度は、8種類3290本の郷土樹種を群状植樹して3ha の展示林造成を行った。植樹祭は7月22日、日本とラオス 側から合計125人が参加して、1100本の植樹を行うととも に、中高校生を対象に森林講座を行うなど交流を深めた。1 月の間伐ツアーでは、間伐の意義、間伐計画、選木の方法、 安全伐木技術などについて、討議と現地での実技講習を行

#### った。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・日本のボランティアによる森づくり支援は、地域住民に 育林意欲を喚起するために貴重である。(森林局副局長)
- ・間伐の手法はラオス大学演習林でも導入したい。間伐の 現地実習は参加希望が多く拡充してほしい。(ラオス大学 林学副部長)

## 🦚 参加者の声

- ・子どもたちに森林保全の大切さを教えるいい機会になっ た。(ファイパモン村長)
- ・郷土樹種をたくさん植えたので、将来どんな森になるの か楽しみ。(高校生)
- ・初めて間伐を体験して有意義だった。(ラオス大学生)



郷土樹種8種を植樹



植樹には125人が参加





森林講座

#### 実績とりまとめ

作業内容

植付面積:3.0ha 植付本数:3290本 下刈面積:8.0ha 間伐面積: 2.0ha

参加者数 日本:160人 ラオス:975人 計:1135人

タブノキ、アフゼリア、ビルマ カリン、メラワン、アピトン、 シャムジンコウ、チーク

# フィジー 森林と海の生物多様性保全に向けた植林と環境教育推進プロジェクト

フィジー・ビチレブ島ナンドロガ・ナボサ県ほか









## 事業概要

リゾート開発などにより森林やマングローブの伐採が進 み、生物多様性が劣化するとともに、海面上昇や大型サイ クロンなどの異常気象による被害が深刻化しているフィジ ー・ビチレブ島において、持続的な緑化・環境保全活動を 促進するため、植林活動及び実践的な環境教育を実施。主 な活動は以下のとおり。15の学校及び周辺地域における植 林・環境教育活動、育苗活動、エコキャンプの開催、マン グローブ植林。

## 事業成果

2年目である今年度は、モデル学校・地域を変えて活動 を実施。前年度植林した場所の管理を行いながら、土砂崩 れなどのリスクのある山岳地帯を中心に、10の学校・地域 において植林を行った。政府関係者からの紹介や学校同士 のネットワークによって事業について周知が拡がっており、 参加者の意欲も高まっている。マングローブについても、2

カ所で試験的に植林を開始した。

## ●事業をよく知る関係者の声

- ・子どもたちにマングローブや森林保全の大切さを伝え、緑 化を促進する素晴らしい機会になっている。教員にとっ ても学ぶことが多く、学校独自で環境教育を進めること ができるよう、知識や技術を引き続き学んでいきたい。 (小学校教員)
- ・この事業は、マングローブと森林保全を進める政府方針 とも合致している。(林業省担当者)

## ●参加者の声

- ・生物多様性を保全することは、観光客を魅了するフィジ ーの観光資源を守ることにもつながる。我々の業界にと っても非常に価値のある活動だ。(ホテルスタッフ)
- ・家族や村の人たちといっしょに活動することができてう れしかった。一本の木を育てることの大変さや大切さが 分かった。(生徒)



ングローブの育苗



マングローブの植樹には200人が参加



フィジーマツほかを植樹



マングローブの根に絡まったゴミを回収

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 2.66ha 植付本数:4250本 環境教育:12回 清掃活動:6回

#### 参加者数

日本:53人 フィジー:1003人 計:1056人

#### 樹種

マホガニー、フィジーマツ、テ リハボク、マングローブほか

## 2019年度 緑の国際ボランティア研修(タイ国)

タイ・チャイナート県、ナコーンラーチャシーマー県













## 事業概要

研修員が国際緑化活動の重要性や緑の募金が果たす役割 について理解を深めることをめざし、6日間の緑の国際ボ ランティア研修を実施。研修員はバンコク、パトンタニ県、 チャイナート県、ナコーンラーチャシーマー県においてタ イ国中部・東北部の開発に伴う森林伐採地を訪問し、NGO が取り組む植林活動地の視察、植林体験、地域住民との意 見交換などを行った。

## 事業成果

これまで10回の緑の国際ボランティア研修を東南アジア 諸国にて開催し、有益かつ有意義な研修を続けてきた。

今回も植林活動地を訪問し、各県の現地住民とも交流し、 協働して植林活動に従事したことで、現地の人々との相互 理解を深めることができた。

## ●参加者の声

- ・東南アジアにおける森林とその保全に関する知見を深め ることができただけでなく、日本とタイにおける生活や 文化の違いに関しても学ぶことができた。
- ・現地の方々と共に植林を行うことで活動における協働の 大切さを実感した。
- ・環境問題への意識が高まった。所属している環境活動サ ークルなどでもこの経験を活かしていきたい。



チャイナート県での植樹



ナコーンラーチャシーマー県での植樹



研修成果発表会の準備



研修成果発表会 (ラジャマンガラ工科大学)

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 4.8ha 植付本数:6720本 下刈面積: 2.0ha

#### 参加者数

日本:22人 タイ:84人 計:106人

## 樹種

在来樹種

#### 01KC-05

## タイ国チャイナート県における森林再生を目指した植林事業(フェーズ3)

タイ・チャイナート県











## 事業概要

本事業は、タイ・チャイナート県において、薪炭材の確 保や非木材林産物の収穫を通した地域住民の生活安定と自 然環境および生物多様性の保全を両立できる森林再生・保 全システムを根付かせていくことをめざしている。以下の 活動を実施した。①地域住民、民間企業と協働での在来樹 種の植林、②持続可能な森林管理に向けたステークホルダ ー間におけるワークショップの開催、③森林管理住民グル ープの形成に関する支援、④地域住民の持続可能な森林管 理に関する知識・技術向上を図る研修。

## ● 事業成果

地域住民と協働して協力を得て本事業(3年目)では植林 のほか、ワークショップの開催、森林管理住民グループの 形成の支援、森林管理に関する知識・技術向上を図る研修

等を実施した。しっかりと組織化された森林管理住民グル ープを中心に、植林地は適切に管理されている。今後も森 林管理住民グループによる地道な植林活動が継続されるこ とを確認した。

## 🧼 事業をよく知る関係者の声

・定期的に植林地を管理しており、1・2年目の事業で植 林した樹木もしっかり生育している。また、地域で問題 となっている廃棄物の不法投棄等への監視を強化してい る。植林地管理費用の調達に苦しんでいるが、今後も寄 付等を呼びかけていく。(森林管理住民グループ)

## 🬑 参加者の声

・地域で事業への認知が広がっており、植林活動に関する 地域住民の関心を高める良い機会となっている。今後も 活動を継続してほしい。(住民)



植樹についてのワークショップ



タマリンド、パラミツほか3200本を植樹



住民と協働で植樹



植樹参加者

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積:2.3ha 植付本数:3200本 下刈面積: 0.9ha 研修:3回

ワークショップ:1回

#### 参加者数

日本:10人 タイ:52人 計:62人

タマリンド、パラミツ、パドウ

クほか

## タイ国ナコーンラーチャシーマー県における森林再生を目指した植林事業(フェーズ3)

タイ・ナコーンラーチャシーマー県











## 事業概要

ナコーンラーチャシーマー県において、薪炭材の確保や 非木材林産物の収穫を通した地域住民の生活安定と自然環 境および生物多様性の保全を両立できる森林再生・保全シ ステムを根付かせていくことをめざして、以下の活動を実 施した。①地域住民、民間企業と協働での在来樹種の植林、 ②持続可能な森林管理に向けたステークホルダー間におけ るワークショップの開催、③森林管理住民グループの形成 に関する支援、④地域住民の持続可能な森林管理に関する 知識・技術向上を図る研修。

## ● 事業成果

地域住民と協働して協力を得て植林(補植を含む)を実施 するとともに、ワークショップの開催、森林管理住民グル ープの形成に関する支援、研修等を実施した。事業終了後

も森林管理住民グループを中心に、地域住民による自主的 な植林活動が継続されることを確認した。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・本事業の支援を受ける前は、メンバーで細々と植林およ び森林保全に取り組んできたが、本事業の実施により、森 林管理住民グループの活動が活性化され、地域行政との 連携も強化された。(森林管理住民グループ)
- ・経済的な理由で活動規模は縮小すると思うが、本事業終 了後も地域に森林保全活動を広めていく。(森林管理住民 グループ)

## 参加者の声

・事業1・2年目で植林した苗木が立派に成長している。植 林地を地域で大切に管理していきたい。(郡事務所職員)



植樹前の説明



メンガ、ケランジイなどを植樹



地域住民と協働で植樹



知識・技術向上を図る研修

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 2.4ha 植付本数:3,300本 下刈面積: 0.5ha 研修:3回

ワークショップ:1回

#### 参加者数

日本:19人 タイ:47人 計:66人

樹種

メンガ、ケランジイ

## カンボジア国コンポンチャム州における持続可能な森林管理を目指した植林事業(フェーズ1)

カンボジア・コンポンチャム州











## ● 事業概要

コンポンチャム州は森林密度が非常に低い上に、洪水や 干ばつなどの気候変動による影響に対して非常に脆弱な地域である。貧困な地域住民にとってはこれらの災害の緩和 は喫緊の課題である。森林の増加によりこれらの災害による影響の緩和が期待され、住民の生計向上が期待される。そ こで、本事業では、急速な森林減少と劣化に伴い生物多様 性の減少が進む同地域において、地域住民の生活に深く根 付いている寺院および小学校を軸に、持続可能な森林管理 をめざした植林を実施した。また、植林や森林保全の重要 性に関する理解向上のためのワークショップを実施した。

## 事業成果

多くの地域住民や学生が参加し、植林を実施することが できた。コンポンチャム州にはコミュニティフォレストが なく、森林エリアの減少は著しい。現地住民たちは植林活 動やワークショップを通して、森林保全の重要性を理解することができた。次世代のためにも在来種の木々を残し、これから想定される様々な気候変動への対策としたいと考えてくれた。また、若い世代の積極的な関わりは、次世代に森林を残していくことにつながっていくと実感できた。

## 🔷 事業をよく知る関係者の声

- ・住民は森林が減少している状況を危惧しているため、支援を受け、植林ができたことにとても感謝していた。今後も植林を続けたい。(60代コミューンリーダー)
- ・植林活動を通して、森林の重要性や自生樹種について理解できた。(60代僧侶)

## ●参加者の声

・植林活動に初めて参加した。とても楽しかったし、また 参加したい。(学生)



苗木の準備



メンガ、ケランジィ、コキなどを植樹



子どもたちも参加



僧侶、地域住民、学生などが参加

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 6.5ha 植付本数: 9100本 下刈面積: 5.5 ha ワークショップ: 4回 森林管理に関する研修: 4回

#### 参加者数

カンボジア:207人 計:207人

#### 樹種

メンガ、ケランジィ、コキ

# インドネシア 森林と水保全のための「まちの森」づくりと環境教育推進プロジェクト

インドネシア・東ジャワ州マドゥラ島スメネプ県、パメカサン県













## 事業概要

乾季には深刻な水不足、雨季には大洪水の被害が多発し ているインドネシア東ジャワ州のマドゥラ島において、水 保全に向けた植林活動と持続的な環境保全活動を促進する ため、環境教育・啓発活動を実施。主な活動は以下である。 「まちの森」における植林活動、15の学校における植林活動・ 環境教育活動・水保全学習の実施、マングローブの植林活 動、雨水貯水設備設置(1校)、環境教育テキストの作成(エ コキャンプの代替活動)。

## 事業成果

事業最終年である今年度は、最多となる21の学校がプロ ジェクトに参加し、そのうち1校に雨水貯水設備を設置し た。また緑化に加え、有機農業の実習、環境セミナー、リ サイクル活動、清掃活動、ネーチャーゲームなど、環境保 全についての意識や手法を伝える多様な活動を行った。「ま ちの森 | の活動には、さまざまなセクターの人々が参加し、

共に地域の森づくりに取り組んだ。自分の土地に自主的に 植林を始める住民も増えている。

## 🧼 事業をよく知る関係者の声

- ・このプロジェクトは、2009年に政府が制定した「環境の保 護及び管理に関する法律」に即したものであり、我々の事 務所も大いに賛同している。子どもたちや教師の環境に 対する意識は良い方向に変化しており、参加校の間には 相乗効果が生まれている。(県環境事務所)
- ・子どもたちは、故郷の環境をより緑豊かで、美しく、さ まざまな生命が共生する場所になるよう、熱心に活動に 取り組んでいる。活動を通じて環境分野に関する人材育 成も大いに進んでいる。(小学校校長)

## 参加者の声

・植林の大切さや手法を学び、自分の家でもマホガニーや チークの苗木を植えた。植林の大切さや楽しさを学べた ことに感謝している。(地区住民)



マングローブの植樹



中学校での植樹



「まちの森」、約400人が500本を植樹



在宅での環境学習のための教材 (エコキャンプの代替)

#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

植付面積: 2.91ha 植付本数:5741本 樹勢回復:600本 下刈面積: 0.25ha

#### 参加者数

インドネシア:2418人 計:2418人

#### 樹種

アカシア、マホガニー、チーク、 モクマオウ、マングローブほか

## 地球温暖化防止と日中友好の森づくり事業

中国・内モンゴルエジンホロ旗





## 事業概要

苗木の維持管理を目的として、現地林業局の協力のもと 日常的な巡回を実施した。天候に応じて適宜水遣りを実施 し、また病害虫対策として消毒薬の散布、森林火災防止策 として下草刈りなどを実施した。10月末には協力企業の関 係者と共に、植林場所の視察及び管理状況の確認と地元小 学校を訪問した。

## 事業成果

10月に協力企業社員と現地を視察。今年度は生育状況を 確認だけではなく実際の管理作業を体験する機会もあった。 苗木の生育には日常的な維持管理が大切だと改めて実感す ることができた。

## ●事業をよく知る関係者の声

・生育状況の確認と同時に、地元小学校での交流事業をしてもらい、子どもたちも大変喜んでいた。外国の方との交流はほとんどないので、とても良い機会となった。(林業局・林場長)

## 参加者の声

・これまでの植林の成果や生育状況をどう日本側に伝えていけるか、新しい課題として取り組んでいきたい。(協力企業社員)



草刈り



植林地の視察



植林地の視察



小学校での交流

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

これまでに植林した苗木に水やり・下刈・巡回など 地元小学校との交流

## 参加者数

日本:2人 中国:60人 計:62人

## モンゴル国ボルガン県における飼料木を用いた放牧地保全林造成事業

モンゴル・ボルガン県ダシンチレン郡







## ●事業概要

飼料木を用いて放牧地保全林を育成し、過放牧等による 放牧地砂漠化進行と家畜飼料不足を緩和し、ひいては放牧 民の生活向上に寄与する。主な活動は以下のとおり。①劣 化した放牧地に飼料木林育成地を区画しフェンスで囲む、 ②植林樹種であるカラガナ木の種子とポット苗を調達、③ 直播発芽率及び植栽苗活着率を高めるための地拵え、④地 元学校の生徒を中心によるボランティア植樹祭(今年度は 新型コロナウイルスの影響で中止)、⑤地元住民による種ま きと苗木の植付け(コロナの影響で少人数で3回に分け実 施)、⑥植林地の維持管理。

## 事業成果

10haのカラガナ木植林を行った。昨年の植林事業の技術的な課題であった苗木品質の不良や植林作業参加者の作業 不慣れは改善され、活着率は昨年より向上した。

ただ、コロナの影響で移動や集団行動などが制限されていたため、当初予定していた植樹祭などは実施できなかった。また、ボランティア植樹計画も少人数で3回に分けて実施した。



カラガナ苗



植樹した幼苗



植樹



フェンス設置

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

フェンス設置:1000m

地拵え:10ha 植付本数:1万本 植付面積:10ha 直播(穴):4万穴 直播(面積):10ha

#### 参加者数

モンゴル:51人 計:51人

**樹種** カラガナ

## 地球温暖化防止のための寒帯林保全及び環境教育事業

ロシア・ハバロフスク地方イリインカ地区







## 事業概要

目的は地球温暖化防止およびアムール河溶存鉄保全とし、主な活動は現地ロシアにおける有用種を用いた植林活動と環境教育活動である。これまでは、ロシアで伐採禁止種のチョウセンゴヨウを主としとしてきた。今回より絶滅危惧種を追加する予定で、ハバロフスク地方の現地メンバーが一部を実施。新型コロナウィルス感染症の影響でロシアへの入国が禁止されたため、日本からの植林ボランティアツアーは実施できなかった。

## 事業成果

日本人が不参加になってしまったので、ロシア人のみで 記念植樹となってしまったが、次回に残りを行うこととし た。

## ●事業をよく知る関係者の声

・日本のボランティアがロシアを訪問できなくなり、イベ

ントを中止せざるを得なくなったが、日本側による資金 支援のおかげでロシア側の参加者の努力で植樹ができた。 イリインカ地区を始め、地球全体の環境の健全化に貢献 したと考えている。今後はこれを機会に、児童交流など の分野における協力の計画を確実に実施できることを期 待する。(ロシア指導者)

## 🦚 参加者の声

・一度木を植えると、生き物への配慮が高まり、自然保護 の必要性を理解するようになる。どうやって自分の生活 をもっと幸せにすることができるかと考えるようになる。 今回の記念植樹によって周りの景色がきれいになったし、 新鮮な空気になっていくように思う。私たちの村で緑地 整備に協力してくれた方々に感謝します。(20代男性)



植樹の準備



シラカバ、エゾマツほかを植樹



1本ずつていねいに植樹



植樹後のイリインカ地区

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積:0.09ha 植付本数:235本

#### 参加者数

ロシア:30人 計:30人

#### 樹種

シラカバ、エゾマツ、マンシュウクルミ、フウセントウワタほ

か

#### 01K-01

# インドネシア・バリ島での植樹・環境教育事業

インドネシア・バリ島シンガラジャ市









## ● 事業概要

目的は、インドネシア・バリ島の高校生・大学生と日本の大学生の環境意識向上をめざすことにある。その手法として、平成27年から、岩手大学とインドネシア・バリ島・シンガラジャ市にある国立ガネーシャ教育大学が続けてきた環境分野の国際交流活動の一環で、同大学とバリマンダラ高校において、森林の大切さに関する環境セミナーを開催した。また、シンガラジャ市内のスカルノ公園で、現地の美化局と協働して植樹イベントを行った。

## 事業成果

カウンターパートとして、国立ガネーシャ教育大学日本 語教育分野の教員・学生と活動を共にしている。バリマン ダラ高校に向けたセミナー、およびガネーシャ教育大学で 行われるセミナーに関しては、岩手大学学生が日本語で説 明し、ガネーシャ教育大学学生がインドネシア語で通訳し た。セミナーを行うことにより、主催者側の大学生が参加 した生徒・学生に対し、より深い説明が可能となり、参加 者の理解を深めることとなった。 スカルノ公園にて40本の植樹を行った。参加者のほとんどが植樹活動が初めてで、活動後の感想からも、貴重な体験ができたと思ったようだ。

セミナーから始め、樹木の大切さを勉強してからの植樹 活動は、自分たちが環境を良くする一員としての役割を担 っていることを認識できる活動であった。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・植樹活動を通して、学生は初めて、植樹の大変さを知って、その経験から木を大切にする気持ちも育った。このように異文化を超えて、環境活動ができたことに環境保護意識も強くなってきた。この活動はこれからも継続できることを願いながら、もっと幅広く活動できることを期待している。植樹活動のように実践的な環境教育に繋がる他の活動も行った方が学生にとって効果的であることが分かった。今後も、学生たちは実際に体験できる環境教育を行いたい。(国立ガネーシャ教育大学助教)

## ●参加者の声

・次の世代のためにも森を守りたいと思った。(高校生)



大学での環境セミナー



高校での環境セミナー



植樹



セミナーで学んだ後に植樹

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数:40本

#### 参加者数

日本:70人

インドネシア:270人

計:340人

#### 樹種

Pohon cendana Pohon gahal majugau kaliasem

# 中国・内モンゴル自治区アラシャン盟ウランブハ沙漠における沙漠緑化

中国・内モンゴル自治区ウランブハ沙漠









## ● 事業概要

進行する沙漠化を止め、酸性黄砂の発生源をなくし、農牧民の生活の安定と向上をはかり、水源、防砂林、草地を増やすために、防護柵を設置し家畜放牧を防ぎつつ植樹した。植樹には日本からのボランティアだけでなく、地元の農牧民が作業にあたり労働収入につながり、緑化への理解が深まった。

## 事業成果

沙漠化が進むウランブハ沙漠に5000本の緑が増えた。昨年この助成でサポートしていただき防護柵を設置することができ、家畜の放牧や野生動物の侵入による木々の生育の影響が激減した。本年は防護柵の修繕と延長をしたこともあり、活着率に大きな成果が期待できる。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・流動砂丘での植林は高木のポプラを中心に周囲を灌木の

タマリスク、スナナツメで植林を進めている。活着率が高い春を中心に植林し確実に緑化面積が広くなっている。ウランブハ砂漠は年間雨量100m以下の乾燥地帯での植林作業は潅水作業が重要である。

また、地域の学生、地元企業等の協働植林により沙漠 化防止の必要性と沙漠産業の育成を体験してもらう事で 植林の必要性を地元住民に理解してもらうことができた。 ((特非) 日本砂漠緑化実践協会相談役)

## ●参加者の声

- ・多くの木を植え無我夢中で穴堀りをした。中国の子ども たちとの交流会がもう少し長い時間をとってもらえると 嬉しい。(女性)
- ・中国の沙漠に行くことで、日本と中国の"環境"と"経済" を同時に考えることができるので、国際貢献だけだはな く勉強になった。(大学2年男子)



ポプラ、タマリスクほかを植樹



5000本を植樹



動物侵入を防ぐ柵



地元の学生や企業からも参加

## 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積:10ha 植付本数:5000本

#### 参加者数

日本:30人 中国:53人 計:83人

#### 樹種

ポプラ、タマリスクほか

## 天水市豹子溝植物園専門園区造成事業

中国・甘粛省蘭州市、天水市













## ● 事業概要

多くの市民の目に触れやすい植物園内に日本をイメージ するサクラの専門園区を造成し、その看板に緑の募金公募 事業による取り組みであることを紹介するとともに、共同 作業等を通じて更なる日中交流の促進を図る。

天水市の中心部から1kmほどの所に、天水市奏州区林業・草原局が建設した豹子溝植物園がある。その園内には「森林体験教育センター」が併設され、誰もがいつでも生態環境保護や森林生態などを体験学習できる施設で、多くの来館者でにぎわっている。本事業では植物園の一角に日本をイメ

ージするサクラの専門園区を造成した。

## 事業成果

多くの市民や子ども達が訪れる植物園の一角に日本をイメージするサクラの植栽したことで、日中の友好促進に役立つものと考える。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・さらに事業を継続してほしい。(甘粛省林業・草原局及び 天水市及び天水市奏州区林業・草原局の関係者)



苗木の運び入れ



サクラの植樹



根元をビニール被覆



除草

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.2ha 植付本数: 180本 下刈面積: 0.2ha

**樹種** サクラ

## 屋敷林造成事業一住民主体のコミュニティー完結型緑化事業

エチオピア・ノースウォロ県ラリベラ市





















## ● 事業概要

活動地域では炊事などの燃料として主に炭や薪が使われているが、その多くは村の共有地に残る数少ない木を伐採したものである。農村住民も年々目減りする緑に危機感を持ち、植林の必要性も感じてはいるが、苗木確保の難しさから実行には至らない。本事業では10家族を選定し、住民自ら自宅の庭先や共有地で苗木を生産し、自分の家や畑の周りに植樹した。また果樹や野菜を植えるなどアグロフォレストリーの手法も取り入れ、住民の経済的自立を支援し、持続的に活動できるプログラムを複数の地区で実施した。

#### 事業成果

地区から10家庭を選定、農業局などの指導者により各家庭の庭に苗畑を作る指導をする。45の畝に7種類の種を蒔き、コルディアアフリカナ、シャイニスモルなど2万9500本の苗木を生産した(1565~4108本)。参加者らは生産した

苗の40%を自宅周辺に植え、13%は近所に無料配布、26%は 販売し収入を得た(夜間警備員の1カ月の給与程度)。苗木 生産の技術移転とともに、そのメリットを大いに感じても らえたはずだ。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・現在ラリベラ市で植林を続けている団体は当団体しかなく市の期待は大きい。今年度は12種6万2000本の苗木をラリベラ市に提供した。ラリベラ市長からは市のグリーンマスタープランづくりやニュータウンの緑化なども進めてほしい旨、直接フー太郎の森基金に依頼されている。

## 参加者の声

- ・初めて種から木の苗を育てた。子どもはどんどん育って いく様子が楽しいようで、水やりなど手伝ってくれた。
- ・種や藁、農機具、水道代、日当まで支給され、しかも家 の周辺に緑ができ、参加して良かった。



屋敷林苗畑



苗木の搬出



苗木運搬



住民への苗木の無料配布

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

育苗:14万1500本 植付面積:6ha 植付本数:8万本

#### 参加者数

エチオピア:245人計:245人

#### 樹種

アカシアなど17種

## 環境保全の熱帯雨林再生事業

フィリピン・ミンダナオ島ダバオ市























## 事業概要

かつて商業伐採により失われた熱帯林を再生させ、昨今、 大きな問題にもなっている異常気象に関しても世界全体の 視点でとらえ、植林活動を展開することを大きな目的とし た。主な活動として、月に1回~2回の定期的な植林活動 の実施とともに、教育的な観点も取り入れ、専門家の指導 の下、エコロジーセミナーの定期実施、また植林活動の現 場だけでなく、植林地域全体を見て現状を知るためのトラ ッキングも行った。これは、学生や若年層に対する啓発活 動も教育的な観点を加えることで、より環境保全への参画 意義を高める機会になったと考察する。

## 事業成果

地域住民のみならず、周辺の学校の生徒にも参加を呼び かけ植林活動を行ったことは、熱帯雨林再生・環境保全の 重要性を将来にわたり、フィリピンの環境保全を支える世 代に波及させたことであり、大きな意義があったと考える。

また、日本から大学生が現地を訪問して植林したことは国 境を越えたネットワークが期待できる。

## 事業をよく知る関係者の声

・異常気象の影響で日本国内も大きな災害が起きているが、 これは世界全体の問題であり、熱帯林再生の活動の重要 性を再認識することとなっている。かつて日本などの商 業伐採により失われてしまった木々を再生させることは 我々の大きな使命である。(現地スタッフ)

## 🥟 参加者の声

- ・トラッキングをして客観的にどのように森林が再生して いくか見ると自分たちの貢献が見えて植林活動の意義が 理解できた。(20代日本の大学生)
- ・未来に残していく森林を子どもたちといっしよにつくっ ていくことは教育・環境面でも意味のあるものだと感じ た。(20代日本の大学生)



地元の学生による植樹



現地在住の日本人と日本からの学生による植樹



子どもたちも参加



エコロジーセミナー

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 1.8ha 植付本数:520本 下刈面積:1.8ha

エコロジーセミナー:9回

#### 参加者数

日本など:5人 フィリピン:115人 計:120人

#### 樹種

ナラほか

# ブルキナファソ・バム県における村落植林プロジェクト

ブルキナファソ・中央北部州バム県



## ●事業概要

植生の衰退によって住民の生活に必要な薪材の確保が困難になっている現況の改善を図り、かつ収入の手段として成長した植林木の用材販売が行えるよう、村々に隣接する未利用地に生活林を造成する。主な活動は以下のとおり。①7村において計15人の植栽希望者に対するユーカリ苗木8100本の配布と植栽。②指導普及員による巡回指導。③実施状況の追跡調査。

## 事業成果

薪材や用材としての利用は、初期の植栽苗木が充分に成長した平成27年より始められ、徐々に利用本数、販売利益が増えている。今年度は、5村の9人が計443本の用材販売

#### を行った。

## ●事業をよく知る関係者の声

・農繁期にも関わらず、今年は423人が植栽に、263人が潅水作業に自主的に参加した。これは地域の人々が、木を植えることによって生活がより良いものになると実感し始めているからである。(現地協力団体代表)

## ●参加者の声

・湖の周囲は雨季になると氾濫するので畑がつくれない。でも木を植えることはできるので、6年前から参加した。今では木が大きくなって薪にも使え、妻も喜んでいる。(バディノゴ村住民)



植樹



潅水作業



樹木管理



成長する樹木

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積:11.25ha 植付本数:8100本

#### 参加者数

ブルキナファソ:423人

計:423人

#### 樹種

ユーカリプトゥス、カマルデュ レンシス

# インドネシア・東スンバ県における緑化推進のためのマングローブ植林および緑化教育事業

インドネシア・東スンバ県カル村













## 事業概要

植林の目的は荒廃した海岸の自然環境を回復するため。 主な活動は次のとおり。①少なくなってしまったマングローブの植林、②植林イベントを開催し、住民とともに植林、 ③住民に環境保全の大切さを話し、住民とともに海岸清掃活動、④植林の大切さを学ぶことができるインドネシア語の絵本作成。

## 事業成果

1月に植林イベントを開催し1500本のマングローブを植林。その後新型コロナウイルスの感染拡大に伴いイベント開催が禁止されたため、現地NGOスタッフのみでソーシャ

ルディスタンスを保って600本植林。また、植林の大切さを 学ぶ絵本を作製した。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・日本からの支援で毎年植林活動を継続することができ、マングローブが徐々に増えてきている。植林したマングローブは根がしっかりと張り大きく育っている。(現地NGO)

## ●参加者の声

・ラジオでマングローブ植林を聞き参加した。苗木を理想 的な間隔を取って植えた。植林をしながら良い運動がで きた。(男性)



マングローブの植樹



1本1本ていねいに植樹



1月の植林イベント参加者



残った苗を現地NGOスタッフで植樹

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 2ha 植付本数: 2100本

#### 参加者数

インドネシア:40人

計:40人 樹種

マングローブ

# フィリピン アブラ州生物多様性改善のためのモデル植林プロジェクト

フィリピン・アブラ州









## 事業概要

プロジェクトは、18.7ha(1年目:6.7ha)+(2年目:6 ha)+(3年目:6 ha)の総面積をカバーしている。2019年に、在来種の苗木2800本、果樹の苗木700本、マドレデカカオの挿し木5400本が地元の人々によって植えられた。コロナ禍のピーク時には、現地の維持管理のために地元の人々に動いてもらうことは困難だった。これにより、植えられた苗木の生存率はわずか55%になった。2020年6月から7月にかけて600本の在来種の苗木を植え替えた。環境保全セミナーは2回開催、125人の地元住民が参加した。

## 事業成果

植林活動に関連した活動への参加者数:505人、セミナー並びにワークショップ:生徒達、教員及びボランティアを含む125人、設置された防護柵:1.6kmほか。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・植林前に苗木をポリマー溶液に浸す効果を検証した。結果、溶液に浸した方が活着率が高くなることがわかった。 植林を実施する他団体にもその有効性について周知していきたい。

## 🦚 参加者の声

- ・当日はとても暑く、苗を運ぶために川を歩いて渡るのは とても大変だった。作業では友達と一緒に穴を掘り苗木 を植えた。自分が植えた苗木の成長がとても楽しみだ。 (12歳)
- ・木々が失われたはげ山をはじめて見たときは、本当に衝撃を受けた。活動に参加した後は、植林の大切さを心から感じ、続けることが大切だと理解できた。苗木が育ち、コミュニティに希望をもたらすことを願っている。(40代)



苗木や資材を植樹場所まで運ぶ



ナラやモナベを補植



草刈り



乾季には苗木に水やり

#### 実績とりまとめ表

#### 作業内容

土地の整地作業:6ha 草刈り:18.7ha 植栽と施肥:8900本 植え替え:600本

#### 参加者数

フィリピン:630人計:630人

#### 樹種

ナラ、モラベ、マンゴー、ラン ブータン、マドレデカカオ

## マダガスカル、アンジアマンギラーナ監視森林とその周辺地域での植林

マダガスカル・マジュンガ州アンジアマンギラーナ村



























## 事業概要

マダガスカル共和国マジュンガ州アンジアマンギラーナ 監視森林地域の保全とアンジアマンギラーナ村の水源涵養 と地域産品の創出である。主な活動は、①適正樹種を選抜 し種子を収集すること、②植林用苗床の整備と指導、③植 林地の整備と植林活動の指導、4)果樹など有用植物による 地域産品の創出に協力することである。

## ● 事業成果

適正樹種としてラミー、バオバブなど固有種とマンゴー、 カシューナッツ、アカシアなどの種子を収集して苗畑の整 備を指導し、植林地 5 ha にラミーやアカシアなどを植林し た。

ラフィアは、水系を中心に緑の回廊を形成するために苗 木300本とともに収集した種子200個を直接、水源と川辺に 植えた。ラフィア苗とタケ苗育成を始めた。

生徒らへの植林指導を継続し、村民共有地へのカシュー、

パパイヤ植林を周辺住民への植林活動啓蒙の一環として行 った。

植林地防護のための柵建設用に、2010年植林のアカシア の枝を利用することができ、また生け垣用にブーゲンビリ アの植樹を始めた。

## 🧼 事業をよく知る関係者の声

・植林活動が婦人や子どもたちにまで広がっていることに 感動した。豪雨の中でたくさんの人びとが苗を運び、種 子を集め、植林をしているのを見て、この事業が地域の 人びとにかなりの雇用も生んでいると感じた。(旅行中の 日本人)

## 🦚 参加者の声

- ・苗生産には、マダガスカル独自の技術がある。生け垣用 には、ブーゲンビリアも効果的である。(50代男性)
- ・果樹生産ができれば村も潤う。パパイヤとカシューには 期待している。(前村長)



植林地



植林地周囲の柵





果樹園づくり

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積:5ha 植付本数:5100本 下刈面積:5ha 活着調査:5ha

#### 参加者数

マダガスカル:325人 国外:2人

計:327人

ラミー、アカシア、パパイア、 バオバブ、マンゴー、ラフィア、 カシュー

## パレスチナ自治区ナブルス県の耕作放棄地・渓谷への植樹を通した地域の環境保全事業

パレスチナ自治区・ナブルス県北アシーラ町







## 事業概要

イスラエルによる土地接収の対象にある耕作放棄地、生活排水により汚染された渓谷沿いの農地への植樹を通し、環境問題、政治上の不平等に対して、地域の土地のレジリエンスを高めること。主な活動は以下のとおり。①植樹場所の雑草・低木の除去・穴掘り、②コミュニティ内外からのボランティアの動員、③土壌浄化作用の期待できるアカシア、成長スピードが速く山間部などの過酷な土壌環境でも育つイナゴマメ、地域の農産物多様化の観点からリンゴの木を植樹、④冷害・害獣 (イノシシ) 除けの囲いと柵の設置、⑤降雨量の少ない山間部植樹地への灌漑網の設置、⑥木の植え付けと生育状況についてのモニタリング。

## 事業成果

今年度は村溪谷に日常的に放流されている生活排水の問題にも注目し、土壌浄化作用の期待できるアカシアを植樹木の1つに選択した。植樹は雨季の1か月間を通して行われ、地域の農家、町役場スタッフがリーダーシップをとっ

たことが昨年と大きく異なる点であった。ボランティアの 安全面に配慮し、渓谷付近の農地への植樹は町役場が行っ たが、耕作放棄地、また森林火災で被害に遭った山間部へ の植樹には、地域内外からボランティア64人が参加。

## ●事業をよく知る関係者の声

・今年の8月、森林火災で村入口の道路沿いで樹齢20年以上の木が燃えてしまった。農業省から寄付された約300本の街路樹とあわせ、焼け野原となった道路沿いにも植樹。 予想外の事態にもパルシック、行政、住民とが連携し対応できたのはよかった。(北アシーラ町長)

## 参加者の声

- ・次にパルシックが植樹をする機会があれば、ガン患者な ど社会に取り残された人々を対象にしたイベントを企画 してほしい。(40代女性公務員)
- ・植樹初心者でも楽しめるように、イベントの一日前に植 え方のアドバイスなどをもらえたらよかった。(20代男子 大学生)



植樹用の穴の掘削



植樹方法を指導する農業専門家



ボランティアによる植樹



植樹参加者

## 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 2.3ha 植付本数: 1300本

#### 樹種

リンゴ、アカシアほか

## 第2期モウス沙地における砂漠緑化・生態混交林造成事業

中国・内モンゴル自治区オルドス市









## 事業概要

内モンゴル自治区オルドス高原に位置する毛烏素沙地周辺は、かつては豊かな植生の広大な草原地帯だった。しかし、過放牧等による人為的要因により植生は衰退した。現在では砂漠化が進行し、固定砂丘から流動砂丘へと土地の劣化が進んでいる。この状況を受け、当地においては自然条件、社会条件に則した生態系の回復と土壌管理が求められている。本事業では在来低木類を中心に植栽し、緑化と生態林を回復させることを主目的とし、将来的に植栽した苗木から挿し木や種子を得ることにより、事業の自立化を図る。

## 事業成果

前年度事業を継続するかたちで実施した。緑化事業の成果は植栽数・植栽面積の増加である。また、現地の方々の

植林関連技術の向上は目を見張るものがあった。これは現 地スタッフが熱心に技術指導を継続してきた成果といえる。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・コロナウイルス拡大により大変不安であったが、作業を すべて終えることができほっとしている。今年は、前年 の作業に参加した人が多く、全体的に作業がスムースに 進んだ。多くの参加者が得られたことは、緑化に対する 意識が確実に向上しているものと言える。(現地パートナ ー代表)

## ●参加者の声

・ポプラなどの高木ばかり植える砂漠での緑化活動には抵抗があったが、生態系に配慮し、かつ私たちの生活に結び付いた植物を植える取り組みには、やりがいを感じている。(50代女性)



羊柴の苗木



旱柳の苗木



植樹



植樹

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積:6ha 植付本数:1万4400本 防護柵設置:800m

#### 参加者数

日本:34人 中国:116人 計:150人

#### 樹種

沙柳、旱柳、羊柴、臭柏

## マレーシア・サラワク州における地域住民参加型マングローブ林再生事業

マレーシア・サラワク州クチン市





















## 事業概要

マレーシア・サラワク州クチン湿地国立公園における近 年の開発により森林が劣化した地域及び周辺地域において、 地域住民参加型の育苗・植林・保育によるマングローブ林 再生を行う。①マレーシアと日本の専門家が、育苗・植林・ 保育の状況について現場を確認し指導を行った。②これま で協働してきた2村に加えブンタル村が活動に参加した。 ③地域村落に簡易苗床を造成し苗木を育苗、地域住民が主 体となり植林・保育を行った。④都内及びサラワク州森林 局で活動報告会を実施し広報などを行った。

## ● 事業成果

地域住民参加による育苗・植林・保育を継続し、4000本 の育苗と3000本の植林を行った。新たに活動地周辺のブン タル村が参画し、植林活動に参加した。当年度はボランテ ィア植林を2回実施することができた。本協会会報誌にて、 3年間の事業報告を掲載し、広く一般に事業成果について

#### 広報を行った。

## ●事業をよく知る関係者の声

・サラワク州のマングローブ林は1990年から2017年の間に 約8000ha減少している。マングローブ植林は、二酸化炭 素の吸収と固定、マングローブ生態系の修復に寄与する 活動であるとともに、若い世代と地域住民参加による協 働は、地球環境保全理解の深化に大きな足跡を残してい る。(日本の専門家)

## 🦚 参加者の声

- ・大学で森林科学を学んでいるが、実際にフィールドに出 て、手で触り、匂いを感じると、自然がより身近になり、 学習意欲も高まる。(20代マレーシア大学生)
- ・マングローブ林の劣化が進み、引き潮時に遠くまで行か ないと貝類が採れなくなっている。これからも協力して 活動を継続していきたい。(50代住民)



地域住民が育苗



現地大学生による植樹



地域住民による植樹



サラワク州森林局で活動成果報告

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 1.5ha 植付本数:3000本 育苗:4000本

#### 参加者数

日本:3人

マレーシア:230人

計:233人

オオバヒルギ、フタバナヒルギ

## インド国オディッシャ州ゴパルプール地区の住民による「持続可能な生活林」づくり

インド・オディッシャ州ガンジャム地域























## 事業概要

インド東部オディッシャ州はサイクロン常襲地域で、と くに2013年と翌年には大型サイクロンによる暴風と洪水で、 防風・防砂の植栽が壊滅的打撃を受け、数十万人が家屋を 失った。被災者には復興支援集合住宅が建設されたが、周 辺の緑化などには手が付けられていなかった。

夏には気温が摂氏40度を超える地域で、むきだしのコン クリート箱型住宅での生活は苦痛で非健康的であり、周辺 の緑化を求める住民の声が高まっていた。それに応え、住 民自ら環境再生を実現するための教育と技術研修を行い 「持続可能な生活林 | 活動を推進した。

## 事業成果

2種類の緑化を実施した。①復興支援住宅周辺でのまと まった規模のコミュニティ植林(15ヵ所)。女性による自助 グループ (SHG) を形成し、村落単位の会合を実施した。会 合では、「持続可能な生活林」の概念と植林の目的、育苗、植

林、植林後の世話の方法などについて専門家を派遣し研修 を行った。植林地の整備作業を行い、雨季前の8月に植林。 ②それぞれの住居隣接地のバックヤード (裏庭) 緑化。

## 🦚 事業をよく知る関係者の声

・SHGの取り組みはすばらしい。今後も現地の状況に合わせ た発展が見込まれ、地域社会の発展に直結する取り組み と考えられる。水が数日に1回しか確保できない。水間 題は改善の余地があると思われる。その一つが雨水利用 で、家屋の屋根から雨水をとり、適切に貯留することで 利用可能にできる。(九州大学工学研究院環境社会部門)

## 🬑 参加者の声

- ・植林によってコミュニティに緑が増えることを期待して いる。(SHGメンバー)
- ・栄養価の高い野菜や果実を収穫することができてうれし い。植林活動を継続したい。(裏庭緑化をしたSHGメンバ **—**)



雨期前の8月に植樹





住宅隣接地に植樹



緑化された住宅

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積:23.04ha 植付本数:4万441本

#### 参加者数

インド:414人 計:414人

# 豊寧県緑化環境保全事業

中国・河北省豊寧県





## 事業概要

中国内陸部での砂漠化の影響に伴い、近年では黄砂の被害や頻度が急速に広がりつつある。また中国では大気汚染問題も深刻化しており、北京でもPM25の影響が大きくなってきている。黄砂やPM25などは、日本にも影響を及ぼす状況でもある。こうした被害を少しでも軽減させるため、河北省豊寧県にて植林活動を実施した。

## 事業成果

今年度は、令和2年5月に植林ボランティアのイベントを企画し、中国側と調整してきたが、新型コロナウイルスの影響もあり、植林ボランティアは中止した。しかし、現

地の林業局と連携し、植林地周辺の住民に協力してもらい ながら予定していた植林活動を実施することができた。 イベントは中止となったがより緊密な連携を図ることができた。

## 事業をよく知る関係者の声

・現地林業局からは「日本からも参加者がいれば良かったが、今回は残念だった。来年はいっしょに植林活動をしましょう」との声があった。

## 参加者の声

・日本からの参加者がいなくて寂しかったが、がんばって 苗木を植えた。来年はいっしょに植えたい。(地元住民)



植樹地





水を用意



植樹は現地の人々で行った

## 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積:0.5ha 植付本数:1360本

#### 参加者数

中国:37人計:37人

## 樹種

障子松

## 東アマゾン島嶼部での河岸林復元と持続可能な集落開発

ブラジル・パラ州









## ● 事業概要

違法除伐により生態系の劣化が起こっているアマゾン河 岸林の荒廃した河岸砂地で、アグロフォレストリーの手法 による植樹を実施、河岸砂地の植生回復を図る。主な活動 は、①土壌流出が起こっている集落で、植生回復の重要性 を説明、合意形成を図る。②植樹活動を行うため、住民が 在来種の種を採取、苗木づくりや土づくりを学ぶための講 習会を開催、地拵えなどを実施。③周辺集落の子どもも参 加した植樹祭を開催。

## 事業成果

従来は苗木を市販で調達することが多かったが、今回は一部種子は購入し、また在来種の種は住民が採種し、育苗から指導、また土づくりも専門家の指導で実践した。有機

堆肥を混ぜて土づくりから実践することで、住民みずから 荒廃地を回復させる技術をまだ初歩レベルではあるが習得 できた。

## ⇒事業をよく知る関係者の声

・本プロジェクトを指導して、特に女性たちが大変に活動 的で、組織的に働くことに驚いた。(外部専門家)

## ●参加者の声

・集落住民の生活向上に役立つアドバイスを得ることができた。アサイヤシの新品種の種子と苗木づくりは住民の多くが参加した。子どもたちへのゴミの処理、森の役割なども教えてもらい嬉しく思っている。今後も植樹地の管理をしていきたい。(地域住民)



土壌流出した河岸



土づくり講習会



苗木づくり講習会



植樹

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積: 0.2ha 植付本数: 1028本 地拵え: 0.2ha 講習会: 2日

#### 参加者数

ブラジル:200人 計:200人

#### 樹種

アサイヤシほか37種

## ジャカルタ湾岸 マングローブ林再生プロジェクト

インドネシア・西ジャワ州ブカシ県











## 事業概要

ジャカルタ西部湾岸地域におけるマングローブ林の回復 事業。放棄されたエビ養殖池跡地 4 ha の森林回復を目的と し、オオバヒルギ植林を実施した。

植林事業により将来的に自然生態系の回復が見込まれ、 特に天然のエビ・カニなどの漁業資源の回復が期待できる ことから、森林回復活動と地域住民の生計向上効果の両立 が見込まれる。また、当該地域は政府が定める森林保全区 であることから、本事業の成果が政府公認の森林回復活動 として承認され、インドネシアの森林保全政策におけるモ デル事業として位置づけられた。

## 事業成果

事業実施地における優先種であるオオバヒルギの植林。 エビ養殖地跡地において、2×2m間隔の植付を行い、計 1万本の植林を実施できた。

当該地の森林管理を政府より委託されている林業公社の 技官による技術指導を通じて、政府が定める基準に則った 植林を実施。植付に際しては、植付区画と畦との間に5m ほどの水路部を設けるシルボフィッシャリー形式とし、マ ンエビ・カニの収穫など漁業活動における地域住民の生計 向上の一助となることが期待される。

## 事業をよく知る関係者の声

・予定通りの植林が実施できた。地域住民の参加によって 植林が実現できた。地域の森林回復活動にとってモデル となりえる。こうした点から高く評価できる。(現地を管 轄する林業公社職員)

## ●参加者の声

・マングローブ林が回復することに伴ってエビ・カニなどの 漁業資源が増加することに大きな期待を抱いている。今 後も森林回復に努めたい。(地域住民)



植樹のためタケの支柱設置



オオバヒルギの植樹



だけでなく林業公社職員もボランティア参加



漁業資源の回復が期待される

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積:4 ha 植付本数:1万本

#### 参加者数

インドネシア:100人

計:100人

#### 樹種

オオバヒルギ

## 01K-20

## エクアドル・ガラパゴス諸島における住民参加型植林事業

エクアドル・ガラパゴス県















## 事業概要

ガラパゴス諸島で人間の居住区や観光地において本来の 植生を回復させると共に外来種の侵入機会を減少させ、当 地のユニークな生態系を保全し独自の生物多様性を守る。 そして、島民や地域の団体が活動に参加することで、生態 系や保全へ関心を寄せ、自発的に保全を推進するようにな る下地をつくる。主な活動は、①植林活動を推進するため の育苗施設を整備、②居住地域の学校や観光スポットなど において植林、③住民や協働機関へのワークショップ。

## 事業成果

学校や農場の他、観光地など6ヵ所に苗を植えた。学校 敷地内と、公共の公園には、モデルケースとなる緑地をつ くった。また島の人たちにこの活動の趣旨や目的、将来の 展望などを話す機会を設けた。観光客が多く訪れる場所で も2ヵ所で植林を行い、訪問者が関心を持ってくれるよう 植物の説明を書いたプレートを設置した。島内の農水省、環 境省、大学、農業センター、NGO等の関係者にこの活動を 発表する場を設けたことから、協働として関心を持っても らえ、次のステップに繋がった。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・節水器具を活用するようになって定着率は上がり、特に 難しいサボテンでもすばらしい生育だ。コロナの影響で 活動が思うようにできなくても、モデル緑地やガイドブ ックなどを制作して、住民への働きかけにも力を入れて いた。(元植物研究者)

## ●参加者の声

・色々な障壁があったものの、この事業が段階をきちんと 踏んで遂行されていくところに大きな関心と感動を覚え た。モニタリングをたくさん行い、データ分析をしてい るところもすばらしい。保全における科学の役割に大き な魅力を感じた。(学生)



育苗施設を整備



学校や農場などに植樹



苗の定着率が上がった



ワークショップ

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積:0,72ha 植付本数:517本

## 参加者数

日本:27人 エクアドル:60人 計:87人

## 樹種

マタサルノ、ブルセラ、ウチワ サボテン、ウニャデガトほか

## モンゴル国ゴビアルタイ県草原緑化・砂漠化防止事業

モンゴル・ゴビアルタイ県ビゲル村









## 事業概要

01K-22

急速に砂漠化が進行しているモンゴルにおいて飼料不足が深刻化している。飼料利用が可能となる在来種カラガナの大規模造林事業を実施すべく、苗木の自給体制を構築した。主な活動は以下のとおり。①簡易的な温室を設置し、高コストながら確実なポット苗の生産。②費用対効果の高い露地によるポット苗生産。③対象村の周辺で土壌条件の異なる3箇所を封柵し、最も低コストの播種による造林の可能性を把握すべく、発芽実験を実施。

## 事業成果

飼料木としても利用可能な荒漠地緑化を目的としたカラガナの大規模造林を実施するための播種実験及び苗の生産 実験である。播種については、結果が芳しくなかったが、苗は、露地、ビニールマルチ、温室の3種類で生産実験を行った結果、発芽率は露地64%、ビニールマルチ9%、温室66%であった。コストや手間を考えれば露地が最も優れて いたと評価できる。

上記の結果から、播種とポット苗生産の成果の差は、発 芽温度ではなく、礫や堅い土壌条件に起因すると推察され る。そのため、今後当該地において大規模造林を実施する 際には、露地による苗の生産と、対象地を耕起しての植栽 が有効だと判明した。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・私の故郷で緑化事業を行っていただき大変嬉しい。地元 の人は、植えることには不慣れだから、こうした経験を して自分達で緑を増やすようになる素地を育んでほしい。 (モンゴルNPO代表)

## ●参加者の声

・すぐに苗木を植えるのではなく、種を蒔いたり苗をつく るところから始めるのは意外だったが、将来自分達でで きるようにするためと聞いて納得した。住民は、日本か らの支援に大変喜んでいる。(村役場職員)



露地でポット苗づくり



育った苗



ビニールマルチを使った苗木づくり



ゲルのなかでの苗木づくり

#### 実績とりまとめ

### 作業内容

播種面積:3ha

ポット苗作成:1万5000個

### 参加者数

日本:6人 モンゴル:57人 計:63人

樹種

カラガナ

## ミャンマーの木工品生産地における住民の資源管理意識の向上のための森づくり事業

ミャンマー・バゴー地方バゴータウンシップ





## 事業概要

伝統的に木工品生産が行われてきたミャンマー・バゴー地方において、地域住民の環境保全への意識や、木工品生産者の資源管理意識の向上をめざして、地域の公共の場である学校に、環境教育に利用する学校林を造成するための植林を行う。主な活動は以下のとおり。①現地行政へ植林計画について相談、②レーインスー小中学校の教師と植林計画を協議、③レーインスー小中学校構内の植林予定地の整備と植林後の苗木管理のための給水整備および苗木調達、④地域住民、木工品生産者、教師による植林、⑤緑の募金事業看板および樹木名プレートの掲示、⑥日本での広報と募金活動。

### 事業成果

一連の活動を通じて、地域住民や木工品生産者らが植林 の意義に触れ、環境保全や資源管理について意識する機会 をつくることができた。日本では、バゴー地方で生産され る木工品の販売する場所等に募金箱を設置して募金活動を 行った。

## ●事業をよく知る関係者の声

・植林した木々から、生徒たちは多くのことを学ぶことができる。私たち教師も、この木々を教育に活かせるよう頑張りたい。これまでに経験のない、新しい取り組みを学ぶ良い機会と捉えている。(レーインスー小中学校長)

## ●参加者の声

- ・自分が子どもの頃は学校林はなかった。これで、子ども たちが学べる機会ができると思うと嬉しい。(植林参加 者)
- ・今日の活動は自分も楽しみながら参加できた(植林参加 者)
- ・政府も植林を推奨している。活動に参加できてよかった。 (植林参加者)



小中学校での打ち合わせ



給水用資材設置



マンゴー、パパイヤほかを植樹



住民参加で植樹

#### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積: 0.08ha 植付本数: 100本

### 参加者数

ミャンマー:20人

計:20人

#### 樹種

マンゴー、パパイア、グアバ、 ザボン、ジャックフルーツ

## モンゴル国ゴビ地域苗場造成と森林公園造成支援

モンゴル・ゴビツンベル県チョイル市









## 事業概要

6年前に県知事が「緑のゴビ」を政策に掲げ、30haのスポーツ森林公園造成に着手した。1昨年、国の政権が変わり、知事は交代したが公園造成政策は継続し、昨年度は当センターは12haの植林を行っている。今年度からモンゴル国立教育大学の協力の下で苗場造成に取りかかっている。また、在モンゴル日本大使館の協力で当地に「青少年植林訓練センター」設立をめざしている。このセンターはゴビ地域の「モンゴル人自らの手によって緑をよみがえさせる活動」の中心的役割を担う場所である。

## 事業成果

植林業者から入手した苗木に立ち枯れが目立つため、県独自のゴビ特有の環境に育つ苗の育成場を造成した。規模は井戸と貯水槽を設置し、12haの苗場のうち5haを三層の

樹木で風砂の保護柵をつくり苗木を直植えした。また、植 林講習会も年4回開催した。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・当法人は環境問題で最も困難なゴビの砂漠化防止のための研究と植林に立ち向かっている。ゴビ地域の環境は苛酷である。しかし、当法人が20年間に培ったモンゴル人との信頼関係は絶大である。事業達成はその地の人と人の輪によって成しとげられる。(大学教授)

## ●参加者の声

- ・当講習会では実習もできて、効果があって、良かった。(50 代女性)
- ・生徒たちに教えたり、見せたり、実験したりするための 多くの知識を得た。「木を植える」という目標に適した良 い講習会だった。(中学校教員)



中学生のための植林講習会



植林講習会



苗畑の造成



住民のための植林講習会実習

### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積:14ha 植付本数:5900本 森林公園造成:3ha 苗畑造成:12ha

### 参加者数

モンゴル:275人 計:275人

### 樹種

アカシア、ポプラ、ニレ、カラ マツほか

## ベトナムにおけるマングローブ林再生事業

ベトナム・ホーチミン市









## 事業概要

破壊されたマングローブ林を本来の多様性に富んだ森に 回復させる。主な活動内容は、①不成績造林地での再植林 を実施した土地でのニッパヤシの下刈、②放棄塩田での植 林、③両植林地における成長モニタリング調査など。

## 事業成果

再造林地では昨年に引き続き約2haのニッパヤシの下刈作業を行った。放棄塩田では、約1.4haの範囲に活着率の高い3種の苗を植林した。

## ●事業をよく知る関係者の声

・地盤高や冠水頻度などの立地環境を把握した上で、その

場に適した樹種を選定し、植林を成功に結びつけた実績 は高く評価できる。放棄塩田などの裸地における植林で は、密植することで定着率を上げられる可能性がある。 (マングローブ研究者)

## 🦚 参加者の声

- ・土地に適した樹種を選んで植え、定期的にそして継続的 に下刈しなければならず、根気のいる取り組みと感じた。 (20代男性)
- ・ベトナム人と日本の学生が共に協力しながら作業を行い、励まし合いながら作業ができた。この作業によりマングローブの森が再生すると思うと達成感があった。(20代女性)



苗木を被陰するニッパヤシを整理



苗の運搬



ヒルギダマシ、ウラジロヒルギダマシほかを植樹



ベトナム人と日本の学生が協力して植樹

### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積: 1.4ha 植付本数: 3500本 下刈面積: 2ha 成長モニタリング調査

#### 参加者数

日本:111人 ベトナム:66人 計:177人

### 樹種

ヒルギダマシ、ウラジロヒルギ ダマシ、マヤプシキ

## 上・下流部住民の交流による流域の森林再生(第3年次)

フィリピン・西ネグロス州シライ市













### 事業概要

目的は、かつて日本への輸出のためやエビ養殖池の造成 のために伐採された経緯のある西ネグロス州シライ市のマ リスボッグ川流域の自然の回復と住民の環境意識の向上で ある。主な活動は以下のとおり、①マングローブ植林。② 上流部の森林再生。マングローブと果樹及び原生種の苗木 を植林した。③植林地までの林道の整備。手入れを行いや すくするため、竹の歩道橋を整備した。④マングローブ祭 りの開催。流域の住民同士の交流を促進し、流域の森林保 全活動の啓発のため。

### ● 事業成果

今年度は、上流部に1970本、下流部に7145本を植林した。 マングローブ祭りは、地元高校の参加の許可が下りなかっ たため、参加者は300人に減少したが、良い交流ができた。

## 事業をよく知る関係者の声

・本事業地において、2012年度より流域の森林再生活動に 取り組んでいる。緑の募金の支援で、さらに3年間活動 を継続できた。流域の自然環境の回復はもとより、住民 の意識の向上が見られ、大きな成果を出している。近隣 の他の流域に同様の活動を拡大されることが望まれる。 (大学名誉教授)

## 🦚 参加者の声

・果樹の植林もマングローブの植林も両方体験できて、そ れぞれは全く違う環境だが、それらが流域でつながって いるということが学べた。貴重な経験ができた。(大学生)



~グローブ植樹



住民団体と日本からのボランティアが参加



上流部には果樹や原生種の樹木を植樹



修理中の橋

### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積: 1.2ha 植付本数:9115本

### 参加者数

日本:218人 フィリピン:780人 計:998人

#### 樹種

マングローブ、果樹ほか

## 東ティモールの子どもたちと水源の森を再生する事業

東ティモール・エルメラ県、ディリ県













## 事業概要

東ティモールは、2012年に独立した世界の最貧国のひとつである。子どもたちの日課は、登校前に共同水場に水を汲みにいくこと。問題は、この大切な水場が乾季になると枯れるようになったこと。原因は、過度な焼畑や家畜の放牧などにより、水源涵養林が劣化したことにある。この水源涵養林の再生を、子どもたちを植林活動に巻き込みながら達成したいと考えた。植林活動と環境教育を結び付けていくのが本事業の目的である。小学生には「学校菜園」で、植林用の苗を育苗することで、緑の大切さを教えた。そのうえで二つの高校生が中心となって学校周辺と「浸透堰」の集水域に植林を行った。

### 事業成果

「学校菜園」は、県内から20校、他県から10校の小学校から生徒413人、先生は64人が参加し、一週間にわたって緑化、水、農業の大切さを学び、学校菜園づくりの実習も行った。高校生による植林は2ヵ所で行った。1ヵ所はコーヒー栽培地域で、乾季にコーヒーを洗うのに水が大量に必

要である。窒素固定を行う根粒菌と共生しコーヒーの庇陰 樹となるモクマオウを植えた。もう1ヵ所は島で海岸部の 集落で、ここは井戸に飲用水を頼っているが、塩水化して いる。ここでは学校菜園で育苗したマンゴーなどの果樹を 植えた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・浸透堰の造成に、小学生・高校生を積極的に参加させる べきだった。浸透堰の造成、植林を通じて地域で水と緑 を守る運動を一体化できる可能性がある。(現地カウンタ ーパート職員)
- ・ほかの地域への展開のために、プロモーションビデオを 作成しておきたかった。(現地カウンターパート職員)

## 参加者の声

- ・コーヒーも植えたことのない生徒が、喜んで木を植えていた。(高校校長)
- ・コーヒー栽培には豊かな水が必要であり、庇陰樹を植えるなど山を緑にしていくことの大切さを知る良い機会になった。(地域住民)



学校菜園での育苗



浸透堰



植樹の説明



高校生が楽しく植樹

### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積: 3ha 植付本数: 9000本 下刈面積: 3ha 環境教育: 2校

### 参加者数

東ティモール: 1461人 計: 1461人

### 樹種

マンゴー、ランブタン、マンゴスチン、モクマオウ、デイゴ

## 01K-31 (公社)アジア協会アジア友の会

## ネパール・シンドゥパルチョーク郡地震被災地の学校の緑化と地域の憩いの場及び避難場所として活用するための緑の公園づくり

ネパール・シンドゥパルチョーク郡



















## ● 事業概要

2015年の地震被害により失った学校内の緑の復活による環境づくりと共に、地域の緑を増やし同時に災害時の避難場所としても機能する緑の公園づくりを行うことで、豊かな地域環境を取り戻す。公園づくりのための整地及び1500本の植林を地域の森林組合が主となり実施。公園に池を掘削しその周辺の歩道づくり、その周辺及び公園として整備したエリアに植林していく。2回の植林キャンペーンを地域の人の参加を促して実施、5月にも実施予定であったが新型コロナの関係で中止となった。また苗は2000本を育てている。また村内の学校3校にて生徒参加の植樹祭を1回開催した。

## 事業成果

地域の人たちの注目度、関心度が向上し、足を運ぶ人が

増えてきた。特に将来的なことを考え、今年度は公園内に は果樹を植樹し、村の特産につなげることをめざした植林 を行った、学校では、生徒たちの積極的な関わりが見えて きた。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・この活動が契機となり、村全体の意識が変わりはじめ、特に子どもたちがこの村や学校に対して愛着をもってくれるようになったことは大きな変化と嬉しく感じている。このまましっかりと根付いてほしい。(地区長)

## ●参加者の声

・自分たちで植えるととても愛着を感じる。これまで、自 分たちで学校の環境を良くすることは考えていなかった が、自分たちにもその役割がある事を知り、学校に対す る意識が変わった。(学校での植林参加生徒)



学生たちの植林



地域の公園に植林



苗木づくり



植林地の歩道、作業道づくり

### 実績とりまとめ表

### 作業内容

植付面積: 2.7ha 植付本数: 1875本 下刈面積: 5.0ha 育苗: 2000本 公園整地: 6ha

#### 参加者数

ネパール:210人

#### 樹頹

マンゴー、ライチ、レモン、ナ

シほか

### 01K-32

## マダガスカルでの土砂流失防止の植林事業

マダガスカル・アラトラ省アンボヒダヴァ村







### 事業概要

マダガスカル共和国のアラトラ省アンボヒダヴァ村で、森林を再生しながら土砂災害を防止するために、植栽の専門家の指導を受けながら、住民とともに樹木を植栽する。参加者は、小学校から高校生まで延べおよそ3000人以上と大人20数人。植栽面積はおよそ7 ha。

## 事業成果

住民は、植樹を村の恒例行事としてとらえていることが うかがえた。2月の植栽日には、村の小中学校を訪問して いた若いアメリカ人ボランティアの数人も植栽活動に参加 した。

## ● 事業をよく知る関係者の声

帰国後、会のメンバーに報告すると、彼らは広大な地帯での活動に少々ためらいがあるようだった。長い時間と費用が必要だからだ。今後は、村での植栽が持続可能な技術的、組織的枠組みの構築が必要ではないかということだった。毎年一定の参加者数が見込めていることから、住民は自然を守ることの重要性を共有していると思われる。

## ●参加者の声

村の子どもたちに聞くと、ほとんどすべての回答が、友達との作業が楽しい、毎年木を植えてほしい、とのことだった。



熱心に説明を聞く子どもたち



ユーカリ、アカシアほかを植樹



子どもたちの植樹後に専門家の確認作業



植樹参加者

### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積:7ha

植付本数:1万7500本

### 参加者数

日本ほか:7人

マダガスカル:3000人

計:3007人

#### 樹種

ユーカリ、カエデ、アカシア、 オレンジ

### 01K-34

## タイ北部山岳地域 ナムカー村の森林再生と農村開発

タイ・パヤオ県ポン郡ナムカー村













## ● 事業概要

40年前頃、難民としてこの地に定住した人々が安定した 農業収入を得るために「GMOトウモロコシ畑」を「果樹林」 に転換する。持続可能な森林農業と共に荒廃した大地を緑 豊かな農地にすることにより森林をよみがえらせ、自立と 持続可能で安定した豊かな生活の向上をめざす。環境保全 型森林農業と循環型社会形成のモデルとして地域に波及す ることを目的とする。今年度転換した果樹は、マンゴー・ オレンジ・アボカド・ドリアンなど。生育調査に併せて病 害虫や土質などの障害調査も行った。

## 事業成果

ワークショップを行ったことにより植栽への理解と取り 組みの大切さと誇りが感じられた。自然相手の農業に対す る危機感もあり、今後も森林の役目と樹木の大切さが理解 でき、トウモロコシから早く転換したいとの意見も多く聞

### くことができた。

## ⇒事業をよく知る関係者の声

・トウモロコシ栽培のため森林を伐採し開墾した。3~4 年経過頃から農薬による健康障害や不作が始まり、豪雨 災害が発生し耕作不能となった。農地の復旧に合わせ樹 木の栽培が始まり、政府の奨励するゴム栽培も始まった が先行きは見通せない。トウモロコシ栽培から地産地消 の果樹のプロジェクトへの転換が始まることとなり村は 活気づいている。(村長)

## ●参加者の声

- ・お父さんお母さんがとても喜んでマンゴーを植えました、 私のマンゴーも植えました。私も水をあげて世話をして います。(小学3年女子)
- ・このプロジェクトが来るのを3年間待っていた。(村の世 話人男性)



苗木の配布



植栽講習会



病害虫調査



SDGsセミナー

#### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積:30.1ha 植付本数:6741本

### 参加者数

タイ:470人 計:470人

### 樹種

マンゴー、ラムヤイ、オレンジ、 アボカド、ドリアン

## モザンビーク共和国カーボデルガド州モリンガプロジェクト

モザンビーク・カーボデルガド州ペンバ市











### 事業概要

貧困率の高いペンバ市のスラム地区において、作物生産 性の低さと高い栄養失調率の改善を含め、貧困地区の緑化 を行う。主な活動は以下のとおり。①モリンガ400本とレモ ン200本以上を各家庭の庭に移植する。②植物の移植講習を 現地協同組合の農業専門員により4回実施する。当会のス ラムの学び舎・寺子屋の子どもたちの環境教育活動の一環 として移植を実施。

### 事業成果

前年度よりも多くの子どもたちが育成・移植活動を手伝 った。今年は年末年始に巨大暴風雨が現地を襲い、再び、移 植した苗が流され、当会で自主的に、追加の播種活動を実 施したが、播種活動においても幼児から年長者までの子ど もたちが手伝い、実践的な環境教育としての役割を果たせ た。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・木が伐採されるのはあっという間だが生育するには時間 がかかるので、自然災害にあっても、地道に活動を続け ていくことが大切だ。(講師)
- ・自然や環境に興味を示す子どもが増えているのは良いこ とだ。(農業グループ)

## ●参加者の声

- ・モリンガは週に1度は食べる植物だし健康に良いので、こ れからも植えていきたい。(移植した家庭の主婦)
- ・カシューナッツやバナナなどの植物も挑戦できると良い。 (青年)
- ・土をどれぐらい掘れば良いのか、もっとコツをつかみた い。(子ども)



モリンガ苗の育成



モリンガの移植



レモンの移植



### 実績とりまとめ

### 作業内容

植付面積: 0.06ha 植付本数:648本

モザンビーク:203人

計:203人

モリンガ、レモン、グァバ

## ミャンマー・インレー地域における水環境保全事業

ミャンマー・シャン州ニャウンシュエタウンシップ







### ●事業概要

目的は、周辺の山や川からインレー湖への土砂流出を防ぐため。インレー湖の水質は日本の湖の最も汚れたレベルにあり、このまま土壌流入が続くと生態系の変化や水質汚染の急速化を引き起こすことが懸念されている。特に雨季に土砂流入量が増えている。活動内容は、①村民と協力しての7000本の植樹、②田んぼに土砂を沈殿させるための雨季作の実施、③環境研修。

## 事業成果

カロー川周辺に植林した。川周辺12村の村民と植林委員会が協力して実施し植林を行った。湖への直接の土砂流入防止のため、川水を田んぼに引き入れ、雨季の水稲栽培を実施するとともに田んぼで土砂を沈殿させた。田んぼでの水稲栽培のため、農業研修を3回実施、環境研修を4回実施した。

## ● 事業をよく知る関係者の声

- ・雨季作と植林の事業を高く評価したい。ヌワダマ村をモ デルとして、他村にも広げるために農業灌漑省として貸 付金制度をつくりたい。(農業灌漑省)
- ・ヌワダマ村が循環型農業に力を入れてうまくいっている ので堆肥を作ってもらい、当社で販売したい。(オーガニック系肥料販売会社)

## ●参加者の声

- ・木を植えるのが好きになった。今までは、木を植えたら 自分の役に立つということを意識したことがなかったが、 今は毎年木を植えたら、それだけ資産が増えることに気 付いた。(植林参加者)
- ・昔は雨季でも川の水が濁ることはなかったが、今はすご く濁ってしまう。木を植えることで土の流入を少なくす ることができると理解できた。(ワークショップ参加者)



環境保全のワークショップ



苗木の運搬



アボガド、ユーカリほかを植樹



川水を田に引き入れ、雨季の水稲栽培

#### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積:4.8ha 植付本数:7000本

#### 樹種

アボガド、セインタロンマン ゴー、カシュー、マンゴー、ユー カリ、チークほか

## フィリピン・先住民の持続可能な森林経営に向けた苗木生産

フィリピン・東ミンドロ県ブララカオ町

















## ● 事業概要

貧困状態にあるミンドロ島の先住民マンギャン族の持続可能な森林経営を可能にする。主な活動は以下のとおり、①ミンドロ島在来種カンラン科樹木の山引苗の採集。②小さな苗畑を各自設置し、採集した山引苗や果樹等の苗木を育成。③植栽予定地の準備及び下刈作業。④苗木育成の研修と森林資源を活用した石鹸製造研修。

## 事業成果

在来種カンラン科の木の有用性につてマンギャン族の理解が深まった。山引苗を採集し育成するという初めての取り組みを試行錯誤しながら行っている。山引苗の探索で行動範囲が広がり、森林再生に関心のある事業地域以外のマンギャン族や地元民との繋がりも広がった。

## ● 事業をよく知る関係者の声

・度重なる台風被災や新型コロナ禍の対応に追われ、町は

財政的にも人員的にも疲労している。遠隔地に住むマンギャン族にコンタクトするのは大変困難な状況にある。日本から支援いただき感謝している。森林産物が町の特産物になれば、生活は少し楽になる。とても意義ある活動だ。私たちもできるだけ協力していきたい。(ブララカオ町役場農業担当者)

## 🦚 参加者の声

・子どもの頃は、サヘンの木がたくさん生えていて、樹脂は灯りに使った。電気や灯油が買えるようになってからは不要になり、よく燃えるので薪用に伐採してしまった。サヘンの木は台風に強く、樹脂が高値で売れると事業説明を聞いた。伐ってしまい大変に残念な事をした。20年位かかると思うが、自分の孫たちのために、サヘンを植えていきたい。(サンロケ村住民)



山引き苗



苗木育成研修



苗木育成



下刈

### 実績とりまとめ

### 作業内容

下刈面積:15.3ha

山引苗採集・育成:4049本

播種:2000個 苗木育成研修:23回 石鹸製造研修:14回

### 参加者数

日本:2人

フィリピン:38人

計:40人

### 樹種

グヤバノ・マロンガイ・イラン イランノキ

# 令和元年度 中央事業実施状況一覧

## 【森林の整備】

					六八姑								SDGs	sの目標と(	の関連								
交付決定番号	事 業 名	事業地	交 付 先	所在地	交付額 (千円)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	掲載頁
01SC-01	緑のボランティアの森記念造成事業「フォレスト21さがみの森」	神奈川	フォレスト21さがみの森連絡協議会	東京	1,500			•	•									•	•	•		•	10
01SC-02	「キリン千歳水源の森」整備の森づくり	北海道	北海道林業技士会	北海道	525																		未掲載
01SC-04	湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業	神奈川	(公財)かながわトラストみどり財団	神奈川	1,400															•			11
01SC-05	南足柄で進める企業の森づくり体験活動事業	神奈川	(公財)かながわトラストみどり財団	神奈川	2,750															•			12
01SC-06	栗原市行者の滝周辺「癒しの森」植樹活動	宮城	(特非)森林との共生を考える会	宮城	1,000													•		•		•	13
01SC-07	富士山緑の募金の森造成事業	静岡	富士山緑の募金の森造成事業実行委員会	静岡	3,000			•	•		•					•		•	•	•		•	14
01SC-08	緑のボランティアの森記念造成事業「いずみの森21」	大阪	いずみの森ボランティアの会	大阪	300											•							15
01SC-09	木下沢渓谷冒険の森保全活動と環境教育	東京	木下沢渓谷冒険の森の会	東京	1,260			•	•							•		•	•	•		•	16
01SC-10	玖珠町ふれあいの森づくり事業	大分	玖珠郡森林組合	大分	2,492													•					17
01SC-11	「大阪府ENEOS友好の森」森林整備事業	大阪	大阪府森林組合南河内支店	大阪	780			•	•		•	•	•						•	•		•	18
01SC-12	みんなのSDGsのMORIと社会づくり事業	宮城	(特非)宮城県森林インストラクター協会	宮城	900			•	•							•				•			19
01SC-13	「赤西渓谷・水源の森」保全事業	兵庫	(特非)ひょうご森の倶楽部	兵庫	1,000			•			•							•	•	•		•	20
01SC-14	企業との協働による「高梁美しい森」森林整備事業	岡山	(特非)フォレスト フォー ピープル岡山	岡山	1,200						•						•			•			21
01SC-15	和木町協働の森づくり事業	山口	和木町里山研究会	山口	180			•								•	•	•		•		•	22
01SC-16	木曽川・やおつ水源の森づくり活動	岐阜	やおつ水源の森づくり実行委員会	岐阜	850															•			23
01SC-17	岡山水源の森整備事業	岡山	グリーンOB会	岡山	200													•		•			24
01東震SC-01	3.11復活の森づくり~千葉県山武市蓮沼海岸林再生事業	千葉	(特非)森のライフスタイル研究所	長野	1,800											•		•	•			•	25
01東震SC-02	松川浦海岸防災林(相馬市大洲国有林)の再生に向けた活動	福島	(特非)DO55	東京	424											•				•		•	26
01東震SC-03	「大曲浜潮除須賀松の森」植樹事業	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	1,925											•		•	•	•	•	•	27
01東震SC-04	旭復興事業2019	千葉	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	906	•	•	•			•	•	•			•		•	•	•		•	28
01東震SC-05	震災復興植樹祭 IN さんむ	千葉	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	1,914	•	•	•			•	•	•			•		•	•	•		•	29
01東震SC-06	白子町海岸保安林整備事業	千葉	(公社)千葉県緑化推進委員会	千葉	1,110	•	•	•			•	•	•			•		•	•	•		•	30
01東震SC-07	「荒浜潮除須賀松の森」植樹事業	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	3,238			•	•							•		•	•	•		•	31
01東震SC-08	ラグビーワールドカップ2019後のコミュニティ再生を目指す 大槌湾海岸防災林植樹事業	岩手	(特非)環境パートナーシップいわて	岩手	436				•							•			•	•			32
01S-01	札幌市澄川都市環境林に於ける放置された広葉樹林の復興事業	北海道	(特非)北海道森林ボランティア協会	北海道	700			•				•								•			33
01S-02	次世代につなぐ国産漆植樹事業	岩手	(一社)次世代漆協会	岩手	1,000				•		•		•	•		•	•	•		•			34
01S-03	間伐材の資源化プロジェクト	岩手	(特非)いわて森林再生研究所	岩手	600							•				•		•					35
01S-04	山林と暮らしを結ぶ「薪割りランド」事業	岩手	薪割りランド研究会	岩手	1,000			•				•				•		•		•			36
01S-05	森林の整備(地震で崩落した山林の再生事業)	宮城	森のなかま	宮城	170											•			•	•			37
01S-06	北上川の上下流を結ぶ緑の再生活動	岩手	(特非)環境生態工学研究所	宮城	900						•							•	•	•			38
01S-07	クマゲラの森再生活動	秋田	森吉山ブナ林再生応援隊	秋田	300			•			•							•		•			39
01S-08	森林ボランティア育成講座(第13期)	茨城	森のボランティア茨城	茨城	350							•				•		•					40
01S-09	『トトロの森』狭山丘陵と周辺緑地での里山保全	埼玉・東京	(公財)トトロのふるさと基金	埼玉	1,200			•	•							•		•		•			41
01S-10	雑木林の恵みを環境教育などで享受しながらの継続的な整備	千葉	山武に雑木林をつくる会	千葉	190						•	•				•		•				•	42
01S-11	親子でとりくむ「森のがっこう」の拠点づくり	千葉	子育で支援ステーション ニッセ	千葉	1,200			•	•	•	•	•				•	•			•		•	43
01S-12	北浅川上流地区の森にホタルを飛ばそう!	東京	枯れ沢復活&ホタルを飛ばす会	東京	500						•					•		•		•		•	44
01S-13	長野県北信地域森林整備活動	長野	(特非)国際ボランティア学生協会	東京	1,200				•		•					•		•		•			45
01S-14	宮の平植樹プロジェクト	埼玉	名栗さわらび隊	東京	200			•		•												•	46
01S-15	古民家/宙(そら)一こどもの「ひみつきち」の森づくり	千葉	木と建築で創造する共生社会実践研究会 (A-WASS)	東京	285																		未掲載
01S-16	森の次代を担う青年森づくり事業	東京	(特非)森の包括支援センター	東京	500	•			•			•				•		•		•		•	47
01S-17	市民参加による茨城高萩の森づくり人づくり	茨城	(公財)ボーイスカウト日本連盟	東京	1,300																		未掲載

					交付額								SDG	sの目標との	の関連								
交付決定番号	事業名	事業地	交 付 先	所在地	(千円)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	掲載頁
01S-18	秩父市久那上ノ山及びその周辺山林の整備と育成	埼玉	ちちぶ里森の会	東京	600																		未掲載
01S-19	一般市民による湘南海岸林整備事業	神奈川	(特非)地球緑化センター	東京	190															•			48
01S-20	神奈川県山北町における森林整備活動事業	神奈川	(特非)地球緑化センター	東京	440															•			49
01S-21	南高尾風景林の森づくりと森林体験スクール活動	東京	高尾グリーン倶楽部	東京	600			•	•		•	•				•		•		•		•	50
01S-22	ボランティアによる参加型の日向の森	千葉	(公財)Save Earth Foundation	東京	1,100				•									•		•			51
01S-23	森林と竹林と里山林の実践整備活動	茨城	ふれあい筑波	東京	200			•			•					•		•					52
01S-24	谷戸川エリア環境整備事業	神奈川	谷戸川渓谷をきれいにする会	神奈川	200						•					•			•	•		•	53
01S-25	「山の学校」〜水が繋ぐ地域と世代〜促進事業		(一社)全国森の循環推進協議会	神奈川	1,340				•							•	•	•		•			54
01S-26	富士山休養林の森林整備	静岡	富士緑化応援隊	神奈川	600			•		•	•		•		•	•				•	•	•	55
01S-27	複数フィールドの持続的な竹林保全と活用		(特非)日本の竹ファンクラブ	神奈川	600															•			56
01S-28	森林の保全・整備と森林資源の利活用	神奈川	(特非)かながわ森林インストラクターの会	神奈川	300			•			•									•			57
01S-29	楓の森づくりを核とした森林体験	新潟	(特非)風小僧	新潟	1,100			•	•		•	•				•	•	•	•	•	•	•	58
01S-30	鬼太鼓の森林再生事業	新潟	「鬼太鼓の森づくり」協議会	新潟	900															•			59
01S-31	里山の力を生かす「忍者の里づくり」プロジェクト	富山	高岡忍者	富山	1,100																		未掲載
01S-32	越前市の森が育む木育広場	福井	(特非)月尾くらし工房	福井	450			•	•		•		•			•	•		•	•		•	60
01S-33	間伐材を活用した観光地の新たな魅力化事業	福井	(一社)SwitchSwitch	福井	750																		未掲載
01S-34	都市近郊の新しい里山づくり	東京	(特非)ドングリの会	岐阜	1,000																		未掲載
01S-35	水源の森づくりと木材活用の一体型拠点事業	長野	なつかしい未来の会	岐阜	550				_							_						_	未掲載
01S-36	荒れ果てた里山を救え!大場桜山再生プロジェクト	静岡	(特非)グラウンドワーク三島	静岡	1,100				•		•					•				•		•	61
01S-37	間伐材の有効活用のための森林整備事業	愛知	とうえい木の駅実行委員会	愛知	780															•			62
01S-38	野外保育に対応した地域森の整備	三重	(一社)熊野レストレーション	三重	630			•	•							•	•			•		•	63
01S-39	資源利用による「やまんばの森」の再生と森林環境学習の推進 - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	滋賀	(認特)やまんばの会	滋賀	735				•			•				•		•		•		_	64
01S-40	寺林の生物多様性の保全を通した森林環境教育の実践	京都	フィールドソサイエティー	京都	480				•							•		•		•		•	65
01S-42	里山整備事業 第2期	兵庫	任意団体清水寺の森	兵庫	160			•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	66
01S-44	森林環境教育推進拠点整備事業	山口	(特非)もりのこえん	山口	600			•	•		•		•			•	•		•	•			67
01S-45	里山整備事業	広島	下御領自然と歴史を守る同好会	広島	150						•		•			•		•		•			68
01S-46	岡垣町:放置林伐採・植樹プロジェクト	福岡	岡垣緑のまちづくりの会	福岡	240															•			69
01S-47 01災S-01	桜島新島町「ふるさと再生プロジェクト'19	鹿児島 北海道	(特非)ふるさと再生プロジェクトの会 (特非)いぶり自然学校	鹿児島 	1,900			•	•			•	•			•		•	•	•			70
01%3-01	体制の構築	10/呼坦	(行弁)いかり日然子仅	10/呼厄																			
01災S-02	次世代教育のための市民参加型の森づくり	北海道	(特非)ezorock	北海道	740							•				•				•			72
01災S-03	里山保全の担い手を育てる自伐林業養成事業	北海道	北海道自伐型林業推進協議会	北海道	790			•	•		•		•	•		•			•	•			73
01災S-04	森づくり事業	宮城	(特非)わたりグリーンベルトプロジェクト	宮城	1,150																		未掲載
01災S-05	間伐材活用による上下流協働の循環型「森活」プロジェクト	群馬	やまづくりくらぶ	東京	300			•										•					74
01災S-06	海岸防災林や保全地区等の森林整備事業	千葉·長野· 東京	(特非)森のライフスタイル研究所	東京	2,400						•					•		•		•		•	75
01災S-07	富士山麓における森づくり整備活動	山梨	(公財)オイスカ	東京	2,400	•	•	•	•		•	•	•	•			•	•		•		•	76
01災S-08	里山保全ボランティアの安全技能研修	神奈川	(特非)よこはま里山研究所	神奈川	450											•				•			77
01災S-09	神武寺ハイキングコース整備、大池公園整備、チェーンソー講習 (狭山市、逗子市等)	神奈川·千葉	復興ボランティアタスクフォース	神奈川	370			•				•						•		•		•	78
01災S-10	緑の遺産「胎内」災害に強い森づくり	新潟	四季を愛する会	新潟	2,400													•		•		•	79
01災S-11	自然回帰・椿守の森づくり事業 (森林の整備と連携して行う普及啓発活動)	島根	森の駅事業推進協議会(いずも森の駅)	島根	1,000			•			•					•		•		•		•	80
01災S-12	全国の専門家達による災害に強い「島根の里山モデル林」づくり 事業	島根	日本林業技士会島根県支部	島根	1,000				•		•		•	•		•	•	•				•	81
01災S-13	薪林業で森林循環促進と持続可能な森林経営	高知	(特非)土佐の森・救援隊	高知	1,100							•				•	•	•		•			82
01災S-14	入来浜海岸防災林保全活動	鹿児島	(特非)森と木の研究所	鹿児島	1,000			•								•							83

# 【緑化の推進】

交付決定番号	事業名	事業地	交 付 先	所在地	交付額								SDGs	の目標との	の関連								掲載]
八八八八田ワ	7 1	子木地	A 13 76	771 11.35	(千円)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	1-0 41
01RC-01	子どもと地域のための森の健康診断普及事業	長野·静岡· 愛知·三重· 岐阜	森の健康診断出前隊	愛知	2,000				•											•			86
)1RC-02	獅子吼高原アウトドアFes. 「もりもりの森」 &森のふれあい音楽会	石川	「つたえよう美しき森」推進委員会	石川	1,500			•								•			•	•			8
1RC-03	活樹祭~水源林・森の恵みと活用を学ぶキャンププログラム (小菅村)	山梨	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	1,135				•		•				•	•				•		•	88
1RC-04	活樹祭・親子森林教室~森の惠みと活用を学ぶキャンププログラム (川崎町)	宮城	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	1,012				•		•				•	•	•			•		•	89
1RC-05	活樹祭・親子森林教室〜名護の森から学ぼう〜	沖縄	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	725				•						•			•	•	•		•	90
1RC-06	緑のまなび事業(甲賀市立大原小学校 外2小学校)	滋賀	甲賀市緑化推進委員会	滋賀	1,000															•			91
1RC-07	緑のまなび事業 (ながぬま緑の少年団)	北海道	ながぬま緑の少年団	北海道	1,000			•	•							•		•		•			92
1RC-09	福を呼ぶ「フクギさんぽ道」プロジェクト	沖縄	(公社)沖縄県緑化推進委員会	沖縄	2,000																		未掲
1RC-10	石垣島里山づくりプロジェクト	沖縄	(特非)樹木・環境ネットワーク協会	東京	444				•							•	•	•	•	•			93
1RC-11	こどもからお年寄りまで元気になる森づくり事業	北海道	羽幌みんなでつくる自然空間協議会	北海道	300			•	•			•				•		•	•	•		•	94
東震RC-01	Project-D	岩手·宮城· 福島	(公財)日本環境協会	東京	1,200				•									•		•		•	95
東震RC-02	「被災地に緑と心のふれあい森林づくり」事業	宮城	(公社)宮城県緑化推進委員会	宮城	1,765			•	•		•					•	•	•	•	•	•	•	96
熊震RC-01	熊本地震復興支援事業(学校・復興支援住宅等緑化)	熊本	(公社)熊本県緑化推進委員会	熊本	1,070			•	•							•		•		•		•	97
北震RC-01	震災の森の復旧・復興を通した子ども森学び体験教室	北海道	(特非)はやきた子どもの遊び場づくりネットワーク	北海道	1,000				•		•					•	•	•		•		•	98
北震RC-02	胆振管内連携·胆振東部地震復興祈念事業	北海道	(公社)北海道森と緑の会	北海道	762				•							•	•	•		•		•	99
台風RC-01	大房岬自然公園の緑復旧支援活動	千葉	(公財)日本環境協会	東京	400				•									•		•		•	10
1R-01	森・子どもたちへの元気づくり・再生プロジェクト	北海道	(公社)北海道森と緑の会	北海道	1,700	•	•	•	•	•	•		•		•	•	•	•	•	•		•	10
)1R-02	【Furano Forest Style】植樹会と間伐イベントを通じた、富良野の森づくり人づくり事業	北海道	(特非)C·C·C富良野自然塾	北海道	600											•		•		•			10
01R-03	森と緑と湖のマチ、そららの森づくりプロジェクト	北海道	釧路湿原・阿寒・摩周 シーニックバイウェイ運営代表者会議	北海道	600											•				•			10
01R-04	いのちの森づくり植樹祭 IN 奥沢水源地 VOL7	北海道	北海道千年の森プロジェクト	北海道	1,000			•	•		•	•						•	•	•			10
01R-05	未来に引き継ごう!天然青森ヒバ林を	青森	三陸森の会	青森	930				•		•							•	•	•		•	10
01R-06	オオヤマザクラ等の保育活動を通じた地域を結ぶ森林づくり	青森	岩木山桜会議	青森	250			•								•				•		•	10
)1R-07	陸奥湾の海と山を結ぶ循環を学ぶ環境学習授業	青森	(特非)白神山地を守る会	青森	250													•	•	•			10
)1R-08	沈黙しないでピカピカ里山にしませんか!	秋田	(特非)角館里山再生プロジェクト	秋田	1,150			•								•		•					10
)1R-09	八幡山桜(はな)の森整備事業 紅葉の森整備事業	山形	手ノ子区協議会	山形	500			•	•		•					•				•		•	10
)1R-10	ふるさとの風景づくり植樹祭	福島	ふるさとの風景づくり実行委員会	福島	400											•		•		•		•	11
)1R-11	みんなでつくるみんなの森プロジェクト	栃木	(特非)1000年の森を育てるみんなの会	栃木	800	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	11
)1R-12	渡良瀬川源流の荒廃地緑化事業	栃木	(特非)足尾に緑を育てる会	栃木	1,300				•		•							•		•			11:
)1R-13	千葉の里山で竹林整備と竹の利活用	千葉・東京	ちば里山・バイオマス協議会	千葉	610	•	•	•	•			•	•			•	•	•		•		•	11
)1R-14	地域の自然を次世代につなげる園庭緑化	千葉	(学)吉岡学園 まどか幼稚園	千葉	445																		未掲
)1R-15	高尾小仏植樹祭2019	東京	(特非)国際ふるさとの森づくり協会	東京	600											•		•		•			114
)1R-16	サンシティ D棟西台地の野草園化活動	東京	サンシティ管理組合サンシティグリーンボランティアの会	東京	150																		11
)1R-17	ののはな緑の小道プロジェクト	神奈川	(福)東香会 ののはな文京保育園	神奈川	300				•											•			11
)1R-19	次世代につなぐ里山づくり	福井	(特非)里豊夢わかさ	福井	300			•	•			•				•						•	11
1R-20	昆虫の棲める里山再生	山梨	(特非)自然とオオムラサキに親しむ会	山梨	1,000			•	•	•	•	•	•			•	•			•	•	•	11
)1R-21	第3回「山と海をつなげるいのちの森づくり植樹祭」	静岡	(特非)時ノ寿の森クラブ	静岡	800																	-	未掲
01R-22	猿投山北西山麓の環境林整備	愛知	猿投の森づくりの会	愛知	390			•	•		•							•	•	•		•	119
01R-23	環境問題について考え、自然と触れ合おう	三重	(特非)どんぐりの会	三重	220						+							•		•			120

交付決定番号	Ta +4 /2	事業地	交 付 先	所在地	交付額								SDG	sの目標と	の関連								掲載頁
父刊决正备亏	事業名	争耒地	交 付 先	所任地	(千円)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	拘載貝
01R-25	幼稚園・小学校連携によるビオトープネットワークづくり	大阪	bioa(ビオア)	大阪	750																		未掲載
01R-26	損保川源流の森づくり	兵庫	兵庫ドングリ千年の森をつくる会	兵庫	1,200															•			121
01R-27	新元号(令和)記念植樹祭	広島	(特非)ひろしま人と樹の会	広島	1,100			•	•		•				•	•		•	•	•	•	•	122
01R-28	「山野草350種の花が咲く」森の保存による里山事業	山口	「山野草のエキ」保存会	山口	255											•				•		•	123
01R-29	森づくり活動拠点での体験ふれあい事業	徳島	(公社)徳島森林づくり推進機構	徳島	1,700													•		•			124
01災R-01	東日本大震災復興支援 緑化木育成	宮城・千葉	東日本大震災復興緑化支援100万本植 樹活動	千葉	1,300																		未掲載
01災R-03	湘南国際村めぐりの森づくり	神奈川	(一社)Silva	神奈川	2,400		•			•	•		•		•	•	•	•	•	•		•	125
01災R-04	さばえの里山と人を結ぶSDGsへの森づくりプロジェクト	福井	越の郷地球環境会議	福井	600			•	•		•		•			•		•	•	•		•	126
01災R-05	グリーンベイOSAKA森を育てる活動(海岸防災林の植樹整備)	大阪	(特非)グリーンベイOSAKA	大阪	1,900											•		•	•	•		•	127
01災R-06	菊炭と里山を未来につなぐプロ ジェクト	大阪	大阪能勢田尻菊炭振興協議会	大阪	2,200			•	•		•	•				•		•	•	•		•	128
01災R-07	「地球に緑を桜島を緑に」どんぐり照葉樹の森づくり	鹿児島	桜島どんぐりころころ植樹祭実行委員会	鹿児島	1,300			•			•	•				•	•	•		•		•	129

## 【子どもたちの未来の森づくり事業】

六八沽中采口	<b>ま 光</b> カ	中茶巾	<i>★ 4                                   </i>	⊒C- <del>1</del> 1⊪	交付額								SDG	sの目標と	の関連								44 84
交付決定番号	事業名	事業地	交 付 先	所在地	(千円)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	掲載頁
01子R-01	にちようびの森~森で育つこどもたち	北海道	(認特)子どもと文化のひろば ぶれいお ん・とかち	北海道	700			•	•							•			•	•		•	132
01子R-02	こまおかの森げんきづくり事業	北海道	札幌市立駒岡小学校 緑の少年団	北海道	350			•	•							•							133
01子R-03	子どもと馬を中心としたコミュニティによる森林整備及び森林環 境教育事業	北海道	胆振・体験から学ぶ推進協議会COLD	北海道	800			•	•		•	•				•		•		•			134
01子R-04	ふるさとの森・遊びの森作り事業	北海道	恵庭ふるさと100年の森	北海道	600			•	•		•					•				•			135
01子R-05	天売島・持続可能な未来の水源林づくり事業 (天売島・おらが島の里山づくり事業)		(一社)天売島おらが島活性化会議	北海道	650																		未掲載
01子R-06	「里山観察・間伐材でものづくり」まるごと体験ツアー	青森	(特非)おどろ木ネットワーク	青森	700			•	•	•	•	•				•	•	•	•	•		•	136
01子R-07	三川長根の種まき桜保存事業	岩手	平良木自治会	岩手	287											•				•		•	137
01子R-08	地域全体で守る子どもの学び場事業	岩手	(特非)SET	岩手	995			•	•							•				•			138
01子R-09	夢と未来の森キッズ育成協働事業	宮城	(特非)宮城県森林インストラクター協会	宮城	730			•	•							•		•	•	•		•	139
01子R-10	アウトドアで科学するサマーキャンプ実施とその指導者養成	宮城	宮城学院女子大学	宮城	569			•	•		•												140
01子R-11	森での遊びを通した環境教育事業	宮城	(特非)蔵王のブナと水を守る会	宮城	408			•	•									•		•			141
01子R-12	「そだてよう!どんぐりの森2019」プロジェクト	秋田	男鹿ツーリズムプラットホーム	秋田	1,000			•	•			•				•	•	•	•	•		•	142
01子R-13	子供たちへ繋ぐ森林の風	秋田	トーブ・木こりっこ	秋田	500				•			•				•				•			143
01子R-14	癒しの森作り	山形	(特非)斜平山保全活用連絡協議会	山形	700			•								•		•		•		•	144
01子R-15	子ども達の自然体験活動フィールド整備事業	福島	(特非)いわきの森に親しむ会	福島	800			•	•			•				•							145
01子R-16	森林資源・環境を利用した地域の子供達の健全育成	茨城	(特非)里山を守る会	茨城	370			•	•							•				•		•	146
01子R-17	森林保全事業と子どもたちの支援	茨城	森の守り人	茨城	700				•			•						•	•	•		•	147
01子R-18	名久田川源流学びの森事業	群馬	本宿八起会	群馬	174	•		•	•		•	•				•			•	•			148
01子R-19	第4回山の日記念「21世紀の森まつり」	群馬	山の日記念「21世紀の森まつり」実行 委員会	群馬	800				•		•	•				•	•	•	•	•			149
01子R-20	体験型学びの森づくり	群馬	群馬県樹木診断協会	群馬	700			•	•							•				•		•	150
01子R-21	菱小学校多行の松継承事業	群馬	桐生市立菱小学校PTA	群馬	700																		未掲載
01子R-22	生物多様性のある里山の森づくり	埼玉	埼玉県立浦和第一女子高等学校麗風会	埼玉	500			•	•		•					•		•		•		•	151
01子R-23	みんなで守ろう育てよう!よしみ里山プロジェクト	埼玉	(特非)ナチュラルリングトラスト	埼玉	600				•							•		•		•		•	152
01子R-24	市西小学校百年桜の保護と環境学習	千葉	市原市立市西小学校PTA	千葉	900			•	•							•		•					153
01子R-25	わくわくした森で、たくさん学ぶ事業	千葉	上総自然学校	千葉	300		•	•	•		•							•		•			154
01子R-26	地域のこどもたちと自然のふれあいを支援する事業	千葉	(特非)下田の杜里山フォーラム	千葉	360				•							•				•			155
01子R-27	歴史のある恩方の森で、地元の小学生へ体験学習	東京	パウロの森くらぶ	東京	500			•	•	•						•						•	156

<b>本任法中采</b> 日	# # 47	<del>+</del> ₩.II.	÷ 4 #	=r+1ır	交付額								SDGs	の目標と	の関連								<b>本</b> 44.84
交付決定番号	事業名	事業地	交 付 先	所在地	(千円)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	- 掲載頁
01子R-28	未来の子ども達においしい森をプレゼント	東京	(特非)フジの森	東京	800				•								•	•		•			157
01子R-29	「もりで遊び!もりで学び!もりで育てる!」鎌倉タヌキの森プロジェクト	神奈川	(学)西鎌倉学園 西鎌倉幼稚園	神奈川	700																		未掲載
01子R-30	相模湖若者の森づくり、知足の森整備活動	神奈川	(特非)緑のダム北相模	神奈川	705				•			•				•		•		•			158
01子R-31	故郷の里山再生および園芸文化の復活プロジェクト	新潟	保内緑の里管理組合	新潟	900											•		•				•	159
01子R-32	呉羽丘陵「学びの里山」づくりプロジェクト	富山	(特非)きんたろう倶楽部	富山	900				•							•				•			160
01子R-33	緑の里山保全の森づくり活動	富山	(公財)オイスカ富山県支部	富山	220													•		•		•	161
01子R-34	「ふるさと絆の森」再生事業	石川	石川フォレストサポーター会	石川	700															•			162
01子R-35	みんなの家でみんなの森づくりプロジェクト	山梨	(特非)野外遊び喜び総合研究所	山梨	450			•	•		•	•		•		•	•	•				•	163
01子R-36	閉校してもみんなの森はみんなで守ろうプロジェク ト	岐阜	吉田地域活性化委員会	岐阜	700											•				•			164
01子R-37	「子どもたちの未来につなぐ諸井里山の森整備事業」	静岡	(公社)静岡県林業会議所	静岡	900			•	•		•	•					•					•	165
01子R-38	裾野市深良地区樹種転換事業	静岡	(特非)地域活力創造センター	静岡	600				•									•		•			166
01子R-39	あさくら里山再生プロジェクト	愛知	あさくら里山再生プロジェクト	愛知	900											•				•		•	167
01子R-40	わんぱく山いきいきランドづくり	愛知	新城市立八名小学校PTA	愛知	800			•	•							•				•		•	168
01子R-41	さかきばら森の公園わくわくプロジェクト	三重	榊原未来会議	三重	600			•	•							•		•	•	•			169
01子R-42	稀少蝶再生をめざす里山の土壌調査・改良及び育苗・植樹	三重	(認特)森林の風	三重	510						•							•	•	•			170
01子R-43	文化的景観のまち菅浦の桜を守る	滋賀	菅浦自治会	滋賀	800			•												•			171
01子R-44	コバノミツバツツジを活かした学校林の環境整備	滋賀	ミツバ会	滋賀	460				•							•				•		•	172
01子R-45	市民の森で舞え!未来の森の守り人	大阪	(特非)NPOクワガタ探検隊	大阪	300				•			•				•		•		•			173
01子R-46	雌岡山梅林の管理・整備・育成及び環境保全	兵庫	雌岡山梅林を育てる会	兵庫	208			•	•		•	•				•			•	•		•	174
01子R-47	憩いの場としての健全な、景観の良い森林づくり	奈良	(特非)森づくり奈良クラブ	奈良	392			•															175
01子R-48	みんなでつくるドングリの森林	鳥取	森のともだち応援し隊	鳥取	756													•		•			176
01子R-49	境港市竹内西緑地マツ林復元・整備事業	鳥取	竹内マツ植樹隊	鳥取	800			•								•		•		•			177
01子R-50	子供たちと竹が未来に仲良くできる森林づくり	島根	まつえ環境市民会議	島根	700															•		•	178
01子R-51	みんなで育てよう伊部つながりの森整備事業	岡山	片上・伊部つながりの森実行委員会	岡山	800			•	•		•	•				•		•		•		•	179
01子R-52	伊部区有林マツ再生事業	岡山	伊部区有林管理会	岡山	800			•	•		•	•				•		•				•	180
01子R-53	緑の景観事業による里山創生	山口	「鹿野の風」プロジェクト	山口	700											•						•	181
01子R-54	学びの森整備・活用事業	山口	楢原ゆうあい会	山口	330																		未掲載
01子R-55	地元小学校を対象にした竹林体験学習サポー ト事業	山口	竹林ボランティア俵山	山口	326				•													•	182
01子R-56	子ども達に託せる美しい里山づくり	高知	こうち森林救援隊	高知	800			•								•		•	•	•		•	183
01子R-57	カブト・クワガタの学びの森づくり	長崎	(特非)えぼし高原ホースパーク	長崎	350																		未掲載
01子R-58	紙屋の里山等再生事業	宮崎	紙屋有志会	宮崎	700			•	•		•	•	•		•	•	•	•	•	•	•	•	184
01子R-59	子どもとミツバチの森づくり活動	鹿児島	(特非)森と木の研究所	鹿児島	1,000				•							•		•					185

## 【国際協力】

交付決定番号	<b>事                                    </b>	事業地	* # #	所在地	交付額								SDGs	の目標と	の関連							掲載頁
父刊沃疋番号	事業名	争耒地	交 付 先	所任地	(千円)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16 17	
01KC-01	地域住民によるアフリカの里山の再生と保護事業	マリ	(特非)サヘルの森	東京	1,300		•				•									•		188
01KC-02	日本-ラオス友好の森展示林造成事業	ラオス	高尾グリーン倶楽部	東京	2,700									•		•		•		•	•	189
01KC-03	フィジー 森林と海の生物多様性保全に向けた植林と環境教育推 進プロジェクト〜災害に強く、自然と調和した地域づくりのため に〜	フィジー	(公財)オイスカ	東京	2,000				•									•	•	•		190
01KC-04	2019年度 緑の国際ボランティア研修(タイ国)	タイ	(特非)環境修復保全機構	東京	2,200				•	•						•	•	•		•		191
01KC-05	タイ国チャイナート県における森林再生を目指した植林事業 (フェーズ3)	タイ	(特非)環境修復保全機構	東京	1,400					•						•	•	•		•		192
01KC-06	タイ国ナコーンラーチャシーマー県における森林再生を目指した 植林事業 (フェーズ3)	タイ	(特非)環境修復保全機構	東京	1,400					•						•	•	•		•		193

交付決定番号	事業名	事業地	交 付 先	所在地	交付額								SDG	の目標と	の関連								掲載頁
义门次止奋万	争 来 石	争耒地	交 付 先	が住地	(千円)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	拘戦貝
	カンボジア国コンボンチャム州における持続可能な森林管理を目指した植林事業(フェーズ1)	カンボジア	(特非)環境修復保全機構	東京	2,800					•						•	•	•		•			194
01KC-08	インドネシア 森林と水保全のための「まちの森」づくりと環境 教育推進プロジェクト	インドネシア	(公財)オイスカ	東京	2,110				•		•						•	•	•	•			195
01KC-09	地球温暖化防止と日中友好の森づくり事業	中国	(特非)地球緑化センター	東京	800													•		•			196
01KC-10	モンゴル国ボルガン県における飼料木を用いた放牧地保全林造成	モンゴル	(一社)ジョフカ	東京	2,000	•								•		•							197
01KC-11	地球温暖化防止のための寒帯林保全及び環境教育事業	ロシア	(特非)むさしの・多摩・ハバロフスク協会	東京	1,600													•	•	•			198
01K-01	インドネシア・バリ島での植樹・環境教育事業	インドネシア	(特非)ASIA Environmental Alliance	岩手	500				•							•		•					199
01K-02	中国・内モンゴル自治区アラシャン盟ウランブハ沙漠における沙 漠緑化	中国	(特非)MAKE HAPPY	宮城	1,130											•		•		•		•	200
01K-03	天水市豹子溝植物園専門園区造成事業	中国	(特非)あきた白神の森倶楽部	秋田	1,355	•	•	•								•		•					201
01K-04	屋敷林造成事業―住民主体のコミュニティー完結型緑化事業	エチオピア	(特非)フー太郎の森基金	福島	1,255	•	•	•	•			•				•	•	•		•		•	202
01K-05	環境保全の熱帯林再生事業	フィリピン	(特非)日本フィリピンボランティア協会	埼玉	1,088	•		•	•		•		•		•	•		•	•	•		•	203
01K-06	ウガンダ共和国における植林事業	ウガンダ	AAAアジア&アフリカ	埼玉	1,236																		未掲載
01K-07	ブルキナファソ・バム県における村落植林プロジェクト	ブルキナ ファソ	(特非)緑のサヘル	東京	436	•																	204
01K-08	インドネシア・東スンバ県における緑化推進のためのマングロー ブ植林および緑化教育事業	インドネシア	(特非)地球の友と歩む会	東京	545	•	•		•										•	•		•	205
m k ing	フィリピン アブラ州生物多様性改善のためのモデル植林プロジェクト	フィリピン	(公財)オイスカ	東京	1,483	•										•		•		•			206
01K-10	マダガスカル、アンジアマンギラーナ監視森林とその周辺地域での植林	マダガスカル	日本アイアイ・ファンド	東京	1,130	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•			•		•	207
01K-11	パレスチナ自治区ナブルス県の耕作放棄地・渓谷への植樹を通し た地域の環境保全事業	パレスチナ	(特非)バルシック	東京	1,380		•				•					•							208
01K-12	第2期モウス沙地における砂漠緑化・生態混交林造成事業	中国	(一社)地球緑化クラブ	東京	1,140	•										•				•			209
01K-13	マレーシア・サラワク州における地域住民参加型マングローブ林 再生事業	マレーシア	(公社)日本マレーシア協会	東京	1,160	•		•	•	•	•					•		•	•			•	210
01K-14	ガーナ植林・日本式炭焼普及プロジェクト	ガーナ	(特非)ガーナ農林工芸振興協会	東京	915																		未掲載
01K-15	インド国オディッシャ州ゴパルプール地区の住民による「持続可能な生活林」づくり	インド	ラムサールセンター	東京	1,360	•	•	•	•	•		•			•		•	•		•	•	•	211
01K-16	豊寧県緑化環境保全事業	中国	(特非)地球緑化センター	東京	1,430													•		•			212
01K-17	東アマゾン島嶼部での河岸林復元と持続可能な集落開発	ブラジル	(特非)地球と未来の環境基金	東京	358											•		•		•			213
01K-18	ジャカルタ湾岸 マングローブ林再生プロジェクト	インドネシア	(公社)日本環境教育フォーラム	東京	1,424	•							•			•			•	•			214
01K-19	ラオス国カムアン県ポンサイ村小学校林造成事業	ラオス	(特非)炭の木植え隊	東京	1,444																		未掲載
01K-20	エクアドル・ガラパゴス諸島における住民参加型植林事業	エクアドル	(特非)日本ガラパゴスの会	東京	1,480				•				•	•		•		•		•			215
01K-21	オランウータン保護活動の基盤強化に向けた住民共同での植樹活動	インドネシア	熱帯林行動ネットワーク(JATAN)	東京	340																		未掲載
01K-22	モンゴル国ゴビアルタイ県草原緑化・砂漠化防止事業	モンゴル	(特非)緑化ネットワーク	神奈川	1,068											•		•		•			216
01K-23	ミャンマーの木工品生産地における住民の資源管理意識の向上の ための森づくり	ミャンマー	(特非)アジアクラフトリンク	新潟	377												•			•			217
01K-24	モンゴル国ゴビ地域苗場造成と森林公園造成支援	モンゴル	(特非)モンゴル環境情報センター	福井	1,218				•							•		•				•	218
01K-25	家庭菜園を利用した持続可能な苗木生産の創出	タジキスタン	(特非)中央アジア森林草地保全研究所	静岡	1,267																		未掲載
01K-26	ベトナムにおけるマングローブ林再生事業	ベトナム	南遊の会	愛知	1,114													•	•	•		•	219
01K-27	上・下流部住民の交流による流域の森林再生(第3年次)	フィリピン	(特非)イカオ・アコ	愛知	1,454	•										•		•	•	•			220
01K-28	パキスタン北東部における緑の再生・保全事業と環境保護第一世 代の育成	パキスタン	マグティン・カラコラム会	滋賀	1,052																		未掲載
01K-29	モンゴル山火事跡再生困難地での森林再生促進	モンゴル	モンゴル森林再生促進研究会	滋賀	1,181																		未掲載
01K-30	東ティモールの子どもたちと水源の森を再生する事業	東ティモール	平和環境もやいネット	滋賀	1,220		•	•	•							•		•				•	221
01K-31	ネパール シンドゥパルチョーク郡 地震被災地の学校の緑化と 地域の憩いの場及び避難場所として活用するための緑の公園づく り	ネパール	(公社)アジア協会アジア友の会	大阪	1,350	•		•	•				•			•		•		•	•	•	222

交付決定番号	市 类 力	事業地	∴ <i>\</i>	交 付 先 所在地 <sup>交</sup>									SDGs	sの目標と	の関連							掲載頁
<b>文刊</b>	事業名	争耒地	文 19 元	別任地	(千円)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16 17	一 拘載貝
01K-32	マダガスカルでの土砂流失防止の植林事業	マダガスカル	(特非)アイユーゴー	大阪	1,340											•				•	•	223
01K-33	ブラジル国トカンチンス下流域河畔林地域におけるアグロフォレ ストリー植林事業	ブラジル	(特非)野生生物を調査研究する会	兵庫	1,505																	未掲載
01K-34	タイ北部山岳地域 ナムカー村の森林再生と農村開発	タイ	(特非)シャンティ山口	山口	1,475	•		•			•						•	•			•	224
01K-36	モザンビーク共和国カーボデルガド州モリンガプロジェクト	モザンビーク	(一社)モザンビークのいのちをつなぐ会	福岡	641	•	•	•			•										•	225
01K-37	ミャンマー・インレー地域における水環境保全事業	ミャンマー	(特非)地球市民の会	佐賀	1,042						•					•		•				226
01K-38	ロテアイランドアグロフォレスト推進事業	インドネシア	うみともSeedVillage	鹿児島	1,197																	未掲載
01K-39	フィリピン・先住民の持続可能な森林経営に向けた苗木生産	フィリピン	(特非)DANKADANKA	鹿児島	1,320	•	•	•					•		•			•		•	•	227

<sup>(</sup>注1)本表は、緑の募金法第14条に基づき森林整備等のために交付した交付先等である。

区分	最終交付件数	交付額(千円)
森林整備	85	78,217
緑化推進	111	85,013
国際協力	50	64,310
直接・公募計	246	227,540

<sup>(</sup>注2)交付額は、交付先への交付決定額である。

# 「緑の募金」事業報告集 - 令和2年度版-

発行所 公益社団法人 国土緑化推進機構

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4

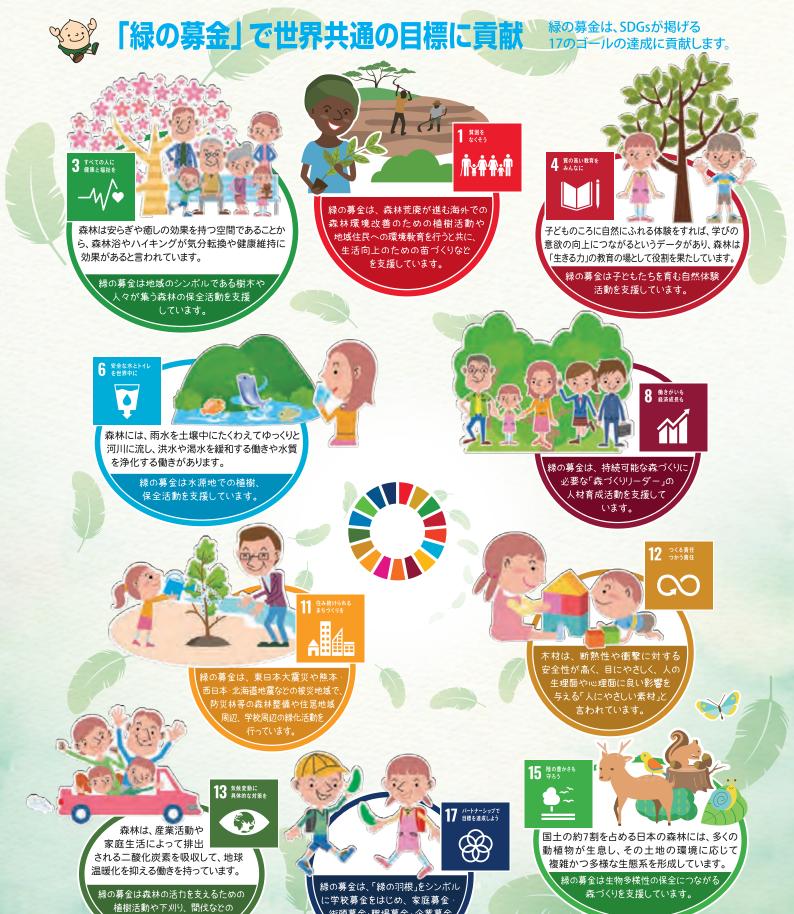
砂防会館別館

TEL 03-3262-8457 FAX 03-3264-3974

URL https://www.green.or.jp

E-mail bokin@green.or.jp

編 集 一般社団法人 全国林業改良普及協会



街頭募金·職場募金·企業募金

などによって行われて います。



緑の募金

保全活動を支援しています

# 公益社団法人 国土緑化推進機構

National Land Afforestation Promotion Organization



ホームページアドレス https://www.green.or.jp/ מארא-ארא bokin@green.or.jp

詳しくは「緑の募金」ホームページをご覧ください。

